

# 居徳遺跡群

四国横断自動車道（伊野～須崎間）建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書

2001. 3

(財)高知県文化財団埋蔵文化財センター



# 居徳遺跡群

四国横断自動車道（伊野～須崎間）建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書

2001. 3

(財)高知県文化財団埋蔵文化財センター





# 序

四国横断自動車道延伸に伴う発掘調査は、平成5年度から継続的に実施され、土佐の古代史を解明するうえで多大な成果を得ています。平成9年度から10年度にかけて発掘調査を実施した居徳遺跡群においても注目すべき発見が相次ぎ、総点数で50万点をこえるおびただしい量の遺物が確認されています。これは、県下において過去に類をみない極めて膨大な出土資料であり、現在も整理作業が継続中であります。

本書は、平成9年度に調査を実施した第1調査区の一部の調査成果を、「居徳遺跡群Ⅰ」としてまとめたものであります。縄文時代から奈良時代を中心とする遺構や遺物が確認され、貴重な成果をあげています。出土品の中でも特筆すべき遺物として縄文時代晩期の大洞式土器をあげることができます。この土器は、はるか東北の地から運び込まれてきていることから、その背景にある様々な人と人との交流や、居徳遺跡群がそのネットワーク上で重要な位置を占める遺跡だったことがうかがえます。

発掘資料は、出土した地域にとどまらず、高知県全体のかげがえのない文化遺産として後世に伝え、歴史研究の貴重な資料として活用されねばなりません。今後、本書が埋蔵文化財への一層の理解を深めていただく一助となり、考古学研究所の資料として広く活用されますことを念じます。

最後になりましたが、発掘調査の実施にあたって、関係者の皆様及び地元高岡地区の方々の埋蔵文化財に対する深い御理解・御協力を賜ったことに厚く御礼申し上げます。

平成13年3月

財団法人 高知県文化財団 埋蔵文化財センター

所長 門田 伍朗



# 例 言

1. 本書は四国横断自動車道（伊野～須崎間）建設に伴う、居徳遺跡群の発掘調査報告書第1集である。本書には1B区、1C区（その1）、1D区の調査成果の本文編を所収する。
2. 居徳遺跡群の所在地は、高知県土佐市高岡町乙居徳ほかである。
3. 調査期間ならびに発掘調査面積は次のとおりである。

	(調査期間)	(発掘調査面積)
1B区	平成9年12月18日～平成10年3月18日	1,929m <sup>2</sup>
1C区	平成9年10月29日～平成10年3月31日	1,138m <sup>2</sup>
1D区	平成9年11月6日～平成10年3月31日	1,381m <sup>2</sup>

4. 発掘調査及び整理作業は、高知県教育委員会が日本道路公団四国支社と委託契約を締結し、財団法人高知県文化財団埋蔵文化財センターがこれを実施した。調査体制は以下のとおりである。

調査総括	古谷碩志（財団法人高知県文化財団埋蔵文化財センター・所長）		
同	津野洲夫（	同 上	・次長兼総務課長）
同	西川 裕（	同 上	・調査課長）
同	山本哲也（	同 上	・調査第1班長）
同	出原恵三（	同 上	・調査第3班長）
調査事務	吉岡利一（	同 上	・総務課主幹）
同	石川 馨（	同 上	・総務課主幹）
調査員	田坂京子（	同 上	・専門調査員）
同	大野佳代子（	同 上	・専門調査員）
同	佐竹 寛（	同 上	・専門調査員）
同	藤方正治（	同 上	・調査員）
同	曾我貴行（	同 上	・調査員）
同	下村 裕（	同 上	・調査員）
技術補助員	小倉 功		
測量補助員	土居寿美子		
同	中岡きよ		
同	岩原明美		

5. 本書の執筆・編集は佐竹、藤方、曾我、下村が分担・協議しておこなった。執筆分担は、第IV章(3)が佐竹、第IV章(1)が藤方、第II章が下村、第I章・第III章・第IV章(2)・第V章が曾我である。
6. 遺構等の名称については、SR（自然流路）の略号を使用した箇所がある。それぞれの番号は各調査区における通し番号である。

7. 遺物実測図の縮尺は土器が1/2・1/3・1/4, 石器類が1/1または1/2, 木製品が1/2～1/6である。実測図の番号は各調査区における通し番号であり, 挿図中の番号は実測図の番号と一致している。
8. 出土遺物の色調については, 『新版標準土色帖1996年版』の名称を使用した。
9. Fig. 1は国土地理院1:25,000地形図「伊野」, 「土佐高岡」を使用した。
10. 遺跡の測量は, 国土座標第IV系に則っておこなった。挿図中の北は座標北である。また挿図中のレベル高は海拔高を示す。
11. 発掘調査に際しては, 地元高岡町清滝・東灘・西灘地区をはじめ, 地域にお住まいの方々の全面的な御理解と御協力, ならびに温かい御支援を賜り, 調査を円滑に遂行することができた。記して衷心より謝意を表す。
12. 1B区・1C区から出土した大洞式土器の整理作業に関しては, 須藤隆氏(東北大学文学部教授), 大塚達朗氏(南山大学文学部助教授)に御来高いただき, 数々の御教示, ならびに御指導を賜った。記して衷心より謝意を表す。
13. 発掘調査及び報告書作成に際しては, 多くの方々から貴重な御助言・御教示を賜った。御芳名を記して衷心より謝意を表す。(五十音順, 敬称略)  
天羽利夫 安間拓巳 今田秀樹 江坂輝彌 氏家敏之 岡本桂典 岡本健児  
岡本孝之 河瀬正利 木下哲夫 小林 克 潮見 浩 設楽博巳 菅谷通保  
杉山一雄 高島芳弘 高橋龍三郎 中越利夫 中村五郎 平井 勝 藤野次史  
藤原宏志 北條芳隆 宮崎哲治 村上恭通 家根祥多
14. 発掘調査に際しては, 土佐市都市計画課, 高知県土木部高速道推進課の御協力を得た。また発掘調査及び報告書作成に際しては, 高知県立歴史民俗資料館, 高知県教育委員会, 財団法人高知県文化財団埋蔵文化財センターの諸氏から御助言・御協力を得た。
15. 発掘調査にかかる掘削作業は工事請負方式とし, 大豊建設株式会社と委託契約を締結して実施し, 工事の施工管理は財団法人高知県建設技術公社に委託した。工事に従事して下さった多くの方々の御尽力により, 苛酷な調査を完遂することができた。記して衷心より謝意を表す。
16. 発掘調査に伴う測量基準点設置, 航空写真撮影ならびに航空写真測量は, アジア航測株式会社に委託して実施した。
17. 木製品の保存処理及び樹種同定は, 株式会社東都文化財保存研究所に委託して実施した。
18. 整理作業に際しては, 次の方々に御尽力いただいた。御芳名を記して衷心より謝意を表す。  
矢野 雅 宮本幸子 中西純子 小松経子 岩貞泰代 楠瀬憲子 前田玲子  
高橋千代 久万公子 川井由香 内村富紀 元吉ゆみ子 岸ゆかり 岡宗真紀  
入野三千子
19. 遺跡の略号は「97-8IT」とし, 出土遺物の注記等にはこれを使用した。
20. 出土遺物等は財団法人高知県文化財団埋蔵文化財センター及び高知県立歴史民俗資料館で保管している。

# 本文目次

第Ⅰ章 調査に至る経過	1	(曾我)
第Ⅱ章 遺跡の位置と環境	2	(下村)
第Ⅲ章 調査の概要	6	(曾我)
第Ⅳ章 調査の成果		
(1) 1 B区	11	(藤方)
(2) 1 C区(その1)	30	(曾我)
(3) 1 D区	146	(佐竹)
第Ⅴ章 考察		
1 C区第Ⅳ層群出土土器について	171	(曾我)

## 挿図目次

Fig. 1	居徳遺跡群と周辺の遺跡 (S : 1/25,000) .....	5
Fig. 2	居徳遺跡群調査区配置図 (S : 1/2,000) .....	7 ~ 8
Fig. 3	1区全体図 (S : 1/800) .....	10
Fig. 4	1B区全体図 (S : 1/250) .....	13 ~ 14
Fig. 5	1B区西壁セクション図 (S : 1/40 · 1/60) .....	15 ~ 16
Fig. 6	1B区北壁セクション図 (S : 1/40 · 1/60) .....	17 ~ 18
Fig. 7	1B区Ⅲs層遺物出土状況図 (S : 1/40) .....	19
Fig. 8	1B区Ⅲc層出土遺物実測図 (S : 1/3) .....	20
Fig. 9	1B区Ⅲc · Ⅲs · Ⅲa層及びその他の包含層出土遺物実測図 (S : 1/3) .....	21
Fig.10	1B区Ⅲc · Ⅲs層出土遺物実測図 .....	22
Fig.11	1B区Ⅲc層出土大洞式土器実測図 .....	23
Fig.12	1B区Ⅲc層出土遺物分布図 (模式図) .....	24
Fig.13	1C区Ⅳ層群出土土器1 .....	30
Fig.14	1C区全体図 (S : 1/200) .....	31 ~ 32
Fig.15	1C区Ⅳ層群堆積土層断面図 (S : 1/40) .....	33 ~ 34
Fig.16	1C区Ⅳ層群出土土器2 .....	35
Fig.17	1C区Ⅳ層群出土土器3 .....	36
Fig.18	1C区Ⅳ層群出土土器4 .....	37
Fig.19	1C区Ⅳ層群出土土器5 .....	38
Fig.20	1C区Ⅳ層群出土土器6 .....	39
Fig.21	1C区Ⅳ層群出土土器7 .....	40
Fig.22	1C区Ⅳ層群出土土器8 .....	41
Fig.23	1C区Ⅳ層群出土土器9 .....	42
Fig.24	1C区Ⅳ層群出土土器10 .....	43
Fig.25	1C区Ⅳ層群出土土器11 .....	44
Fig.26	1C区Ⅳ層群出土土器12 .....	45
Fig.27	1C区Ⅳ層群出土土器13 .....	46
Fig.28	1C区Ⅳ層群出土土器14 .....	47
Fig.29	1C区Ⅳ層群出土土器15 .....	48
Fig.30	1C区Ⅳ層群出土土器16 .....	49
Fig.31	1C区Ⅳ層群出土土器17 .....	50
Fig.32	1C区Ⅳ層群出土土器18 .....	51

Fig.33	1 C区IV層群出土土器19	52
Fig.34	1 C区IV層群出土土器20	53
Fig.35	1 C区IV層群出土土器21	54
Fig.36	1 C区IV層群出土土器22	55
Fig.37	1 C区IV層群出土土器23	56
Fig.38	1 C区IV層群出土土器24	57
Fig.39	1 C区IV層群出土土器25	58
Fig.40	1 C区IV層群出土土器26	59
Fig.41	1 C区IV層群出土土器27	60
Fig.42	1 C区IV層群出土土器28	61
Fig.43	1 C区IV層群出土土器29	62
Fig.44	1 C区IV層群出土土器30	63
Fig.45	1 C区IV層群出土土器31	64
Fig.46	1 C区IV層群出土土器32	65
Fig.47	1 C区IV層群出土土器33	66
Fig.48	1 C区IV層群出土土器34	67
Fig.49	1 C区IV層群出土土器35	68
Fig.50	1 C区IV層群出土土器36	69
Fig.51	1 C区IV層群出土土器37	70
Fig.52	1 C区IV層群出土土器38	71
Fig.53	1 C区IV層群出土土器39	72
Fig.54	1 C区IV層群出土土器40	73
Fig.55	1 C区IV層群出土土器41	74
Fig.56	1 C区IV層群出土土器42	75
Fig.57	1 C区IV層群出土土器43	76
Fig.58	1 C区IV層群出土土器44	77
Fig.59	1 C区IV層群出土土器45	78
Fig.60	1 C区IV層群出土土器46	79
Fig.61	1 C区IV層群出土土器47	80
Fig.62	1 C区IV層群出土土器48	81
Fig.63	1 C区IV層群出土土器49	82
Fig.64	1 C区IV層群出土土器50	83
Fig.65	1 C区IV層群出土土器51	84
Fig.66	1 C区IV層群出土土器52	85
Fig.67	1 C区IV層群出土土器53	86

Fig.68	1 C区Ⅳ層群出土土器54	87
Fig.69	1 C区Ⅳ層群出土土器55	88
Fig.70	1 C区Ⅳ層群出土土器56	89
Fig.71	1 C区Ⅳ層群出土土器57	90
Fig.72	1 C区Ⅳ層群出土土器58	91
Fig.73	1 C区Ⅳ層群出土土器59	92
Fig.74	1 C区Ⅳ層群出土土器60	93
Fig.75	1 C区Ⅳ層群出土土器61	94
Fig.76	1 C区Ⅳ層群出土土器62	95
Fig.77	1 C区Ⅳ層群出土土器63	96
Fig.78	1 C区Ⅳ層群出土土器64	97
Fig.79	1 C区Ⅳ層群出土土器65	98
Fig.80	1 C区Ⅳ層群出土土器66	99
Fig.81	1 C区Ⅳ層群出土土器67	100
Fig.82	1 C区Ⅳ層群出土土器68	101
Fig.83	1 C区Ⅳ層群出土土器69	102
Fig.84	1 C区Ⅳ層群出土土器70	103
Fig.85	1 C区Ⅳ層群出土土器71	104
Fig.86	1 C区Ⅳ層群出土土器72	105
Fig.87	1 C区Ⅳ層群出土土器73	106
Fig.88	1 C区Ⅳ層群出土土器74	107
Fig.89	1 C区Ⅳ層群出土土器75	108
Fig.90	1 C区Ⅳ層群出土土器76	109
Fig.91	1 C区Ⅳ層群出土土器77	110
Fig.92	1 C区Ⅳ層群出土土器78	111
Fig.93	1 C区Ⅳ層群出土土器79	112
Fig.94	1 C区Ⅳ層群出土土器80	113
Fig.95	1 C区Ⅳ層群出土土器81	114
Fig.96	1 D区全体図 (S : 1/200)	147~148
Fig.97	1 D区南半部西壁土層断面図 (S : 1/40)	149~150
Fig.98	1 D区北半部西壁土層断面図 (S : 1/40)	149~150
Fig.99	1 D区区割り及び確認トレンチ位置図 (S : 1/400)	151
Fig.100	1 D区SR1平面図 (S : 1/200)	152
Fig.101	1 D区SR1・SR2土層断面図 (S : 1/40)	153
Fig.102	1 D区SR2平面図 (S : 1/200)	154



Fig.103	1 D区 S R 1 遺物 (木製品) 出土状況図 (S : 1/40)	155~156
Fig.104	1 D区 S R 1 出土遺物 (土器・石器)	157
Fig.105	1 D区 S R 1 出土遺物 (木製品)	158
Fig.106	1 D区 S R 1・S R 2 出土遺物 (木製品)	159~160
Fig.107	1 D区 S R 1 出土遺物 (木製品)	161
Fig.108	1 D区 S R 2 出土遺物 (土器・木製品)	162
Fig.109	1 D区 S R 2 出土遺物 (木製品)	163
Fig.110	1 D区 III c 層出土遺物 (土器)	164
Fig.111	1 D区 III b 層出土遺物 (土器)	164
Fig.112	1 D区 III a 層出土遺物 (土器)	164
Fig.113	1 D区 III c 層出土遺物 (石器)	164
Fig.114	1 D区 III b 層出土遺物 (木製品)	165
Fig.115	1 D区 III a 層出土遺物 (木製品)	165
Fig.116	1 D区 II 層出土遺物 (木製品)	166

# 表 目 次

表 1	居徳遺跡群と周辺の遺跡一覧	4
表 2	居徳遺跡群発掘調査工程表	9
表 3	1 B 区出土遺物観察表 1 (土器)	27
表 4	1 B 区出土遺物観察表 2 (土器)	28
表 5	1 B 区出土遺物観察表 3 (土器・石器・木製品)	29
表 6	1 C 区出土土器観察表 1	115
表 7	1 C 区出土土器観察表 2	116
表 8	1 C 区出土土器観察表 3	117
表 9	1 C 区出土土器観察表 4	118
表10	1 C 区出土土器観察表 5	119
表11	1 C 区出土土器観察表 6	120
表12	1 C 区出土土器観察表 7	121
表13	1 C 区出土土器観察表 8	122
表14	1 C 区出土土器観察表 9	123
表15	1 C 区出土土器観察表10	124
表16	1 C 区出土土器観察表11	125
表17	1 C 区出土土器観察表12	126
表18	1 C 区出土土器観察表13	127
表19	1 C 区出土土器観察表14	128
表20	1 C 区出土土器観察表15	129
表21	1 C 区出土土器観察表16	130
表22	1 C 区出土土器観察表17	131
表23	1 C 区出土土器観察表18	132
表24	1 C 区出土土器観察表19	133
表25	1 C 区出土土器観察表20	134
表26	1 C 区出土土器観察表21	135
表27	1 C 区出土土器観察表22	136
表28	1 C 区出土土器観察表23	137
表29	1 C 区出土土器観察表24	138
表30	1 C 区出土土器観察表25	139
表31	1 C 区出土土器観察表26	140
表32	1 C 区出土土器観察表27	141

表33	1 C区出土土器觀察表28	142
表34	1 C区出土土器觀察表29	143
表35	1 C区出土土器觀察表30	144
表36	1 C区出土土器觀察表31	145
表37	1 D区出土遺物觀察表（土器・石器）	168
表38	1 D区出土遺物觀察表（木製品）1	169
表39	1 D区出土遺物觀察表（木製品）2	170
表40	1 C区第IV層群出土土器集計表	171
表41	1 C区第IV層群出土土器組成表	172
表42	1 C区第IV層群出土壺形土器組成表	172
表43	1 C区第IV層群出土深鉢～甕形土器組成表	173
表44	1 C区第IV層群出土鉢・浅鉢形土器組成表	173



## 第 章 調査に至る経過

高知県は、険しい四国山地によって瀬戸内地域と隔絶された、四国の太平洋側にある。東西に長い海岸線を有するが、沖積平野の形成は局所的であり、随所で山地が海岸線近くまで迫る急峻な地形環境にある。したがって東西方向の交通には、海岸線に沿うように走る国道56号線（愛媛県松山市～高知県高知市）と国道55号線（高知県高知市～徳島県徳島市）とが陸上の大動脈として位置付けられており、必然的に通行量が集中する結果、沿線各所での慢性的な交通渋滞発生につながっている。交通渋滞の発生・固定化が、移動時間の更なる冗長化を生み、交通網後進県の印象を助長することとなる。このように交通網の充実、わけても高速道路の整備は、高知県民の永きにわたる悲願であり、県の最重要政策課題の1つであり続けている。昭和62年の四国横断自動車道・南国～大豊間の開通を嚆矢として、本県の高速道路時代も具体化の一途にあり、平成10年3月時点で高知市の西隣、吾川郡伊野町にまで高速道路網の玄関口が延伸している。ここから西への伊野～須崎（高知県須崎市）間の整備によって、国道56号線の交通事情に多大なる好転がもたらされることには、疑問の余地がない。

その四国横断自動車道・伊野～須崎間の施工命令が出されたのは、平成2年のことである。これに伴い、日本道路公団高松建設局高知工事事務所（当時。以下「日本道路公団」）と文化庁ならびに高知県教育委員会（以下「県教委」）の間で、事業計画地における埋蔵文化財の照会→遺跡台帳との照合・計画地踏査→回答という事務手続きの経緯があり、平成6年度には事業計画地における埋蔵文化財の取扱いに関する協議がまとまった。その後、各種手続きの進行に伴って確認調査の時期、方法などを適宜協議し、順次財団法人高知県文化財団埋蔵文化財センター（以下「埋蔵文化財センター」）が日本道路公団との委託契約によって調査に着手していた。こうして伊野町・須崎市管内の八田奈呂遺跡、八田神母谷遺跡、飛田坂本遺跡などでは、居徳地区着手前に確認調査及び本格調査が進行中であった。

土佐市居徳地区は、周知の遺跡は存在しなかったが、北に山塊を背負って南方に開けた沖積平野の山裾付近にあたり、その立地条件から遺跡の所在が濃厚と考えられる地域であった。平成8年4月、日本道路公団、県教委、埋蔵文化財センターの協議がまとまり、日本道路公団からの委託契約によって埋蔵文化財センターが確認調査に着手した。一時の中断を挟んだ2次の確認調査によって、縄文時代晩期～古墳時代の集落跡、祭祀跡等の遺跡の所在が判明した。当時、建設省土佐市バイパスの建設に伴う発掘調査も進行していたが、土佐市管内の埋蔵文化財の様相は殆ど空白の状態であり、居徳地区がもたらす縄文時代～古墳時代の成果はきわめて重要と考えられた。平成9年5月、文化庁に遺跡発見届を提出し、遺跡名を「居徳遺跡群」とした。

以上の確認調査の結果に基づいて、日本道路公団と県教委とが、居徳遺跡群の記録保存を目的とした発掘調査の実施について合意し、平成9～10年度の2か年にわたり発掘調査を実施することとした。発掘調査は県教委が受託し、埋蔵文化財センターがこれを実施した。全体の調査期間は、平成9年4月1日～平成11年3月31日であり、調査面積は25,673m<sup>2</sup>である。

## 第 章 遺跡の位置と環境

### 第 節 地理的環境

居徳遺跡群の所在する高知県土佐市は北緯33度29分34秒、東経133度25分40秒、高知県のほぼ中央部に位置し、東西約14.5km、南北約6.4km、面積91.58km<sup>2</sup>、人口31,615（平成9年4月1日現在）である。北は吾川郡伊野町・高岡郡日高村、南は須崎市、東は吾川郡春野町、西は須崎市・高岡郡佐川町に接しており、石鎚山系に源を発する面河川を源流とし、高知県の中央部を東南流して、河口の土佐市と吾川郡春野町の間から土佐湾に注ぐ全長123.4km、総流域面積1585km<sup>2</sup>の四国第三、高知県第二の河川である仁淀川下流域の右岸に位置している。地理的にみると北側の虚空蔵山系、南側の横瀬山系に挟まれて南北幅約0.7km、東西幅約4kmの高東平野があり、横浪半島を形成する海蔵寺山系が竜崎で土佐湾に没している。虚空蔵山系は伊野町、日高村、佐川町、須崎市との境をなしており、西にいくにしたがって標高が増し虚空蔵山々頂（674.7m）が土佐市内の最高地点となっている。横瀬山系は須崎市との境をなし東側では仁淀川と接し、用石、新居で扇状地性低湿地を形成している。虚空蔵山系と横瀬山系に挟まれた平野部は仁淀川の扇状地性低湿地と波介川の氾濫によって生じた低湿地から形成されており、虚空蔵山系、横瀬山系を水源とする河川はそれぞれの谷に埋積谷を形成して小規模の低地をつくり、波介川に流れ込んでいる。

この高東平野で最も広い面積を有するのが扇状地性低湿地である。土佐市吹越を扇頂にし、同市中島を扇端にする扇状地形態を作り出しており、現在の市街地はこの上に立地している。この扇状地には自然堤防部分と低湿地部分が存在し、土佐市高岡町周辺の遺跡はこの自然堤防上に立地しており、自然堤防によって閉塞された部分、居徳遺跡群周辺には後背湿地とよばれる低湿地が存在している。この低湿地は現在も水害地として知られる氾濫源性の湿地である。この後背湿地には独立丘陵や自然堤防状の微高地が存在し、この上に縄文時代や弥生時代の遺跡が立地している。

居徳遺跡群周辺の地形は前述したように虚空蔵山系清滝山の麓に広がる扇状地性低湿地、いわゆる後背湿地であるが、さらに細かくみると、本遺跡は清滝山系から延びていた埋没小丘陵に立地している。これは清滝山系から延びた尾根が仁淀川の堆積作用によって徐々に埋没し、現在の景観に変貌したものと考えられる。

以上のように本遺跡周辺の地形は仁淀川本流と支流である波介川の堆積作用に伴って形成され、様々な地形が作り出されている。そして平野部に散在する自然堤防に多くの遺跡が立地しており、縄文時代から長きに亘って人々の生活が営まれてきたのである。

### 第 節 歴史的環境

土佐市内で確認されている遺跡は92遺跡にのぼるが、最古の遺物が出土しているのは二宮神社近傍遺跡である。ここから明治16年に縄文時代草創期のサヌカイト製の尖頭器が発見されている。その後土佐市内で縄文人の営みが確認されるのは縄文時代後期初頭になってからである。野田遺

跡から道路工事の際、中津式土器が発見されており、徳安縄文遺跡からは条痕文の後期土器が発見されているが、縄文時代前期から縄文時代後期にいたるまで土佐市内では縄文時代の遺跡は確認されていない。そして市内では縄文時代晩期にいたるまで縄文人の足跡をたどることが出来る。

弥生時代にはいと遺跡数が急増するが、そのなかで住居跡が確認されているのは弥生時代中期末の高地性集落の用石甫木山遺跡である。この遺跡では竪穴式住居が1棟確認されている。また弥生祭祀の象徴ともいえる青銅器製の広形銅銚1本、中広形銅銚1本が波介万法寺遺跡から出土している。仁淀川流域でいえば、春野町西畑遺跡から中広形銅銚2本、土佐市天崎遺跡からは中世の自然流路跡を掘込んで再埋納されていた中広形銅銚4本、日高村小村神社に奉納されているものではあるが中広形銅銚2本が確認されている。仁淀川流域でこれだけの銅銚が確認されているのは、この地域で銅銚祭祀を行っていた共同体の存在を示唆するものだと考えられる。また土佐市波介からは細形銅剣を模倣した石剣も発見されており、これも銅銚と同様に祭祀道具として使用されていたのではないかと考えられている。

そして弥生的祭祀の象徴であった青銅器祭祀が廃棄されると、新たな時代がおとずれる。その新たな時代、古墳時代になると土佐市内にも古墳が築かれるようになる。現在土佐市内で確認されている古墳は宮ノ谷古墳1基、大サルバミ古墳1基、股谷古墳群2基の計4基あり、いずれも古墳時代後期の横穴式石室古墳である。現在これらの古墳はいずれも現存しない。またこれらはいずれも県内の古墳と比べて小さかったようで、これはこの古墳を築造した豪族の経済力を顕著に示すものだと考えられる。

古代に入ると土佐市高岡町一帯に条里制が施行されたと考えられているが確証はない。土佐市高岡町近辺は承和8年(841)に吾川郡から分離独立した「和妙抄」にみえる高岡郡4郡のうち高岡郷があてはまり、郷域は土佐市宇佐町、新居を除く土佐市一帯であったと考えられている。その他土佐市に関係あるものは海部郷、三井郷である。海部郷は土佐市宇佐町から須崎市にかけての海岸沿い一帯、三井郷は現在の土佐市新居一帯であったと考えられている。また西鴨地遺跡からは斎串、人形など官的祭祀関連遺物や鉈尾、丸柄等の帯金具が出土しており、この地域に何らかの官衙関連施設が存在していたことを示している。

その後高岡郷を中心として高岡庄がおかれた。高岡庄は現在の土佐市域にわたるかなり広域な地を占める荘園であった。平安末から鎌倉初め頃、後白河院が勅使をもって撰津四天王寺五智光院領として施入しており、守護使不入の特権を源頼朝以来鎌倉幕府から認められていた。また高岡庄は「高岡七ヶ郷」といわれたが、具体的な郷名は明らかではない。ただ現在の高岡町付近は高岡本郷と呼ばれたようで総鎮守松尾八幡宮の応安3年(1370)の鰐口銘に「土州高岡本郷松尾次郎丸」とみえ、天正17年(1589)の高岡地検帳にも「高岡本郷地検帳」の内題がある。またこの地域は南北朝の争乱期には軍事的に重視されていた。佐伯文書によれば、建武3年(1336)3月北朝方の津野氏、三宮氏、堅田氏(佐伯氏)らの諸氏が高岡館に集結したとあり、北朝方の有力拠点であったと考えられている。また高岡庄内には北朝方の高定信の代官佐脇氏の居城の松風城があったが、これら高岡館、松風城の位置は分かっていない。高岡庄の構造および解体過程に

については不明であるが、隣接する蓮池城の興亡、領主交代の影響を受けて少しずつ解体していったものと考えられる。その蓮池城は土佐市高岡町市街地の西にある標高45.6mの単独小丘陵に築かれた城である。初め蓮池氏、大平氏の居城で、後に一条氏、本山氏、長宗我部氏の支城になっている。永禄12年（1569）頃には、蓮池城を占領後当地方を支配した長宗我部一門吉良氏によって高岡市がこの現在の高岡町内に開かれ、その後高岡市を中心とした高岡町が発展した。高岡町は東西方向に延びる街道沿いの「立町」、南北の「横町」からなり、そして屋敷は20代と少数の40代の均等な屋敷から構成されていた。

また近世には高岡町は東部に拡大し、元禄期（1688～1704）に藩内六大在郷町に発展した。また寛文9年（1669）から天和3年（1683）にわたる鎌田井筋第三期工事の完成により高岡平野の生産力があがり、鎌田井筋周辺では現在にも引き継がれている製紙業が発展したのである。

明治22年（1889）の町村制施行によって高岡村になり、明治33年（1900）町制を施行された。昭和29年（1954）高岡町と蓮池、北原、戸波、波介、高石の五ヶ村が合併し高岡町となり、次いで昭和33年（1958）高岡町、宇佐町、新居村が合併して新しい高岡町が生まれ、翌昭和34年（1959）に市制を施行して高岡郡より分離、市名を土佐市としたのである。

参考文献

『土佐市史』土佐市史編集委員会 1978年

表1 居徳遺跡群と周辺の遺跡一覧

NO.	遺跡名	時代	NO.	遺跡名	時代	NO.	遺跡名	時代
1	居徳遺跡群	縄文～古代	18	天神遺跡	弥生～中世	35	勝賀野次郎兵衛屋敷跡	中世
2	岩瀧ノ鼻A遺跡	弥生	19	林口遺跡	縄文～中世	36	蓮池城跡南面屋敷跡遺跡	中世
3	岩瀧ノ鼻B遺跡	古墳	20	林口城跡	中世	37	寺山遺跡	中世
4	観音ノ鼻遺跡	古墳	21	犬ノ場窯跡	古代	38	今ヶ谷遺跡	古代
5	観音ノ平遺跡	古墳	22	天神三島遺跡	弥生～中世	39	大サルバミ古墳	古墳
6	新田遺跡	古墳	23	明官寺遺跡	古墳	40	池ノ谷遺跡	中世
7	八田神母谷遺跡	縄文～近世	24	高岡本町遺跡	縄文～中世	41	西土居遺跡	弥生
8	八田城跡	中世	25	東灘沖屋敷遺跡	古墳・中世	42	初田遺跡	古代・中世
9	天崎愛宕山遺跡	弥生	26	鳴川深見遺跡	弥生	43	三宝山城跡	中世
10	天崎遺跡	弥生～中世	27	宮ノ谷古墳	古墳	44	波介法福寺遺跡	弥生
11	人麻呂様城跡	中世	28	鳴川遺跡	弥生	45	森岡遺跡	古墳
12	曾我山城跡	中世	29	北高田遺跡	弥生	46	倉岡遺跡	古墳
13	八幡遺跡	古墳	30	城ヶ森城跡	中世	47	土居山城跡	中世
14	御太子宮遺跡	中世	31	地頭名遺跡	古代	48	篠本山城跡	中世
15	八幡光本遺跡	古代	32	明官寺大古遺跡	弥生	49	波介西本村遺跡	中世
16	野田遺跡	縄文～近世	33	蓮池城跡	中世	50	股谷古墳	古墳
17	光永・岡ノ下遺跡	古墳～中世	34	蓮池城跡北面遺跡	中世			



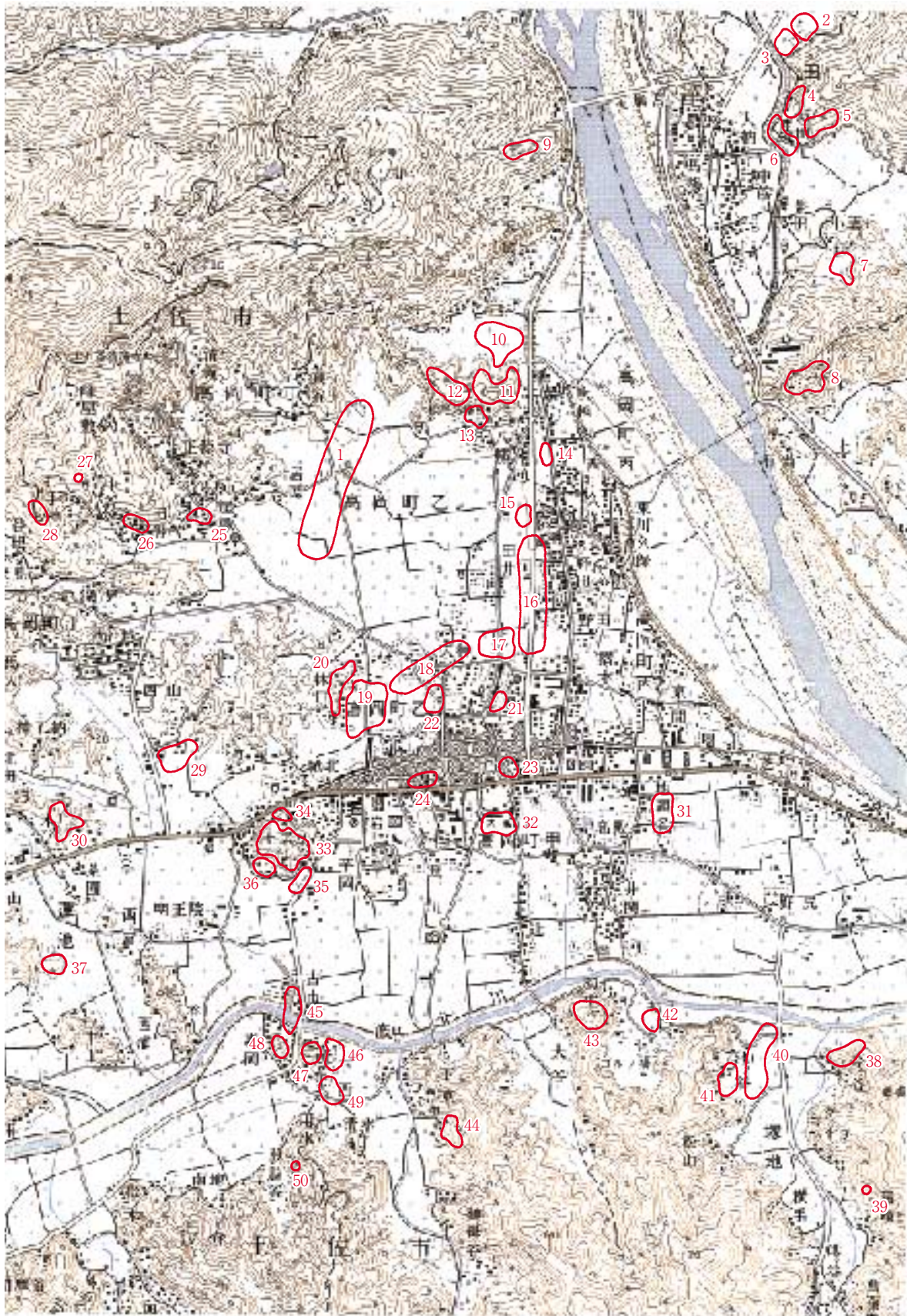


Fig. 1 居徳遺跡群と周辺の遺跡 (S : 1/25,000)

## 第 章 調査の概要

### (1) 調査の概要

本次調査は、四国横断自動車道（伊野～須崎間）建設によって影響を受ける範囲に関する、居徳遺跡群の記録保存を目的とするものである。調査期間は、確認調査が平成8年6月5日～8月6日、平成8年11月14日～12月12日、本格調査が平成9年4月1日～平成11年3月31日である。発掘調査面積は総計で25,673㎡である。

### (2) 調査区の概要（Fig. 2）

居徳遺跡群は沖積平野に潜在する埋没丘陵とその間の谷部分に立地する。埋没丘陵は遺跡北方の山塊から派生するもので、北～北西から南～南東方向に延びている。計画路線は山塊に平行に走るため、遺跡範囲内で4本の埋没丘陵を横切る。埋没丘陵は削平された丘陵の基底部であり、現存しない丘陵上には集落遺跡が存在したものと考えられる。埋没丘陵に接する斜面部分に遺物包含層の形成が顕著であることは、その根拠である。また、埋没丘陵から離れるほど遺物包含層の形成は希薄となり、谷部分中央に至って旧河道域となる。

本次調査は、遺跡掘削作業について工事請負方式を採用した。これに伴い、遺跡の掘削深度・面数について確認調査の成果に基づいて設計数量を割り出し、1工区～5工区の工区割りを作成した。発掘調査はこの工区割りに沿って実施し、整理作業の段階で「1工区～5工区」を「1区～5区」という調査区名に置き換えることとした。

1区は本次調査範囲の最も南西に位置する。ほぼ中央を北西～南東方向に市道が横断するが、これが西端の丘陵の基底部であり、それを挟んで、南西側と北東側にそれぞれ傾斜面が存在する。傾斜面の高位部分には遺構の形成がみられるが、それはわずかであり、調査区の過半は低地へ傾斜する斜面地形、及び旧河道域である。2区は1区の北東にあり、調査区全体が旧河道域に相当する。3区は2区の北東に接し、4区との境界の市道・水路までの範囲を指す。この市道・水路は西から2本目の丘陵基底部に重複しており、3区はその西側の斜面地形部分を指す。斜面高位域には遺構が検出されるが、低位側には認められない。また、2区と一連の旧河道域は3区の一部まで広がっている。4区は3区の北東に位置し、西から2本目及び3本目の両埋没丘陵に挟まれた低地域である。両埋没丘陵からの傾斜面に形成された斜面堆積層は、全調査区中最大の遺物含有密度を有する。調査区内には旧河道1条が確認される。5区は4区の北東に位置する。東端の埋没丘陵の北東側傾斜面に相当し、旧河道1条が認められる。

主に平成9年度に実施した1区の調査においては、さらに1A区～1F区の7調査区に分割した。本書に収録した1B・1C・1Dの各区の位置はFig.3に示した。また、3区を3A区・3B区に、4区を4A区～4D区に分割している。分割しなかった2区・5区は、他の調査区と注記を整合させる理由から2A区・5A区とした。



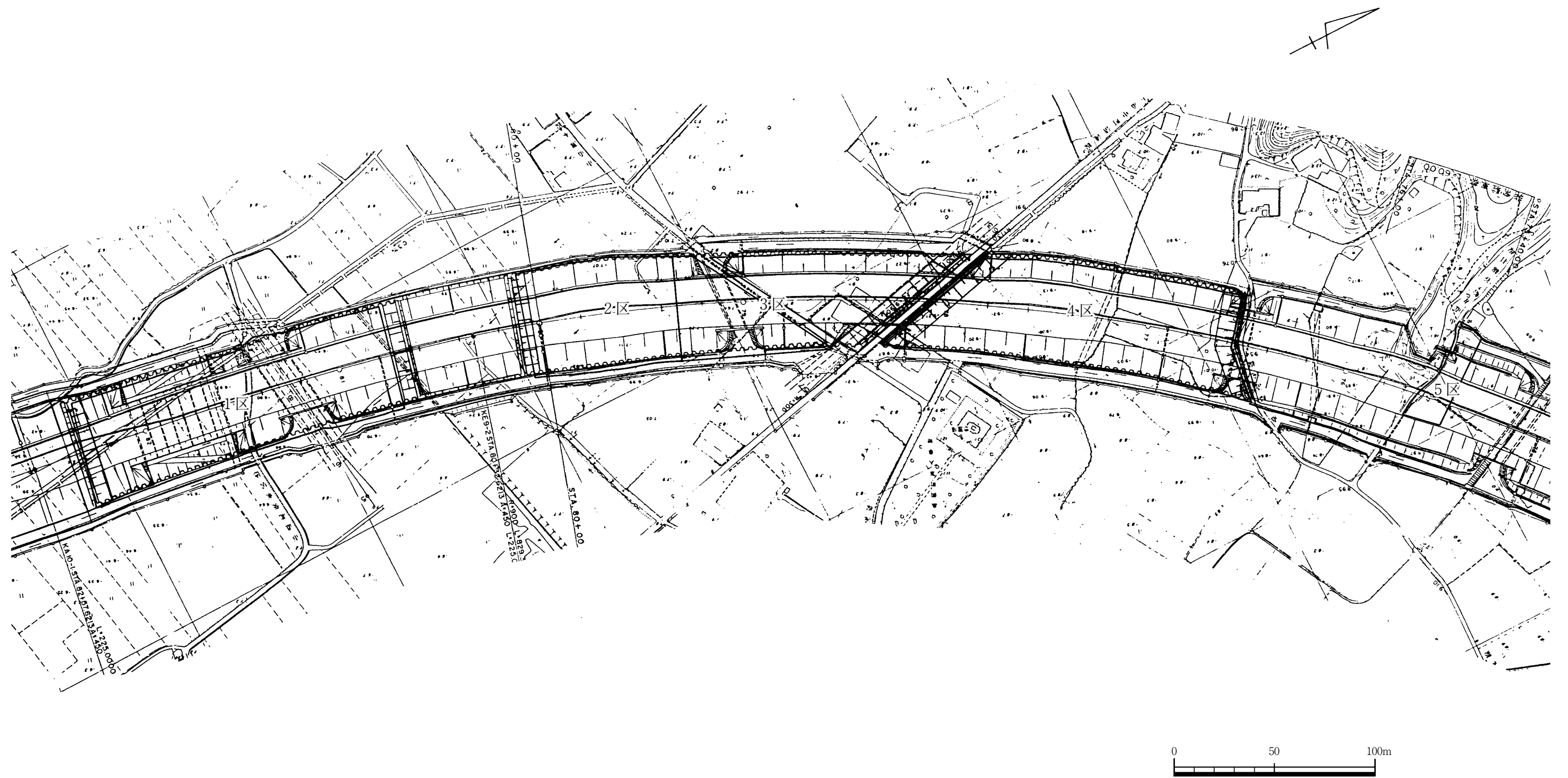


Fig. 2 居徳遺跡群調査区配置図 (S : 1/2,000)



表2 居徳遺跡群発掘調査工程表

調査区	面積 (㎡)	面数	発掘調査期間																		調査担当
			平成9年			平成10年						平成11年									
			10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
1 A	1,821	1~2	■	■	■	■	■	■												大野, 藤方	
1 B	1,929	1			■	■	■	■												大野, 藤方	
1 C	1,138	1~3	■	■	■	■	■	■												田坂, 曾我	
1 D	1,381	1~3		■	■	■	■	■												佐竹, 下村	
1 D N	(757)	1					■	■												曾我	
1 E	1,203	1~2		■	■	■	■	■												佐竹, 下村	
1 F	869	1~2														■	■	■		大野, 藤方	
2 A	4,078	1									■	■	■	■	■	■	■	■	■	大野, 藤方	
3 A	3,056	2														■	■	■	■	曾我	
3 B	2,112	2										■			■	■	■	■	■	佐竹, 下村	
4 A	1,791	1				■	■	■												大野, 藤方	
4 B	1,374	1~4									■	■	■	■						大野, 藤方	
4 C	2,417	1~4									■	■	■	■	■					佐竹, 下村	
4 D	1,704	2~4									■	■	■	■	■					曾我	
5 A	800	1									■	■								曾我	
合計面積	25,673	—																		—	

(3) 調査の方法

調査には3班体制で対応した。平成9~10年度の調査工程については表2にまとめた。なお、表中の「面数」は工事設計書に記載のものである。

安全対策として、4区に関しては調査区の長辺両側に鋼矢板を打設した。調査区の表土及び無遺物層の掘削は、重機（バックホー）を使用しておこない、遺物包含層・遺構の掘り下げは人力でおこなった。遺物出土状態、遺構検出状態等、適宜写真撮影による記録をおこなった。各面の完掘後は、遺構平面図・堆積土層断面図等を作成し、あわせて写真撮影によって記録した。平成9年度に1回、平成10年度に3回の航空写真撮影ならびに航空写真測量を実施した。

遺跡測量については、国土座標第IV系に則って実施した。グリッドは、1区~4区を包括する一辺20mの大グリッドでまず分割し、各大グリッド内をさらに25分割して、一辺4mのグリッドで区画した。これを遺物取り上げの最小単位としたが、必要な遺物については個別に出土地点の座標を測定した。

これら以外の各調査区固有の調査方法については、各項で触れることとする。



Fig. 3 1区全体図 (S : 1/800)

# 第 章 調査の成果

## (1) 1 B 区

### 1. 調査区の概要

1 A区と1 B区は調査1区を南北に分ける埋没尾根の北側に位置している。1 A区では包含層や遺構検出面を構成する粘性土層が、尾根から北東方向へ緩やかな傾きを持って存在していた。1 B区ではこれら堆積土層は既に水平方向の堆積環境を強く指向した状況であり、地質構造的な影響を表出させる部分は殆ど見当たらない。僅かに、調査区全体図 (Fig. 3) に見られる様に北東方向への傾斜が存在し、調査区の北東端部では検出面標高の降下が強くと現れている。これは、1 A区南の尾根と更に北に存在する尾根 (3 A・3 B区検出) によって画される開析谷があり、既に埋没し姿は留めないものの、その中央又は低位部への降下を示していること、また現地表面における標高の精査や試掘調査によるテスト・ピットの断面観察から、1 B区の北側、特に北東端から左程距離を置かずに流路が存在していることを示している。

調査区域への人為的な強い改変が行われた痕跡は時期的には新しいものが多く、第二次世界大戦当時 (昭和18年頃) に行われたとされる農地改革に伴う排水路や暗渠、調査直前まで残っていた用・排水路は、やや不安定なシルト質の地盤を考慮してか、掘削や杭打ちを深度深く施しており、一部は弥生前期の包含層にまで達している。

遺構として明確なものは検出できず、出土遺物の殆どは三つの包含層からであった。1 A区から連なるこの包含層は下位からⅢc層・Ⅲs層・Ⅲa層で、Ⅲa層の上位には層厚が厚く、遺物包含度が低い、区分が不明瞭な淡青灰色の粘土～シルトで構成されるⅢ層が存在している。

出土遺物の多くは土器破片で、斜面部に位置する1 A区に比べると規模の小さなものが多く、出土点数も少ない。遺物の中には1 A区出土のものと同接関係にあるものが少なくない。例えば、ここからは大洞式土器壺の胴部破片が3点出土している。遺物の出土地点は1 A区に隣接する調査区南部に偏っており、自然状態での分布傾向は否めない。また、木製品と流木が調査区北端部で出土しているのは先述の流路の影響であろうか。

### 2. 調査の方法

南接する1 A区の調査では、検出した包含層 (Ⅲa層・Ⅲs層・Ⅲc層) が北にも引き続き広がりを持っており、定常的に出土が見込めることが確認された。また、この内Ⅲc層は1 A区でも出土点数が多く、この層の下層が1 A区では遺構検出面として有効であった。この為、1 B区を調査するに当たり、精査の中心をⅢc層とし、もしその上位層で遺構や遺物の残りが良好な箇所が存在すれば、適宜測量・写真撮影等を行うことで調査を開始した。先ず、表土を重機により除去した後、厚い淡青灰色の粘土層を機械により数回に分けて掘削した。次に、包含層の上位又は遺物の集中箇所を残して機械による掘削を終了し、人力により精査を行った。遺物の取上げは公共座標に準じた4 m×4 mのグリッドを用いた。グリッドは各調査区を包括する任意の起点を遺跡群の北西端に設定し、東西方向にアルファベット、南北方向に数字を付して使用した。必要に応じて取上げ

に際しては座標を記録、出土状況の写真撮影や図化を行った。最後に、完掘状況の写真撮影、堆積状況を示す西壁・北壁のセクションを図化し、調査区内に設定した数本のトレンチで下層を確認して調査を終了した。

### 3. 層序

#### 西壁・北壁セクション (Fig.5・6)

調査区の西端と北端に位置する西壁・北壁を利用し、南南西から北北東の方向と西北西から東南東の方向の堆積状況を記録した。耕作や区画整理に伴う上位からの改変は、深いところで弥生期の包含層にまで達している。西壁南部に存在する杭列は、区画壁または用水路の安定を図る為に打ち込まれたもので、長さ1～1.5m、直径10～15cm程度の杭を使用し、1m当たり10数本、やや斜めに粘土層を貫いて打ち込まれていた。また、西壁と北壁の中央部分に見える暗渠は調査対象区域内を縦横に廻って存在した排水目的のものの一部である。これだけを取ってみてもこの附近は現代に至るまで一皮剥けば湿地的な環境が継続して潜在していた証となろう。

#### 西壁セクション

・Ⅰ～Ⅲ層は耕作土・旧耕作土及び耕作に関わる土層と考えられ、耕作による土壌化や生物擾乱の影響を受けている。

・Ⅳ～Ⅶ層は耕作の痕跡や土壌化が不明瞭である。色調は青灰色や灰白色など比較的淡色系の層が多く、調査当初は一つの厚い水成堆積層と考え、無遺物層として扱っていた。掘削を進める中で、稀に弥生土器の出土が見られたこと。また、セクションの精査を行う内に、幾つかの堆積層に分層が可能であることから、水成起源の堆積層で明確な土壌化の進行は無かったが各々層には時期的な隔りがあると考えられる。1B区における今回の報告ではこれらの層群を“Ⅲ層”として扱う。

・Ⅷ層は1A区で弥生前期遺物の包含層として扱ったⅢa層に対応する。層厚は約10cmであり、北北東に向かって緩やかな傾斜を持つ。下層のⅨ層と堆積の起源を一とし、土壌化が進行した部分が本層であろう。遺物の出土は量的に1A区と比較に成らないが、調査区の中央から東寄りに出土の分布が見られる。本報告では便宜上調査時に使用した“Ⅲa層”を用いる。

・Ⅸ層は先述の様に、Ⅷ層と同じ堆積層でありながら、土壌化を受けなかった部分と考えられる。層厚は10～15cmであり、Ⅷ層と同様に北北東へ極く緩やかに降下している。色調は淡い青灰色乃至は緑灰色である。Ⅷ層・Ⅹ層に比較して少ないものの、縄文晩期土器と弥生前期土器を包含している。本報告では“Ⅲs層”で扱う。

・Ⅹ層は1A区で縄文晩期土器の包含層として扱ったⅢc層に対応する。層厚は約10cmで、北北東に向かって緩やかに下る。色調は暗灰色または黒褐色を呈していることから、珪酸性植物（例えば葦）が繁茂した低湿な時期として捉える事ができる。出土遺物は縄文晩期土器を主としており、南部中央附近に出土分布のピークがある。本報告では“Ⅲc層”として扱う。

・Ⅺ層は1A区の斜面部分で縄文晩期から弥生前期の遺構検出面に繋がる。色調は灰白色から淡い緑灰色を呈している。Ⅺ層も北北東方向に緩やかな傾斜を持つ。



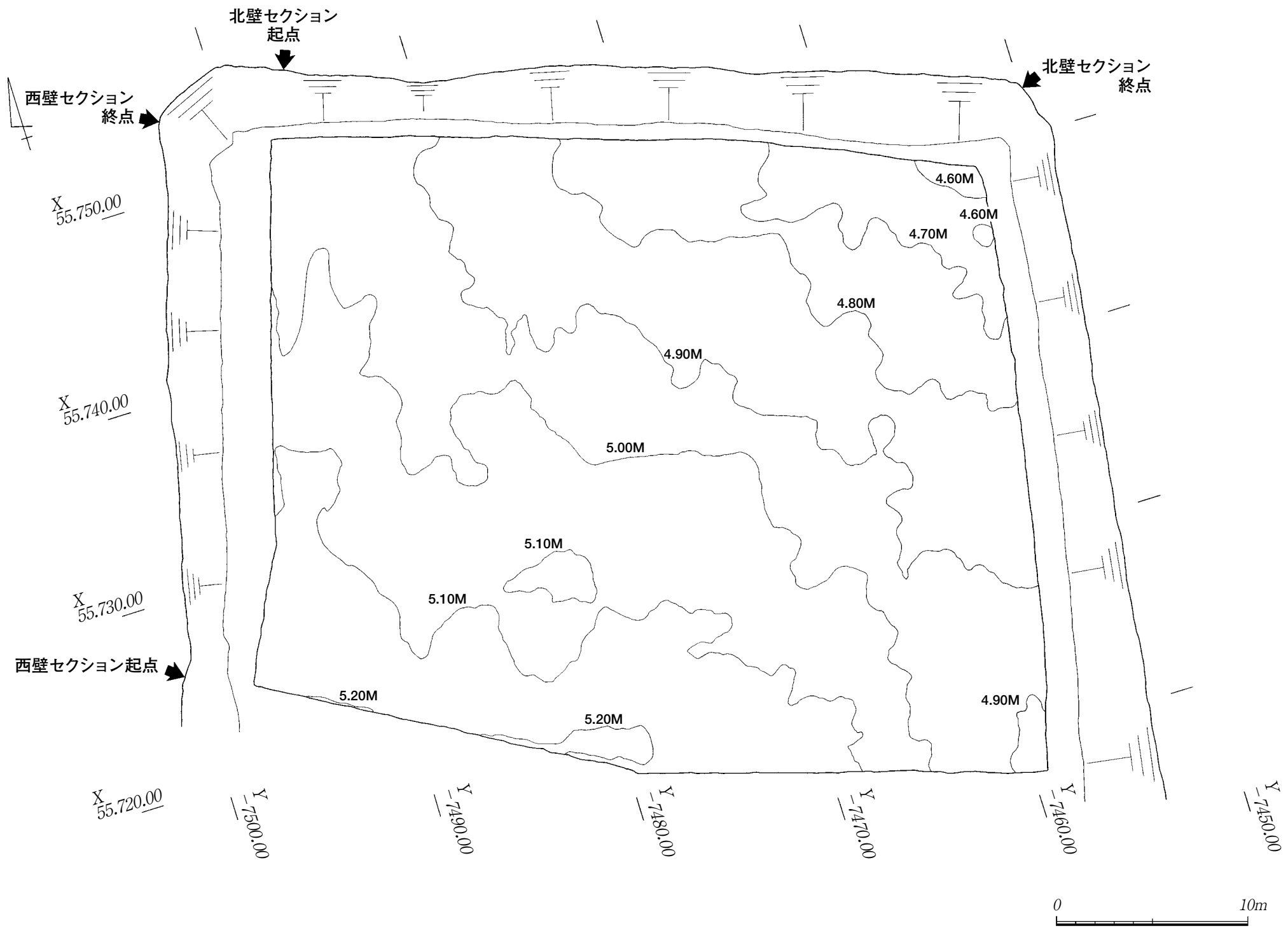


Fig. 4 1B区全体図 (S : 1/250)



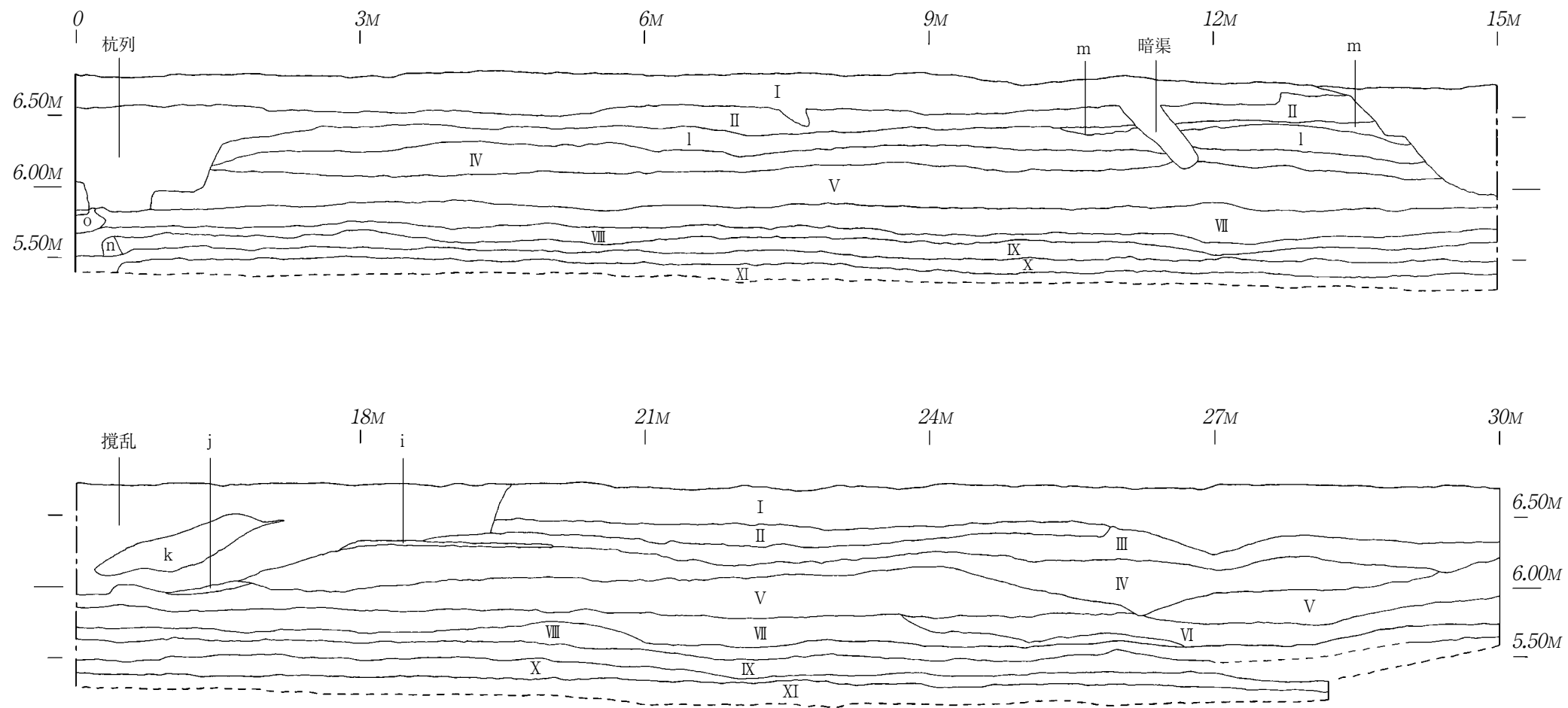
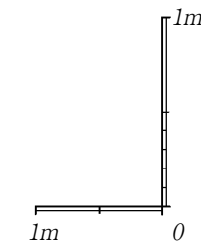


Fig. 5 1B区西壁セクション図 (S:縦 1/40・横 1/60)

1B区西壁セクション層序表

層	色調	内容
I	褐灰色 7.5YR6/1	耕作土、褐色粒子を含む。
II	褐灰色 7.5YR4/1	粘性有り、締まり有り。部分的に青灰色土 (5B6/1) を含む。褐色粒子を含む。
III	暗灰黄色 2.5Y5/2	粘性有り、締まり有り。褐色粒子を含む。
IV	暗オリーブ灰色 2.5GY7/1	粘性有り、締まり有り。
V	青灰色 5B6/1	粘性有り、締まり有り。
VI	浅黄色 5Y7/4	粘性有り、締まり有り。
VII	灰色 5Y6/1	粘性有り、締まり有り。
VIII	灰白色 N6/	粘性有り、締まり有り。IIIa層に対応する。
IX	黄灰色 2.5Y6/1	粘性有り、締まり有り。IIIs層に対応する。
X	暗灰色 N3/	粘性有り、締まり有り。IIIc層に対応する。
XI	灰白色 5Y7/2	粘性有り、締まり有り。生物擾乱痕有り、暗灰色土 (N3/) を含む。
i	明オリーブ灰色 2.5GY7/1	粘性有り、締まり有り。褐色粒子を含む。炭化物を微量に含む。
j	灰色 10Y5/1	粘性有り、締まり有り。
k	灰色 N5/	粘性有り、締まり有り。
l	暗灰色 N3/	粘性有り、締まり有り。
m	青灰色 5BG6/1	粘性有り、締まり有り。
n	オリーブ黒色 5Y3/2	粘性有り、締まり有り。
o	にぶい黄褐色 10YR5/3	粘性有り、締まり有り。
p	青灰色 10BG5/1	粘性有り、締まり有り。





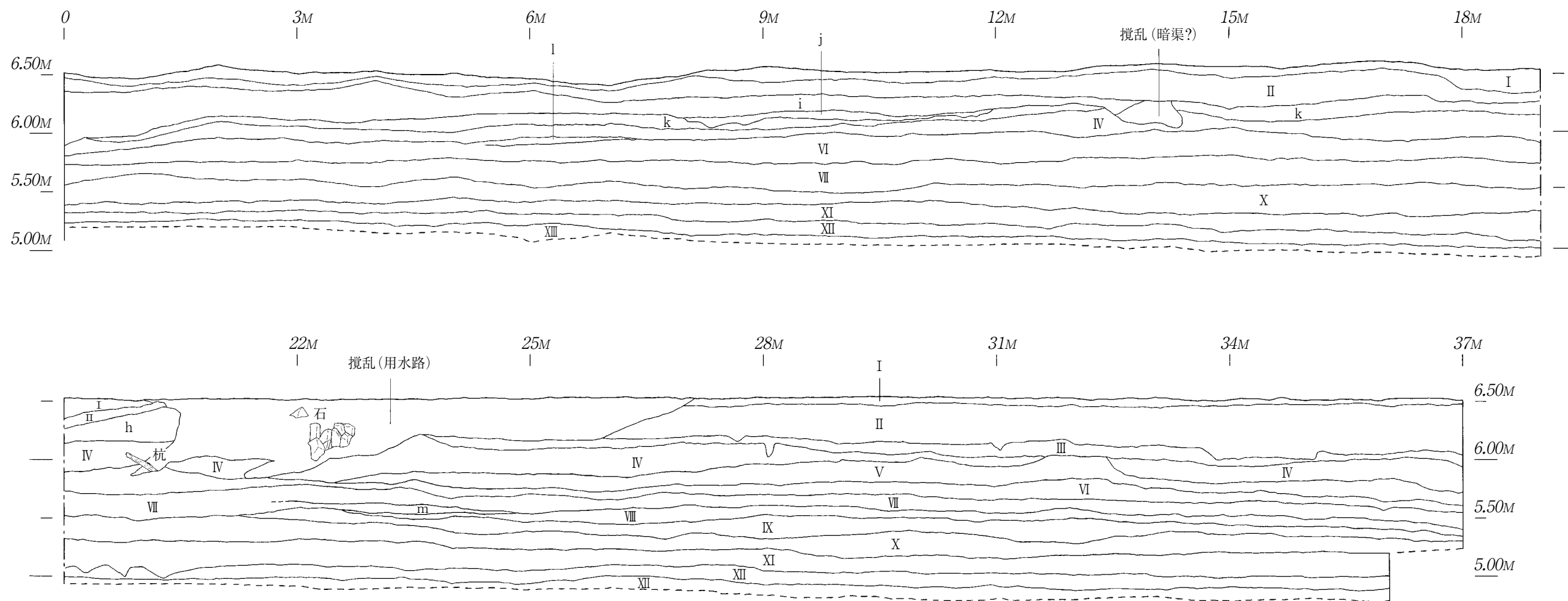
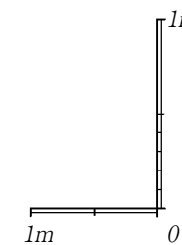


Fig. 6 1B区北壁セクション図 (S:縦 1/40・横 1/60)

1B区北壁セクション層序表

層	色調	内容
I	褐灰色 7.5YR6/1	耕作土、褐色粒子を含む。
II	褐灰色 7.5YR5/1	粘性有り、締まり有り。灰褐色土 (7.5YR4/2)・黒褐色土 (5YR3/1) を含む。
III	灰色 10Y5/1	粘性有り、締まり有り。
IV	明青灰色 5BG7/1	粘性有り、締まり有り。
V	青灰色 5BG6/1	粘性有り、締まり有り。
VI	褐灰色 10YR5/1	粘性有り、締まり有り。
VII	褐灰色 10YR6/1	粘性有り、締まり有り。
VIII	黄灰色 2.5Y5/1	粘性有り、締まり有り。
IX	灰色 5Y5/1	粘性有り、締まり有り。
X	灰白色 N6/	粘性有り、締まり有り。IIIa層に対応する。
XI	黄灰色 2.5Y6/1	粘性有り、締まり有り。IIIs層に対応する。
XII	暗灰色 N3/	粘性有り、締まり有り。IIIc層に対応する。
XIII	灰白色 5Y7/2	粘性有り、締まり有り。生物擾乱痕有り、暗灰色 (N3/) を含む。
h	褐灰色 7.5YR5/1	粘性有り、締まり有り。
i	暗灰色 7.5YR3/3	粘性有り、締まり有り。
j	灰色 10Y6/1	粘性有り、締まり有り。
k	黄灰色 2.5Y6/1	粘性有り、締まり有り。
l	黄灰色 2.5Y5/1	粘性有り、締まり有り。
m	灰色 7.5Y5/1	粘性有り、締まり有り。





## 北壁セクション

- ・ I・II層は耕作土・旧耕作土又は耕作に伴う層である。
- ・ III～IX層は先述のように調査時にはIII層として扱った堆積層群である。ここでは層厚10～20cmの堆積層に分層が可能である。
- ・ X層は西壁のVIII層（IIIa層）に対応する。層厚は10～20cmであり、中央部でやや厚味を増す。東南東方向に進むに従い標高を徐々に下げて行く。
- ・ XI層は西壁のIX層（IIIs層）に対応する。層厚は6～20cmであり、東南東方向に進むに従い層厚は厚く成り、標高を徐々に下げている。
- ・ XII層は西壁のX層（IIIc層）に対応する。層厚は約10cmである。概要のところでは述べたように下位の遺構検出面は北東方向へ標高を降下させており、XII層も同様に緩く下る。

## 4. 遺物

遺構の存在は確認されていない。遺物は全て包含層又は表土からの出土である。包含層は下位からIIIc・IIIs・IIIaの各層とその上位にある層群をIII層とし、表採遺物についてはI層出土とした。

### 包含層出土遺物

#### ①土器・土製品

##### ○IIIc層出土の土器・土製品 (Fig. 8・9)

出土土器・土製品の総点数は353点であり、このうち縄文土器は283点、弥生土器は70点である。遺物の出土地点は斜面部に近い調査区の南部であるが、標高の低い東端部よりも中央部に出土の偏りがある。

#### ・縄文土器

壺4点、浅鉢13点、深鉢10点を図示した。

壺は中・小型品が殆どであるが、赤褐色の細砂粒を含んだ胎土を有している。浅鉢には体部から口縁が内湾しbowl状を呈するもの(10・11・13)、口縁が齔状を呈するもの(14・15・16・18・19)、口縁が内傾するもの(20・21)が存在する。深鉢には刻みや突帯を持たないもの(24・25)、口縁部外面に刻み列を持つもの(26)、刻目突帯を持つもの(27・28)、口唇と突帯に刻みを有するもの(29・30・31)が存在する。また、刻目突帯直下に貫通しないであろう小円孔列を持つ深鉢細片も存在している。

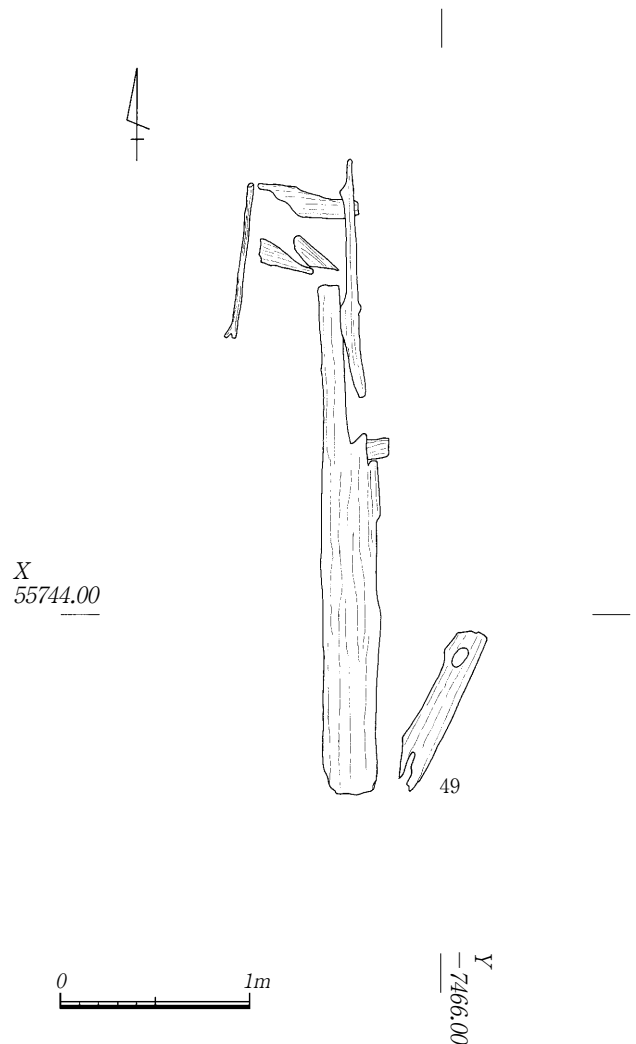


Fig. 7 1B区IIIs層遺物出土状況図 (S : 1/40)

また、刻目突帯直下に貫通しないであろう小円孔列を持つ深鉢細片も存在している。

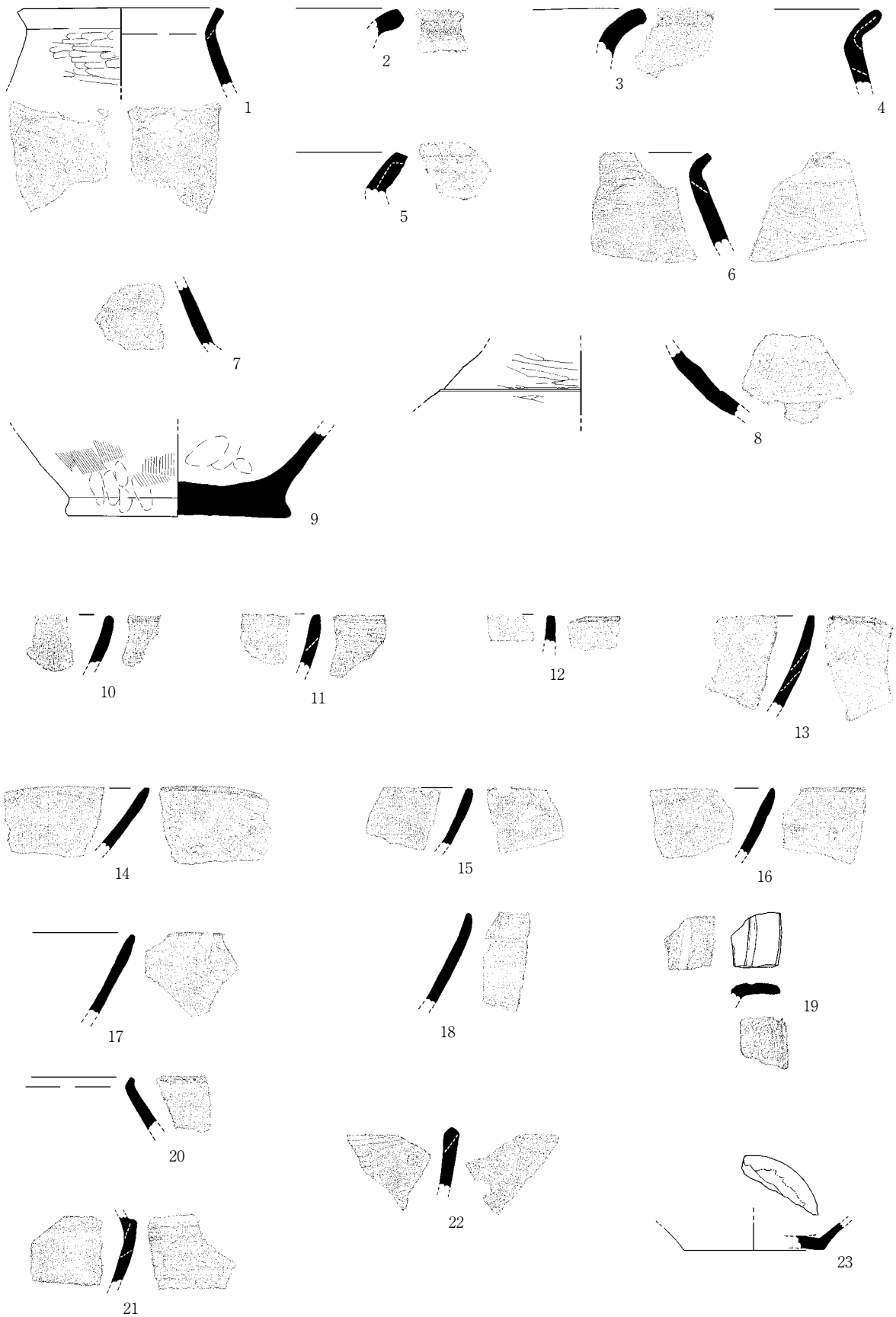


Fig. 8 1B区Ⅲc層出土遺物実測図 (S : 1/30)



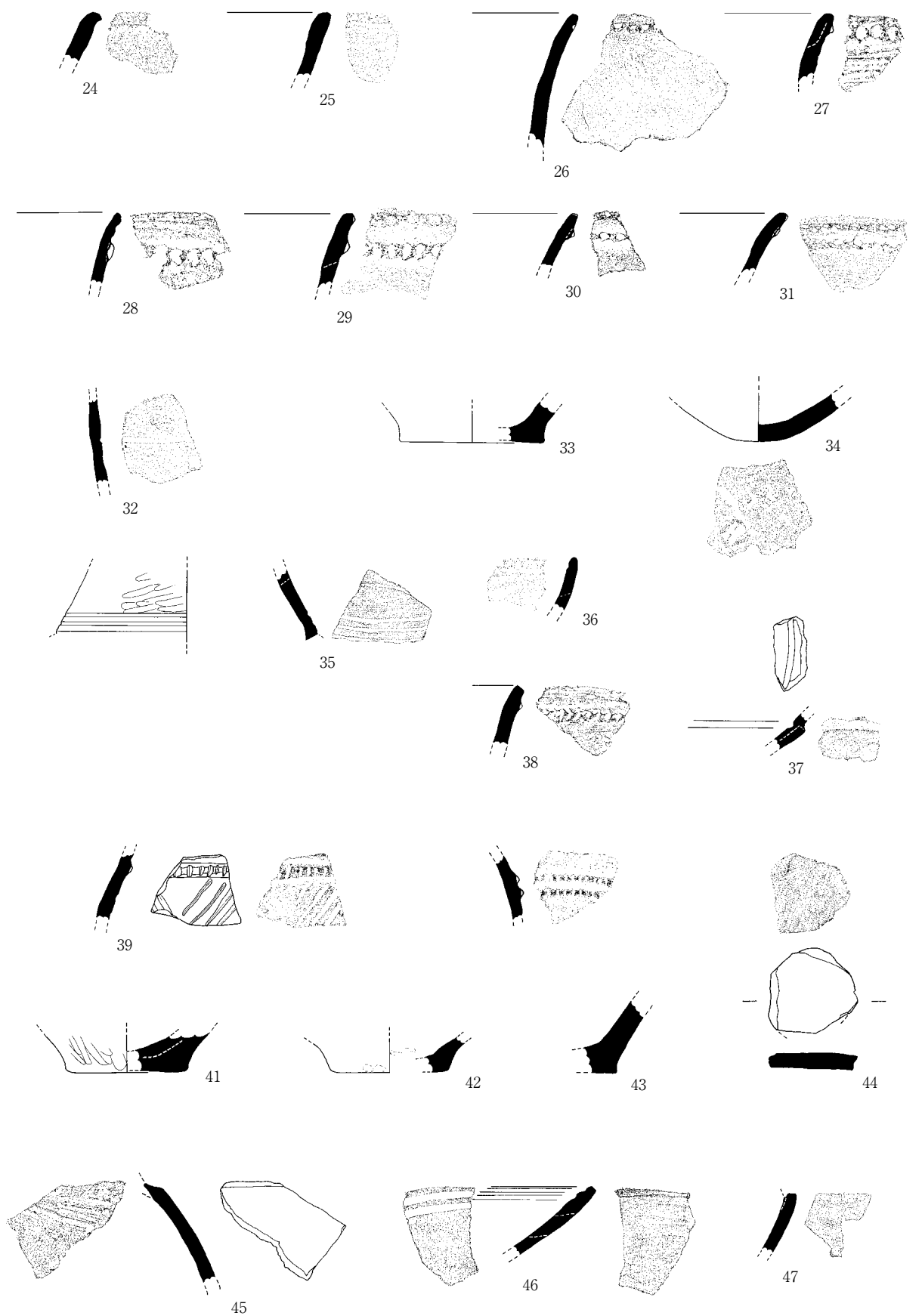
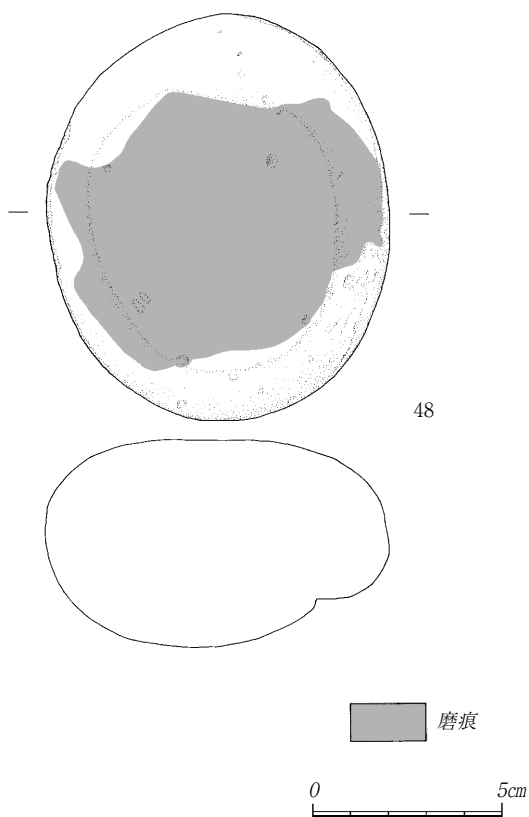
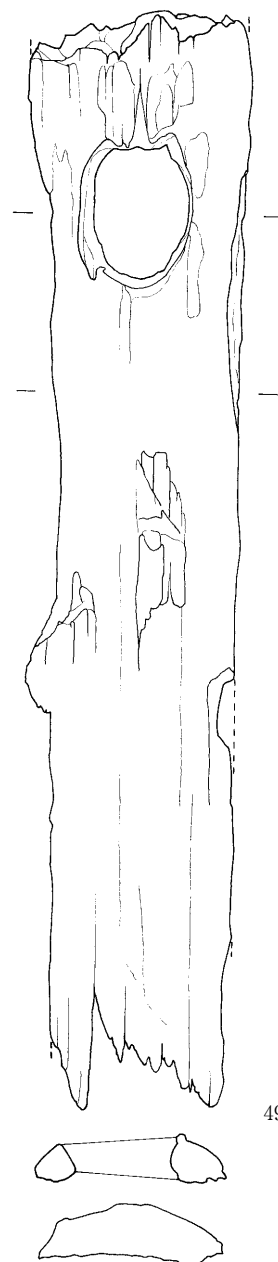


Fig. 9 1B区Ⅲc・Ⅲs・Ⅲa層及びその他の包含層出土遺物実測図 (S:1/3)



48



49

・弥生土器

壺5点を図示した。大型品は灰白色で石英粒を多く含んだ胎土を持ち、外面に赤色顔料を施したものが多いが、調整と共に器面から剥落している場合が多い。

・土製円盤

図示し得たものは無いが、壺、浅鉢の胴体部破片を転用したものであろう破片が存在している。中には粗製の深鉢胴部片を用いたと考えられるものも存在する。規模は径6～4cmのものが主である。

○Ⅲs層出土の土器 (Fig. 9)

出土土器の総点数は8点であり、このうち縄文土器は5点、弥生土器は3点である。

・縄文土器

壺1点、浅鉢2点を図示した。

壺(35)は頸部破片で沈線を有する。浅鉢(36)は鐙状を成す波状口縁のものと考えられる。

・弥生土器

甕1点を図示した。

甕(38)は口縁部に刻目突帯を有する。

Fig.10 1B区Ⅲc・Ⅲs層出土遺物実測図

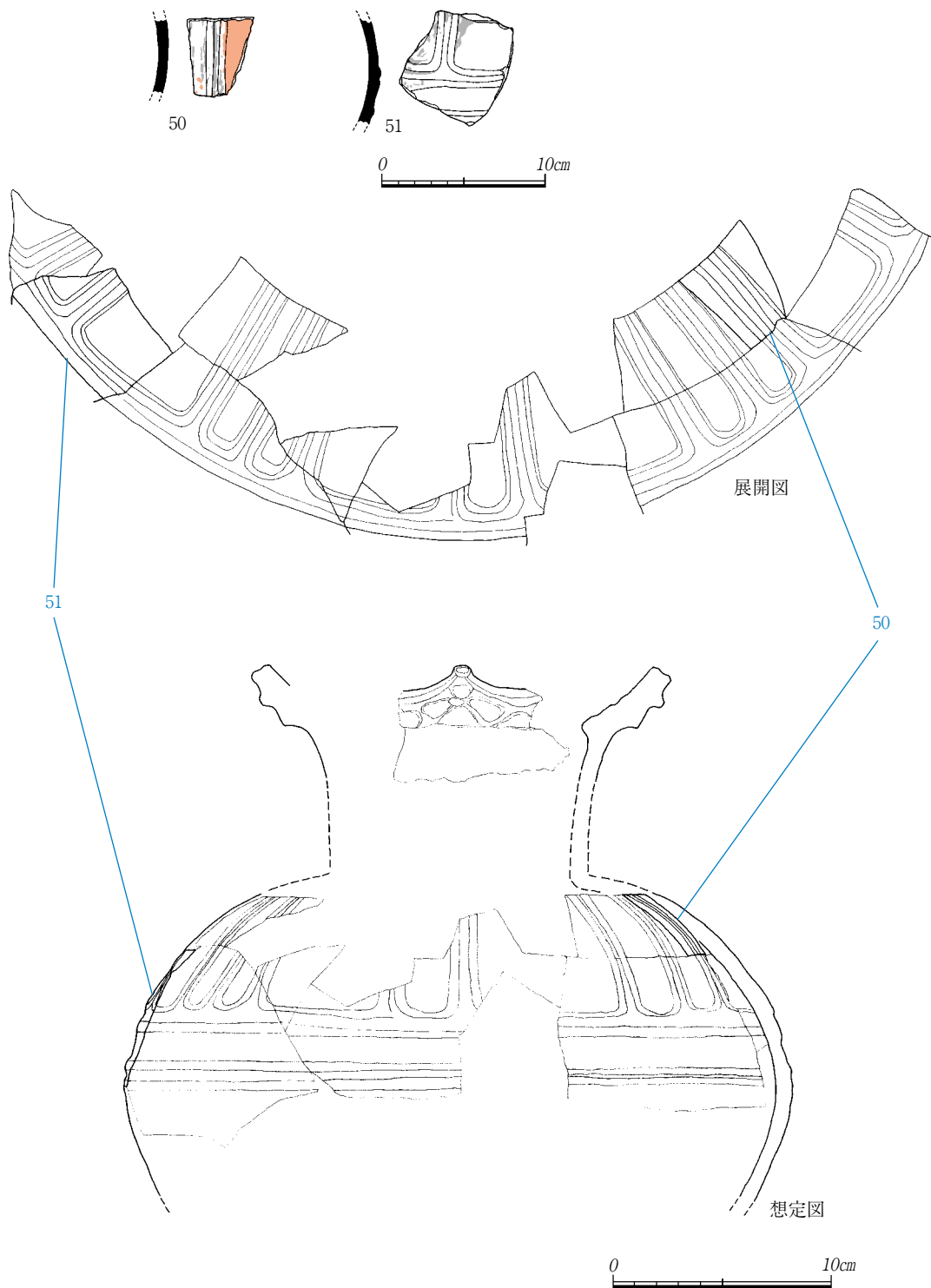


Fig.11 1B区Ⅲc層出土大洞式土器実測図

○Ⅲa層出土の土器・土製品 (Fig.9)

出土土器の総点数は94点であり、このうち縄文土器は5点、弥生土器は89点である。

・縄文土器

浅鉢1点を図示した。

・弥生土器

壺1点、甕3点を図示した。甕（39・40）は刻目突帯を各々1条と2条有しているが、40は壺の可能性もある。

・土製円盤

44の1点のみである。弥生土器壺胴部破片を転用したものか。

○Ⅲ層出土の土器 (Fig. 9)

出土土器の総点数は38点であり、このうち縄文土器は25点、弥生土器は13点である。

・縄文土器

壺1点、浅鉢2点を図示した。

壺（45）は胴部上位の破片で内傾する接合痕が認められる。また外面には赤色顔料が塗布されている。浅鉢（46）は波状口縁の可能性もある。

○その他の出土遺物

I層出土の土器として弥生土器が1点存在しているが、図示できるものではない。

②石器・石製品

○Ⅲc層出土の石製品 (Fig.10)

・叩石

図示したのは48の1点である。調査区の東部で出土した。

③木器・木製品

○Ⅲs層出土の木製品 (Fig.10)

49の1点を図示した。これは調査区の中央部北壁際で、流木群や木片と共に出土した。先述し

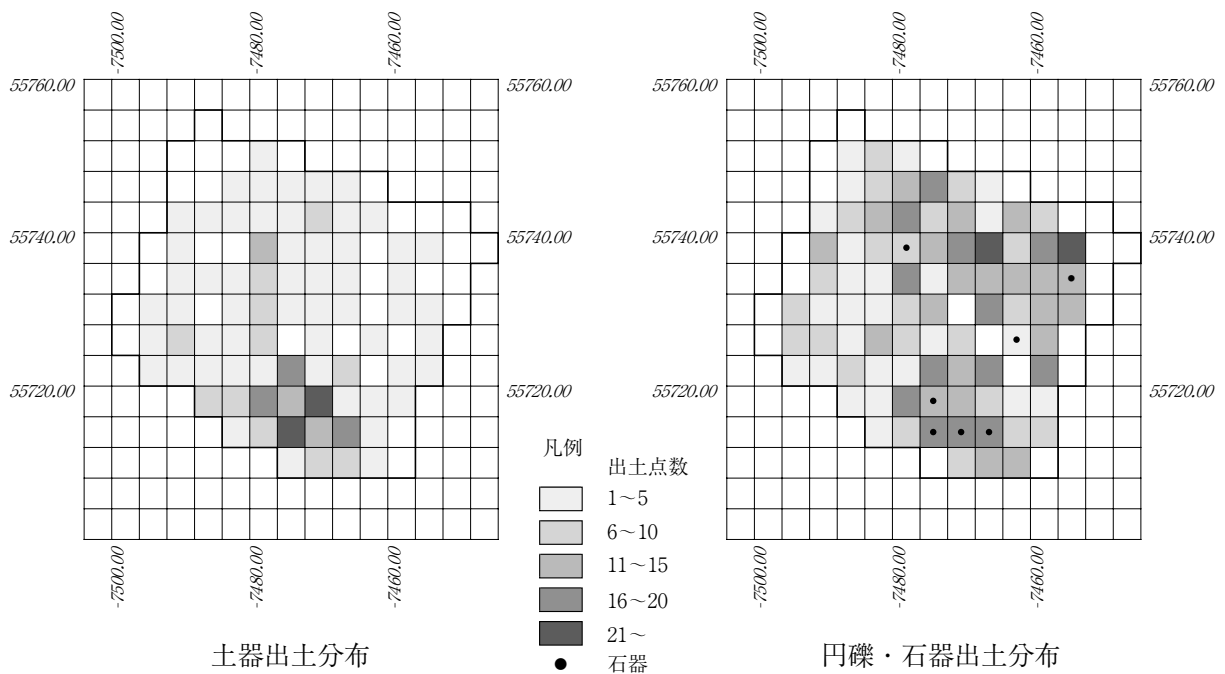


Fig.12 1B区Ⅲc層出土遺物分布図（模式図）

たように、調査区は北東方向への標高の降下を伴っており、流木等の存在は流路の影響によるものと考えられる。

#### ④大洞式土器 (Fig.11)

1 A区で出土した壺の口縁部と同一個体の可能性がある胴部破片がⅢc層から出土している。今回図示した50・51は1 A区出土の胴部破片と接合関係にあり、共に隆帯による方形区画の一部分を構成するものである。これらの破片から推定すると胴部は中位で最大径を持ち、一律に内湾する形態を示すものと考えられる。上の2点は中上位に位置するものとして扱った。

### 5.まとめ

1 B区では、遺構の存在は明らかに出来なかったが、縄文時代晩期から弥生時代前期に掛けるの包含層が確認できた。

#### 縄文時代晩期から弥生時代前期の成果

Ⅲc・Ⅲs・Ⅲa層及び上位のⅢ層の各包含層を確認し、縄文土器、弥生土器、土製円盤、叩石、木製品等の遺物が出土した。土器遺物の出土点数は494点であり、各層による内訳はⅢc層が353点、Ⅲs層が8点、Ⅲa層が94点である。先述の様に調査の主体をⅢc層に置いたことからの結果とも考えられるが、各層の相対的な出土量の傾向は1 A区の状況と大差ないものと考えられる。また、土器遺物494点のうち縄文土器と考えられるものは318点であり、弥生土器と考えられるものは176点であった。各層による内訳はⅢc層では縄文土器が283点、弥生土器が70点。Ⅲs層では縄文土器が5点、弥生土器が3点。Ⅲa層では縄文土器が5点、弥生土器が89点である。

土器遺物は壺、浅鉢、深鉢で構成され、壺は縄文土器と弥生土器から成る。また、浅鉢と深鉢は殆どが縄文土器と考えられる。浅鉢は体部が内湾するものの中に深いbowl状を呈するものとやや浅めの皿状を呈するものが存在する。口縁は平縁のもの、波状を呈するものが存在し、口頸部の形態に関しては、体部から連続的に内湾し口縁端に至るもの、鏝状に開くもの、内傾するものが見られる。さらに、鏝状に開くものには内湾するもの、外反するものが存在する様である。深鉢は突帯や刻みを施さない無刻のもの、口唇にのみ刻みを施すもの、口縁部外面に刻目突帯や刻み列を施すもの、口唇に刻みを施し口縁部外面にも刻目突帯を施すものが存在する。突帯の貼付位置は口唇直下から口縁部外面やや下に至る範囲に存在する。突帯に加えられる調整痕は主にナデであり、上下ナデを施すもの、上位にのみナデ下位は接合痕を残すもの、下位にナデ上位は接合痕が残るもの、上下に接合痕が残るものが見受けられる。また、刻みの方法では細長い切裂き状を呈するもの、原体端部を用いて刺突または刺突風に仕上げるもの、原体側面を用いるかまたは原体を回転させることにより押圧、押圧風に仕上げたものが見られる。ただ残念ながら小規模な破片だけでは部分的な調整方法が一つの個体に恒常的に存在するものか、又は複合的に存在するものか判断し難く、各々が時期的な変遷の上に成り立つものか、製作集団の違いによるものか検討の課題と成ろう。

土器遺物の胎土上の特徴は色調が黒灰色から暗灰褐色を呈し、砂粒が多く含まれ、粒径がバラエティーに富んだものが縄文土器の深鉢に見られる。色調が赤褐色から褐色を呈し、砂粒はやや

多いものの粒径は小さいものが縄文土器の浅鉢や壺に見られる。色調が灰白色から赤灰色を呈し、砂粒は多いものの粒径が小さく均質なものが弥生土器の壺に見られる。またⅢc層では極く少ないが、色調は赤灰色から褐灰色を呈し、砂粒が比較的少ないもの。これらは弥生土器の壺または甕と把握することができる。

遺物包含層として捉えたⅢc・Ⅲs・Ⅲaの各層は南接する斜面部の1A区から派生するものである。Ⅲs及びⅢa層では出土土器の点数が各々8点、94点と僅少であるが、Ⅲc層では出土土器点数の353点、加えて円礫や石器の出土分布 (Fig.12) を考慮することができる。1A区側に偏った土器の分布は比較的自然状態の埋積過程を反映しているものと思われるが、円礫・石器の分布は調査区の東半に満遍なく、しかもやや北寄りにその分布の中心がある様に思われる。粘土・シルト質の堆積層に不似合いな円礫や石器の分布が旧河道周辺に存在することは、人為的な改変が調査区の東側を中心に行われていた可能性が強い。

調査区北西部で遺物の出土が少ないことを考えると、集落は1A区の南側に存在する現在は削平されてしまった尾根上を中心とし、標高のやや高い西側部分にその主体を持って展開していたことが考えられる。また、調査区域に於ける包含層群の詳細な検討は1A区に譲るとして、形成時期はⅢc層は縄文晩期末、Ⅲa層は弥生前期前半と捉えることができよう。調査区の性格としては、西壁・北壁セクション (Fig.5・6) で明らかな様に、地形的に安定した標高で高位に位置する尾根またはその斜面部分からは既に可成りの距離を有し水平に近い堆積状況を示していること、また北側に存在するとされる流路の影響を調査区の北東部分では既に受けていること、合わせて出土遺物の分布や内容から、生活域の縁辺部に属し生産域であった可能性がある。

#### 参考文献

『菜畑 - 佐賀県唐津市における初期稲作遺跡の調査 -』	唐津市	1982年
『石崎曲り田遺跡Ⅲ調査報告書』	福岡県教育委員会	1985年
『百間川沢田遺跡 2』 岡山県埋蔵文化財発掘調査報告59	岡山県教育委員会	1985年
『津島岡大遺跡 3 - 3次調査 -』	岡山大学埋蔵文化財研究センター	1992年
『長原遺跡調査報告書Ⅱ』	大阪市文化財協会	1982年
『南溝手遺跡 1 岡山県立大学建設に伴う発掘調査』	岡山県教育委員会	1995年
『高松東道路建設に伴う埋蔵文化財調査報告第1冊 林・坊城遺跡調査報告書』	香川県教育委員会 (財)香川県埋蔵文化財調査センター	1993年
『瀬戸大橋建設に伴う埋蔵文化財調査報告Ⅶ 下川津遺跡調査報告書』	(財)香川県埋蔵文化財調査センター	1989年
『福岡平野における弥生文化の成立過程』		
『国立歴史民族博物館研究報告 第77集』	国立歴史民族博物館	1999年
『亀ヶ岡式土器』 考古学ライブラリー 18	ニューサイエンス社	1983年

表3 1B区出土遺物観察表 1

遺物No.	層	器種	器形	部位	法量				特徴	色調			備考
					口径	器高	胴径	底径		内面	外面	断面	
1	Ⅲc	縄文土器	壺	口縁		(4.1)			内外面にヘラミガキ。内面は凹凸が多く残る。頸部は内傾し、口縁は短く直線的に外上方に立ち上がる。口唇は平坦面を成す。	黒褐色 2.5Y3/1	黒色 2.5Y2/1	にぶい黄褐色 10YR5/3	
2	Ⅲc	縄文土器	壺	口縁		(1.5)			内外面にナデ。口縁は屈曲の後、短く外斜め上方に立ち上がる。口唇は平坦面を成す。	暗灰黄色 2.5Y5/2	灰黄色 2.5Y6/2	黒色 5Y2/1	
3	Ⅲc	弥生土器	壺	口縁		(2.6)			内外面にヘラミガキ。口縁は外反して外上方に立ち上がる。口唇は平らな面を成す。	にぶい黄褐色 10YR7/3	灰色 5Y4/1	浅黄色 2.5Y7/3	
4	Ⅲc	弥生土器	壺	口縁		(3.9)			内外面にナデ。口縁は粘土を折り返すことによりやや肥厚する。頸部は内傾し、口縁はやや強い屈曲の後、外上方に立ち上がる。口唇は丸くおさめる。	褐灰色 10YR4/1	灰黄褐色 2.5Y6/2	黒褐色 2.5Y3/1	外面に赤色顔料が残存。
5	Ⅲc	弥生土器	壺	口縁		(2.2)			内外面にナデ。屈曲部外面は溝状に窪む。口縁は短く直線的に外上方に立ち上がる。口唇は平坦面を成す。	灰黄色 2.5Y6/2	灰黄色 2.5Y6/2	黄灰色 2.5Y5/1	
6	Ⅲc	弥生土器	壺	口縁		(4.8)			内面はヘラミガキ、外面は口縁でナデ?、他はヘラミガキ。頸部は内傾し、屈曲はやや急で、口縁は短く直線的に外上方に立ち上がる。口唇は平坦面を成す。	灰黄褐色 10YR5/2	にぶい褐色 7.5YR5/3	にぶい黄褐色 10YR5/3	
7	Ⅲc	縄文土器	壺	頸部		(3.1)			外面はヘラミガキ、内面はナデ。頸部は内傾して内上方に立ち上がる。	黒褐色 2.5Y3/1	黒褐色 2.5Y3/1	灰オリーブ色 5Y6/2	外面に赤色顔料が付着。
8	Ⅲc	縄文土器	壺	頸部		(3.4)			外面はヘラミガキ。外面に段部を持つ。頸部は内傾し、外反して内上方に向かう。	灰褐色 7.5YR4/2	黒褐色 10YR3/1	黄灰色 2.5Y4/1	
9	Ⅲc	弥生土器	壺	底部		(4.5)	11.7		内面はナデで押圧痕が顕著。外面はハケ後ヘラミガキが見られ、下位には指頭圧痕が残る。底部は平底を成し、端部は外側に張り出す。	灰黄褐色 10YR4/2	灰黄褐色 10YR4/2	にぶい黄褐色 10YR7/2	
10	Ⅲc	縄文土器	浅鉢	口縁		(2.4)			内外面にヘラミガキ。口縁は内湾して、外上方に立ち上がる。口唇は丸くおさめる。	黒褐色 2.5Y3/1	黄灰色 2.5Y4/1	灰色 5Y4/1	
11	Ⅲc	縄文土器	浅鉢	口縁		(2.8)			内外面にヘラミガキ(特に内面は平滑に仕上げる)。口縁は内湾して上方に立ち上がる。口唇は平坦面を成す。	黄灰色 2.5Y4/1	黒色 5Y2/1	灰黄褐色 10YR5/2	
12	Ⅲc	縄文土器	浅鉢	口縁		(1.4)			内外面にヘラミガキ(内面は平滑)。口縁は直線的に外上方に立ち上がる。口唇は平坦面を成す。	黒褐色 10YR3/1	黒色 10YR2/1	黒褐色 7.5YR3/2	外面に煤付着。
13	Ⅲc	縄文土器	浅鉢	口縁		(4.8)			内外面にヘラミガキ。口縁は内湾して外上方に立ち上がる。口唇は平坦面を成す。	黒褐色 2.5Y3/1	黒色 2.5Y2/1	黒褐色 7.5YR3/1	外面に煤付着。
14	Ⅲc	縄文土器	浅鉢	口縁		(3.2)			内外面にヘラミガキ(特に内面は平滑に仕上げる)。口縁は内湾気味に外上方に立ち上がる。口唇は平らな面を成す。	褐灰色 10YR4/1	黒色 5Y2/1	黒色 10YR2/1	外面に煤付着。
15	Ⅲc	縄文土器	浅鉢	口縁		(3.0)			内外面にヘラミガキ。口縁は内湾して外上方に立ち上がる。口唇は中央の窪んだ面を成す。	褐灰色 10YR4/1	黒褐色 10YR3/1	にぶい黄褐色 10YR6/3	
16	Ⅲc	縄文土器	浅鉢	口縁		(3.4)			内外面にヘラミガキ(内面は平滑に仕上げる)。口縁は内湾して外上方に立ち上がる。口唇は丸くおさめる。	褐灰色 10YR4/1	褐灰色 10YR4/2	黒褐色 10YR3/1	外面に煤付着。
17	Ⅲc	縄文土器	浅鉢	口縁		(4.1)			内外面にヘラミガキ(内面は平滑に仕上げる)。口縁は内湾気味に外上方に立ち上がる。口唇は丸くおさめる。	黒褐色 10YR3/1	灰褐色 7.5YR4/2	黒褐色 10YR3/1	外面に煤付着。
18	Ⅲc	縄文土器	浅鉢	口縁		(4.6)			内外面にヘラミガキ。口縁は内湾して外上方に立ち上がる。口唇は丸くおさめる。波状口縁。	黒褐色 10YR3/2	黒褐色 10YR3/1	にぶい黄褐色 10YR5/3	内面に赤色顔料が残存。
19	Ⅲc	縄文土器	浅鉢	口縁		(0.9)			内外面にヘラミガキ。内面に1条から2条の沈線。口縁端部は屈曲の後、短く外側に向かう。口唇は平坦面を成す。	黒褐色 10YR3/1	黒色 10YR2/1	にぶい黄褐色 10YR5/3	内面の沈線内に赤色顔料が残存。外面に煤が付着。
20	Ⅲc	縄文土器	浅鉢	口縁		(2.7)			内外面にヘラミガキ。頸部は内傾し、口縁は極短く外上方に立ち上がる。口唇は平坦面を成す。	黒褐色 2.5Y3/1	黒褐色 2.5Y3/1	黄灰色 2.5Y4/1	
21	Ⅲc	縄文土器	浅鉢	体部		(3.1)			内面はナデ、外面はヘラミガキ。体部は内湾して外上方に立ち上がる。頸部との接合部は段部を成し、溝状に窪む。	黒褐色 10YR3/1	黒色 10YR1.7/1	明赤褐色 5YR5/6	接合部分外面に赤色顔料が残存。
22	Ⅲc	縄文土器	浅鉢	体部		(3.1)			内面はヘラミガキで滑らかに仕上げる。外面はヘラミガキ?体部は内湾して外上方に立ち上がる。接合部。	黒褐色 2.5Y3/1	黒色 5Y2/1	にぶい黄褐色 10YR6/3	外面に煤が付着、内面の一部にも煤が付着。
23	Ⅲc	縄文土器	浅鉢	底部		(1.4)	7.4		底部は平底で中央がやや窪む。	にぶい黄褐色 10YR6/3	黒褐色 10YR3/1	にぶい黄褐色 10YR6/3	底部内面に赤色顔料が付着。外面に煤付着。
24	Ⅲc	縄文土器	深鉢	口縁		(2.6)			内外面にナデ。波状口縁。端部は波頂部で最大と成る。外側への張り出しを持つ。口唇は丸くおさめる。	灰黄褐色 10YR5/2	黒色 5Y2/1	黒褐色 10YR3/1	外面に煤付着。
25	Ⅲc	縄文土器	深鉢	口縁		(3.3)			口縁は粘土を内側に折り返すことにより肥厚する。口唇は丸くおさめる。	にぶい褐色 7.5YR7/4	にぶい褐色 7.5YR7/4	灰黄褐色 10YR6/2	

表4 1B区出土遺物観察表 2

遺物No.	層	器種	器形	部位	法量				特徴	色調			備考
					口径	器高	胴径	底径		内面	外面	断面	
26	Ⅲc	縄文土器	深鉢	口縁	[7.0]				内外面にナデ。口縁下に刻み列。刻みは刺突により、深い。やや密。口縁は緩く外反して外上方に立ち上がる。口唇は平坦面を成す。	暗灰黄色 2.5Y5/2	黄灰色 2.5Y4/1	褐灰色 10YR6/1	外面に煤附着。
27	Ⅲc	縄文土器	深鉢	口縁	[3.6]				内面はナデ。外面は上位ナデ、下位条痕。口縁外側に断面蒲鉾型の突帯。刻みは刺突により、大きく、やや深い。密。口縁は外反して外上方に立ち上がる。口唇は丸くおさめる。	黒褐色 2.5Y3/1	黒色 2.5Y2/1	灰黄色 2.5Y7/2	外面に煤附着。
28	Ⅲc	縄文土器	深鉢	口縁	[3.7]				内外面にナデ。口縁下に断面蒲鉾型の突帯。刻みは刺突により、大きく、深い。やや密。口縁は外反して外上方に立ち上がる。口唇は平坦面を成す。	黒褐色 10YR3/1	黒褐色 2.5Y3/1	褐灰色 10YR4/1	外面に煤附着。
29	Ⅲc	縄文土器	深鉢	口縁	[3.9]				内外面にナデ。口唇端部を刺突により刻む。大きく、浅い。口縁下に断面三角形の突帯。刻みは押圧により、大きく、深い。密。口縁は外反気味に外上方に立ち上がる。	黒褐色 2.5Y3/1	黒色 2.5Y2/1	にぶい橙色 7.5YR7/4	外面に煤附着。
30	Ⅲc	縄文土器	深鉢	口縁	[2.7]				内外面にナデ。口唇上面に押圧による刻み。やや深く、やや密。口縁外側に断面三角形の突帯。刻みは押圧により、やや深い。やや密。口縁は外反して外上方に立ち上がる。口唇は平らな面を成す。	黒褐色 10YR3/2	黒褐色 10YR3/2	灰黄褐色 10YR5/2	外面の一部に煤附着。
31	Ⅲc	縄文土器	深鉢	口縁	[3.1]				内外面にナデ。口唇外側に刺突による刻み。小さく、浅い。やや密。口縁外側に断面台形の突帯。刻みは刺突により、やや浅い。密。口縁は外反して外上方に立ち上がる。口唇は平らな面を成す。	褐灰色 10YR4/1	褐灰色 10YR4/1	黄灰色 2.5Y4/1	外面に煤附着。
32	Ⅲc	縄文土器	深鉢	胴部	[4.2]				内外面にナデ。外面に沈線状の段部を持つ。	灰黄褐色 10YR6/2	にぶい黄褐色 10YR7/2	黒褐色 2.5Y3/1	外面に煤附着。
33	Ⅲc	縄文土器	深鉢	底部	[2.2]		7.6		内外面にナデ、外面は指頭圧痕が残る。底部は平底を成す。	灰黄褐色 10YR5/2	灰黄褐色 10YR4/2	灰黄褐色 10YR4/2	
34	Ⅲc	縄文土器	深鉢	底部	[2.5]				内面はナデ。外面に数カ所圧痕が残る。底部は丸底を成す。	褐灰色 10YR6/1	褐灰色 10YR4/1	にぶい黄褐色 10YR7/2	外面の一部に煤が附着。
35	Ⅲs	縄文土器	壺	頸部	[3.8]				内面はナデ。外面はヘラミガキ。外面に2条の沈線と段部を持つ。頸部は内傾し外反気味に外上方に立ち上がる。	黒褐色 7.5YR3/2	黒褐色 10YR3/1	灰褐色 7.5YR4/2	
36	Ⅲs	縄文土器	浅鉢	口縁	[2.8]				内面は上位でナデ、下位でミガキ。外面はヘラミガキ。波状口縁。内面に波頂部を除いて沈線が施される。口縁は内湾して外上方に立ち上がる。口唇は丸くおさめる。	黄灰色 2.5Y5/1	黄灰色 2.5Y4/1	灰色 5Y5/1	
37	Ⅲs	縄文土器	浅鉢	体部	[1.9]				内外面にヘラミガキ。屈曲部内面に1条の沈線。体部は内湾して外上方に立ち上がる。	黒褐色 10YR3/1	褐灰色 10YR4/1	灰色 7.5Y5/1	内面の段部に赤色顔料が附着。
38	Ⅲs	弥生土器	甕	口縁	[3.1]				内外面にナデ。口縁外側に断面三角形の突帯。刻みは切裂き状で、やや深い。やや密。口縁は外反して外上方に立ち上がる。口唇は平らな面を成す。	灰褐色 7.5YR6/2	にぶい褐色 7.5YR6/3	灰色 5Y4/1	
39	Ⅲa	弥生土器	甕	頸部	[3.5]				内外面にナデ。外面に篋描きによる複線山形紋。突帯は断面台形。刻みは押圧により、大きく、やや深い。やや密。口頸部は外反気味に外上方に立ち上がる。	にぶい褐色 7.5YR5/4	にぶい褐色 7.5YR5/4	橙色 5YR7/6	外面に煤附着。
40	Ⅲa	弥生土器	甕	胴部	[3.3]				内外面にナデ。胴部上位に2条の突帯。断面はやや垂下気味の三角形。刻みは切裂き状により、小さく、やや浅い。やや密。胴部は内湾して内上方に向かう。胎土中に円礫を多く含む。	にぶい褐色 7.5YR5/4	にぶい褐色 7.5YR5/3	黒色 5Y2/1	
41	Ⅲa	弥生土器	壺	底部	[2.0]		6.4		内面はナデ、外面はヘラミガキ。底部は平底を成す。	にぶい褐色 7.5YR6/3	にぶい赤褐色 5YR5/4	灰色 5Y4/1	
42	Ⅲa	縄文土器	浅鉢	底部	[1.8]				内外面にナデ。内面に押圧痕。底部は平底を成す。	暗灰黄色 2.5Y5/2	暗灰黄色 2.5Y5/2	にぶい黄褐色 10YR6/3	
43	Ⅲa	弥生土器	甕	底部	[3.8]				内外面にナデ。底部は平底を成す。	灰黄褐色 10YR5/2	灰黄褐色 10YR5/2	褐灰色 10YR5/1	内面に煤附着。
44	Ⅲa	弥生土器?	土製円盤		長径 4.6	短径 4.5	厚さ 0.8	重さ 17.4 g	壺の胴部を転用したもの	灰黄褐色 10YR5/2	にぶい黄褐色 10YR5/3	にぶい黄褐色 10YR6/3	外面の一部に煤が附着。
45	Ⅲ	縄文土器	壺	胴部	[5.5]				内面はナデ、外面はヘラミガキ。内傾する接合部で破断する。胴部は内湾して内上方に立ち上がる。	灰白色 10YR7/1	灰黄褐色 10YR6/2	にぶい黄褐色 10YR6/3	外面に赤色顔料が附着。
46	Ⅲ	縄文土器	浅鉢		[3.6]				内面はミガキで滑らかに仕上げる。外面はヘラミガキ。内面に沈線状の段部が2条。口縁は内湾して外上方に立ち上がる。口唇は平坦面を成す。	黒褐色 10YR3/1	黒褐色 10YR3/1	にぶい褐色 7.5YR5/3	
47	Ⅲ	縄文土器	浅鉢	体部	[3.1]				内面はナデ、外面はヘラミガキ。接合部(屈曲部)。体部は内湾して上方に立ち上がる。	黒褐色 10YR3/1	黒褐色 2.5Y3/1	灰黄色 2.5Y6/2	外面に煤附着。



表5 1B区出土遺物観察表 3

遺物No.	層	器種	器形	部位	法量				特徴	色調			備考
					口径	器高	胴径	底径		重量	内面	外面	
48	Ⅲc	敲石			全長 10.8	全幅 9.1	全厚 5.5	重量 725.0g	敲打には縁辺部を用い、明瞭な鼠歯状痕は認め得ない。大小規模の連続的に加えられた敲打単位が数カ所存在する。表面は裏と比較して極度に滑らかな面を成す。				
49	Ⅲs	木製品	部材		全長 43.3	全幅 8.7	全厚 2.3		長軸方向に半さいされる。端部に一ヶ所、規模5.5×4.3cmの楕円形を呈す孔が存在する。				ヒノキ科アスナロ属
50	Ⅲc	縄文土器	壺	胴部					内面はミガギ(滑らかに仕上げる)。外面ヘラミガギ。方形区画を構成する縦位の隆帯が一部存在する。内面には黒漆が薄い一様な膜として残る。外面には赤漆と黒漆が部分的に良く残存する。	黒色 2.5Y2/1	暗赤褐色 2.5YR2/1	にぶい黄橙色 10YR7/2	大洞
51	Ⅲc	縄文土器	壺	胴部					内面はミガギ後横ナデか?外面はヘラミガギ。方形の区画を構成する隆帯と紋様帯を画する隆帯の各々一部が存在する。区画内はヘラ単位が顕著、隆帯の高位部は調整痕の残りが鈍い。内面には黒漆薄く、外面には一部に黒漆が残る。	黒褐色 10YR3/1	褐灰色 10YR4/1	にぶい黄橙色 10YR7/2	大洞

## (2) 1C区(その1)

本編は1C区の調査成果(その1)とし、1C区第IV層群出土の土器資料と、関連の層序に限定して報告する。

### 1. 調査区の概要 (Fig.14)

1C区とは、1区の中央部を北西～南東方向に横断する市道の南西側の、面積1,138㎡の区画を指す。地形的には、1区の中央部に北西～南東方向で横臥する埋没丘陵の削平面の一部と、南西側傾斜面に相当する。調査区全体として、北ないし北東方向から南ないし南西方向への傾斜をもっており、斜面下方ほど傾斜は緩やかである。確認調査(後述)によって、1～3面の遺物包含層・遺構検出面の存在が知られていた。

発掘調査期間は、平成9年10月29日～平成10年3月31日である。

### 2. 調査の方法

1C区の調査方法は、概ね第Ⅲ章(3)に記述のとおりである。1C区には遺構検出面が3面存在するため、上記の方法を3回繰り返して実施したが、第1検出面～第2検出面の間では遺構検出面と遺物包含層とが連続するため、重機を使用した無遺物層の掘削はおこなっていない。第1・

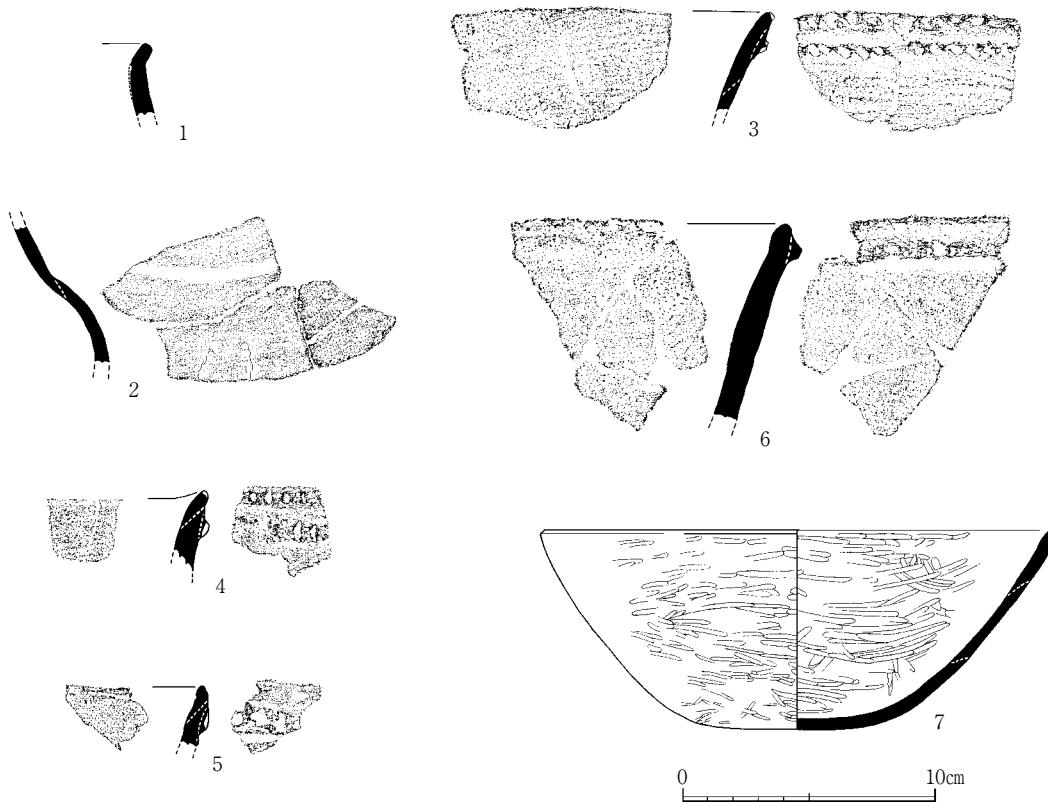


Fig.13 1C区IV層群出土土器1



A~DはFig.15に対応

Fig.14 1 C区全体図 (S : 1/200)



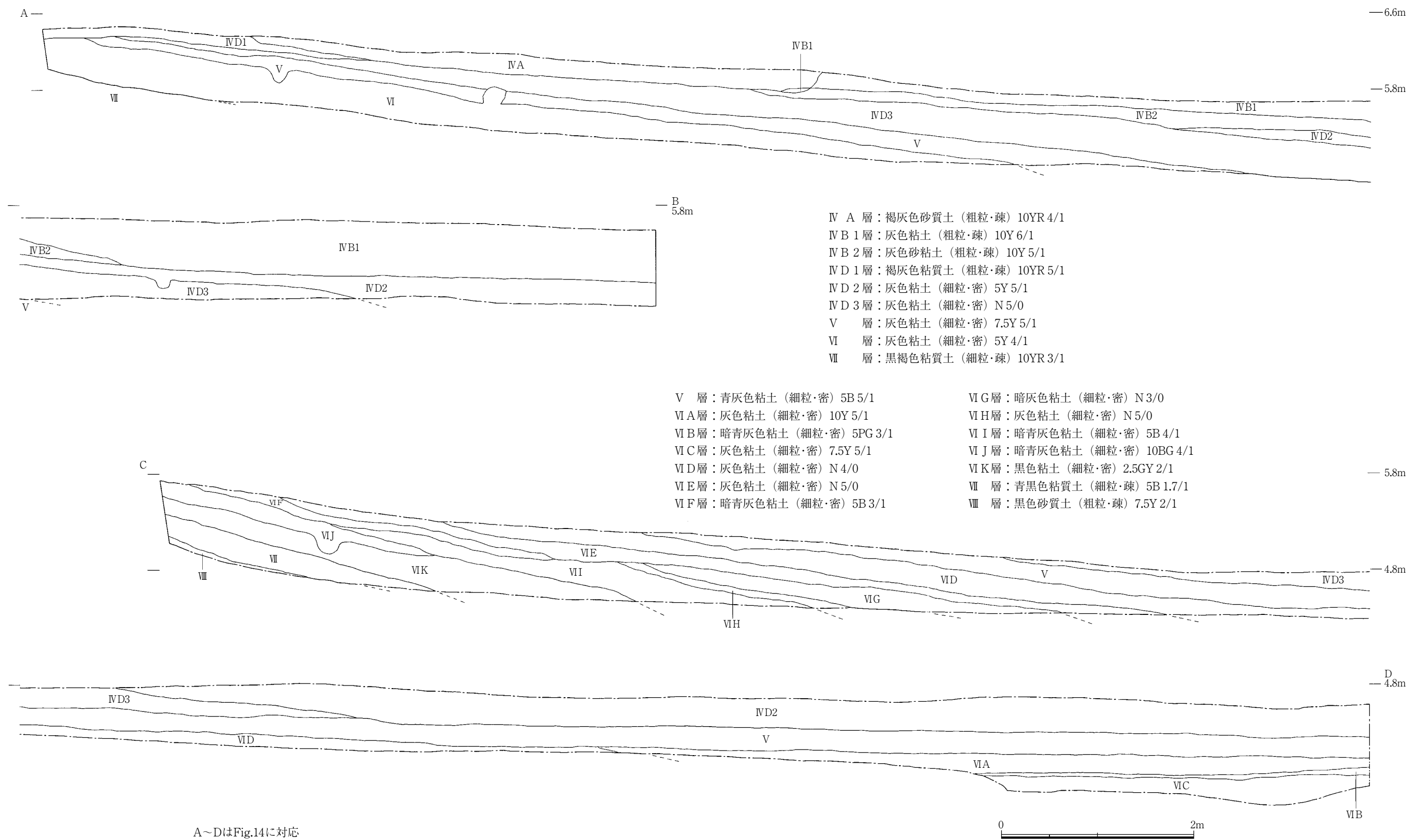


Fig.15 1 C区IV層群堆積土層断面図 (S : 1/40)



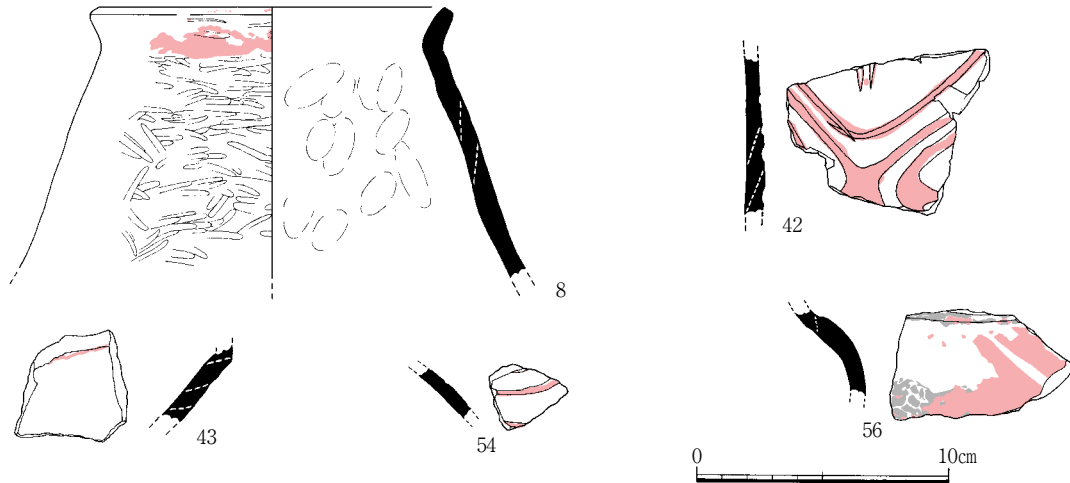


Fig.16 1C区Ⅳ層群出土土器 2

第2検出面の遺構平面図は現地実測により作成し、第3検出面の遺構平面図に関しては、航空写真撮影と併せて航空写真測量で図化した。

1C区の調査に際しては、堆積土層名のローマ数字の肥大化を防ぐため、複数の土層を以下のように類型化して扱い、数字を付した。

第Ⅰ層：重機掘削を実施する表土層（概ね耕作土を指す）

第Ⅱ層：重機掘削を実施する表土層より下位の無遺物層群

第Ⅲ層：人力掘削を実施する、第1検出面に伴う遺物包含層群

第Ⅳ層：最上面では第1面の遺構検出をおこない、かつ人力掘削を実施する、第2検出面に伴う遺物包含層群

第Ⅴ層：上面で第2面の遺構検出をおこない、かつ重機掘削を実施する無遺物層

第Ⅵ層：重機掘削を実施する無遺物層群

第Ⅶ層：人力掘削を実施する、第3検出面に伴う遺物包含層

第Ⅷ層：第3面の遺構検出をおこなう岩盤上部の風化礫層

層群単位で命名した第Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅵ層中の各層については、「ローマ数字+アルファベット」で命名し、さらに細分したものは「+アラビア数字」で枝番号を付して表記した。

### 3. 層序（抜粋）（Fig.15）

本次報告に関連する第Ⅳ層群以下の層序を、土層断面図と併せて示す。以下、層名の「第」を省略する。

Ⅳ A 層：褐灰色砂質土（粗粒・疎）

Ⅳ B 1 層：灰色粘土（粗粒・疎）

Ⅳ B 2 層：灰色砂粘土（粗粒・疎）

Ⅳ D 1 層：褐灰色粘質土（粗粒・疎）

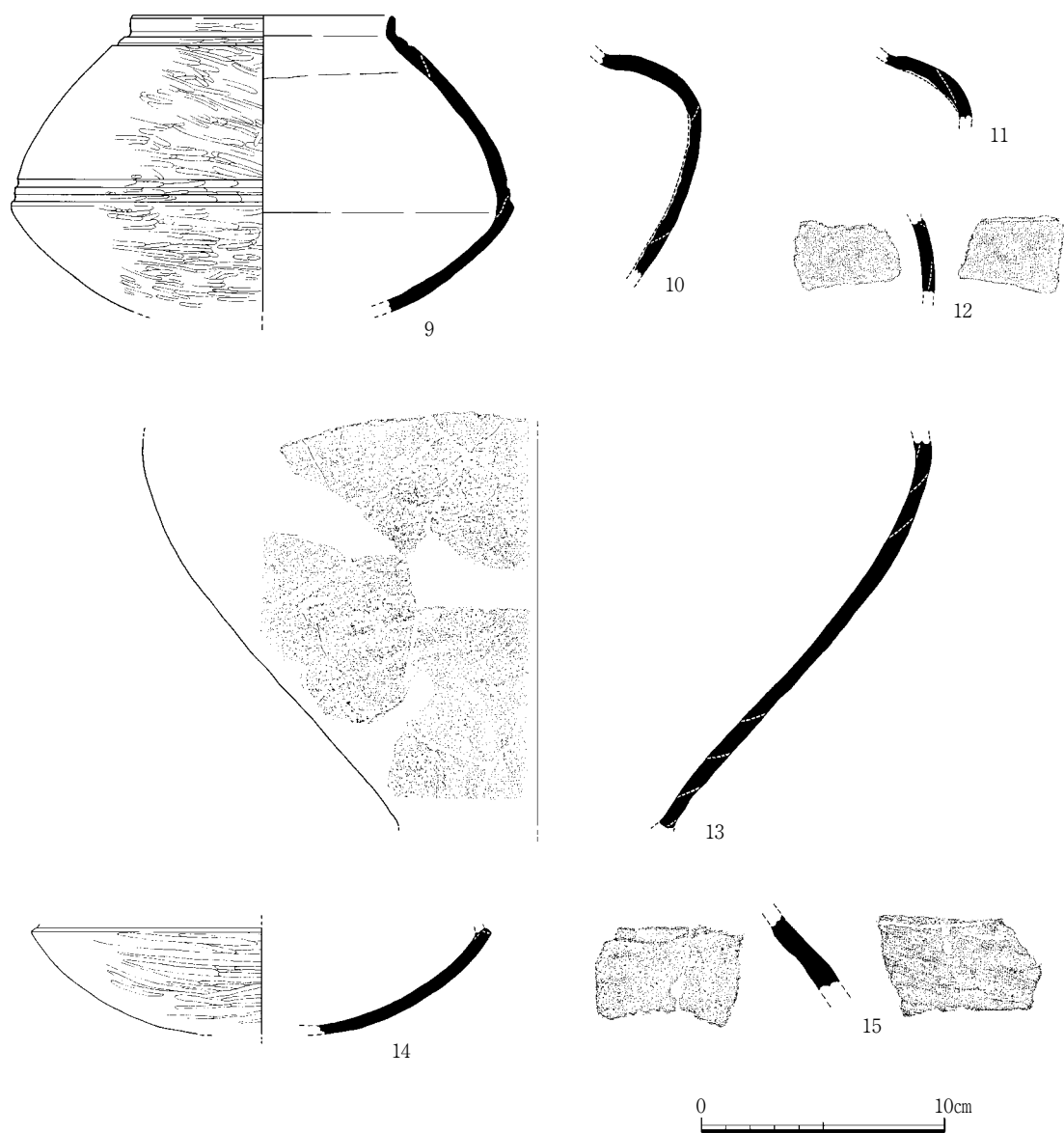


Fig.17 1C区Ⅳ層群出土土器 3

- ⅣD 2層：灰色粘土（細粒・密）
- ⅣD 3層：灰色粘土（細粒・密）
- V 層：青灰色粘土（細粒・密）
- Ⅵ A 層：灰色粘土（細粒・密）
- Ⅵ B 層：暗青灰色粘土（細粒・密）
- Ⅵ C 層：灰色粘土（細粒・密）
- Ⅵ D 層：灰色粘土（細粒・密）
- Ⅵ E 層：灰色粘土（細粒・密）
- Ⅵ F 層：暗青灰色粘土（細粒・密）
- Ⅵ G 層：暗灰色粘土（細粒・密）





Fig.18 1C区Ⅳ层群出土土器 4

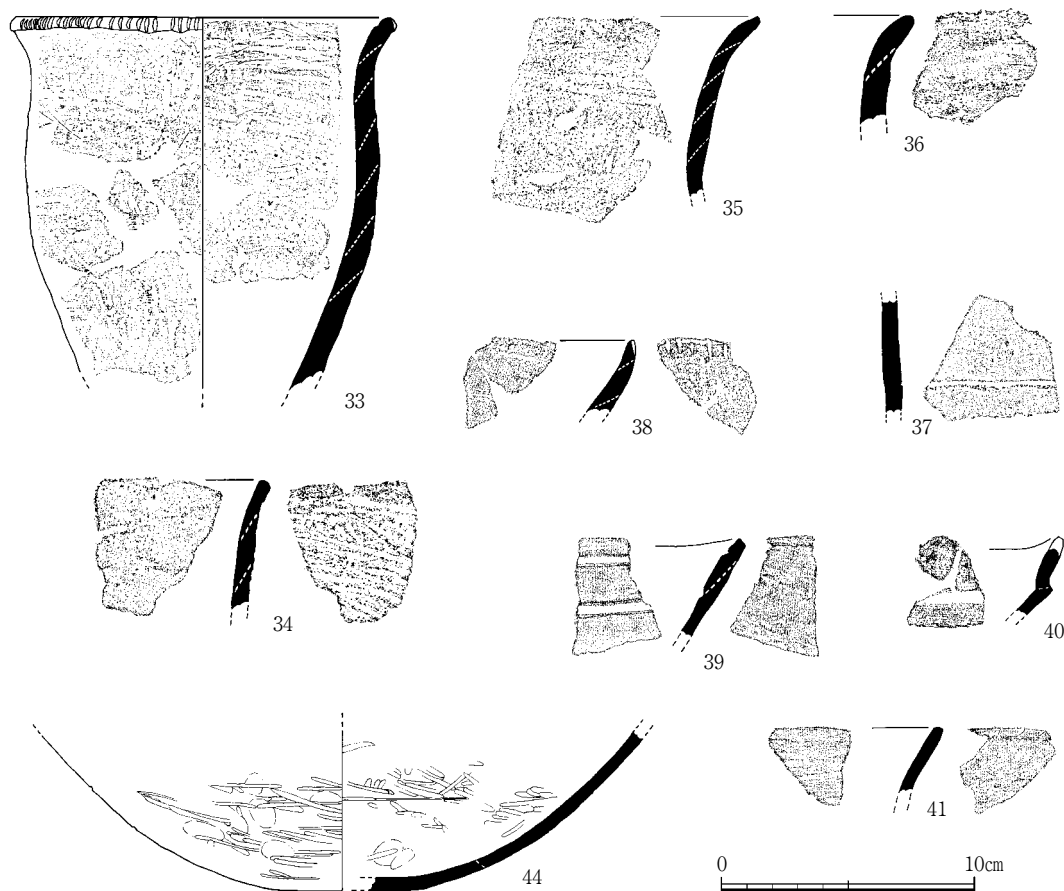


Fig.19 1C区Ⅳ層群出土土器 5

- Ⅵ H 層：灰色粘土（細粒・密）
- Ⅵ I 層：暗青灰色粘土（細粒・密）
- Ⅵ J 層：暗青灰色粘土（細粒・密）
- Ⅵ K 層：黒色粘土（細粒・密）
- Ⅶ 層：青黒色粘質土（細粒・疎）
- Ⅷ 層：黒色砂質土（粗粒・疎）

第Ⅳ層群とは、ⅣA層からⅣD3層までの総称である。第1面の調査において、褐色系の色調を呈する第Ⅲ層群に伴う遺構検出面を、灰色系の色調の第Ⅳ層群上面に求め、これを第1面と第2面の境界とした。後述する第Ⅲ層群は、堆積土中の鉄分が酸化・赤変した状態にあるため、全体に褐色系の色調である。その土質・色調変化の過程には、第Ⅲ層群が旧表土として地表面に露出した期間のあったことが推察される。さらに、第Ⅲ層群と第Ⅳ層群の境界は不整合面をなすことから、第Ⅲ層群は何らかの原因による反転層であると考えられる。これに対して、第Ⅳ層群は灰色系の還元色を呈しており、旧地表面へ露出した形跡はない。斜面下方においては水平堆積に近い状況を示すことから、水面下で形成された堆積層であると考えられる。水成堆積層と、その上層に不整合面を介して堆積した旧表土層との間には明らかな出自の違いがあり、堆積環境の



Fig.20 1C区IV層群出土土器 6

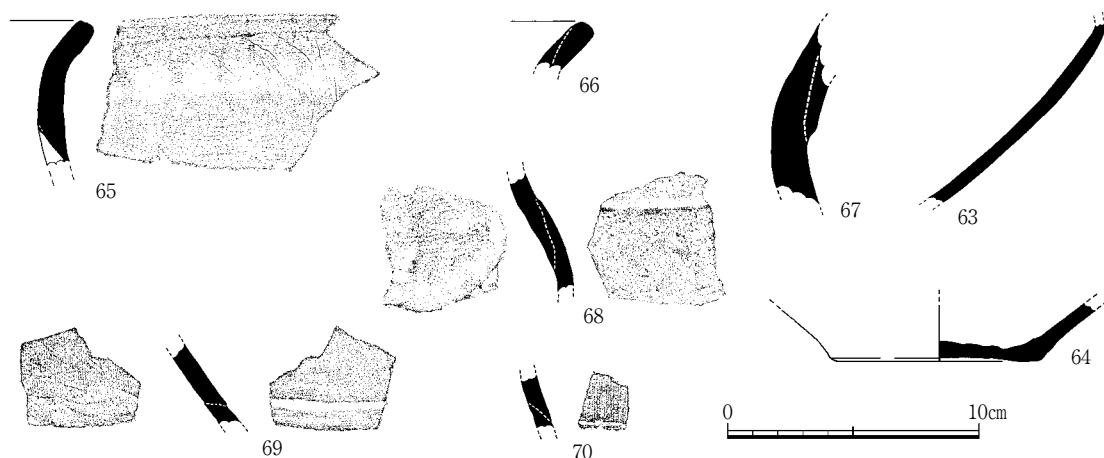


Fig.21 1C区IV層群出土土器7

違いが明白である。このことに基づいて、同様の堆積環境において形成された土層群を第Ⅲ層群・第Ⅳ層群と総称することとした。

第Ⅳ層群の調査の過程においては、まず「Ⅳ層」という呼称を使用した。その後、「Ⅳ層」の下部には、植物遺体・炭化物を含み、暗色系の色調を呈する旧表土が存在することが判明した。旧表土の存在は、その上面を境として堆積環境に大きな変化が発生したことを物語る。すなわち、これ以下の堆積の形成過程には、腐植土を創出する程度に旧地表面へ接近、もしくは露出する期間が不可欠であり、一方その上層の形成過程には水面下へ没していることが要求される。海水面高度の下降・上昇に起因する両者の堆積環境の相違は明白であり、また時間的前後関係を保持しながら、これらへの遺物供給環境が変化を迫られたことも想定しておかねばならない。以上の根拠から、この旧表土層を認定した時点から、これを「ⅣD層」とし、それまで「Ⅳ層」で扱ってきた灰色系の粘土層を「ⅣB層」として、両者を分離した。また同時に、第Ⅳ層群上面において、第Ⅲ層群の褐色系の固結土が第Ⅳ層群中に沈降している部分は、第Ⅲ層群遺物の混入の可能性があるため、「ⅣA層」として切り離した。

以上のような経過で第Ⅳ層群を分層し、出土遺物の取り上げに反映させたが、「Ⅳ層」出土遺物が大半を占める結果となった。「Ⅳ層」とはⅣA層、ⅣB層、ⅣD層の3分類をおこなう以前の層名であるため、「Ⅳ層」出土遺物が上記3層に帰属する遺物の一定の組成比による集合体である可能性を、払拭することはできない。しかし、ⅣB・ⅣD両層の色調による視認性の高さ、ならびにⅣA・ⅣB両層間の層厚・分布範囲の格差から、「Ⅳ層」出土遺物の主体はⅣB層出土遺物である蓋然性が高いと考えられる。

また、ⅣB層、ⅣD層にはそれぞれⅣB1層、ⅣB2層、ならびにⅣD1層、ⅣD2層、ⅣD3層という細分層が存在する。これらは分層後に掘り下げたセクションベルトとその付近の遺物にのみ付した層名であるため、量的にはわずかである。

V層は無遺物層で、その上面を第2面の遺構検出面とした。Ⅵ層は、Ⅶ層に至るまでの間層で

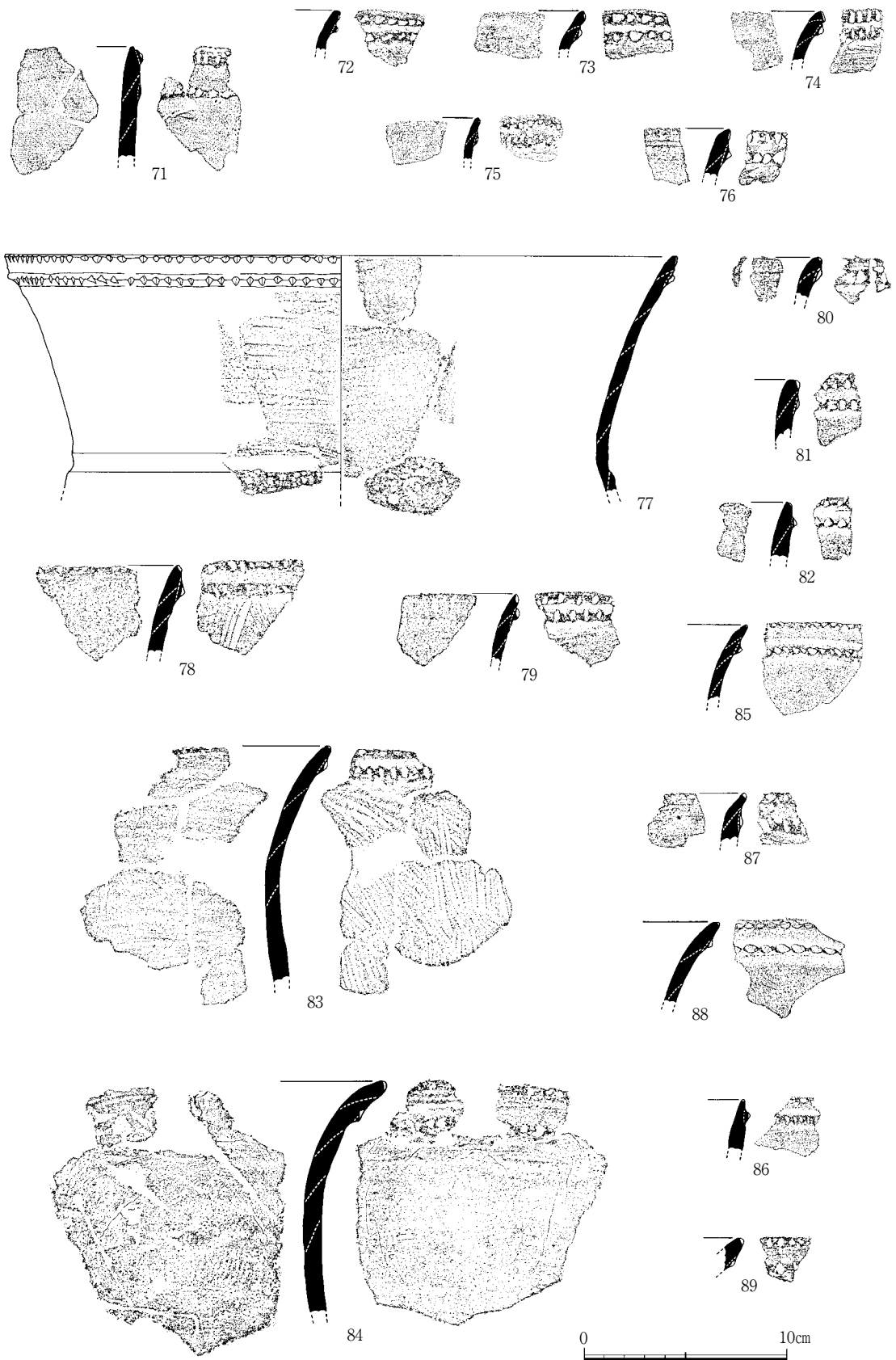
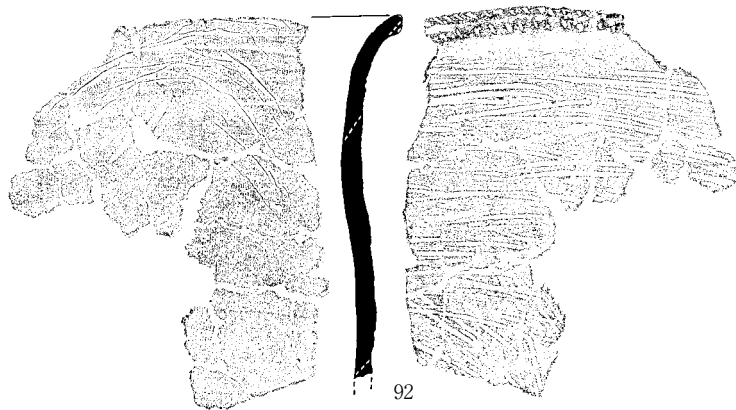
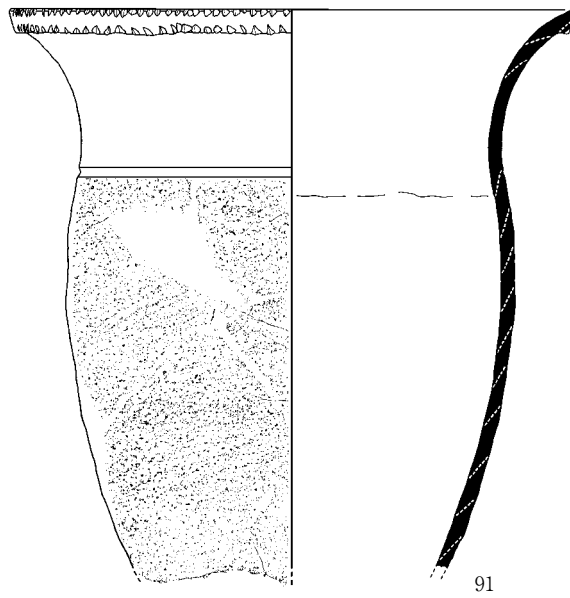
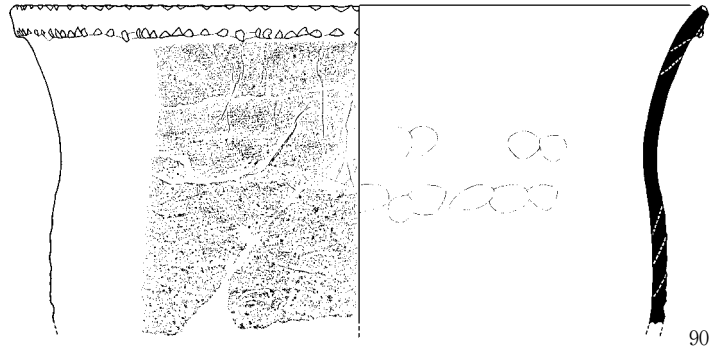


Fig.22 1C区Ⅳ層群出土土器 8



0 10cm

Fig.23 1C区IV層群出土土器9



Fig.24 1C区IV層群出土土器10

あるが、全くの無遺物層ではない。Ⅶ層は第3面の遺物包含層であり、Ⅷ層の上面は第3面の遺構検出面である。

#### 4. 遺物（土器）

##### (1)IV D 3層出土土器 (Fig.13)

縄文土器・壺2点、深鉢～甕形土器<sup>(1)</sup>4点、縄文土器・鉢1点を図示した。

1・2は縄文土器・壺である。3～6は突帯文土器<sup>(2)</sup>・深鉢・口縁部片である。4は波状口縁の可能性ある。7は完形に復元できた縄文土器・鉢である。



Fig.25 1C区IV層群出土土器11



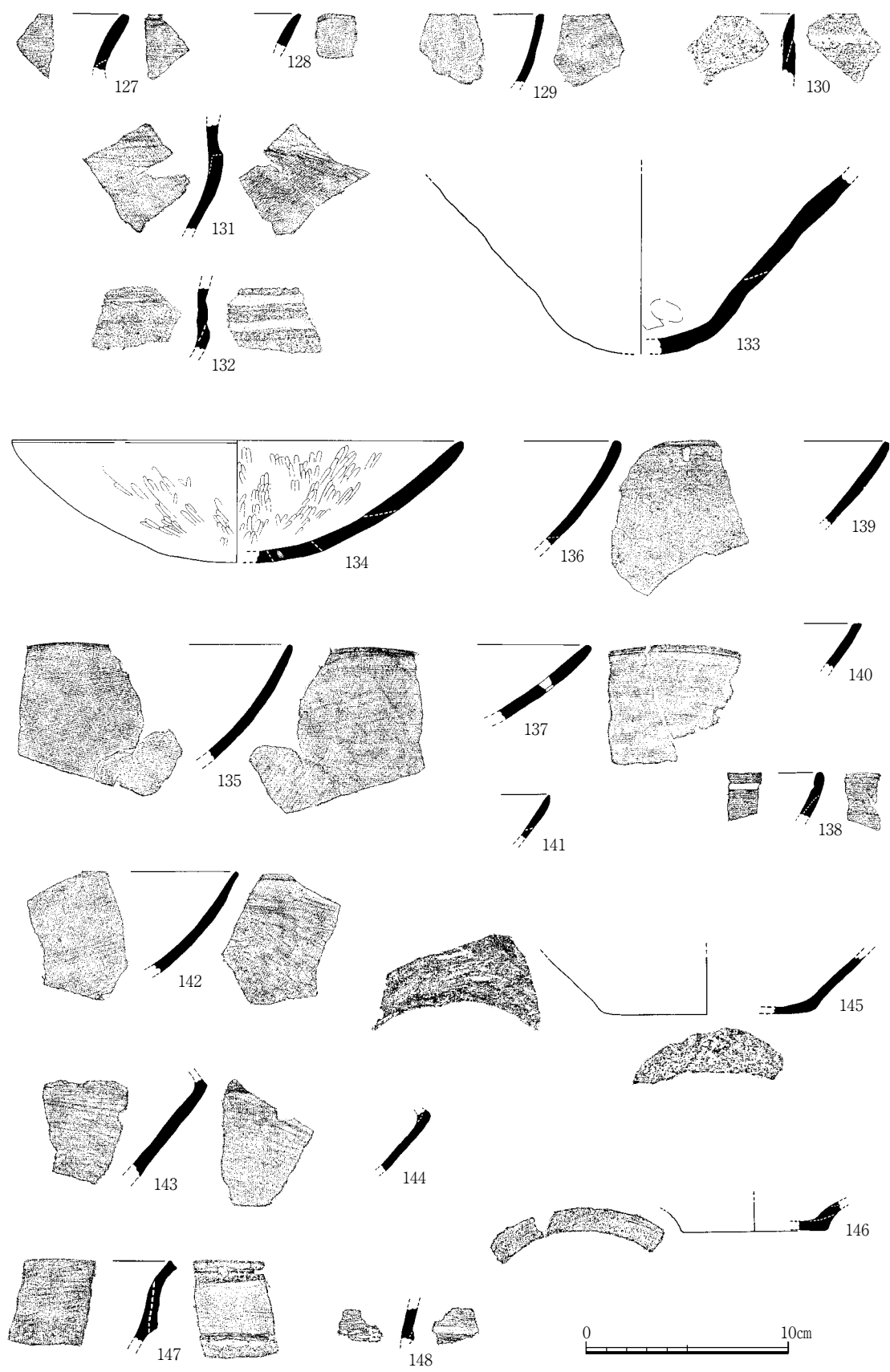


Fig.26 1C区Ⅳ層群出土土器12

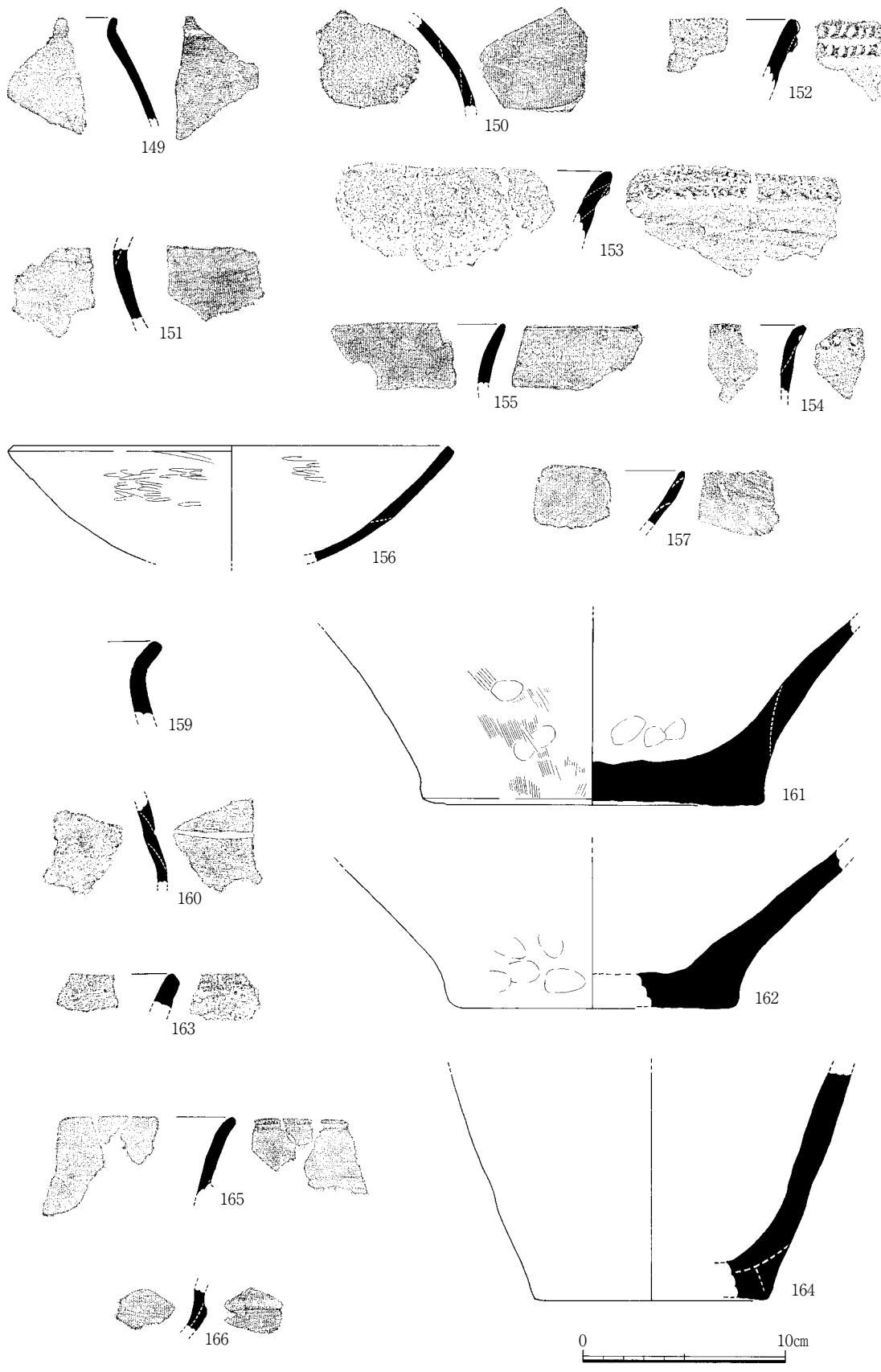


Fig.27 1C区Ⅳ層群出土土器13

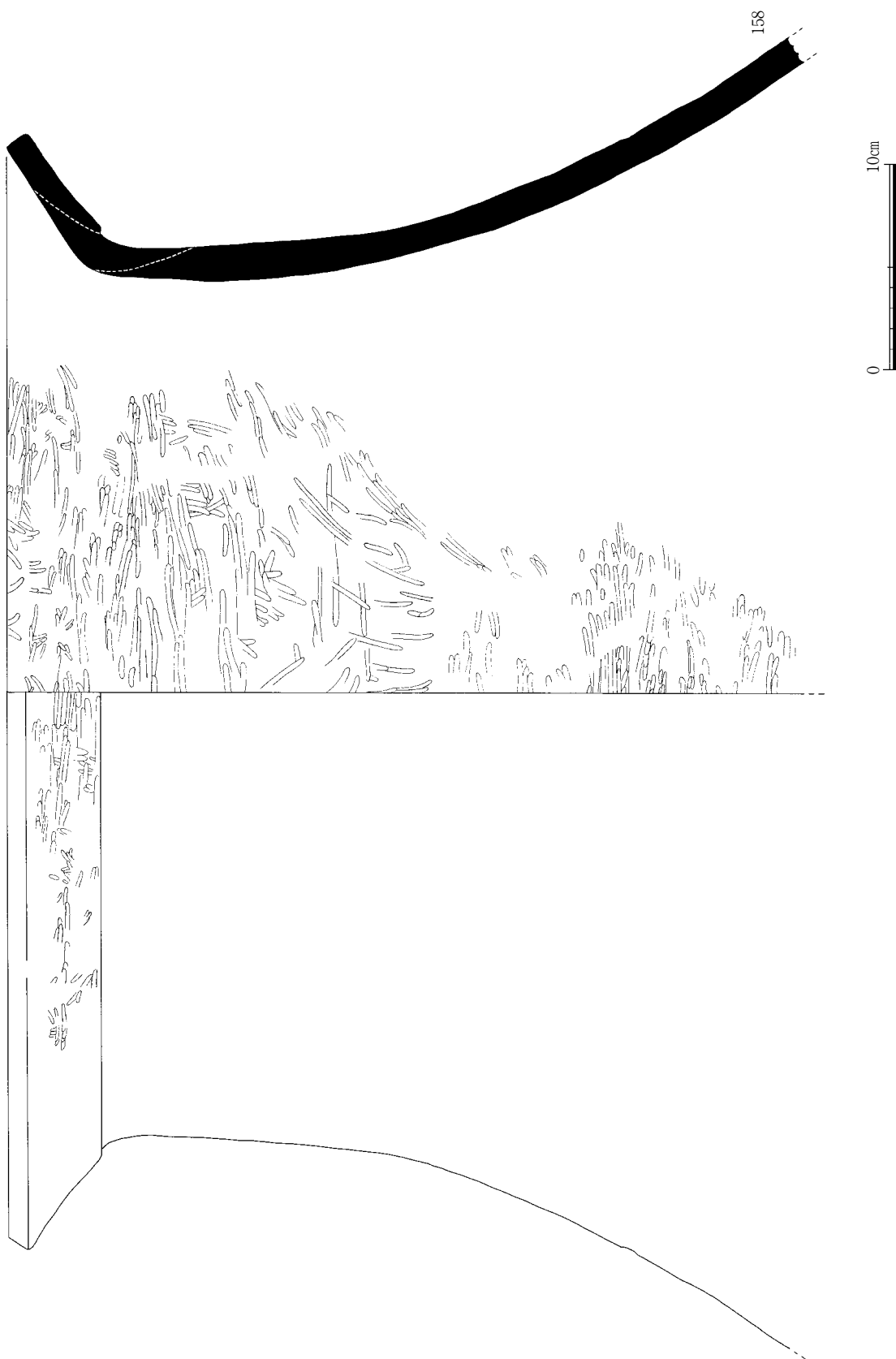


Fig.28 1C区Ⅳ層群出土器14

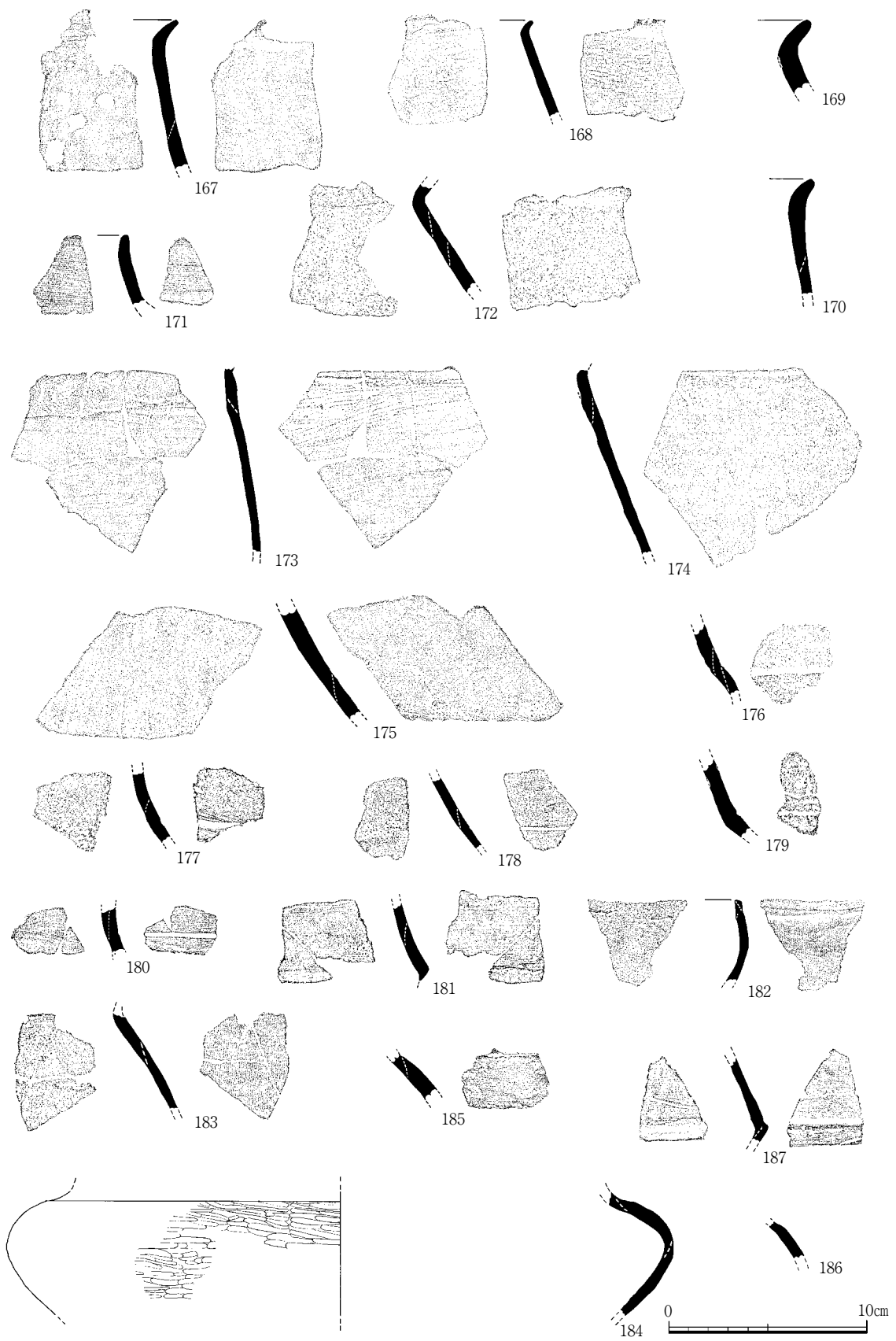


Fig.29 1C区IV層群出土土器15

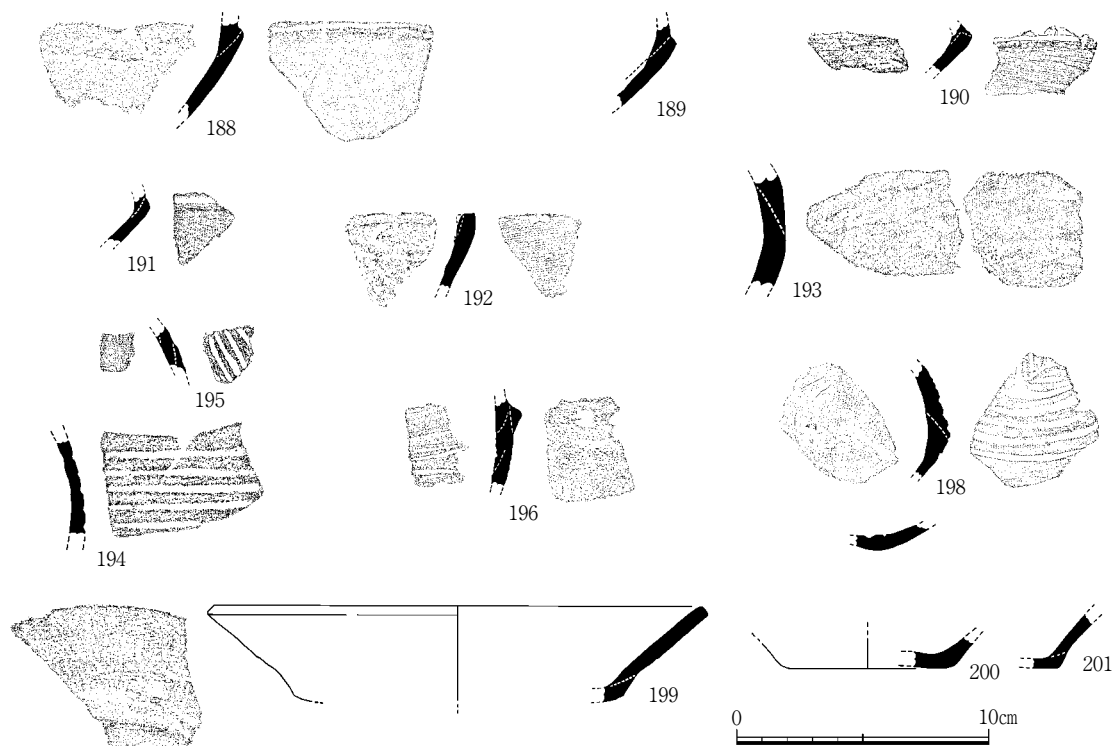


Fig.30 1C区Ⅳ層群出土土器16

(2)ⅣD 2層出土土器 (Fig.16~19)

縄文土器・壺7点, 弥生土器?・壺1点, 深鉢~甕形土器23点, 縄文土器・鉢2点, 縄文土器・浅鉢4点を図示した。

8~14は縄文土器・壺である。8は口縁端面から口縁直下外面にかけて赤彩を施す。9は短頸壺である。10・11は胴部片で, 外面に赤彩を施す。14は上端部に擬口縁が露出する胴部片で, 分割成形の可能性がある。

15は接合方法が不明であるが, 胎土の特徴から弥生土器・壺の可能性が高い。

16~38は深鉢~甕形土器である。16~32は突帯文土器である。16・18~31は口縁部片である。16・17は同一個体である。17は補修孔1と, 外面に未貫通の補修孔1を有する。18は外面に突帯2条を貼付する。19は口縁部外端の刻目直下に沈線1条を伴うことから, 2条突帯的な外観を呈する。20~25は口縁部外端に刻目を施し, 26は口縁端面を刻む。29・32は弥生土器化した突帯文土器の可能性が高い。33~36・38は口縁部片である。33は口縁部外端に刻目を施し, 胎土は弥生土器化している。34は外面に条痕調整を施す。37は胴部片で, 外面に沈線1条を描く。38は口縁部に向かって内弯する器形で, 口縁部外端に刻目を施す。

41・43は縄文土器・鉢, 39・40・42・44は縄文土器・浅鉢である。39・40は波状口縁で, 39は方形浅鉢の可能性が高い。42は外面の斜交沈線による方形?区画内にさらに1重の区画沈線と縦位の沈線2条を施し, 各沈線内を赤色塗彩する。43は鉢・胴部片と考えられ, 内面上端に赤彩が認められる。44は丸底ぎみの底部片で, 内面に赤彩を施す。

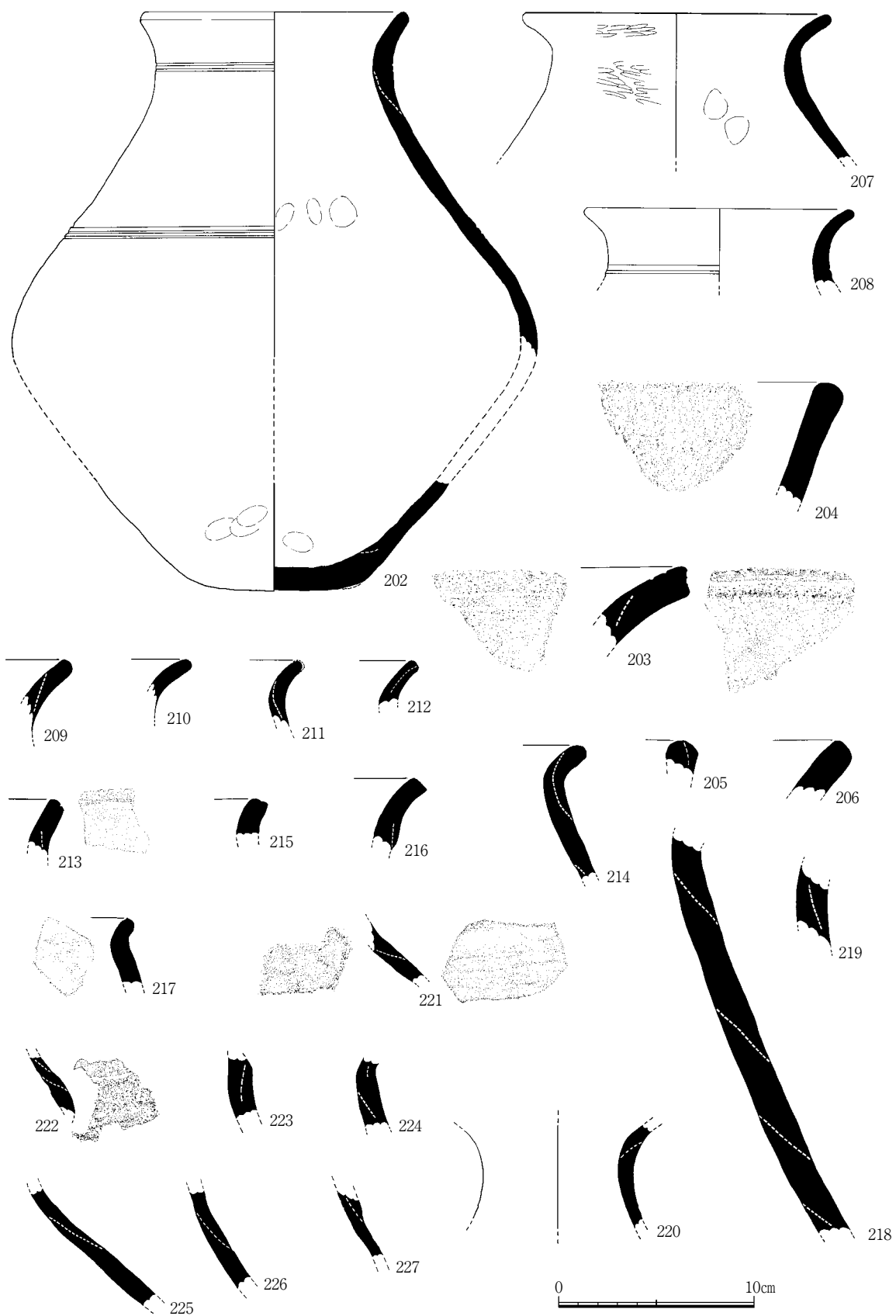


Fig.31 1C区IV層群出土土器17



Fig.32 1C区Ⅳ層群出土土器18

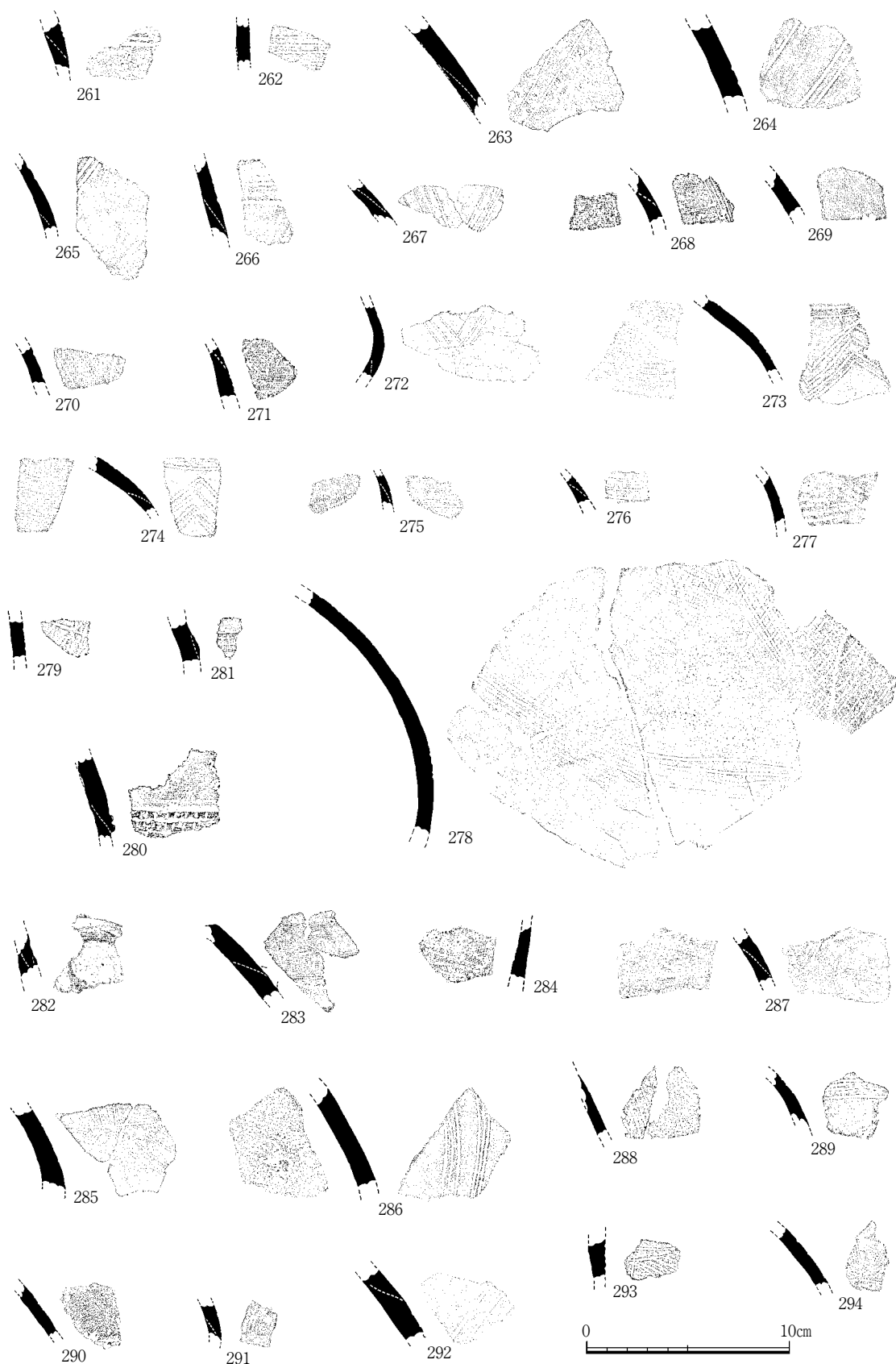


Fig.33 1C区IV層群出土土器19



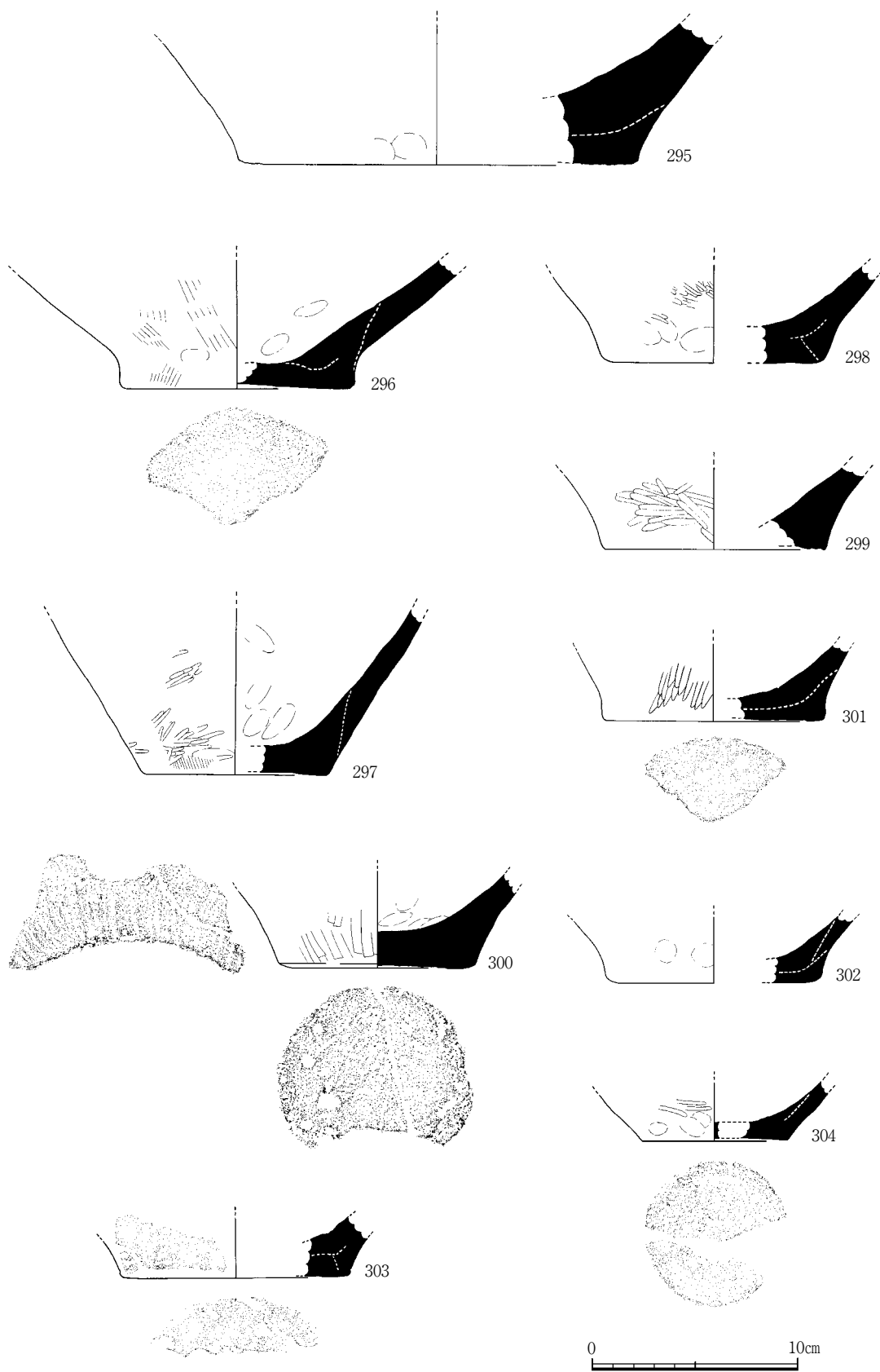


Fig.34 1C区IV層群出土土器20

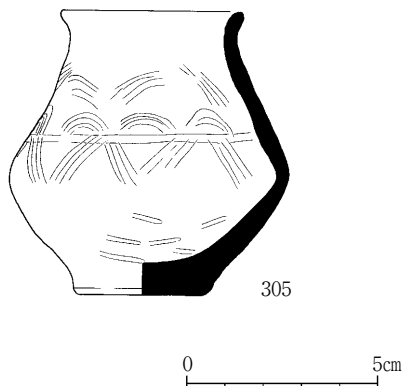


Fig.35 1C区IV層群出土土器21

(3)IV D層出土土器 (Fig.16・20~26)

縄文土器・壺20点, 弥生土器・壺6点, 深鉢~甕形土器56点, 縄文土器・鉢7点, 縄文土器・浅鉢13点, 弥生土器・鉢2点を図示した。

45~64は縄文土器・壺である。45~53は口縁~頸部片である。45・46は扁球形の胴部で, 頸部は口縁部に向かって内傾しながら外弯する。51は焼成前の穿孔1, 及び内面に未貫通の穿孔痕1を有する。52は短頸壺と考えられる。54は外面に沈線3条を描き, 沈線内に赤彩を施す。54~63は胴部片である。54は上下逆の可能性もある。56は外面・段部に沈線1条を有し, 外面に朱漆を塗彩する。58・62は外面・段部に沈線1条を描き, 沈線

内を赤色塗彩する。59は外面に舟形区画の沈線文を有し, 上端部の擬口縁の状況から分割成形品の可能性がある。60・61は胴部最大径部の外面接合部上に沈線1条を描き, 61には斜沈線1条を加える。63は外面に赤彩を施す。64は底部片で, 外面に赤彩を施す。

65~70は弥生土器・壺である。65・66は口縁部片である。65はハケ調整を施し, 下端に擬口縁が露出する。66は外面に赤彩を施し, 内面にも赤色塗彩の可能性もある。67は大形品の頸部片で, 接合部外面に1段を有する。68~70は頸~胴部片である。68・69は接合部外面に沈線状の段1を形成する。70は接合部外面に沈線1条を描く。

71~126は深鉢~甕形土器である。71~109は突帯文土器である。71~122は口縁部片である。71は外面に刻目突帯2条を貼付し, 口縁端部の突帯上側は沈線状を呈する。72・73は口縁部外端~端部外面に刻目を施す。74・77~82・88は口縁部外端に刻目を施す。75は口縁部外端~端部外面に刺突を施し, 貼付突帯上にも同原体の刺突を施す。76は口縁端部外面に刻目を施す。77は内弯する胴部から, 頸部は口縁部に向かって外弯する器形を呈し, 外面・頸~胴部境には凹線1条を描く。78は外面に複線による斜位の沈線文を有する。78の複線は条痕原体の可能性もある。83~87は口縁端面に刻目を施す。83は外面に条痕調整を施す。84は貼付突帯上に刺突を施す。89は口縁端面外端側に刻目を施す。90・91は口縁端部に接して刻目突帯を貼付し, 口縁端面を刻むもので, 外傾する口縁端面の上下端を刻んだような外観を呈する。91は外面・頸~胴部境に沈線1条を描く。92は口縁端面を刻み, 条痕調整を施す。93は突帯上の刻目と口縁部外端の刻目が近接して, 2段刻目状の外観を呈する。98は内面に条痕調整を施す。101は外面に条痕調整を施す。102は接合部外面の段を利用した刻目突帯文土器である。103~105は口縁端部に突帯を貼付する。103は口縁端面及び突帯上に刺突を施す。103・104は外面に条痕調整を施す。105は接合部内面に段1を形成する。107は内面にハケ調整を施す。108は外面ハケ調整の可能性もある。109は突帯の上下に竹管刺突文各1段を施し, 端部は擬口縁の可能性もある。109は胎土に大粒の砂粒を多く含み,



Fig.36 1C区Ⅳ層群出土土器22



Fig.37 1C区IV層群出土土器23

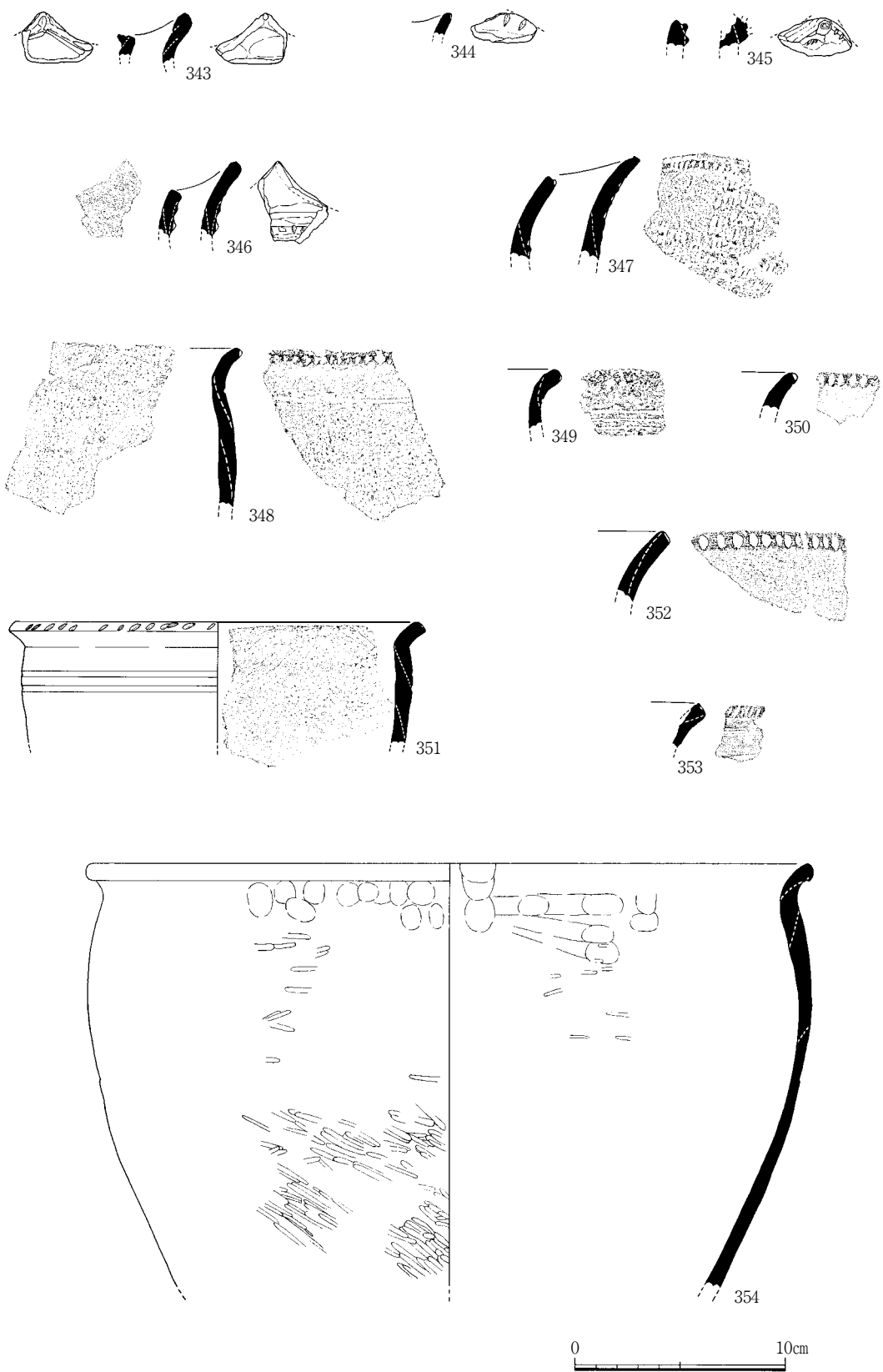


Fig.38 1C区IV層群出土土器24

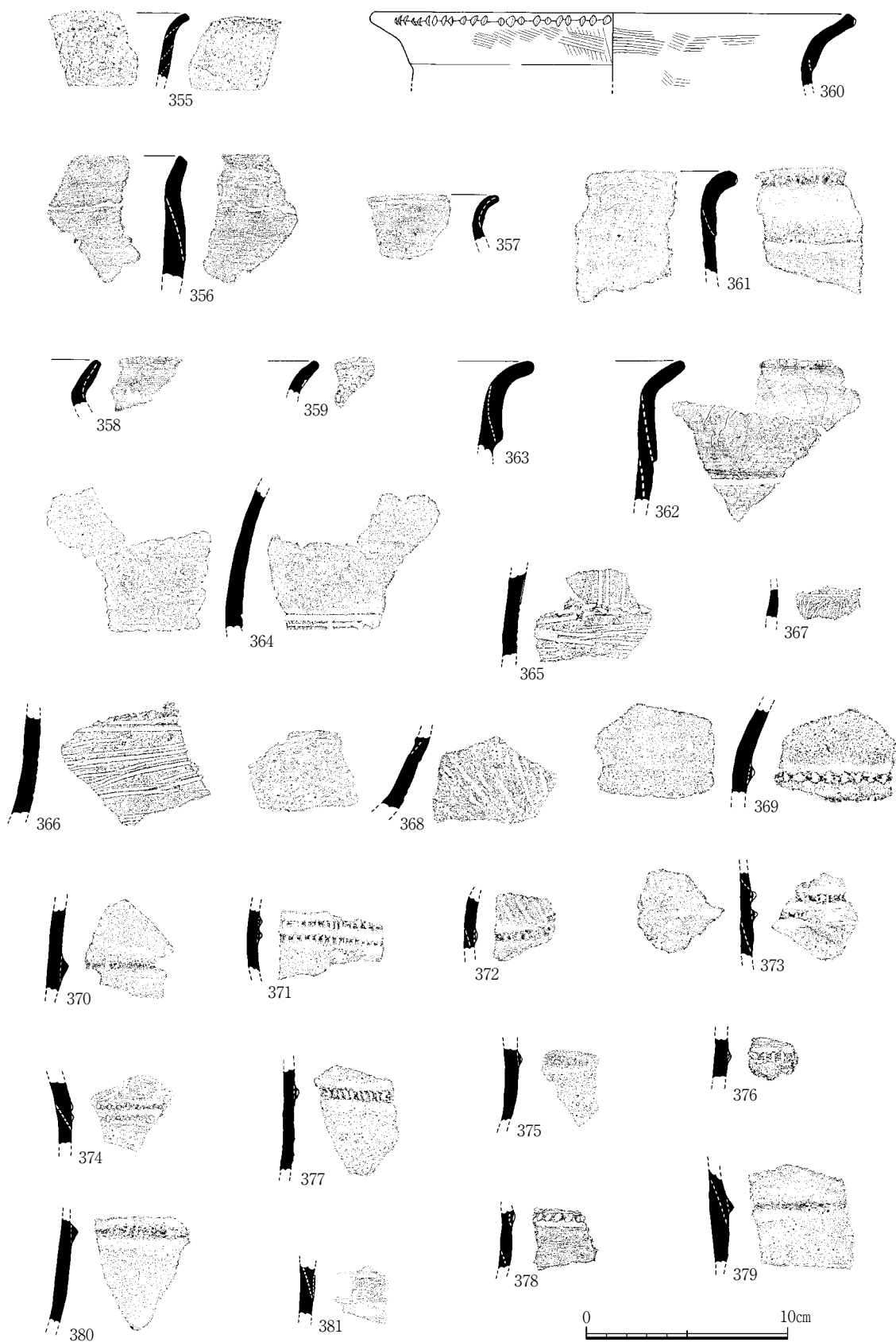


Fig.39 1C区Ⅳ層群出土土器25

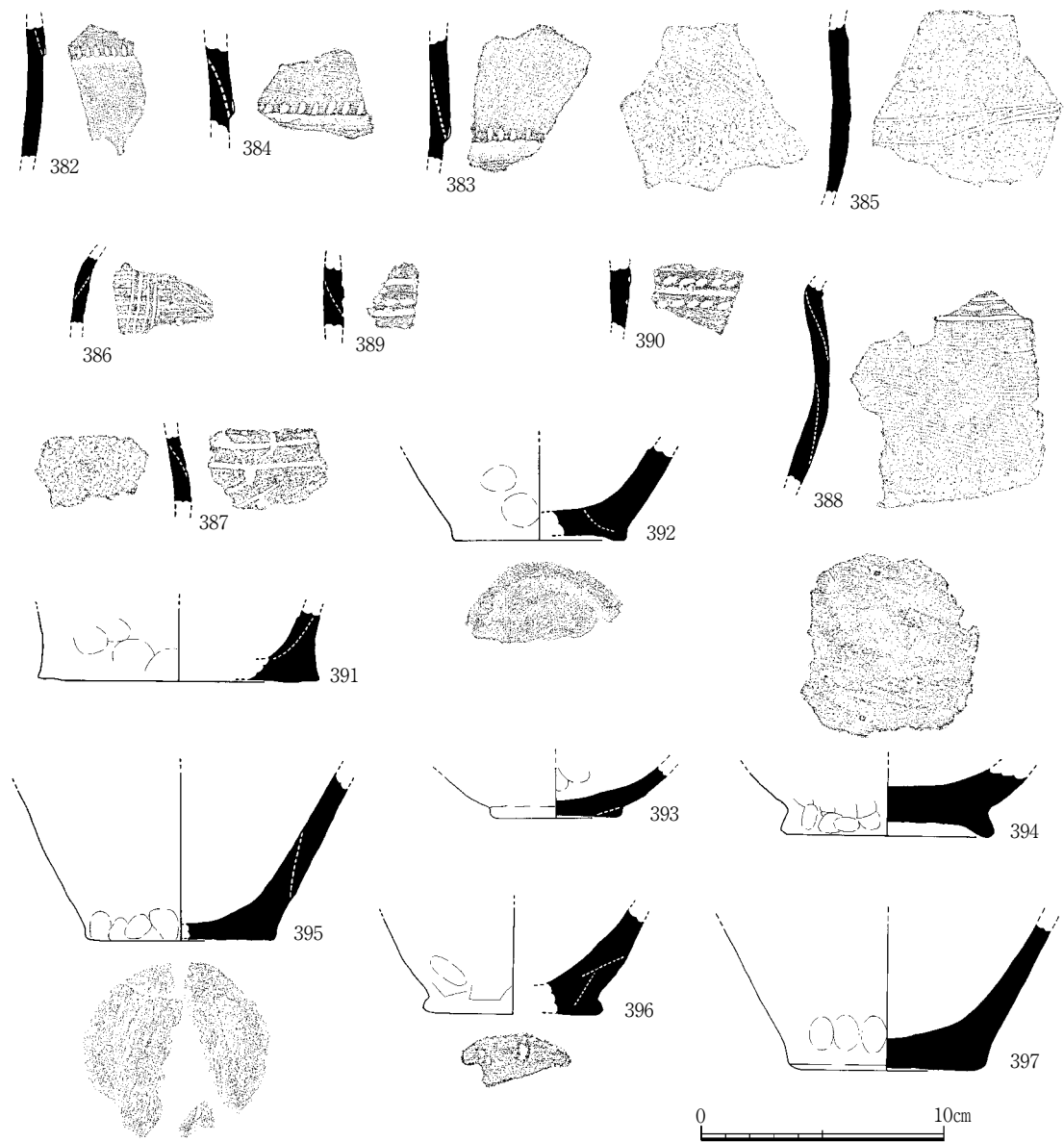


Fig.40 1C区IV層群出土土器26

比較的薄い器壁に仕上げられた、極めて特徴的な突帯文土器である。109と同様の胎土は、細片でもそれと識別可能であり、以下にも登場するこれら特徴的な胎土による土器の一群を、本編では「特殊胎土土器」と表記するものとする。110～114は口縁部外端に刻目を施す。111は外面条痕調整の可能性がある。112は内面に条痕状のナデ調整を施す。115・116は口縁端面の外端側に刻目を施す。121は外面に条痕調整を施す。123・124は外面・頸～胴部境に沈線1条を描く胴部片である。125は丸底の底部片で、内面の同一深度に炭化物の付着がみられ、煮炊直後の状態を留めるものと考えられる。126は高台状を呈する底部片である。

127～133は縄文土器・鉢である。127～130は口縁部片である。128は外傾接合の可能性がある。129は端部が擬口縁の可能性がある。130は外面に沈線1条を有し、壺の可能性がある。131・132

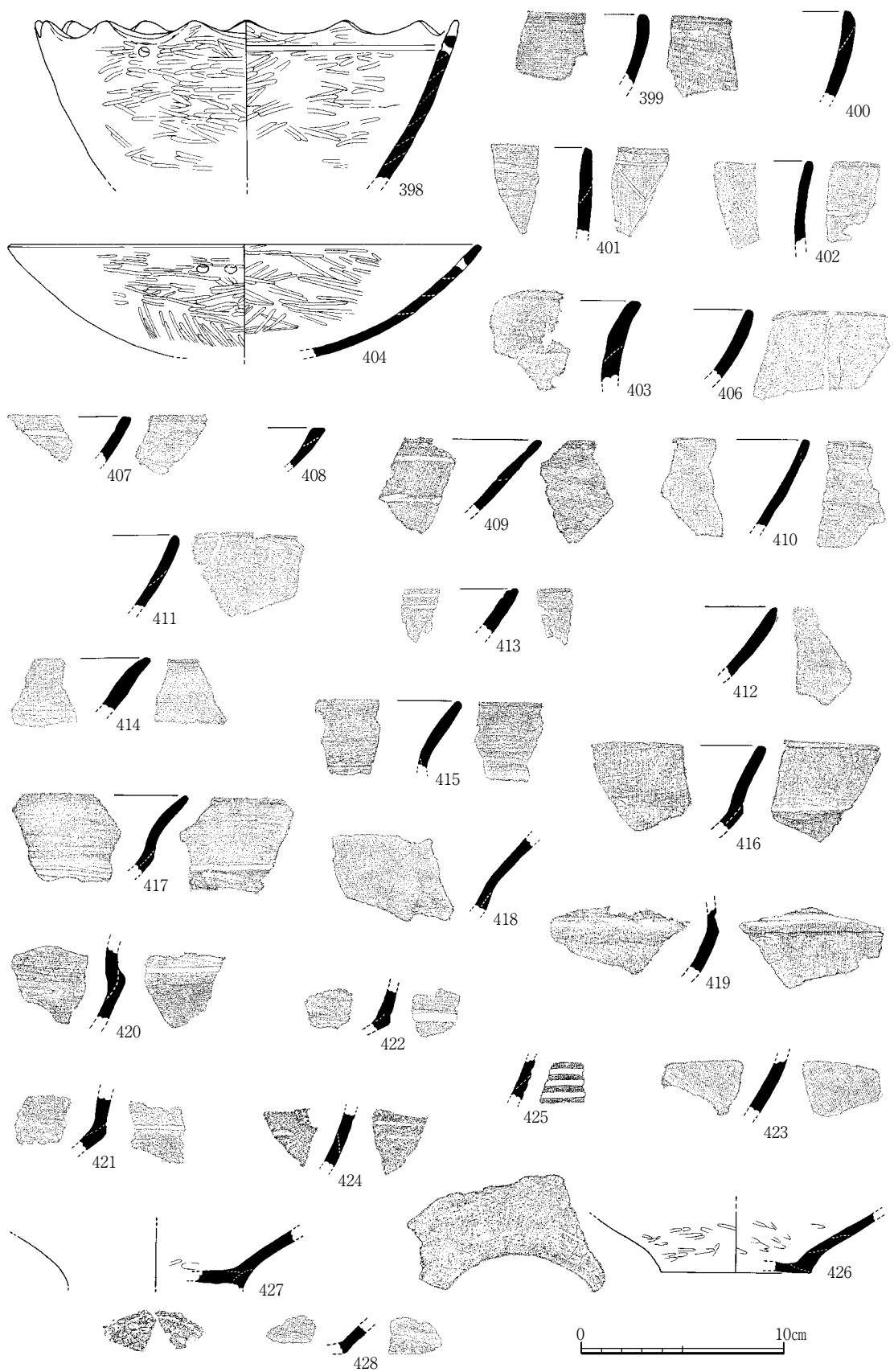


Fig.41 1C区IV層群出土土器27



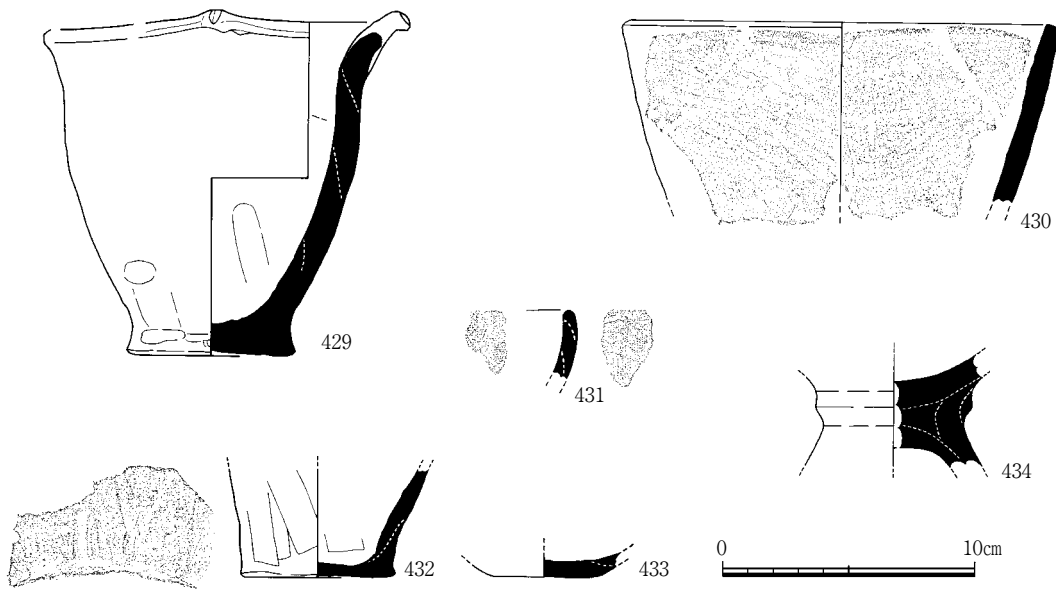


Fig.42 1C区Ⅳ層群出土土器28

は胴部片である。131は段部の接合痕から、分割成形の可能性がある。132は外面に凹線2条を描く。133は丸底の鉢の底部片か。

134～146は縄文土器・浅鉢である。134～141は内弯する口縁部片である。134～138は口縁端部を丸く仕上げる。134は破断面に刳圧痕1が認められる。135は内面に暗文状のミガキ調整を施す。137は両側穿孔の補修孔1を有する。138は内面に沈線1条を描く。139～141は口縁端部に平坦面を形成する。139は内外面・端面に赤彩を施す。140は端部が擬口縁の可能性がある。141は端部外面に赤彩を施す。142は端部が外弯する口縁部片である。143・144は胴部片である。144は内外面に赤彩を施す。145・146は底部片である。145は補修孔1を有し、底面に格子状の圧痕が認められる。

147は弥生土器・鉢で、接合部外面に段1を形成する。148は外面に沈線1～2条を描く鉢の胴部片としたが、別器種の可能性もある。

#### (4)ⅣB2層出土土器 (Fig.27)

縄文土器・壺2点, 弥生土器?・壺1点, 深鉢～甕形土器3点, 縄文土器・鉢1点, 縄文土器・浅鉢2点を図示した。

149・150は縄文土器・壺である。149は口縁部片で、口縁直下外面が沈線状を呈する。150は胴部片で、外面に縦位沈線・弧状沈線各1条を描く

151は弥生土器・壺・頸部片と考えられる。

152～154は深鉢～甕形土器・口縁部片である。152・153は突帯文土器で、152は口縁部外端を刻み、153は口縁端面を刻んだ可能性がある。154は口縁直下外面に円形刺突文1段を有する。

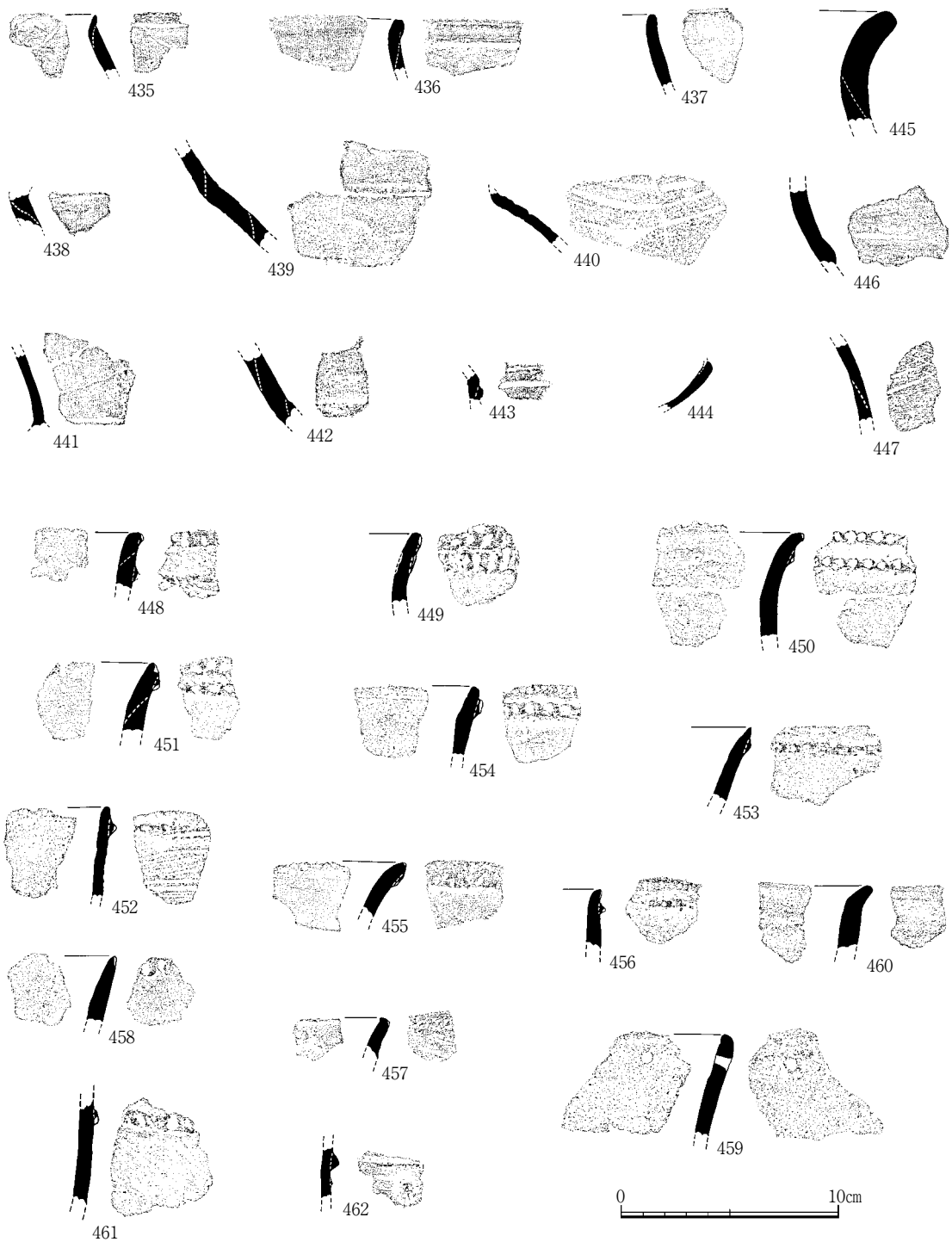


Fig.43 1C区Ⅳ層群出土土器29

155は縄文土器・鉢で、外面には段の可能性がある沈線1条が認められる。

156・157は縄文土器・浅鉢である。157は口縁端部に破断面の疑いがある。

(5)ⅣB 1層出土土器 (Fig.27・28)

弥生土器・壺5点、深鉢～甕形土器2点、縄文土器・鉢1点、縄文土器・浅鉢1点を図示した。

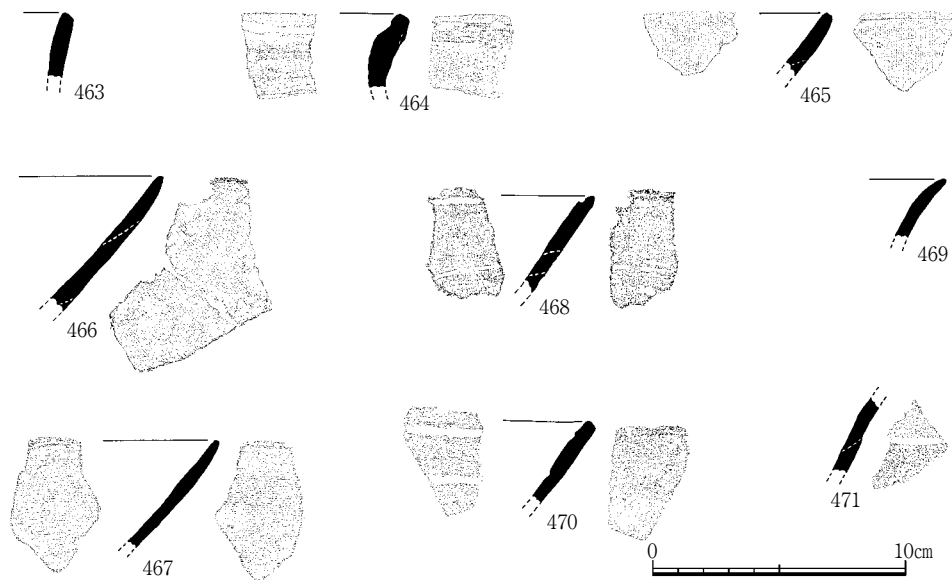


Fig.44 1C区IV層群出土土器30

158～162は弥生土器・壺である。158は大形品の口縁～胴部片である。158は口縁～頸部境の接合部外面に1段をなし、頸～胴部境・外面は凹線状1を形成する。159は口縁部片である。160は頸～胴部片で、頸～胴部境・外面に沈線1条を描く。161・162は底部片で、大形品のものと考えられる。161は外面を赤色塗彩した可能性がある。

163～164は深鉢～甕形土器である。163は口縁部片、164は胴～底部片である。164は弥生土器・甕と考えられる。

165は縄文土器・鉢・口縁部片である。165は、外面に段の可能性のある沈線1条を有する。

166は縄文土器・浅鉢・胴部片である。

(6)IV B層出土土器 (Fig.29～42・48)

縄文土器・壺35点、弥生土器・壺104点、深鉢～甕形土器92点、縄文土器・鉢7点、縄文土器・浅鉢24点、弥生土器・鉢5点、弥生土器・高杯1点を図示した。

167～201は縄文土器・壺である。167～171は口縁部片で、頸部は外弯する。171は外面下端に段1を形成し、端部は直立ぎみである。172～174は外弯する頸部片である。174は外面上端が凹線状を呈する。175～181は頸～胴部片である。175は外面に沈線1条を描く。176は頸～胴部境・外面に沈線状の段1を形成する。177～180は頸～胴部境・外面に沈線1条を描く。181は下端に擬口縁が露出する。182は短頸壺と考えられる。182は口縁～胴部片で、端部は擬口縁の可能性はある。183は胴部片で、短頸壺の可能性はある。184～186は胴部片である。184は頸～胴部境の接合部外面に凹線状の段1を形成する。185・186は頸～胴部境・外面に沈線1条を描き、186は沈線内に赤彩を施す。187は頸～胴部片である。188～199は胴部片である。187～192は胴部最大径部の接合部に明瞭な擬口縁が認められる一群で、分割成形品の可能性がある。187～191は接合部外面に沈線1条を描く。189は沈線内に赤彩を施す。191は沈線内に赤彩を充填した可能性がある。192は上端に擬口縁が露出する。193～196は胴部片である。194は外面に沈線5条を描く。195は外面に斜位



Fig.45 1C区Ⅳ層群出土土器31

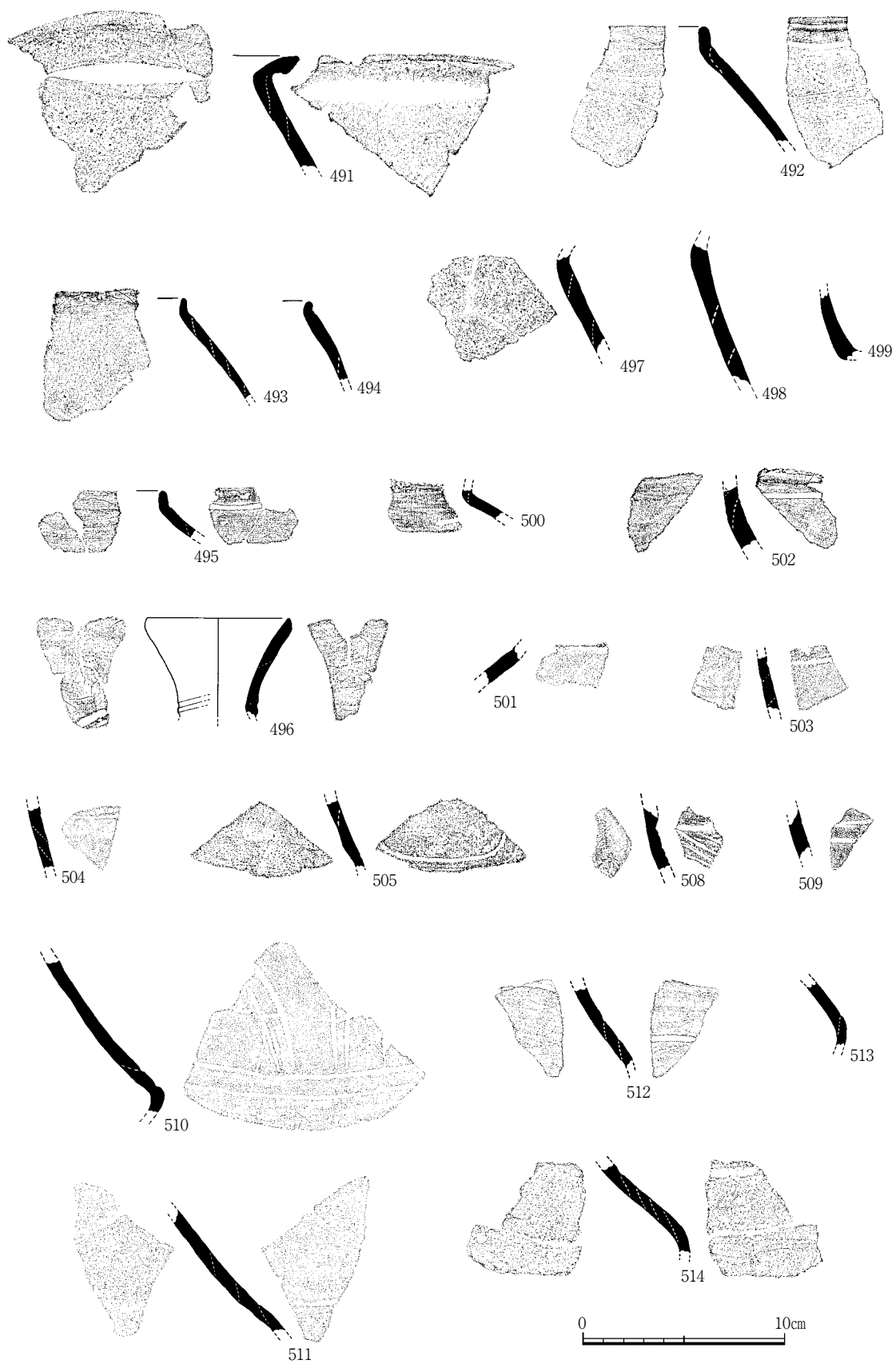


Fig.46 1C区Ⅳ層群出土土器32



Fig.47 1C区IV層群出土土器33

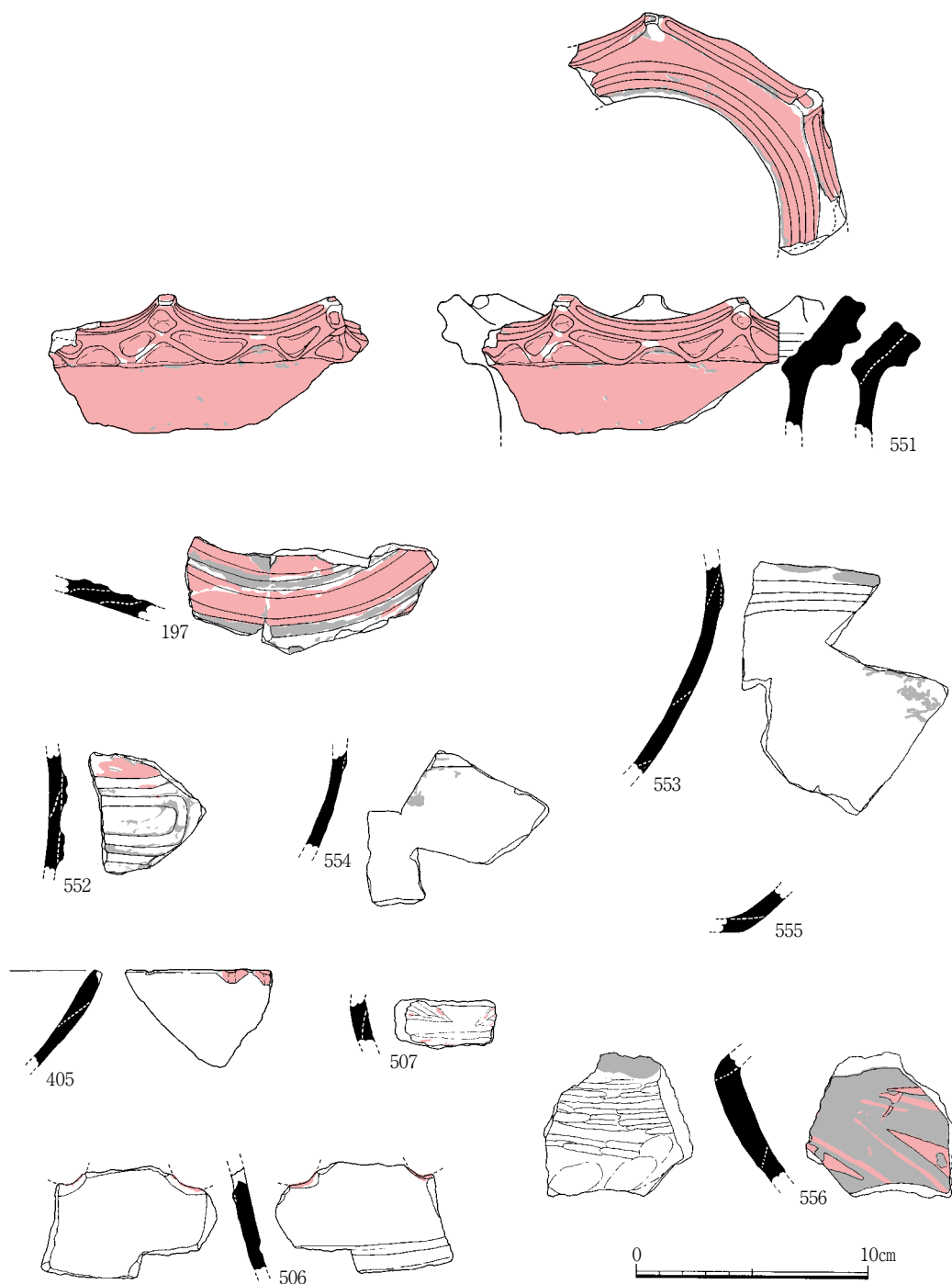


Fig.48 1C区Ⅳ層群出土土器34

の沈線5条を描く。196は外面に突帯1条を貼付する。197は大洞A式土器<sup>(3)</sup>の上胴部片である。1区の調査において、大洞A式土器は1A区・1B区・1C区から検出されているが、後述する他の1C区出土品も合わせて、同一個体の可能性が高い。197は1A区Ⅲc層及び1A区Ⅲs層出土土器と接合した。197は、外面に横位隆線による区画文2帯と、その下位に縦位隆線による区画文帯を有し、各隆線上には沈線1条を描いて2分する。197の横位ならびに縦位区画文には黒漆・朱

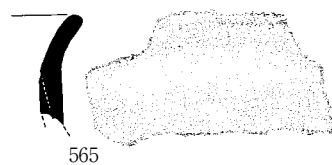
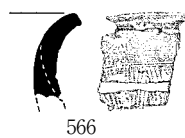
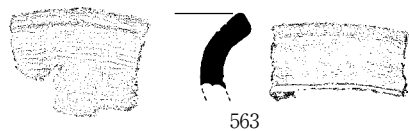
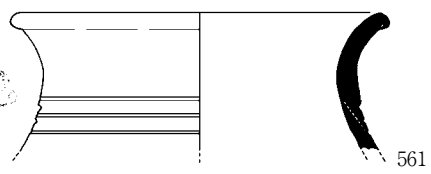
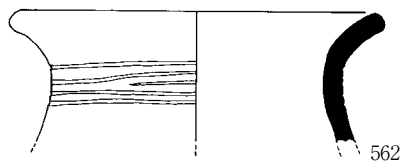
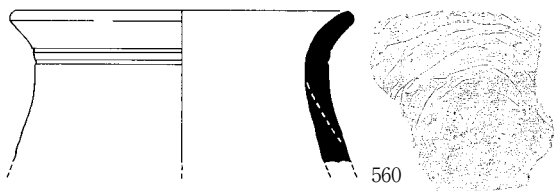
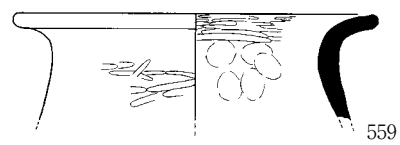
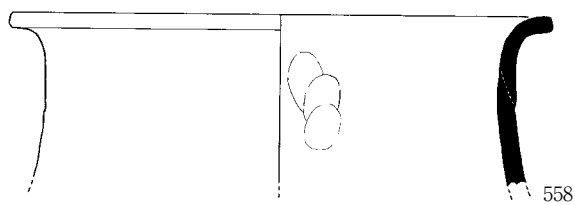
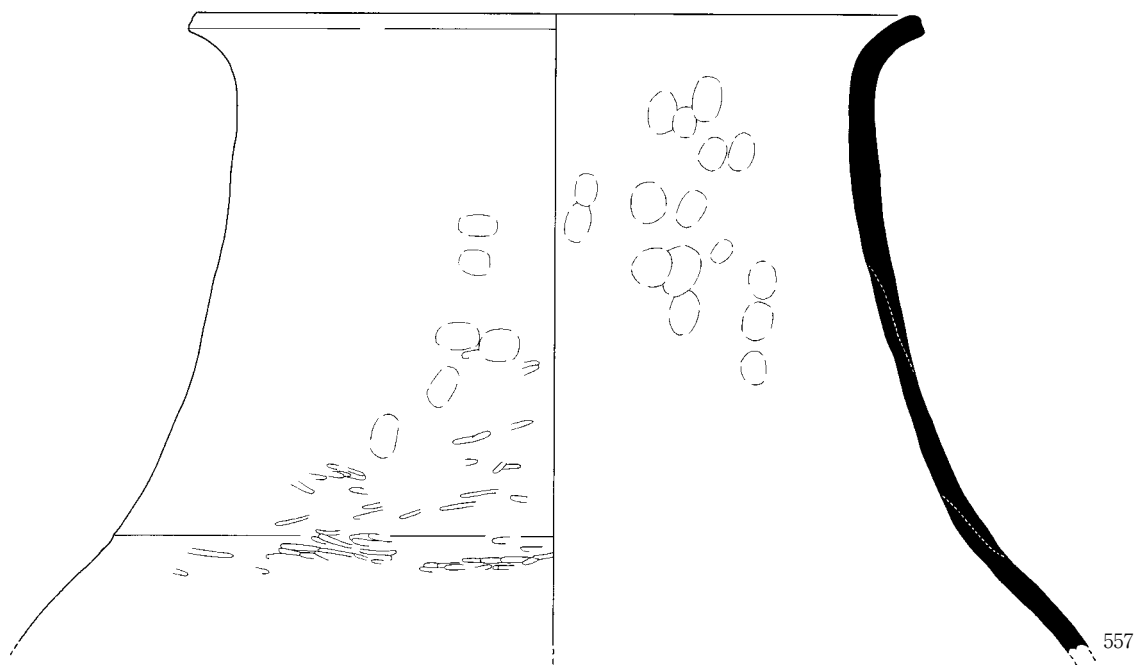


Fig.49 1C区IV層群出土土器35



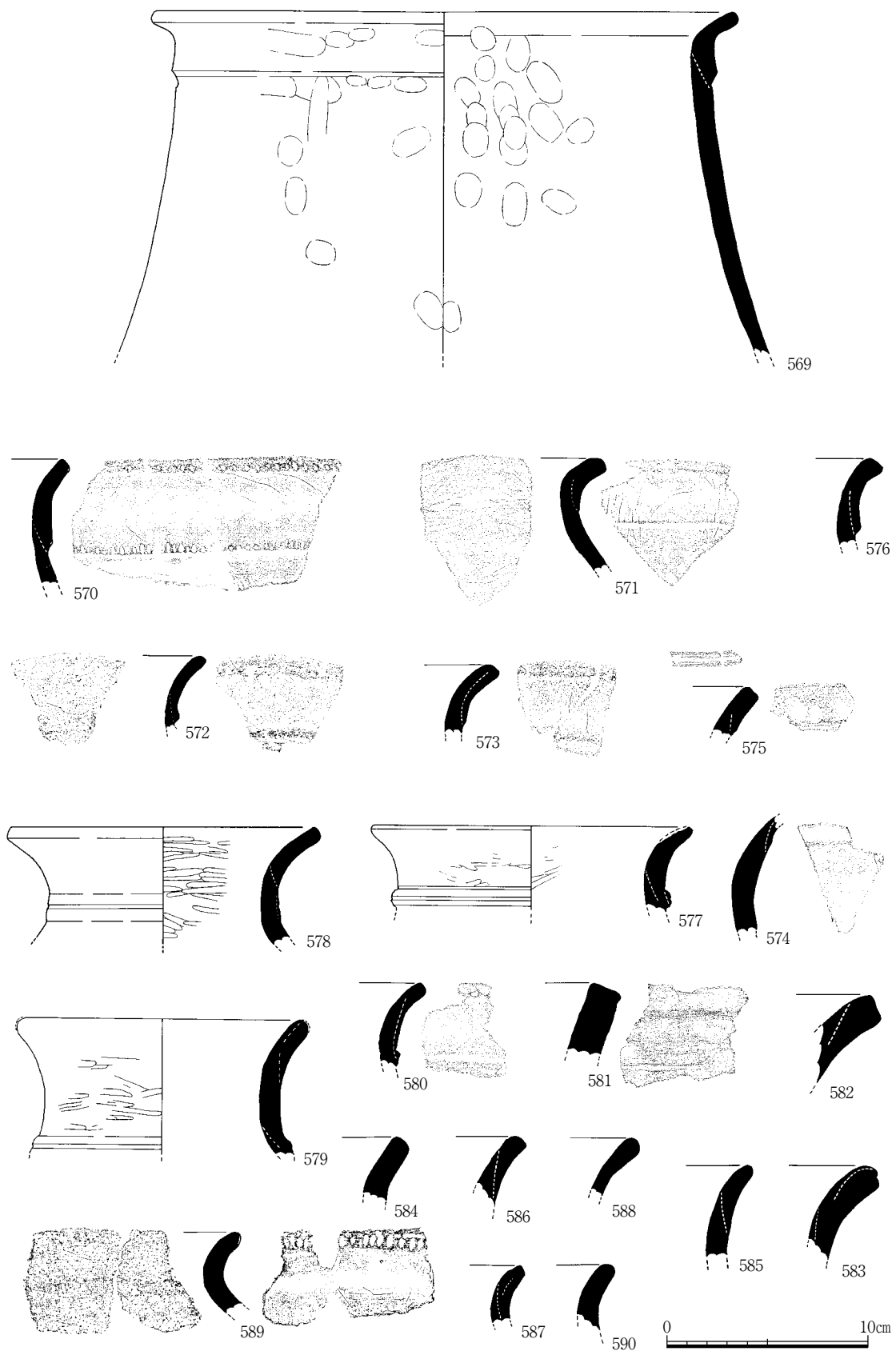


Fig.50 1C区Ⅳ層群出土土器36

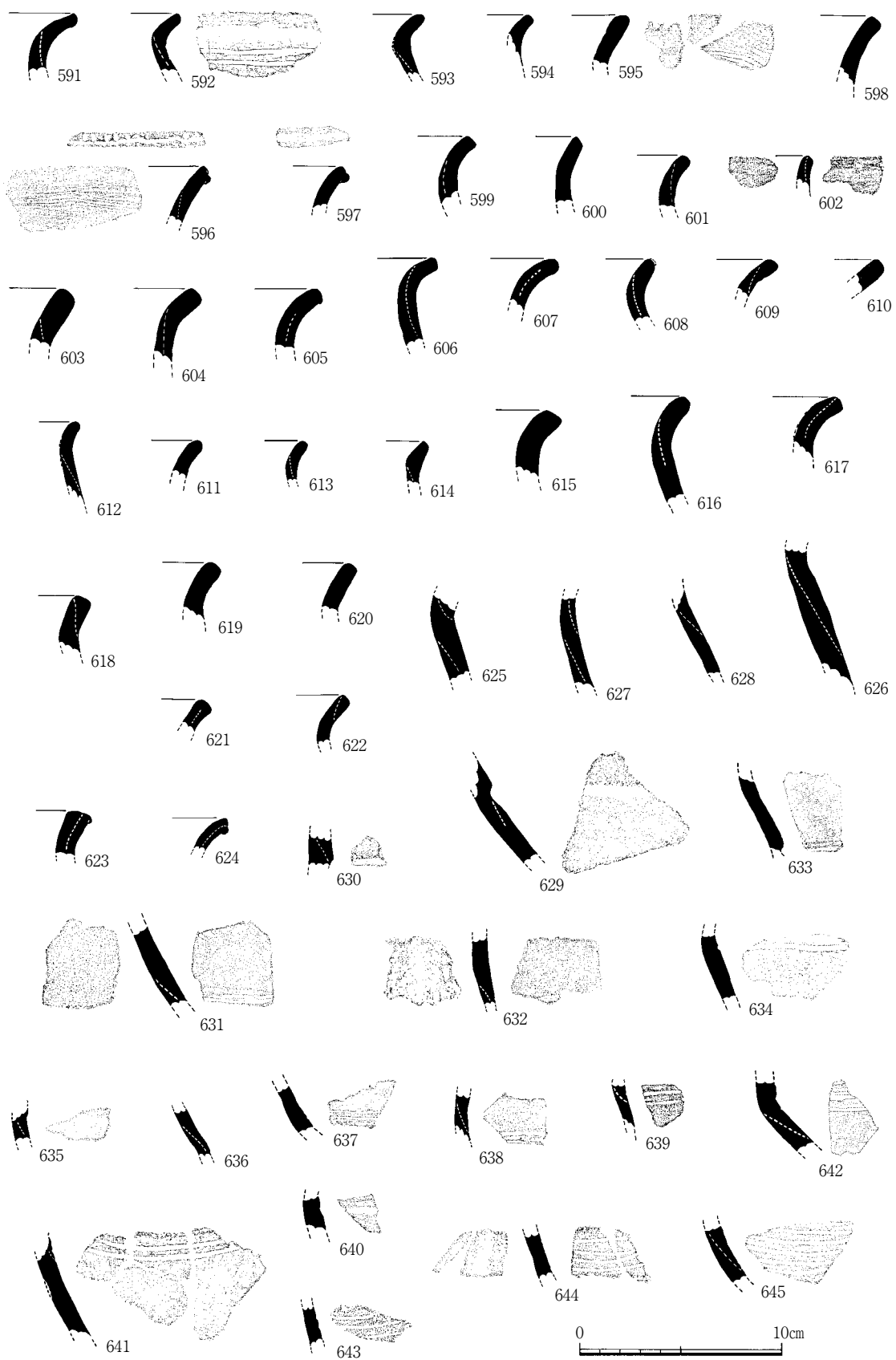


Fig.51 1C区IV層群出土土器37

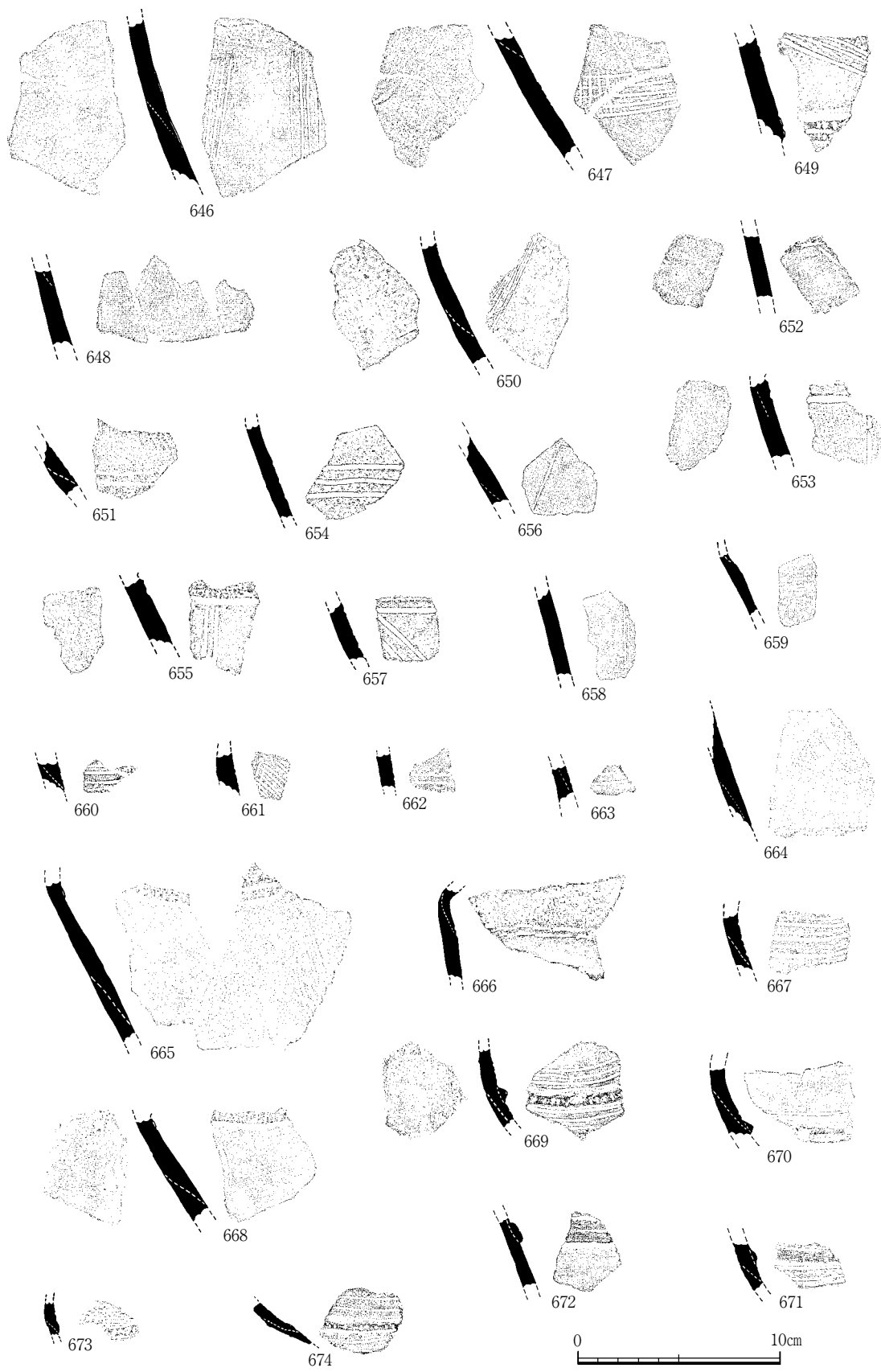


Fig.52 1C区Ⅳ層群出土土器38

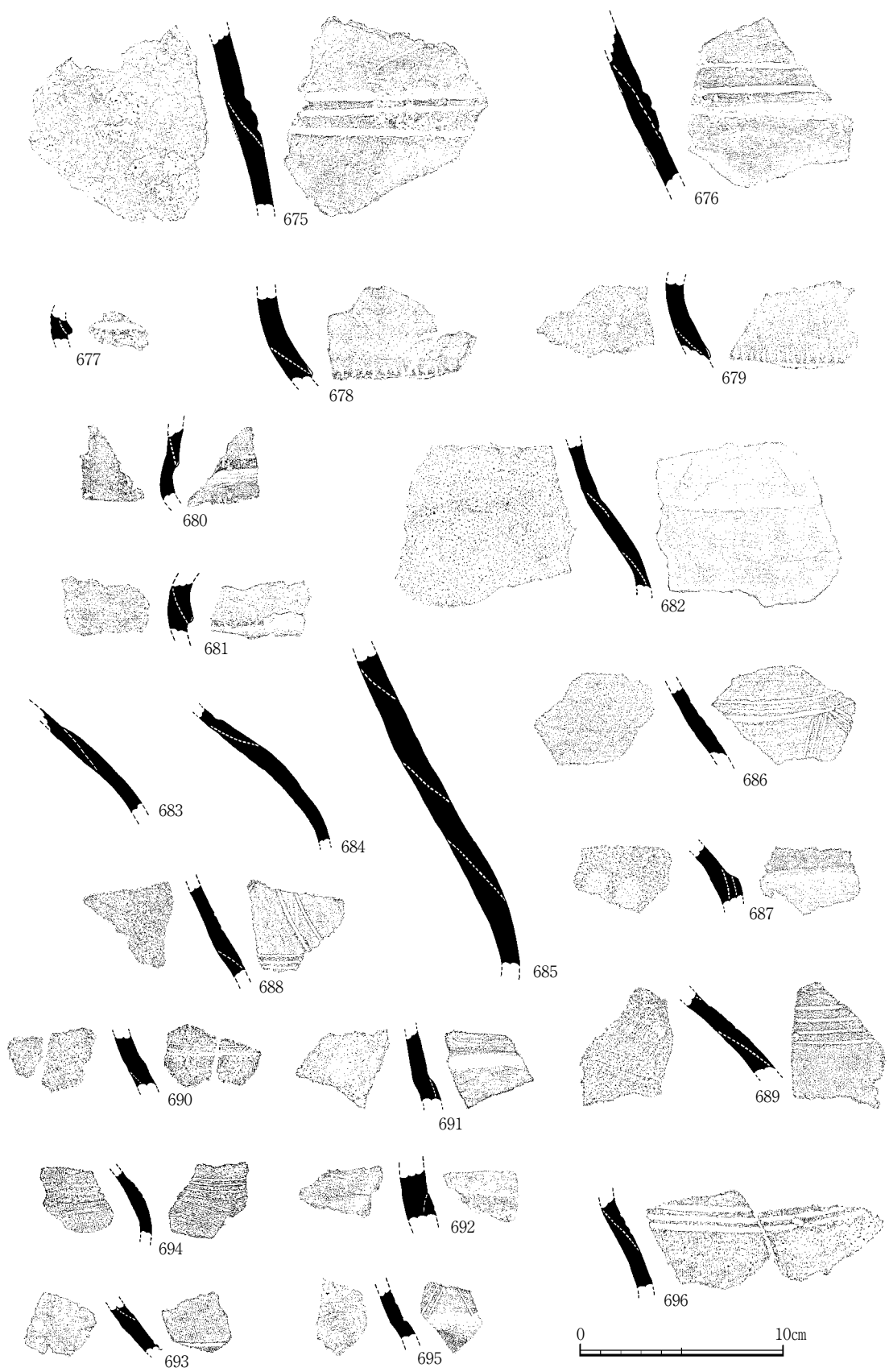


Fig.53 1C区IV層群出土土器39

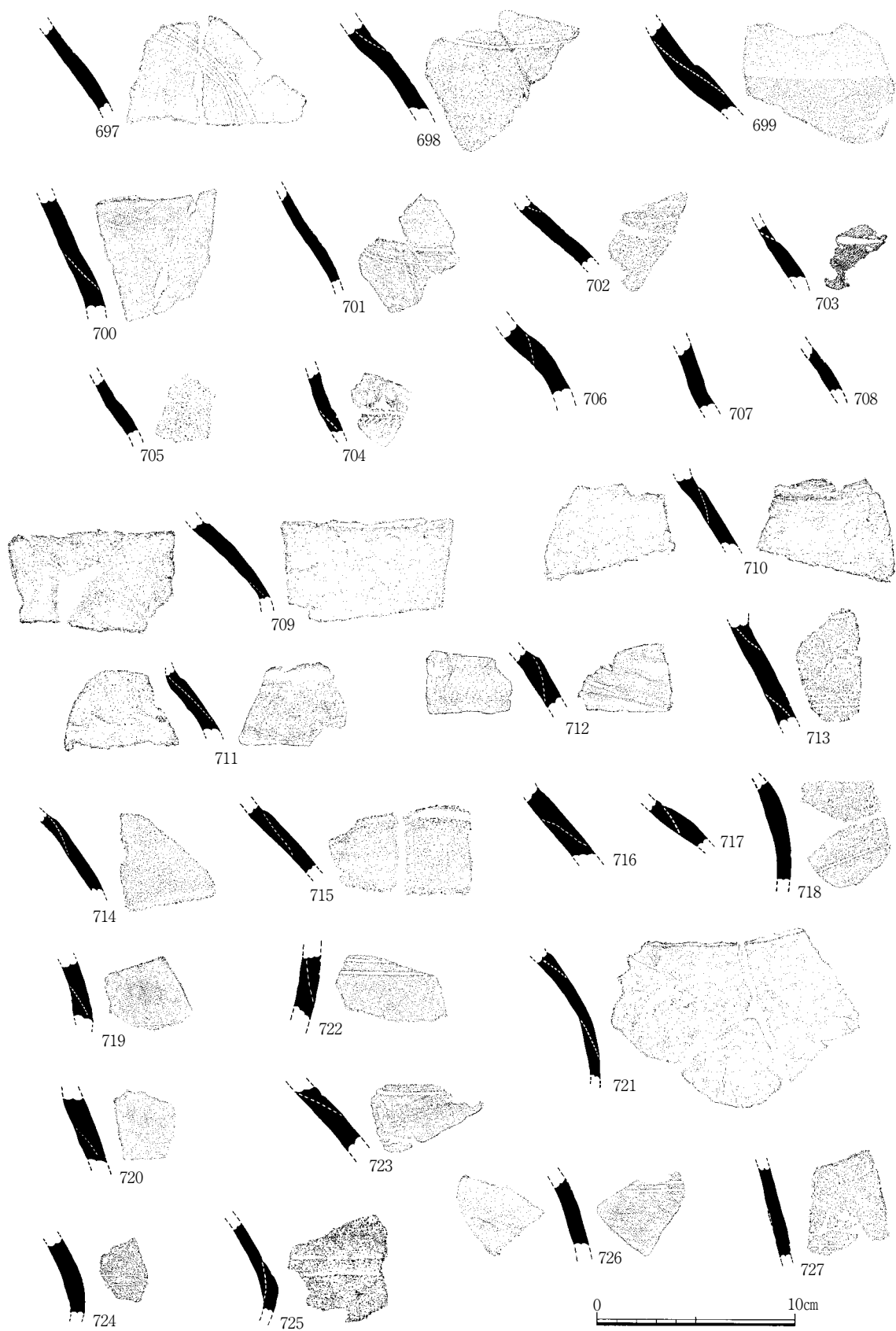


Fig.54 1C区IV層群出土土器40

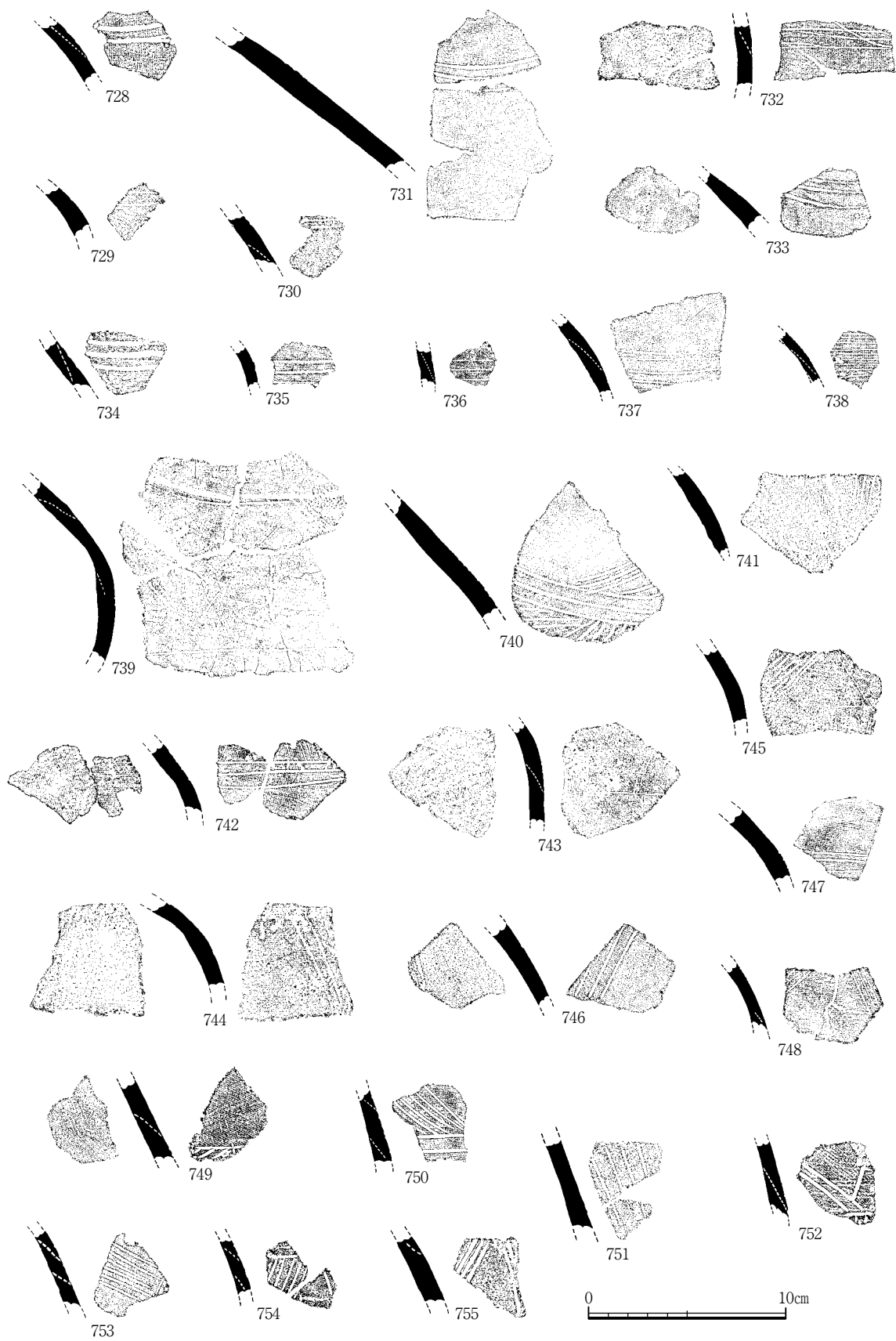


Fig.55 1C区Ⅳ層群出土土器41

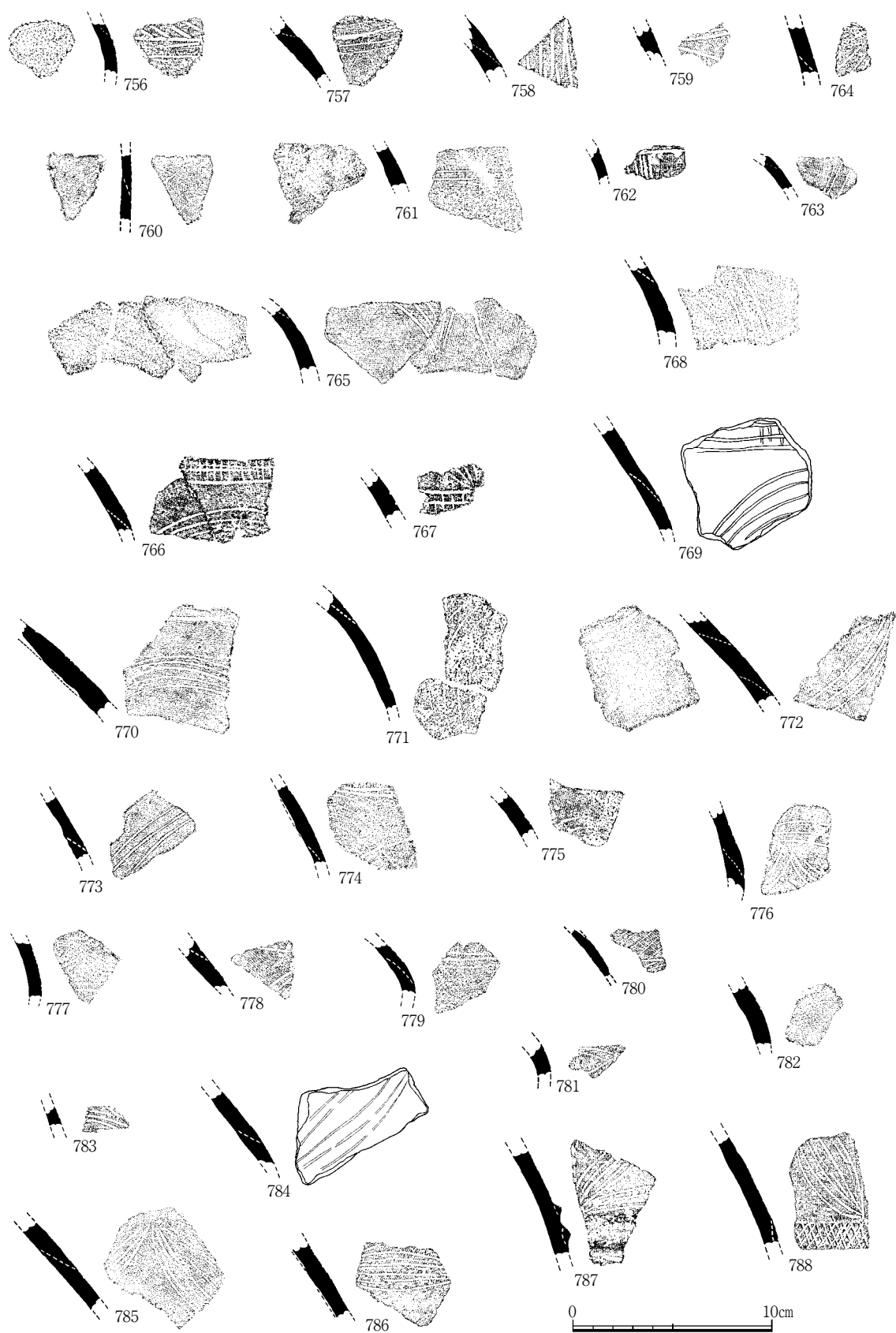


Fig.56 1C区IV層群出土土器42



Fig.57 1C区Ⅳ層群出土土器43



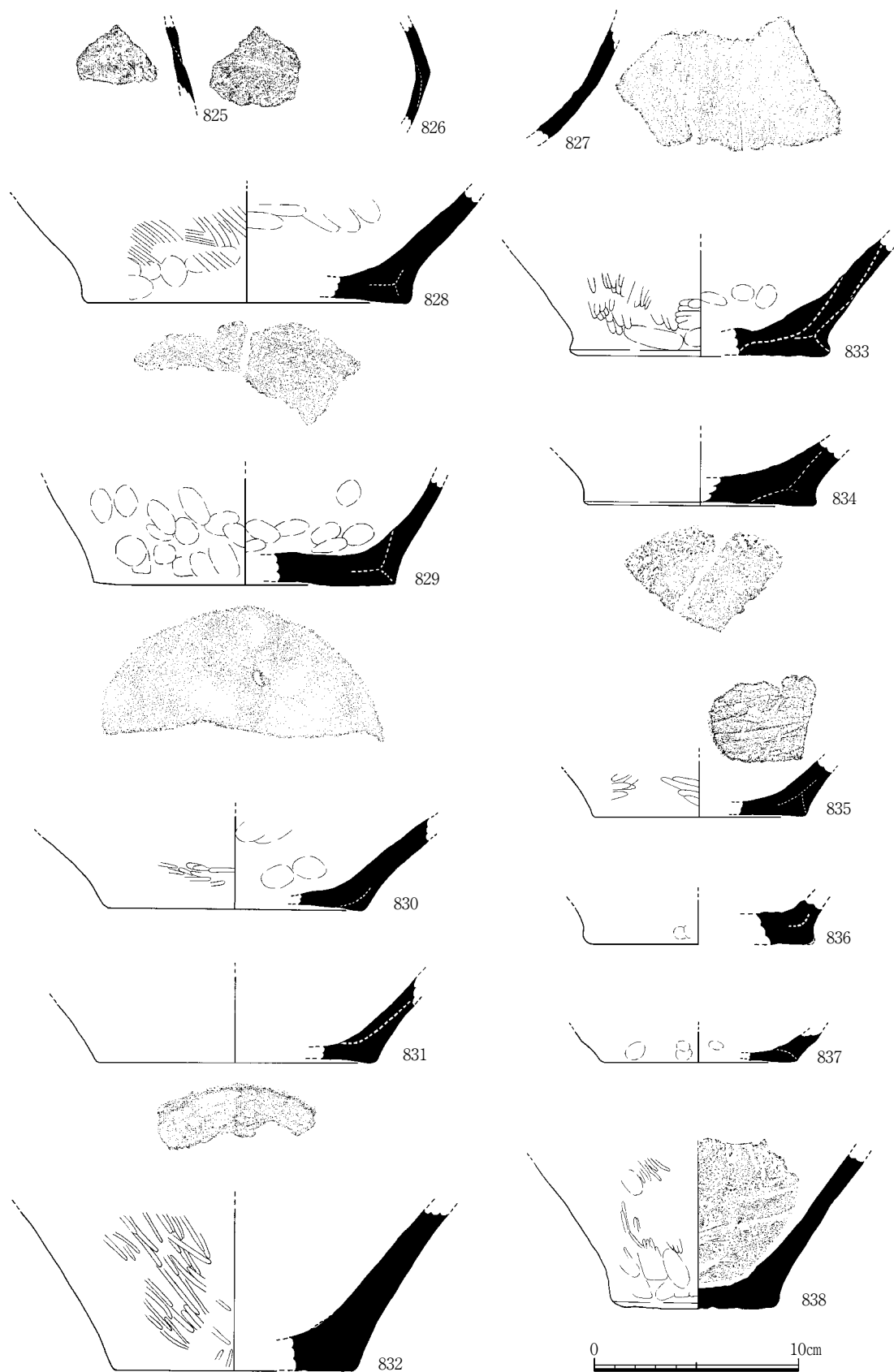


Fig.58 1C区Ⅳ層群出土土器44

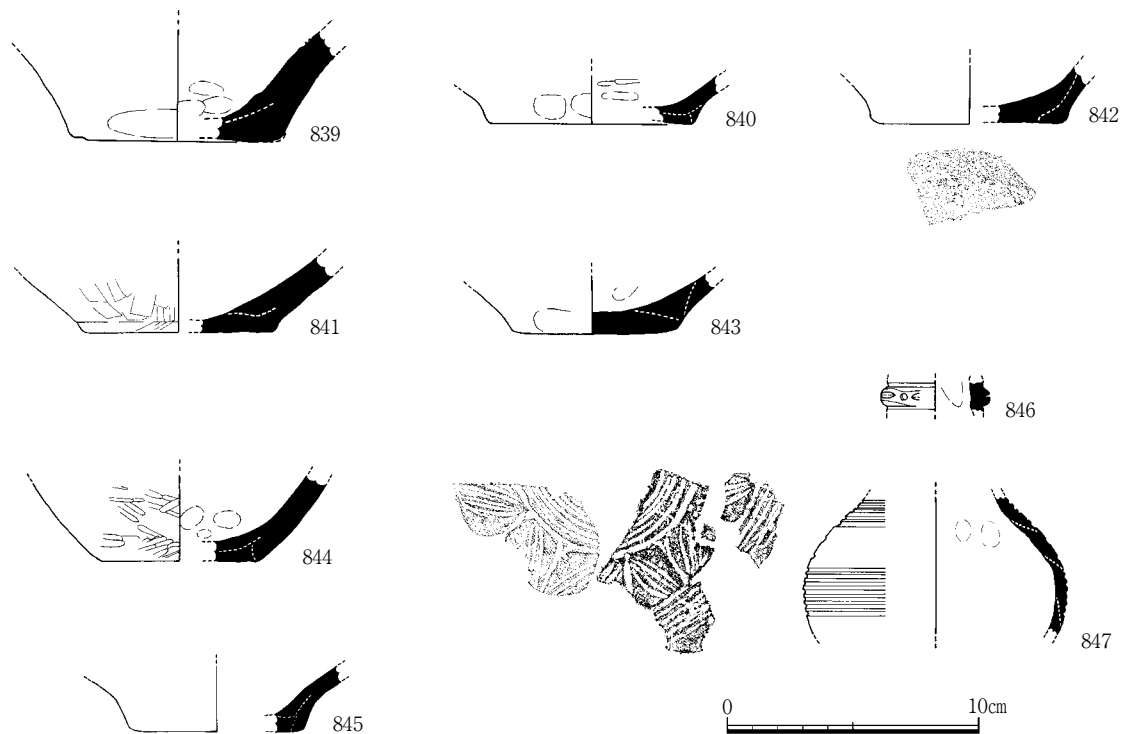


Fig.59 1C区Ⅳ層群出土土器45

漆で彩色を施し、隆線及び沈線内には黒漆を塗彩する。197は搬入品と考えられる。198は壺・胴部片と考えられるが、複雑な湾曲を呈しており、天地・左右ともに明らかでない。198は外面に重弧状の沈線4条を描き、重弧の内側に木葉文状の区画文を沈線により陽刻する。198は搬入品の可能性がある。199は底部付近に相当する胴部片と考えられる。199は上端部に擬口縁が露出し、外面には赤彩を施す。200・201は底部片である。

202～305は弥生土器・壺である。202は完形に復元することができた。202は外面の口縁～頸部境及び頸～胴部境に沈線各2条を描く。203～206は大形品の口縁部片である。203は内面に沈線2条、口縁端面に沈線2条を描く。204・205は同一個体の可能性があり、また壺以外の器形の可能性がある。207～217は口縁部片である。208は外面・口縁～頸部境に沈線2条を描く。213は口縁端面に沈線1条を描く。214・215は内外面に赤彩を施す。216は内面に赤色塗彩した可能性がある。217は外面に塗彩していた可能性がある。218・219は大形品の頸部片である。220～252は頸～胴部片である。222は頸～胴部境の接合部外面に沈線状の段1を形成する。223～227は赤彩を施す頸～胴部片である。223は上下逆の可能性もある。226は接合部外面に沈線状の段1を形成する。227は接合部外面に凹線状の段1を形成する。228・229・231は外面に平行沈線文を描く。230・235は外面に斜位の沈線文を描く。232～234は外面に縦～斜位の沈線文を描く。236～238は外面に斜位の沈線文ないし複線山形文を描く。239は外面に3条による重弧文を描く。240は外面に4条による重弧文及び縦位沈線1条を描く。241～243は外面に木葉文を描く。241は3条沈線による方形区画内に4葉単位で斜位の木葉文を配置し、その上位に突帯1条を貼付する。241は蓋の可能性もある。

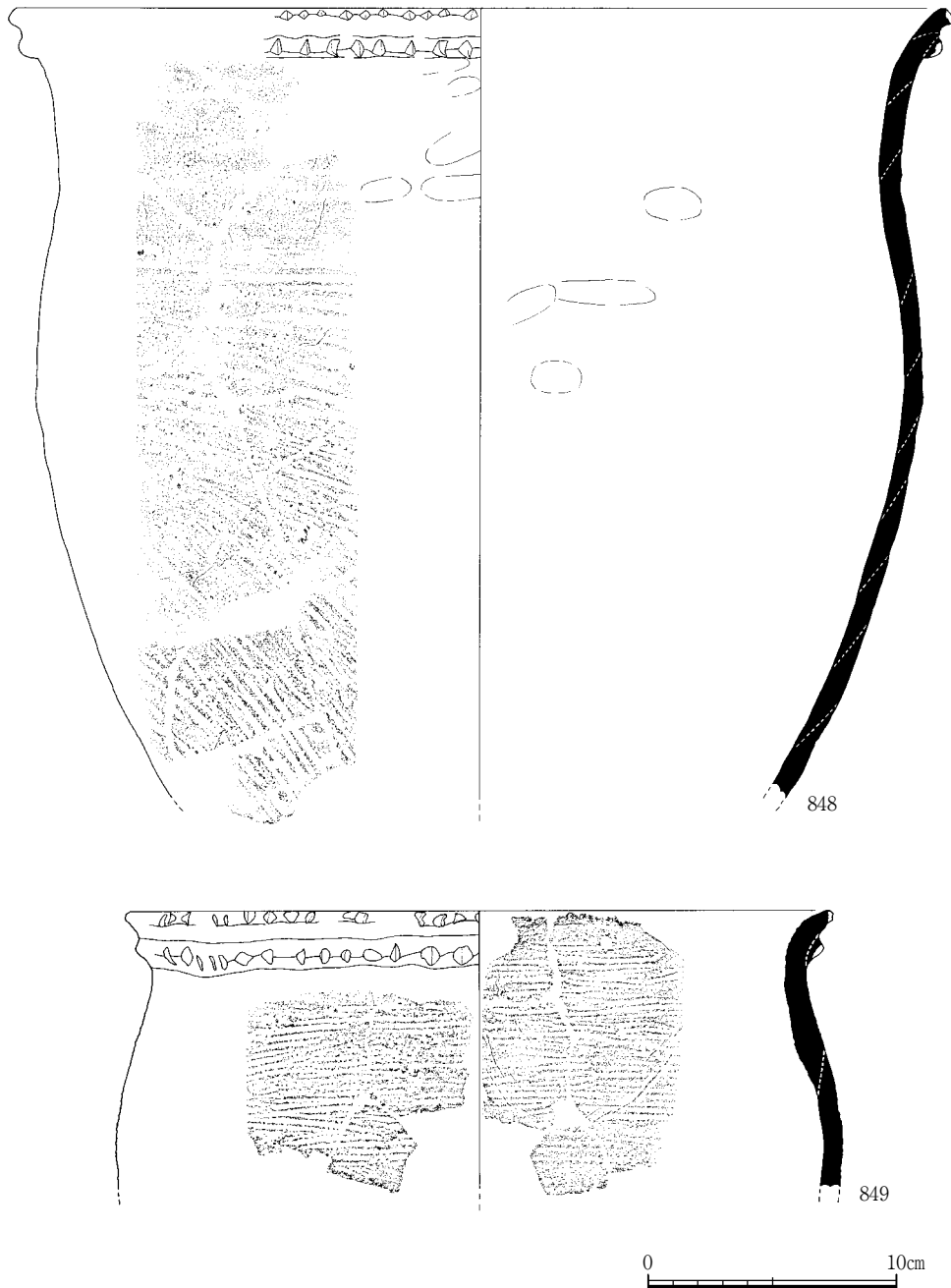


Fig.60 1C区Ⅳ層群出土土器46

244は外面に平行沈線3条及び各沈線間に刻目を施す。245は接合部外面を削出突帯状に形成し、突帯上に刻目を施す。246は外面に平行沈線4条を描き、刺突状の短沈線文を施す。247～251は外面に突帯を有する。247・248は外面に突帯1条を削り出したものと考えられる。251は接合部外面に段1を削り出したものと考えられる。249・250は外面に突帯1条を貼付する。252は接合部外面に段を形成し、刻目を施す。253～294は胴部片である。253～262は外面に平行沈線文を描く。257は傾き不明で、甕の可能性はある。261は甕の可能性はある。263～271は外面に斜位の沈線文を描く。272～275は外面に複線山形文を描く。273～275は同一個体の可能性はある。276は外面に格子

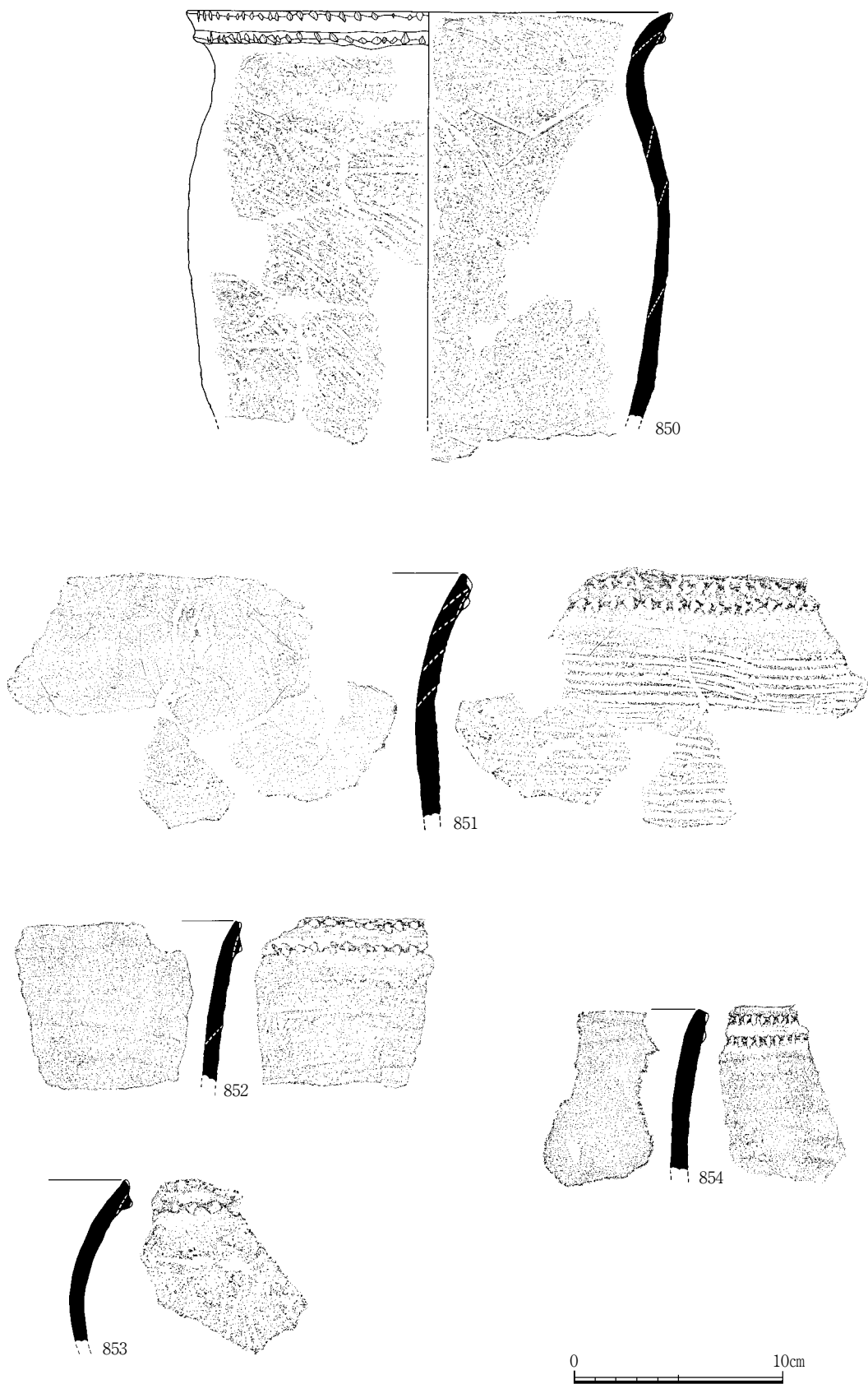


Fig.61 1C区IV層群出土土器47



Fig.62 1C区IV層群出土土器48

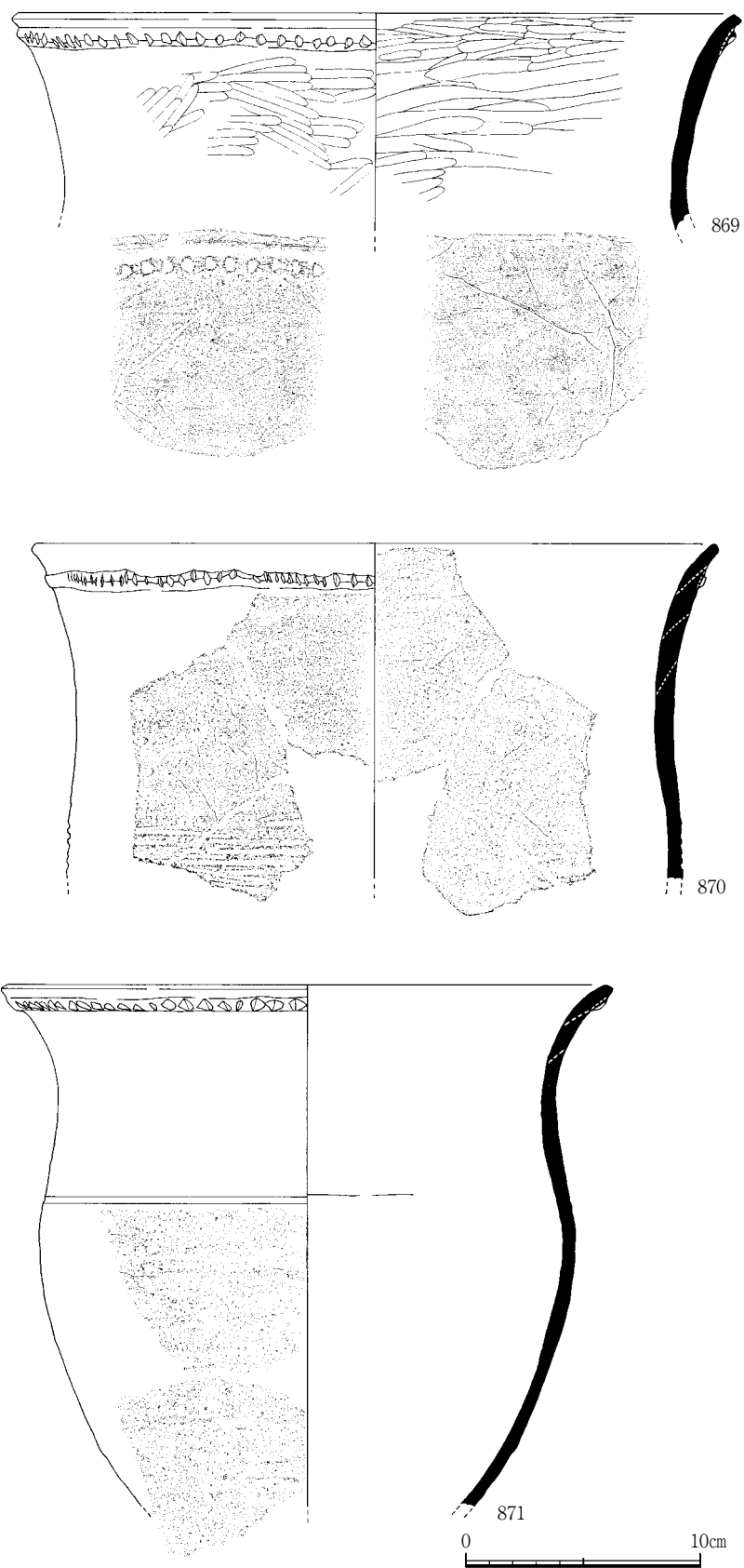


Fig.63 1C区Ⅳ層群出土土器49

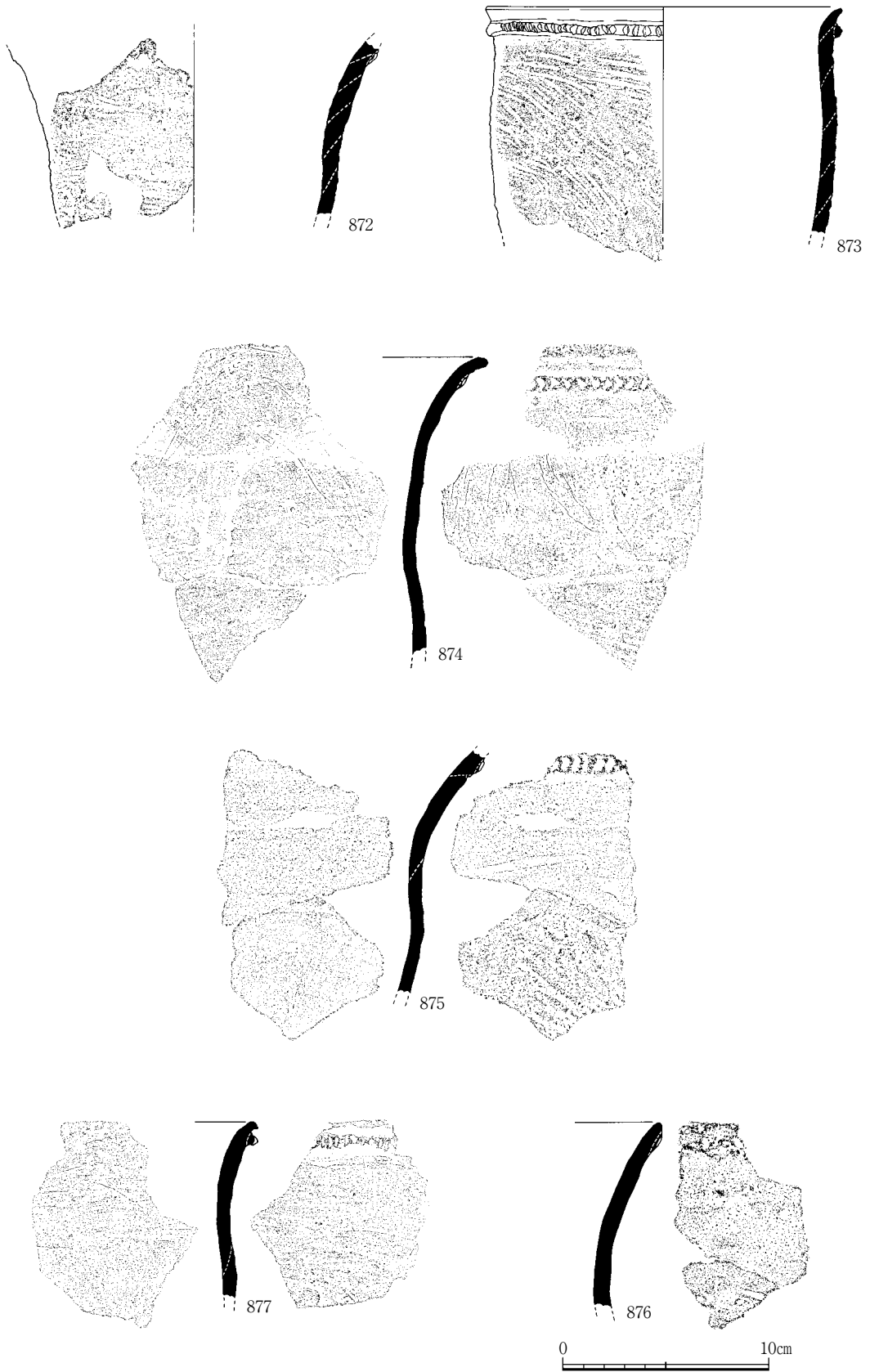


Fig.64 1C区Ⅳ層群出土土器50



Fig.65 1C区IV層群出土土器51



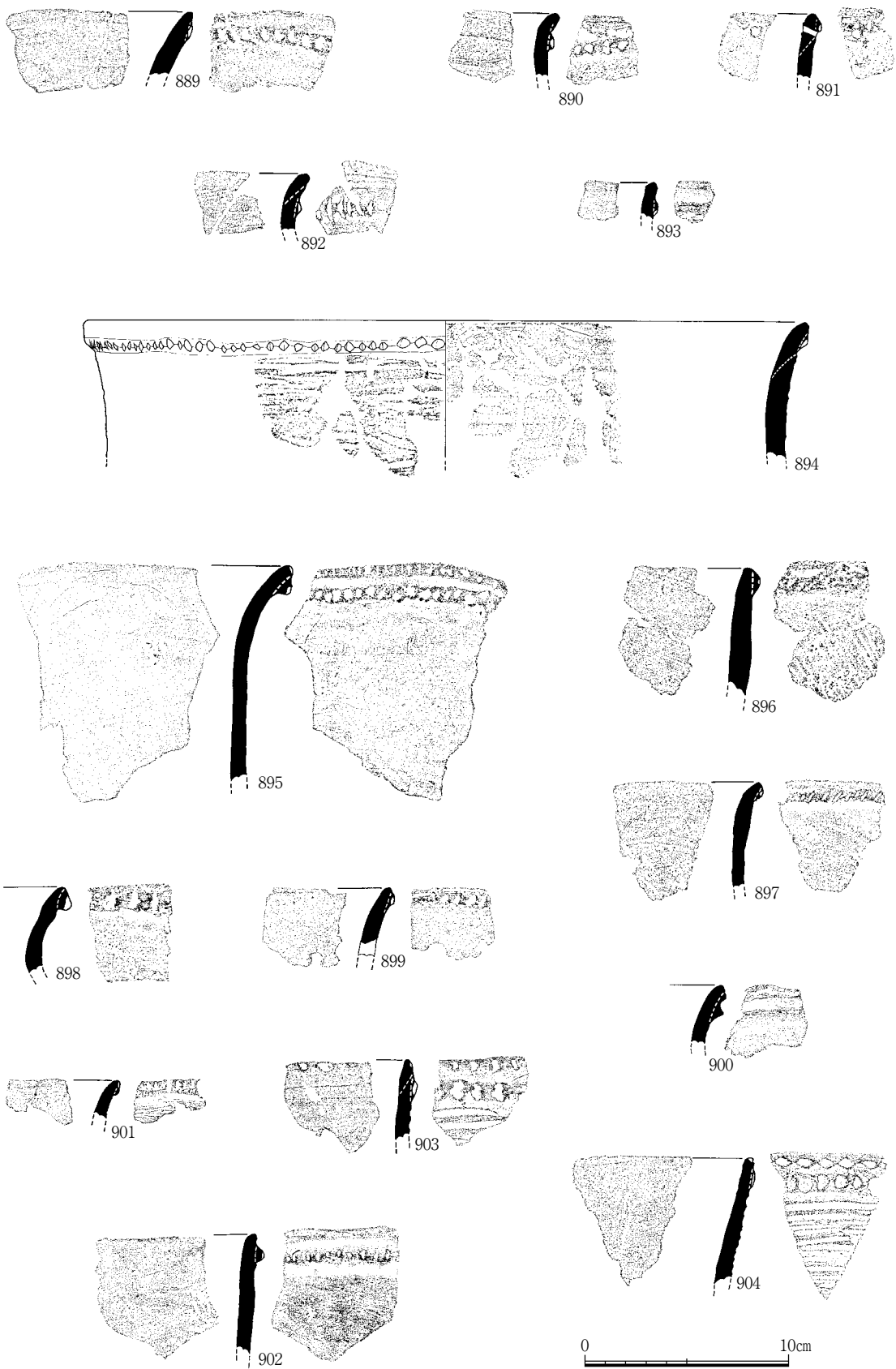


Fig.66 1C区IV層群出土土器52

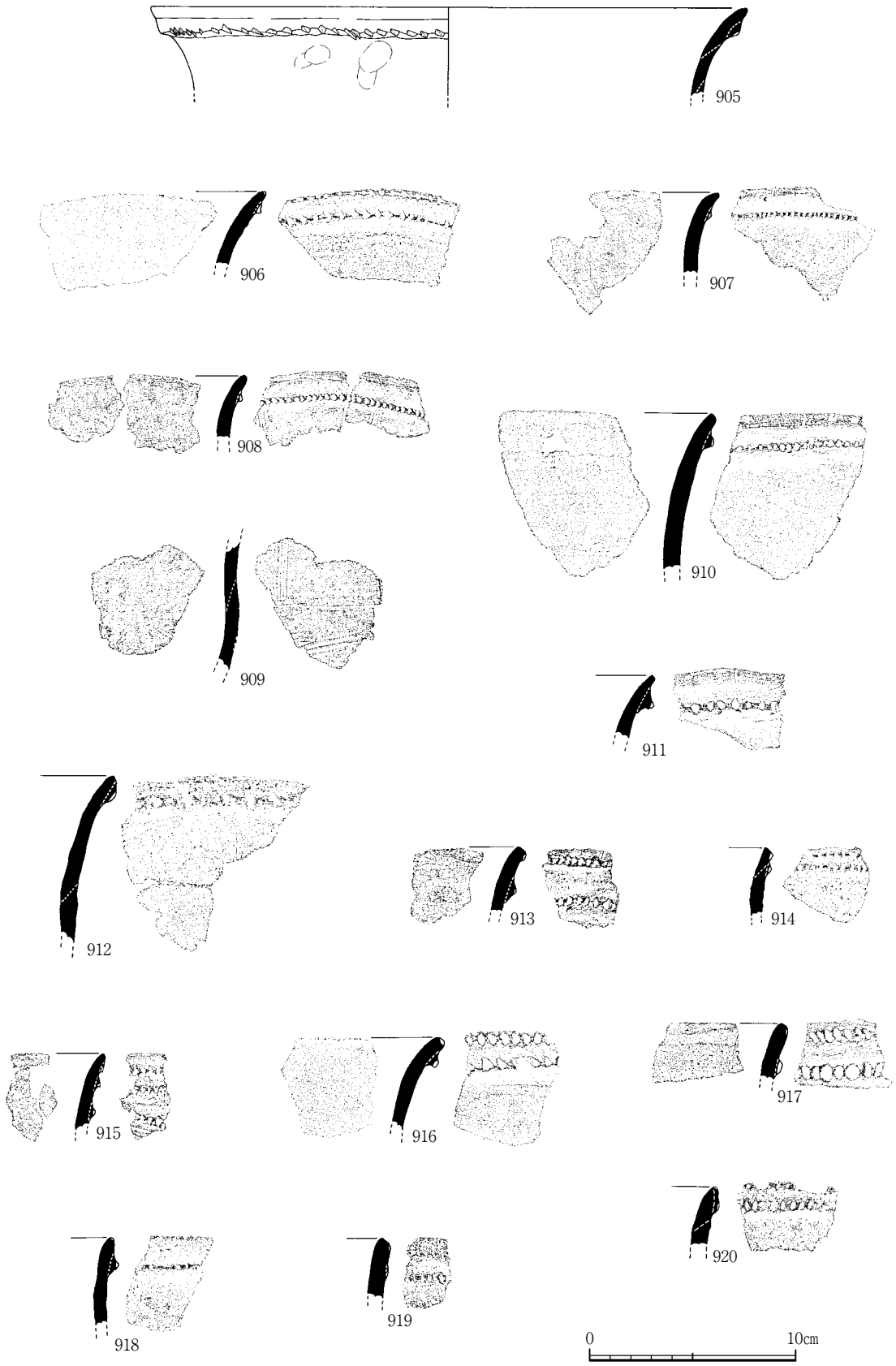


Fig.67 1C区IV層群出土土器53

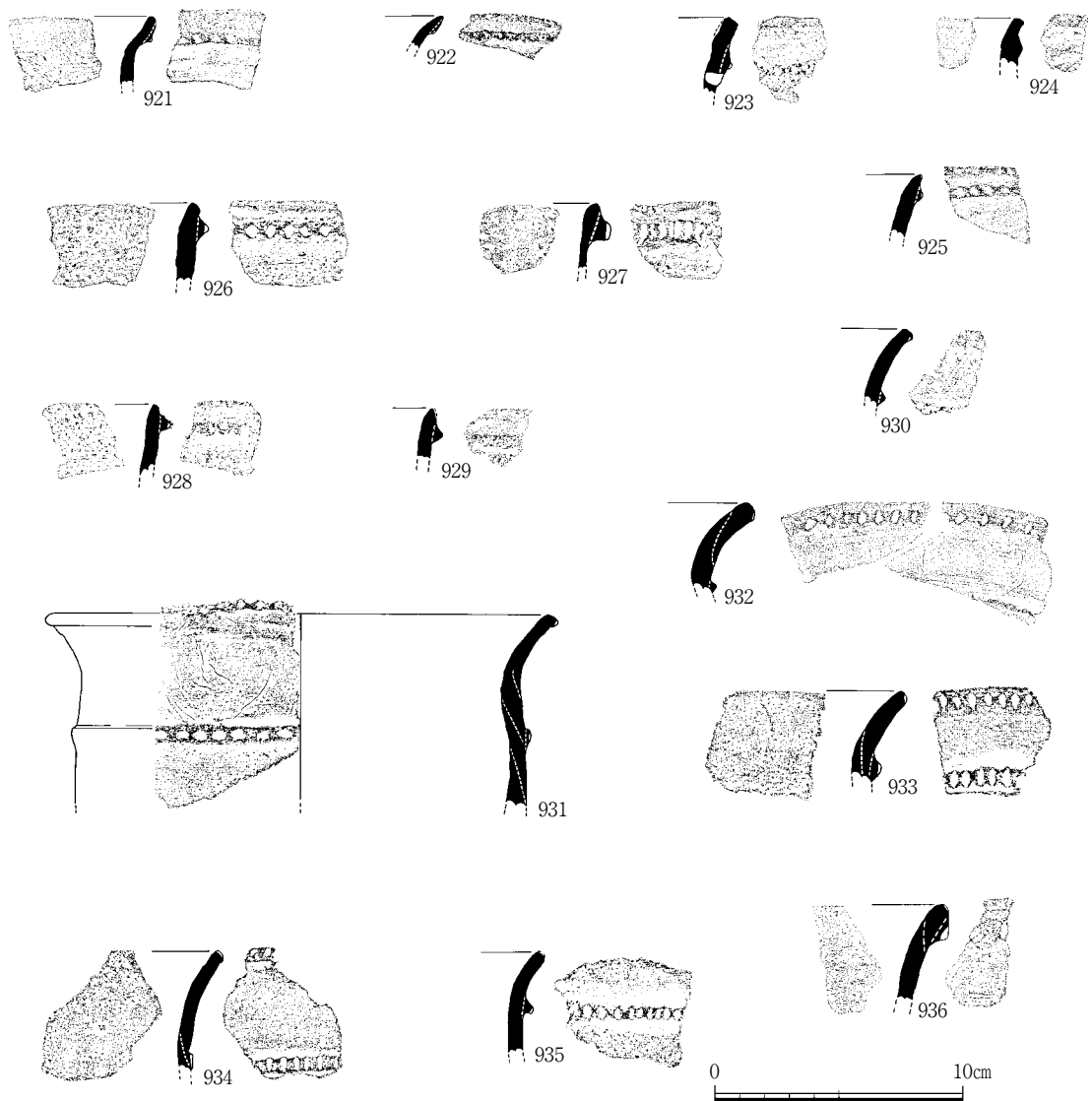
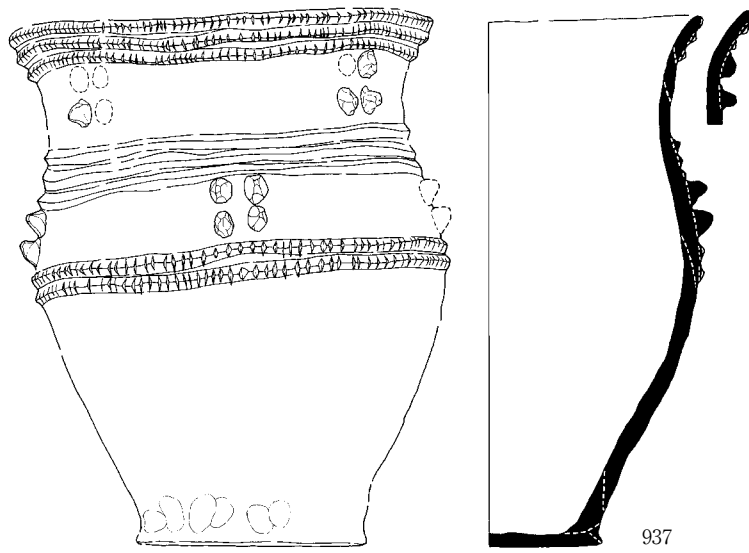


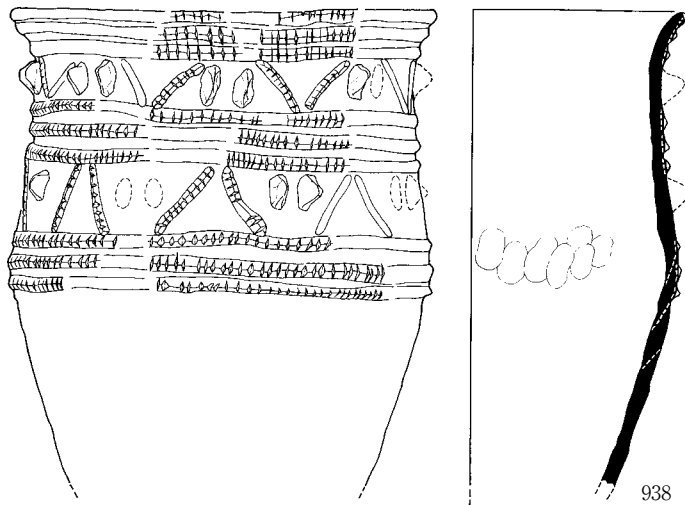
Fig.68 1C区Ⅳ層群出土土器54

状の沈線文を描く。277は外面に斜交する多条の沈線文を描く。278は外面に斜位の8条沈線による格子状文を描く。279は外面に格子～斜格子状の沈線文を描く。279は傾き不明である。280は接合部外面に突帯2条を削り出した可能性がある。281は外面に低平な突帯1条を貼付する。282は外面に「C」字状文を貼付し、その外周に沈線を巡らす。283は外面に擬口縁が露出しており、貼付文を施したものとみられる。283は282と同一個体の可能性がある。284は内面に沈線文?を描く。284は傾き不明で、上下逆の可能性もある。285～293は外面に弧状沈線文ないし重弧文を描く。294は外面に木葉文を描く。295～304は底部片である。295は大形品である。305は小形品で、ほぼ完形の状態で出土した。305は外面に重弧文・複線山形文を描く。

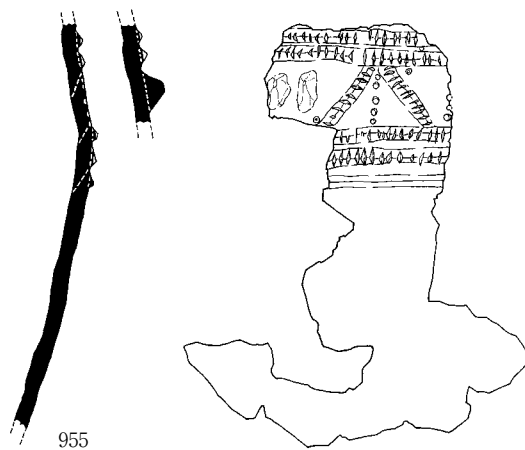
306～397は深鉢～甕形土器である。306～336・338～363は口縁～胴部片である。306～329は突帯文土器である。306は口縁部外面に刻目突帯2条を貼付する。307・308・310～314は口縁部外端に刻目を施す。309は口縁端面に刻目を施す。312・314・315は外面に条痕調整を施す。314の刻目



937



938



955

0 10cm

Fig.69 1C区IV層群出土土器55

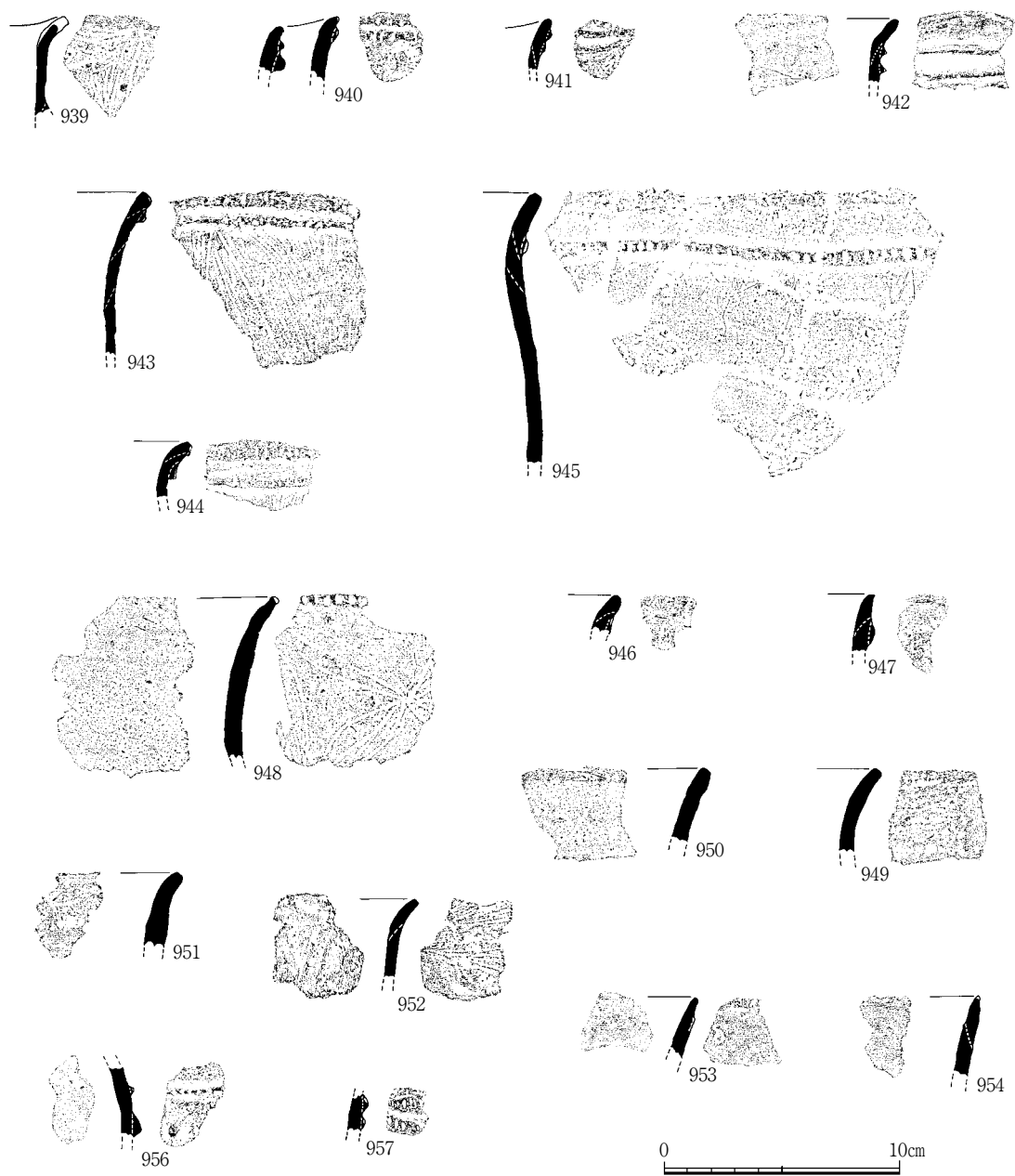


Fig.70 1C区Ⅳ層群出土土器56

は指頭押圧によるものと考えられる。315は口縁部と上胴部に刻目突帯1条ずつを貼付する。319は貼付突帯上に円形刺突文を施す。322は貼付突帯上に竹管刺突文を施す。323・324は特殊胎土土器である。323は外面に竹管刺突文2段を施す。324の端部は擬口縁の可能性ある。325～329は弥生土器化した突帯文土器と考えられる。325・328は口縁端面に刻目を施す。329は口縁端部に向かって内弯する器形を呈する。330～336・339～342は口縁端部に向かって外弯する。330～332・334・339には条痕調整が認められる。330・333は口縁部外端に刻目を施す。331は口縁端面に刻目を施す。334は特殊胎土土器である。335は外面に凹線状1を施す。337は完形に復元できた。337

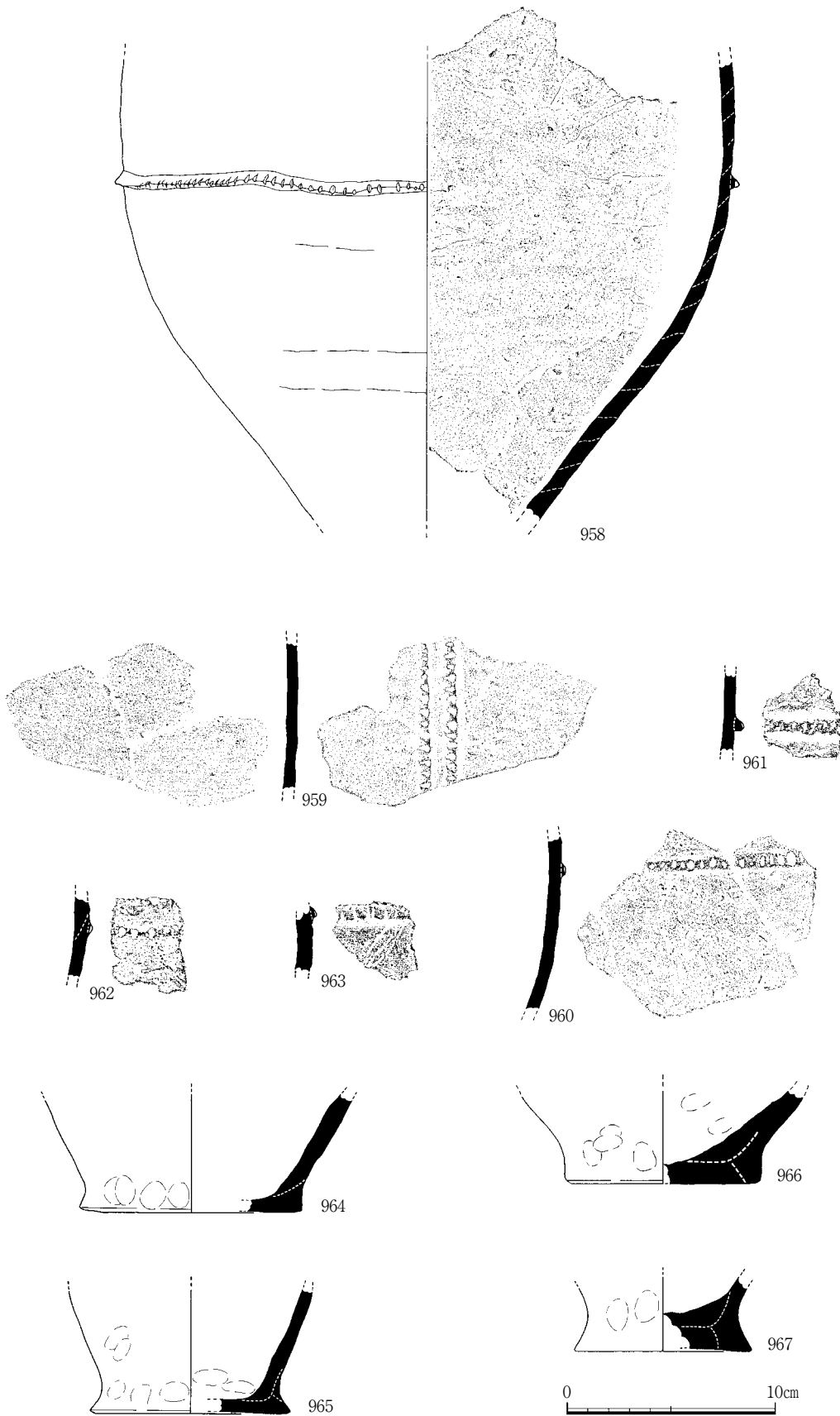


Fig.71 1C区IV層群出土土器57

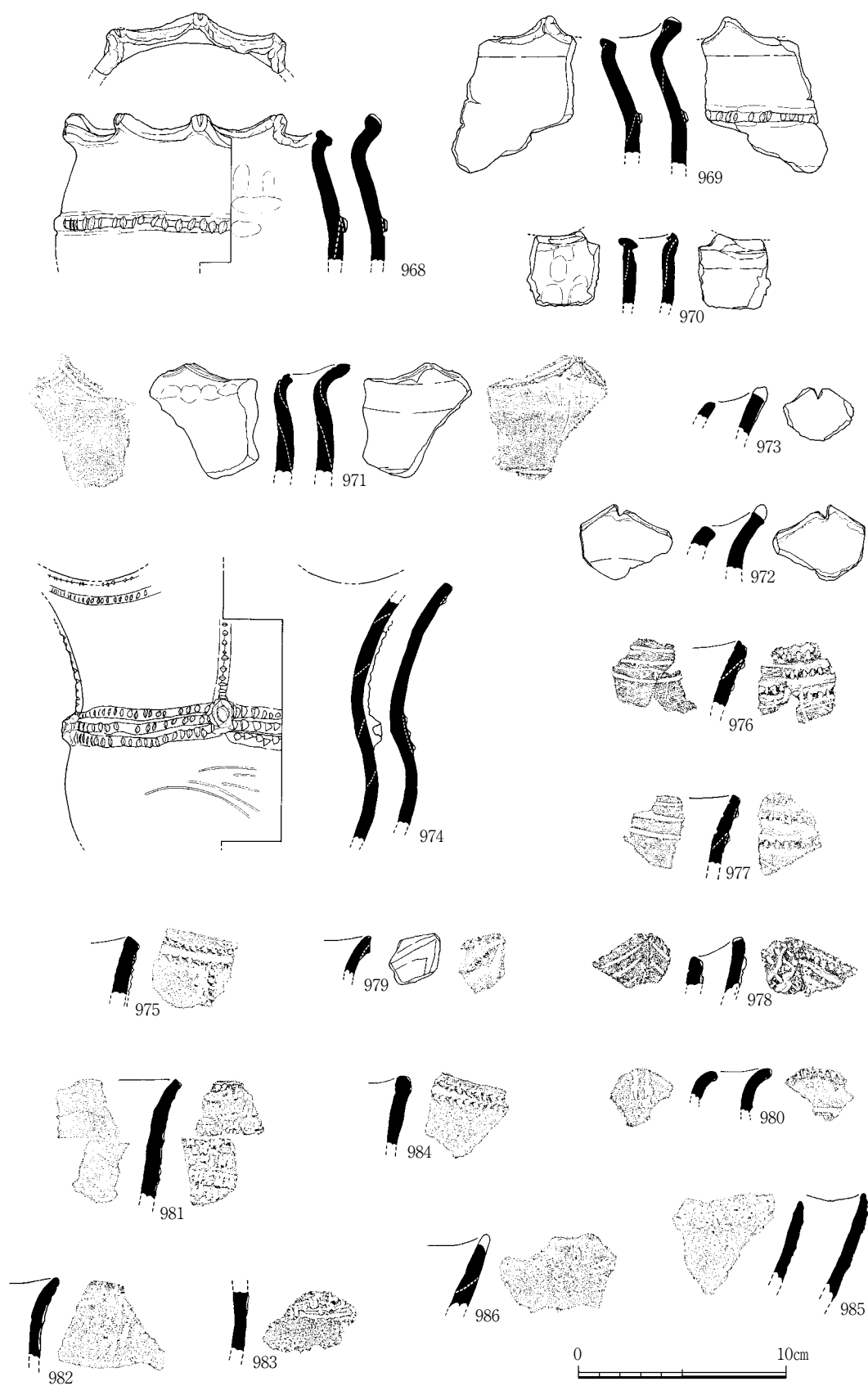


Fig.72 1C区IV層群出土土器58

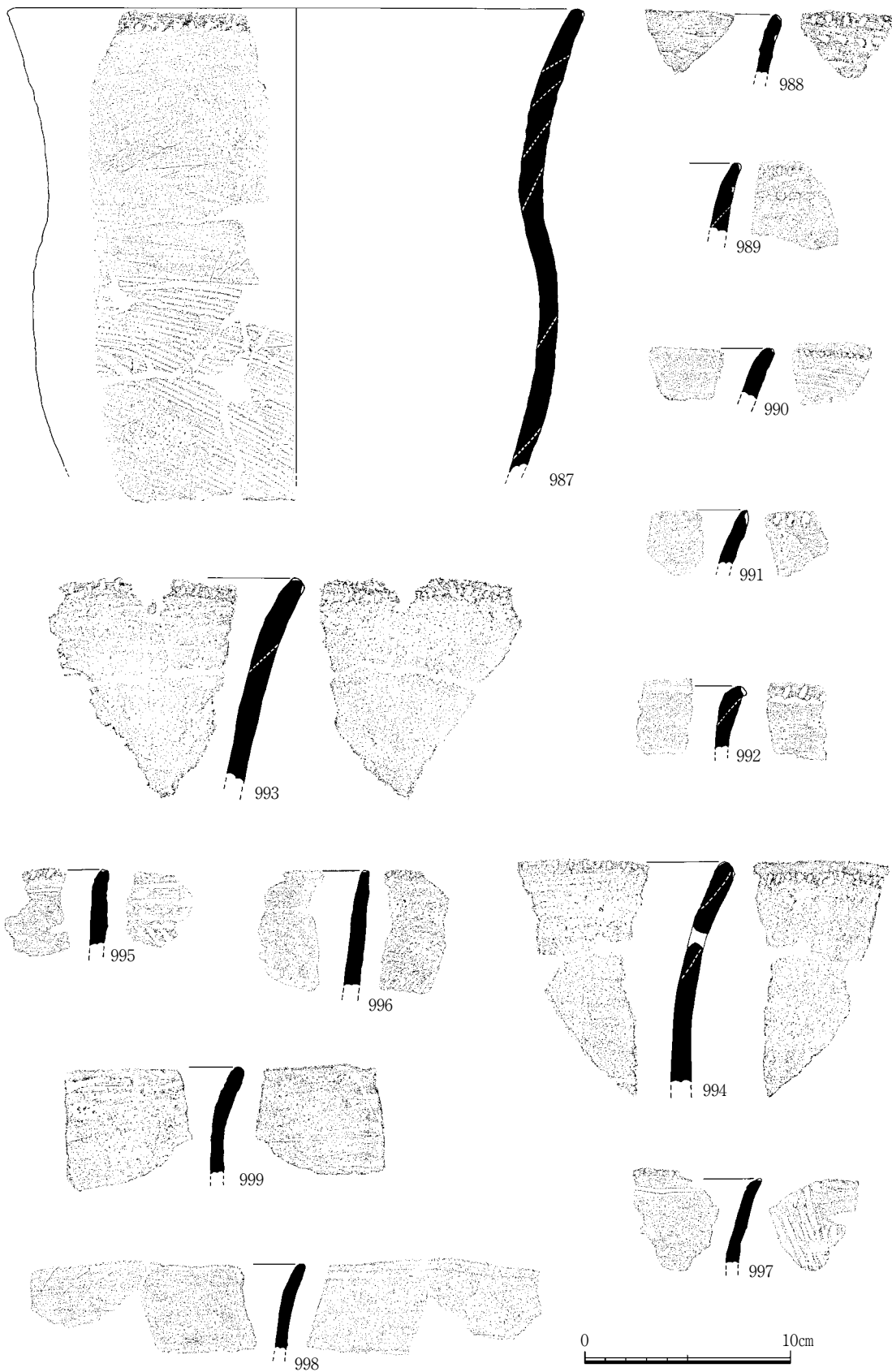


Fig.73 1C区IV層群出土土器59



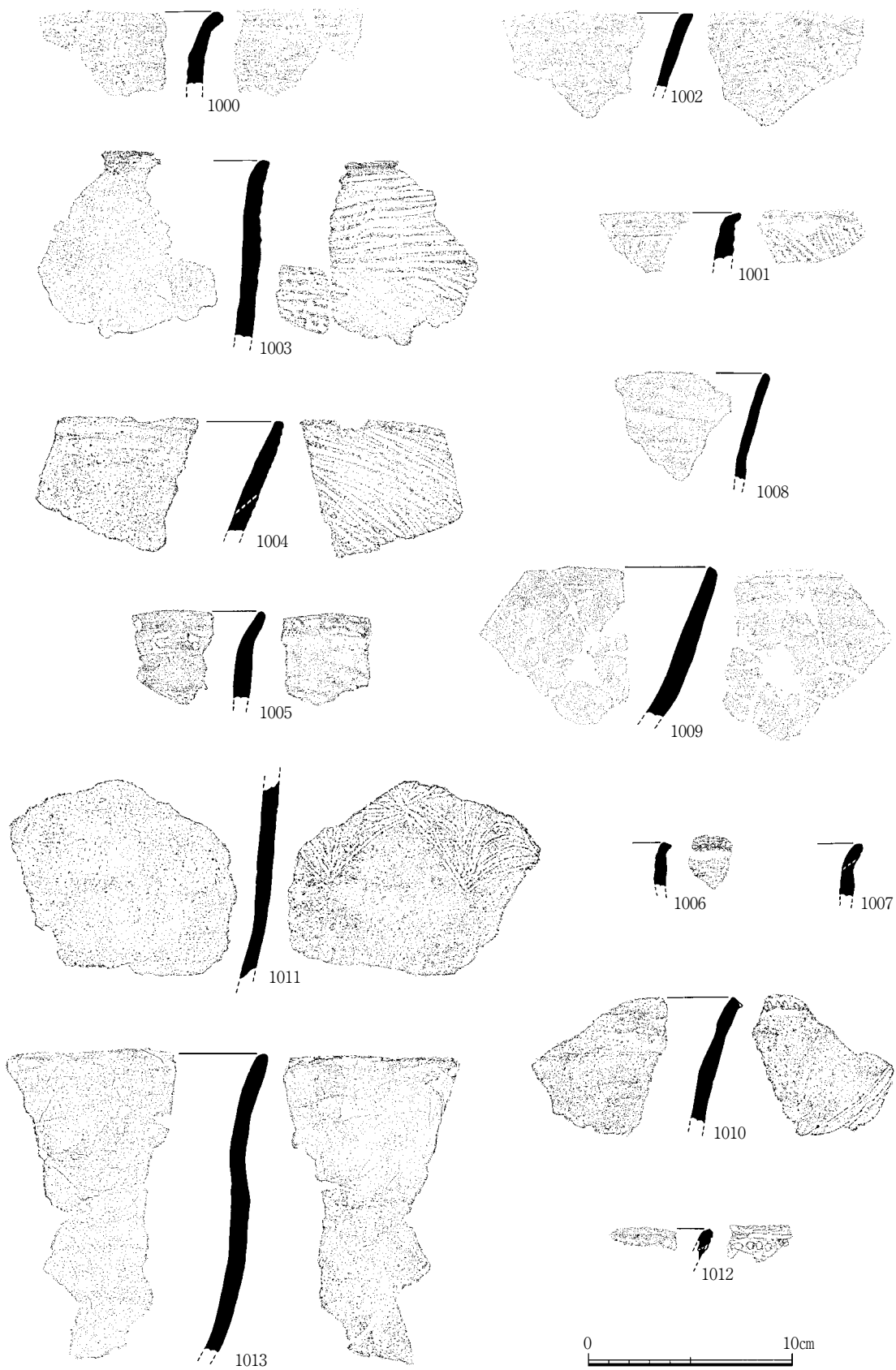


Fig.74 1C区Ⅳ層群出土土器60

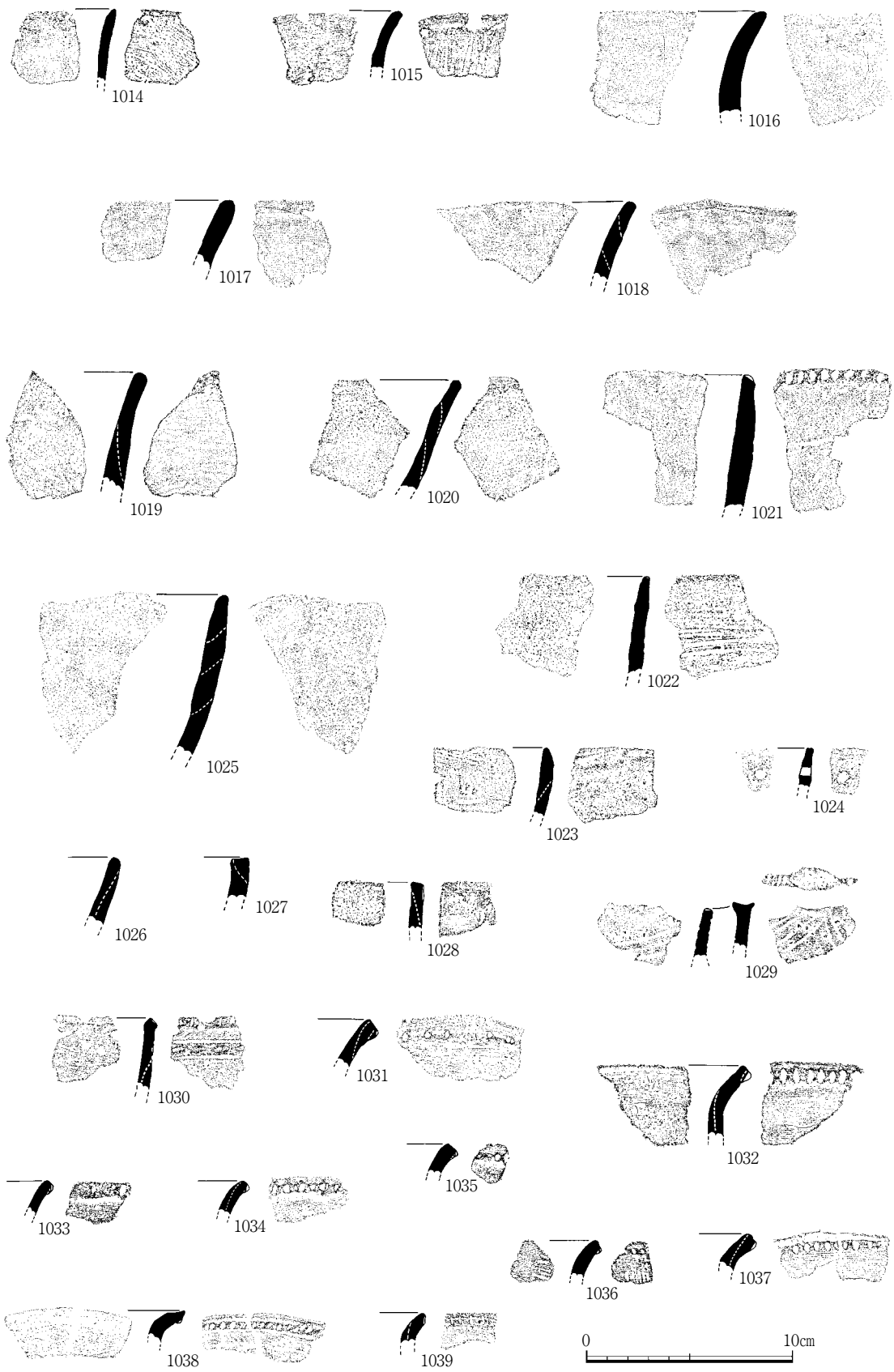


Fig.75 1C区IV層群出土土器61

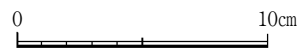
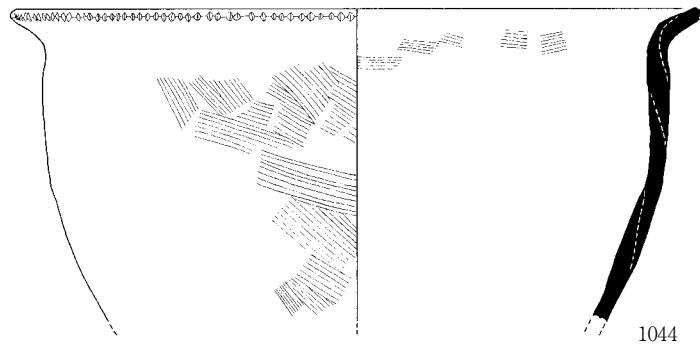
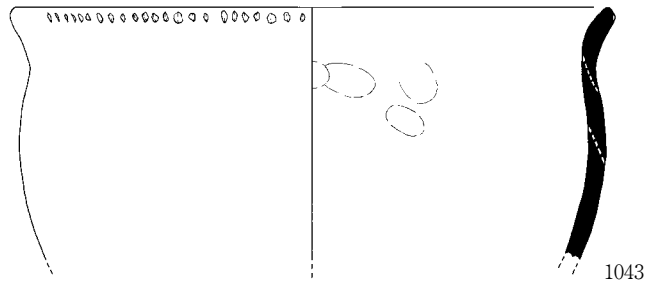
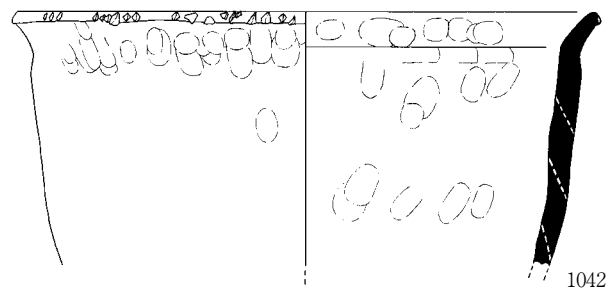
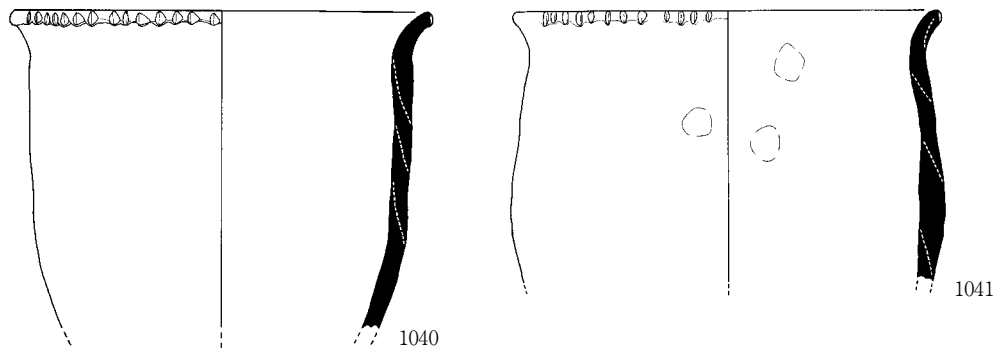


Fig.76 1C区IV層群出土土器62

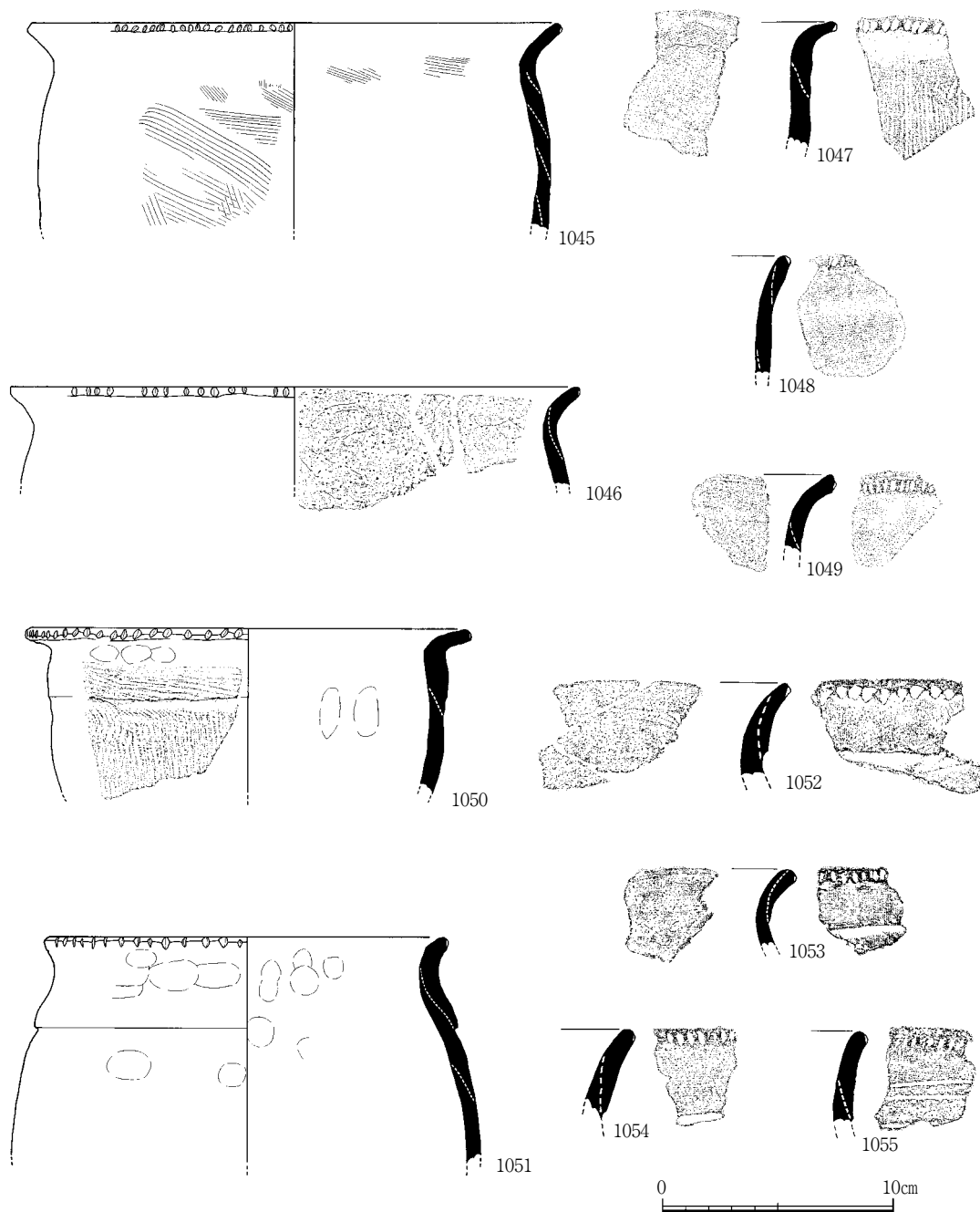


Fig.77 1C区Ⅳ層群出土土器63

は丸底で、胴部は内弯して立ち上がり、口縁部は外傾する。338は口縁部に向かって直線的に立ち上がる。343～347は波状口縁である。343は波頂部端面に刻目を施し、波頂部間の端面は沈線状の凹面を呈する。343は大洞A式土器・壺の口縁部の形態を模倣したものと考えられる。343は968と同一個体の可能性がある。344は口縁部外端に刻目を施す。345は外面に突帯2条を貼付し、円形の貼付文1を施す。346は外面に刻目突帯2条を貼付する。347は口縁部外端に刻目を施し、外面には3条単位の短沈線状の刺突文を施す。348～363は如意形口縁状を呈する。348・349・351～

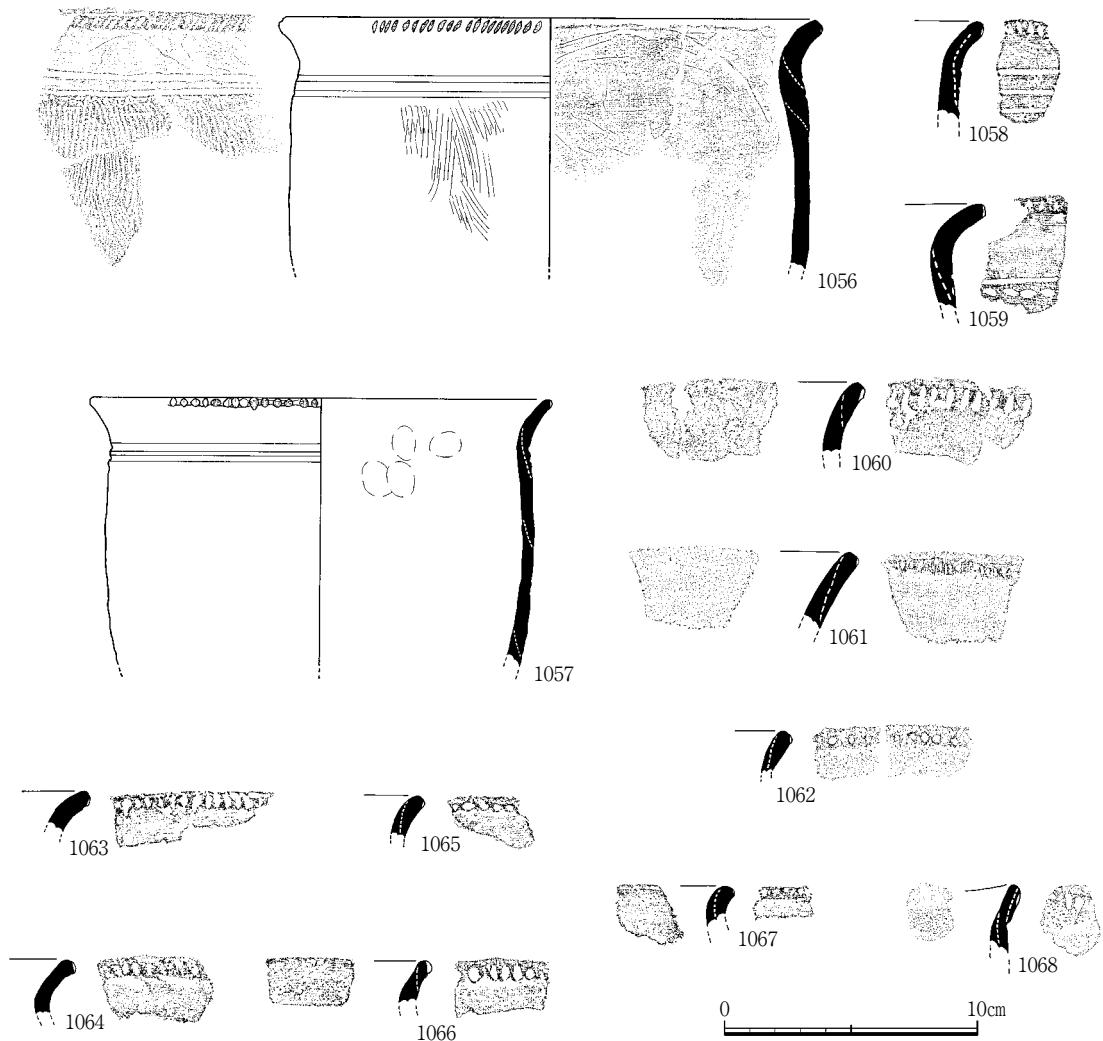


Fig.78 1C区Ⅳ層群出土土器64

353・356～358・360～363は弥生土器・甕である。348・349は口縁部外端に刻目を施す。348は外面に沈線1条を描く。349は外面に沈線3条を描く。350は口縁端面外端側に刻目を施す。351～353は口縁端面に刻目を施す。351は外面に沈線2条を描く。353は外面下端に沈線状1が認められる。354は内傾接合である。358は口縁端面に赤彩を施す。359は特殊胎土土器で、外面に竹管刺突文を施す。360～363は上胴部ないし口縁～頸部の接合部外面に段1を形成する。360・361は口縁部外端に刻目を施す。362は段部外面に沈線1条を描く。364～390は頸～胴部片である。364は外面に沈線2条を描く。365・366は外面に半截竹管による複線文を描く。365・366の複線は条痕原体の可能性もある。367は特殊胎土土器である。367は外面に沈線1条及び多条の縦～斜位沈線を描く。368は外面に条痕調整を施す。369～380は突帯文土器である。371は外面に刻目突帯2条を貼付する。372～374・377～380は弥生土器化した突帯文土器である。372は外面・突帯上位に斜位沈線3条を描く。373・374は外面に刻目突帯2条を貼付する。375は特殊胎土土器である。378の刻目には板目痕が認められる。380は上下逆の可能性もある。381～384・387～390は弥生土器・甕

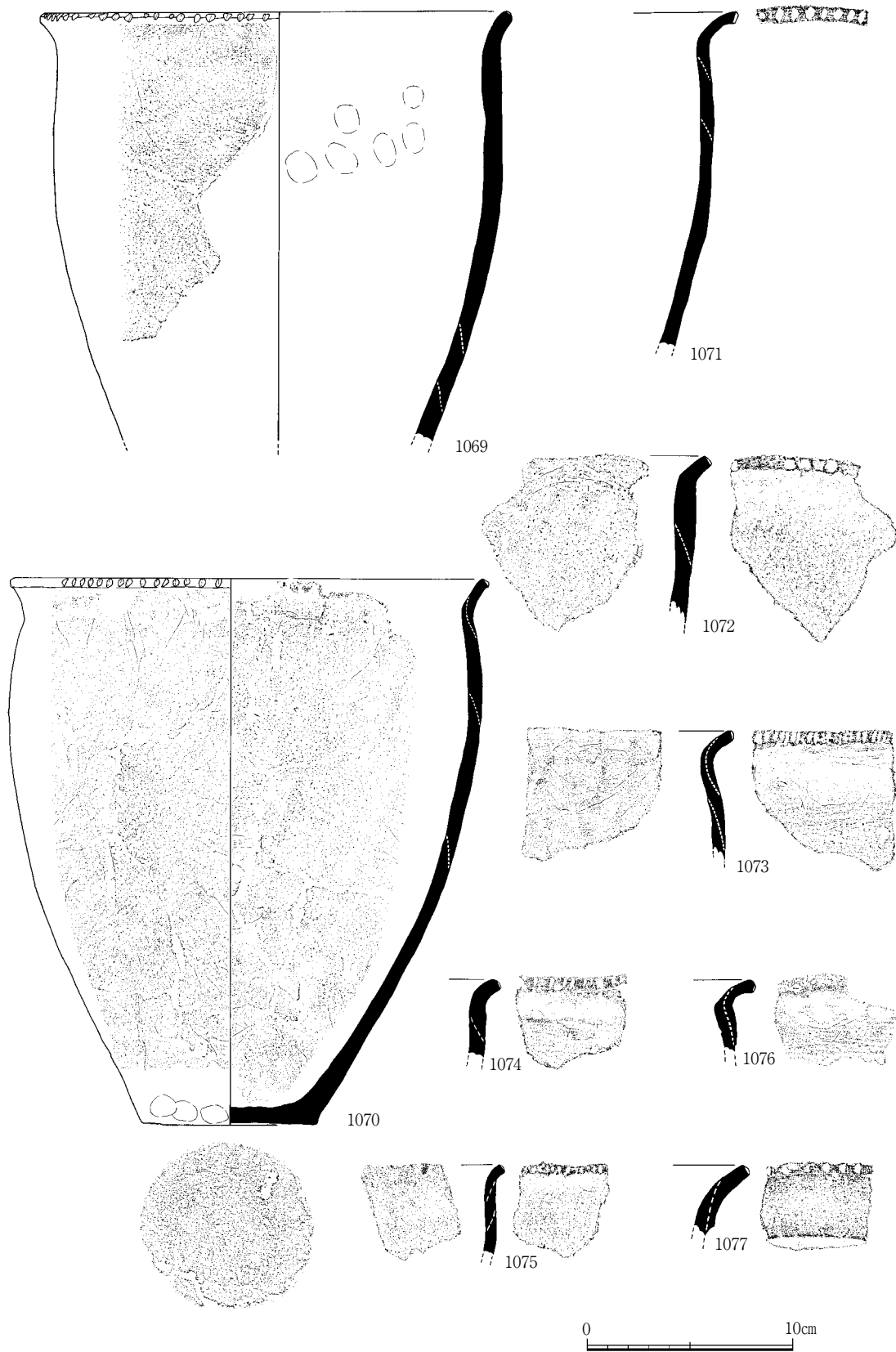


Fig.79 1C区IV層群出土土器65

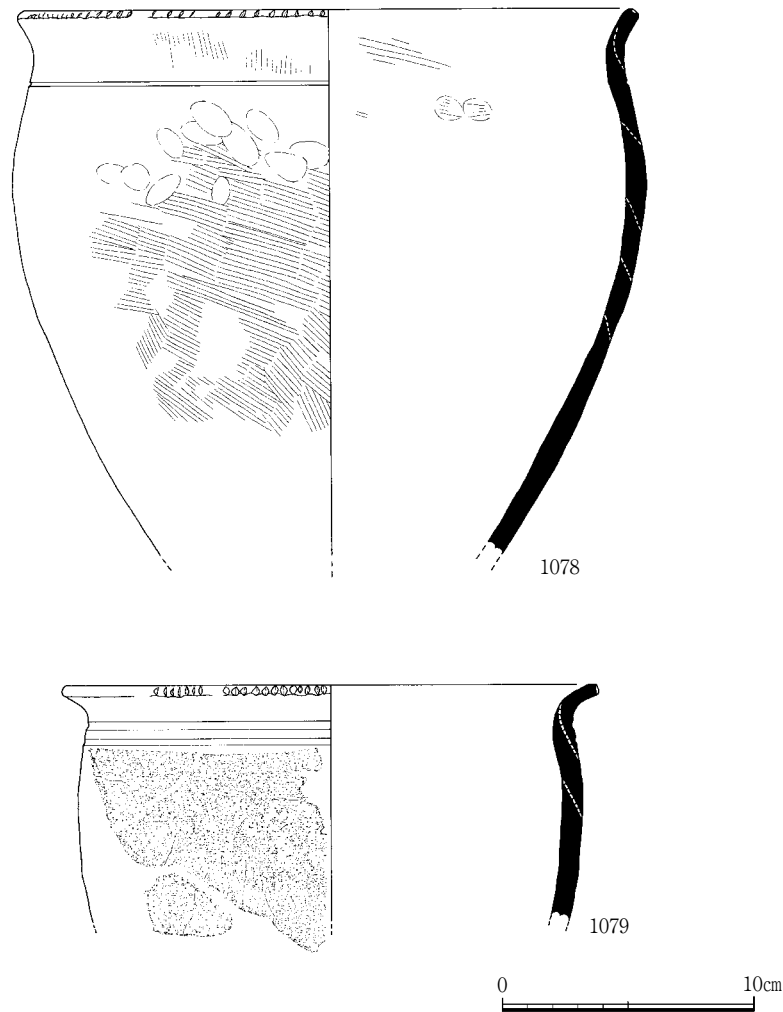


Fig.80 1C区IV層群出土土器66

である。381は外面に低平な隆帯1条を貼付する。382～384は接合部外面に段を形成し、刻目を施す。385は外面に沈線2条を描く。386は外面に斜位の沈線文を描く。387は外面に平行沈線2～3条及び斜位沈線3条を描く。388は外面に沈線2条を描き、沈線間に刺突文を施す。389は外面に沈線2～3条を描き、沈線間に刺突文1段を施す。389は壺の可能性もある。390は外面に沈線2条・刺突文2段を施す。391～397は底部片である。392・394は高台状を呈する。393は底部外面に環状に粘土を貼付し、高台状に成形する。396は底面に粒状の圧痕が認められる。397は弥生土器・甕と考えられる。

398～403・424は縄文土器・鉢である。398～403は口縁部片である。398は波状口縁で、内面に沈線1条を描く。399は口縁端部及び内面に赤色塗彩した可能性がある。400は内外面に赤彩を施す。401は外面に山形文状の沈線文を描く。424は胴部片で、外面に沈線2条を描く。

404～423・425～428は縄文土器・浅鉢である。404～417は口縁～胴部片である。404・410は内面に暗文状のミガキ調整を施す。405は口縁部外端に刺突2を施し、刺突内を赤色塗彩する。407

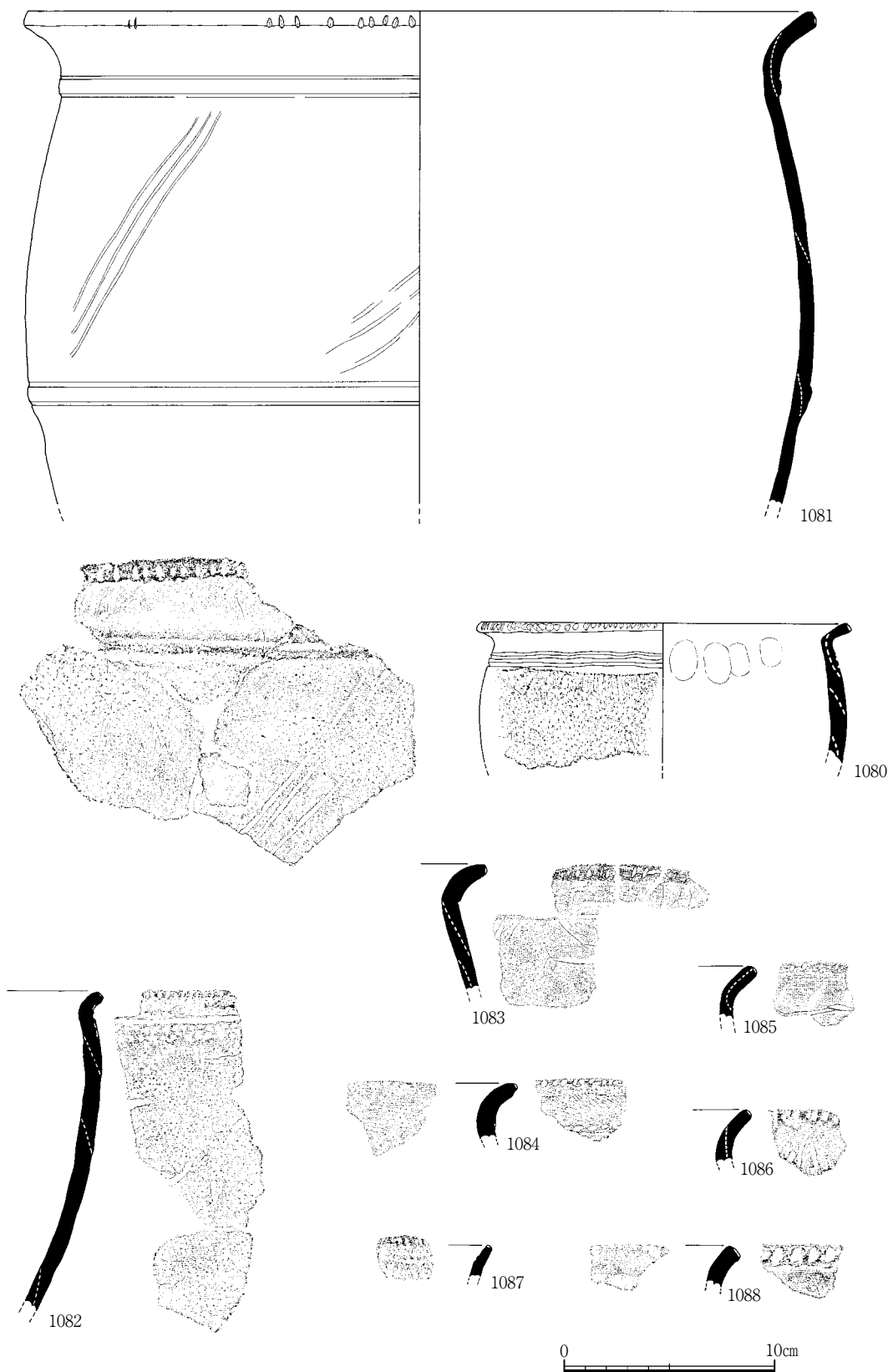


Fig.81 1C区IV層群出土土器67



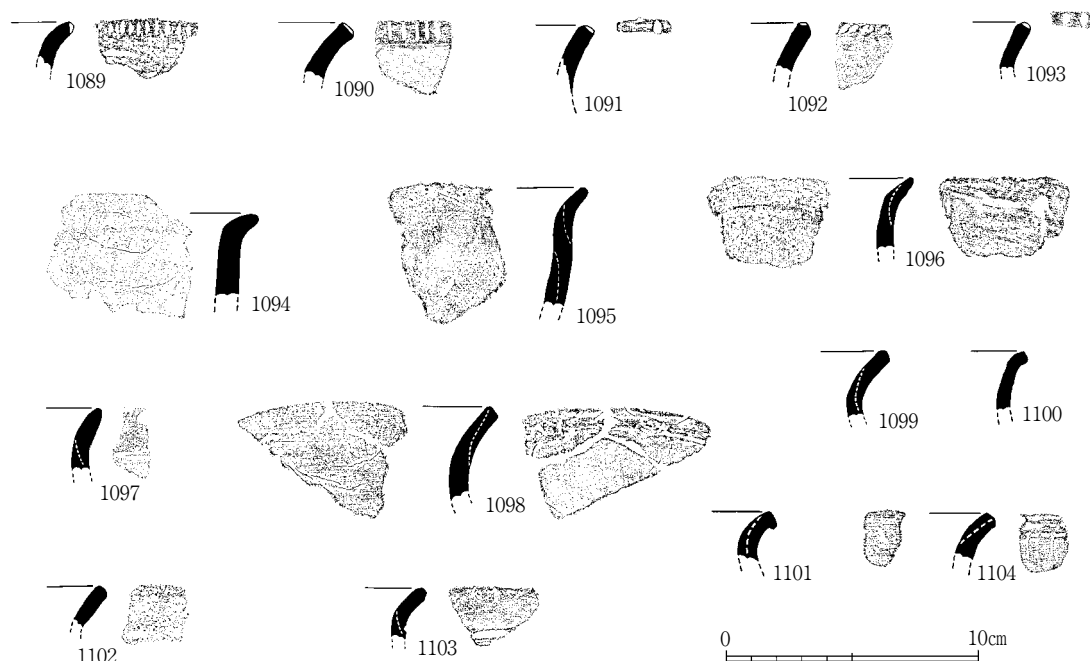


Fig.82 1C区IV層群出土土器68

は口縁部内面に沈線1条を描く。409は内面に沈線2条を描き、波状口縁・方形浅鉢の可能性はある。413は口縁部内面に沈線2条を描く。416・417は有段の浅鉢である。416は接合部外面に沈線状の段を形成し、内面に赤色塗彩した可能性がある。417は段部外面に沈線1条を描く。418～423・425は胴部片である。419～422は外面に沈線1条を描く。425は外面に沈線5条を描く。426～428は底部片である。427は下端部に擬口縁が露出するものとみられ、焼成時に分離した可能性がある。

429～433は弥生土器・鉢である。429はほぼ完形に復元できた。429は波状口縁で、波頂部は1個の可能性はある。429は波頂部端面に刻目1を施す。429は大洞A式土器・壺の口縁部形態を模倣したものと考えられる。430・431は口縁部片である。432・433は底部片である。433は特殊胎土土器である。

434は弥生土器・高杯・胴部片である。434は外面に突帯1条を貼付し、突帯に赤彩を施す。

(7)IV A層出土土器 (Fig.43・44)

縄文土器・壺10点、弥生土器・壺3点、深鉢～甕形土器15点、縄文土器・鉢2点、縄文土器・浅鉢7点を図示した。

435～444は縄文土器・壺である。435～437は口縁部片である。435は外面に沈線1条を描く。436は口縁端部が凹面を呈する。438～442は頸～胴部片である。439は外面に沈線2条を描く。440は、外面に沈線による区画文を描く。440は短頸壺の可能性はある。441・442は外面に沈線1条を描く。443・444は胴部片である。443は外面に沈線2条を描く。444は上端部に擬口縁が露出し、外面に赤色塗彩した可能性がある。

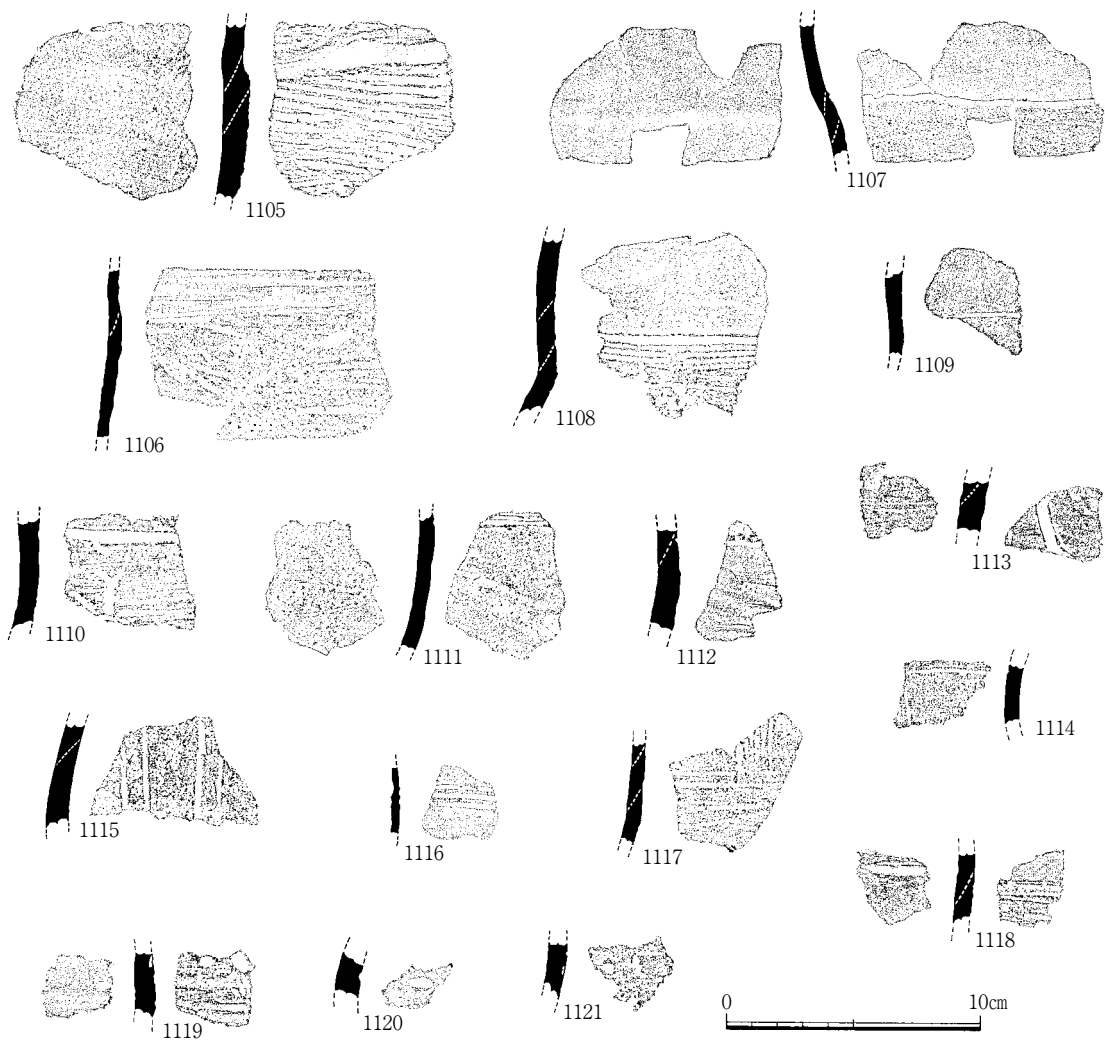


Fig.83 1C区Ⅳ層群出土土器69

445～447は弥生土器・壺である。445は口縁部片である。446は頸～胴部片で、外面に沈線状の段1を形成する。447は胴部片で、外面に平行沈線2条・斜位沈線3条を描く。

448～462は深鉢～甕形土器である。448～460は口縁部片である。448～456・461・462は突帯文土器である。448・449は刻目突帯2条を貼付する。450は外傾する端面に刻目を施す。451は口縁端面～外端に刺突文を施す。452は外面に条痕調整を施す。453は突帯1条を貼付し、突帯上に刺突を加えたと思われる。454は内面に沈線1条を描く。455は弥生土器化した突帯文土器と考えられる。457は波状口縁の可能性ある。459は円形の焼成前穿孔1を有する。461・462は胴部片である。462は外面に乳状突起1・突帯1条を貼付する。462は特殊胎土土器である。

463・464は縄文土器・鉢・口縁部片である。464は口縁部内面に沈線1条を描く。464は波状口縁の可能性ある。

465～471は縄文土器・浅鉢である。465～470は口縁部片である。468は口縁部内面に沈線1条を描く。470は波状口縁で、方形浅鉢の可能性ある。471は胴部片で、外面に沈線1条を描く。

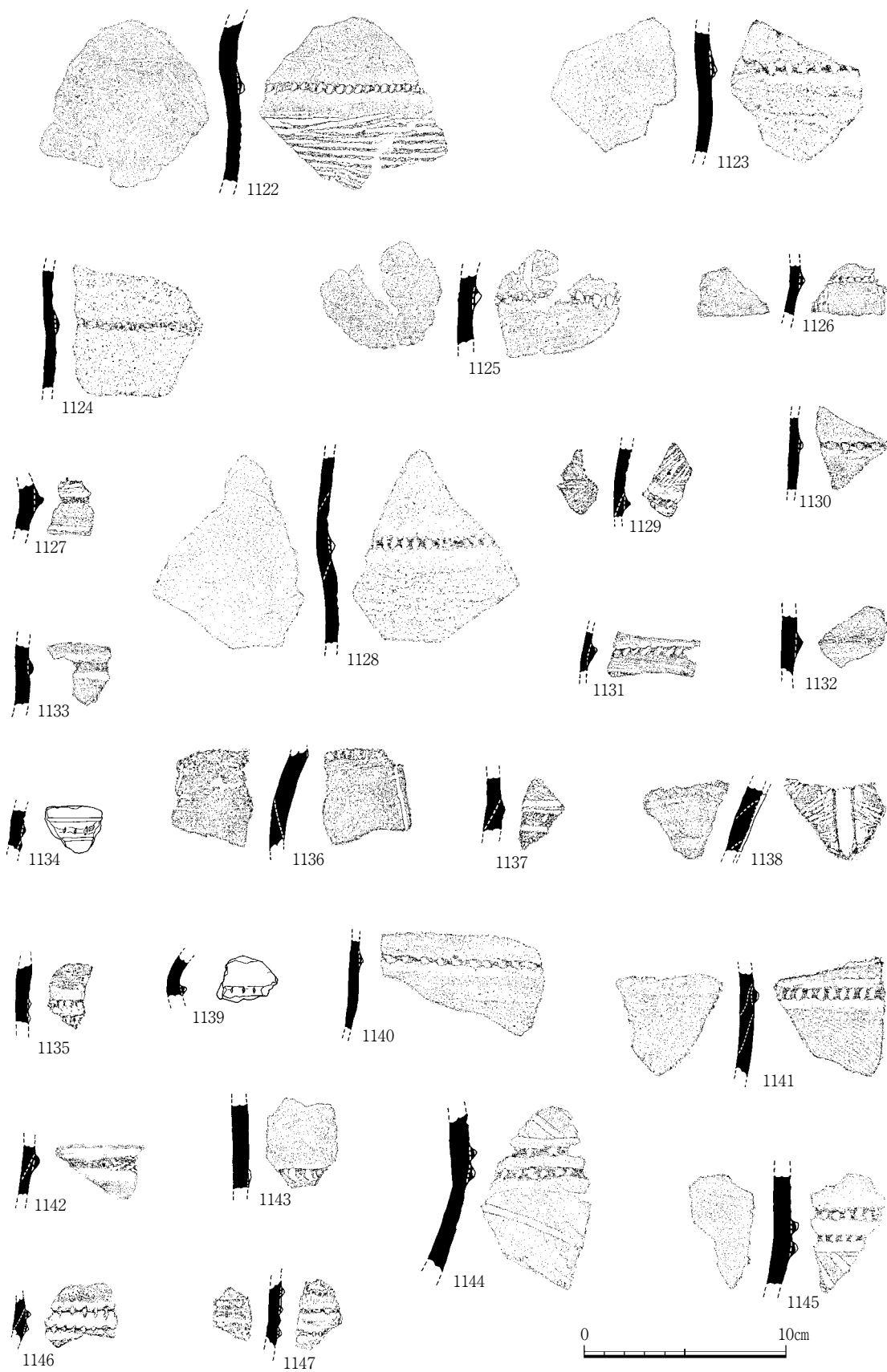


Fig.84 1C区IV層群出土土器70

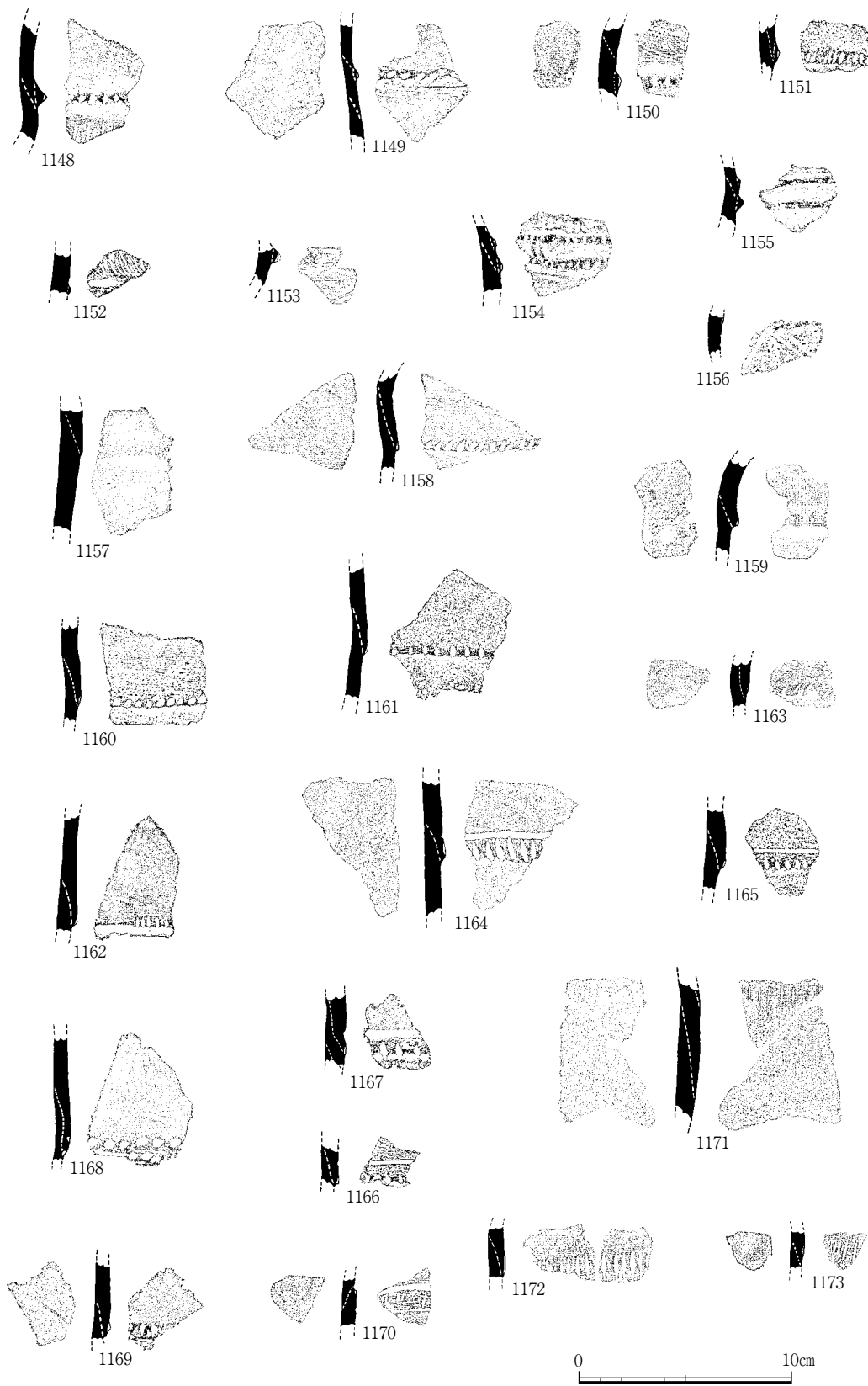


Fig.85 1C区IV層群出土土器71

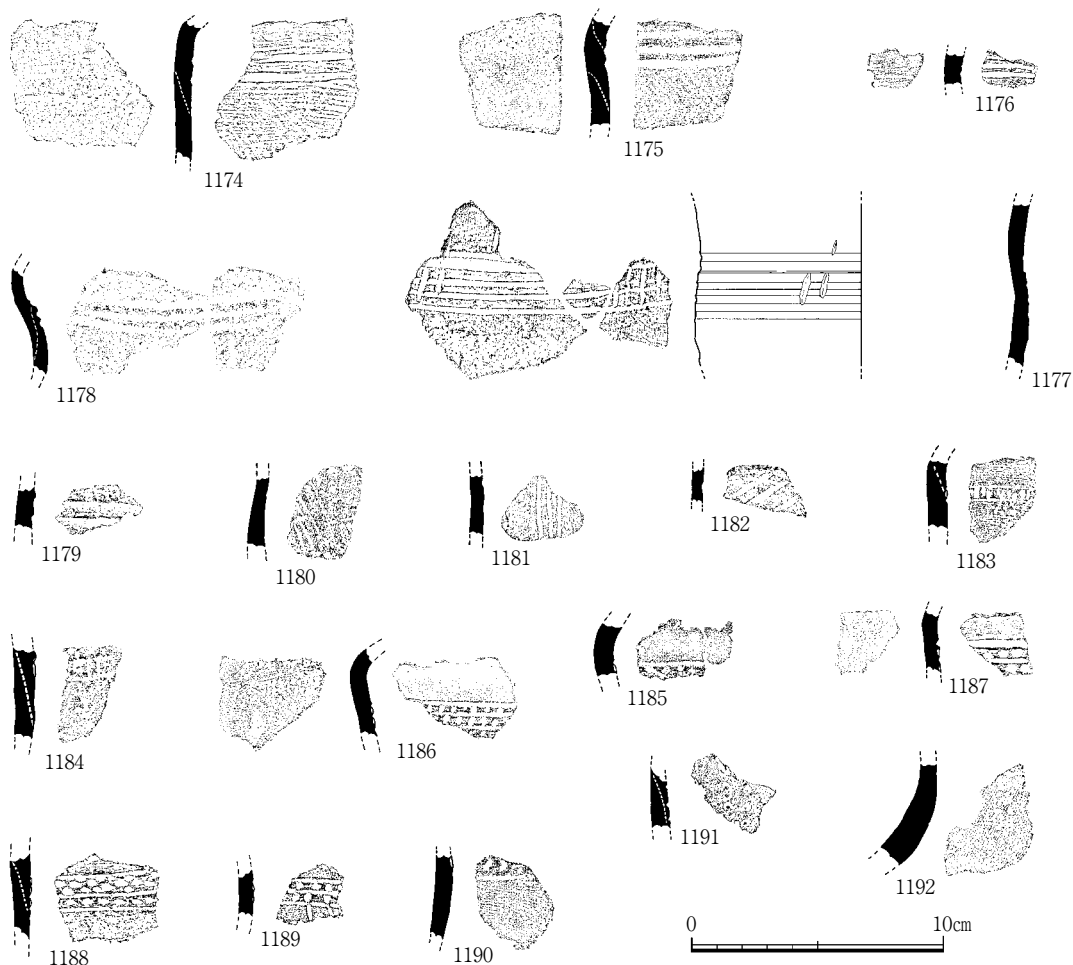


Fig.86 1C区Ⅳ層群出土土器72

(8)Ⅳ層出土土器 (Fig.45~95)

縄文土器・深鉢 2 点, 縄文土器・壺82点, 弥生土器・壺291点, 深鉢~甕形土器362点, 縄文土器・鉢17点, 縄文土器・浅鉢44点, 弥生土器・鉢28点, 弥生土器・高杯10点, 弥生土器・蓋 2 点を図示した。

472・473は縄文後期土器・深鉢・胴部片である。472は平城式土器, 473は片粕式土器と考えられる。

474~555は縄文土器・壺である。474は完形に復元できた。475~496は口縁~頸部片である。497~499・502~507・509・512・514~516・518・523・527・528・532・533は頸~胴部片である。500・501・508・513・517・524~526・529~531・534~548は胴部片である。549・550は底部片である。551~555は大洞A式土器<sup>(4)</sup>である。551は口縁部片である。551は波状口縁で, 波頂部は 7 個と考えられる。552~554は胴部片で, 外面に隆線区画文を施し, 黒漆・朱漆で塗彩する。555は底部片である。

557~847は弥生土器・壺である。557は口縁~胴部片である。557は 1 F 区Ⅲ A 層出土土器と接

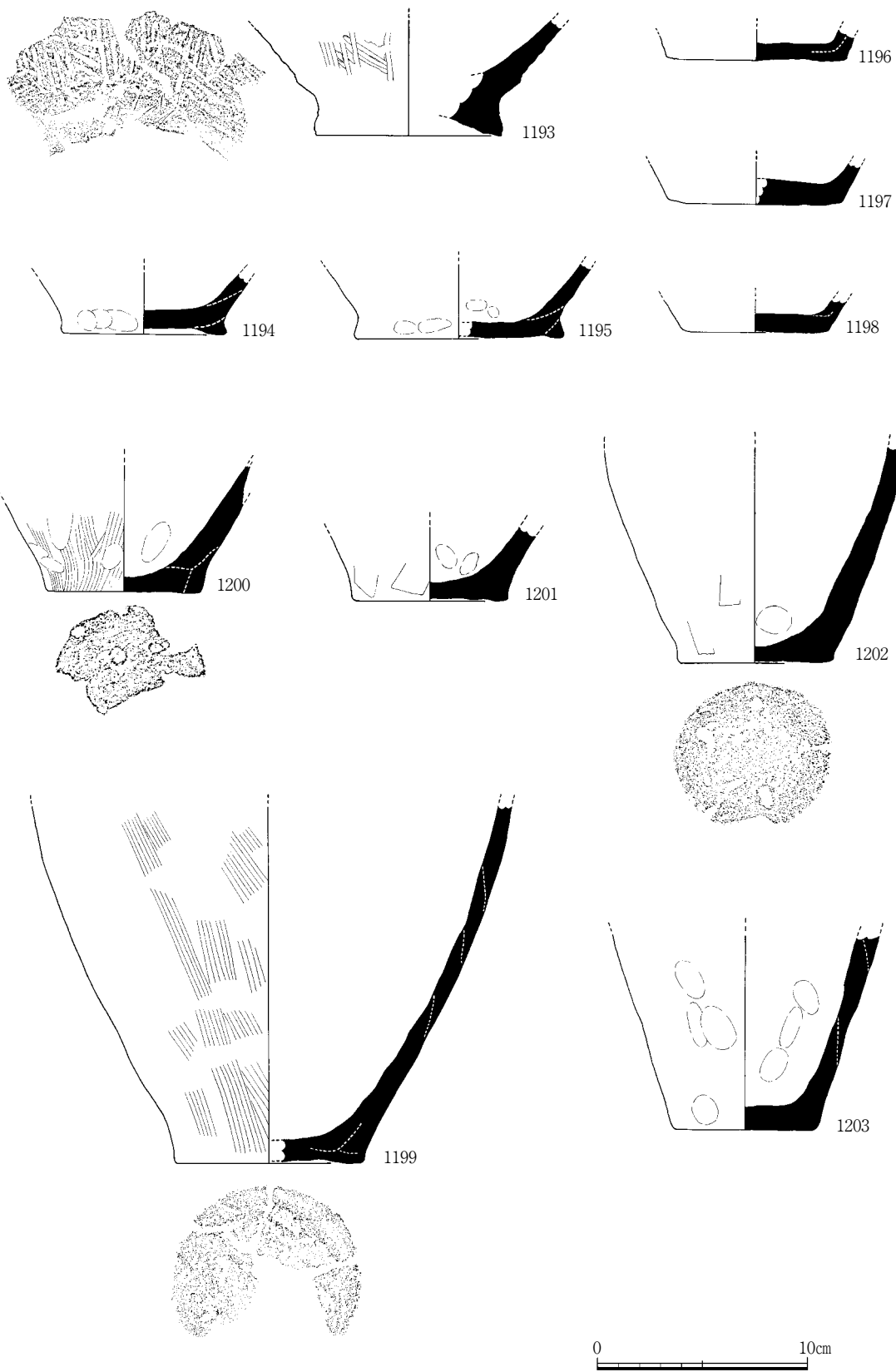


Fig.87 1C区IV層群出土土器73

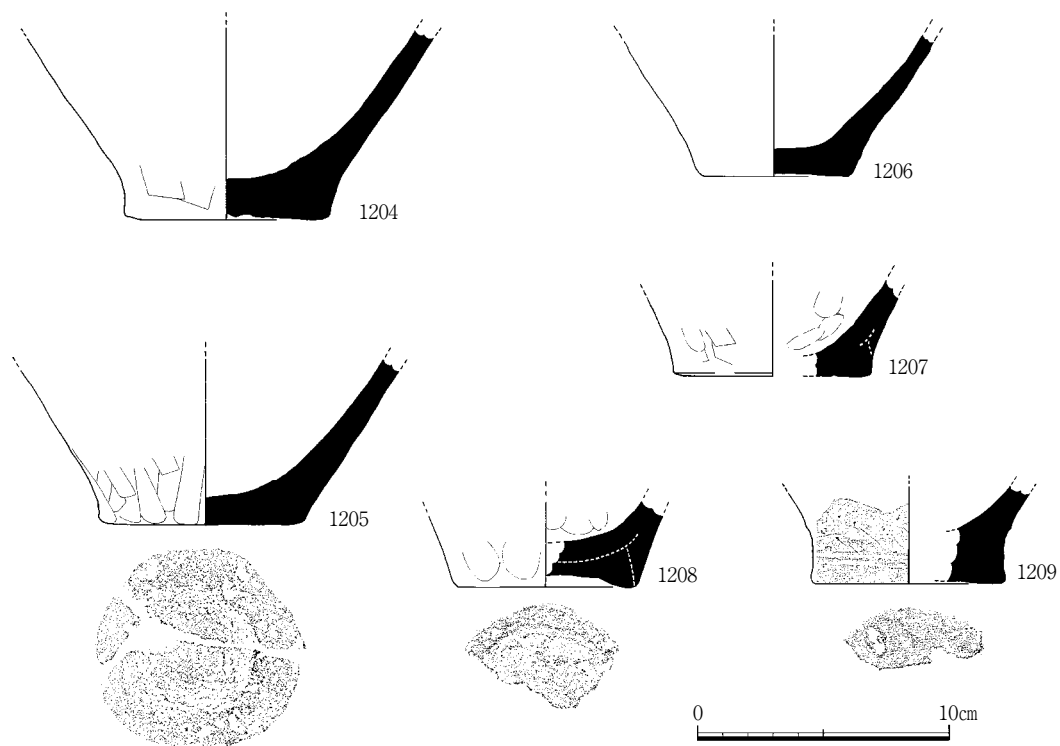


Fig.88 1C区Ⅳ層群出土土器74

合した。558～624は口縁～頸部片である。625～686・688～695・697～708・710～712・715・717・727・740・757・807は頸～胴部片である。687・696・709・713・714・716・718～726・728～739・741～756・758～806・808～827は胴部片である。828～845は底部片である。846・847は小形品の頸～胴部片で、同一個体と考えられる。847は外面に隅丸方形の沈線区画を描き、区画内に木葉文を施す。

848～1209は深鉢～甕形土器である。848～871・873・874・876～908・910～936・938～954・968～982・984～1010・1012～1069・1071～1104は口縁～胴部片である。848～938・940～947・955～963・968・969・974～979・984 1122～1135・1137～1156は突帯文土器である。872・875・1186は頸～胴部片である。909・955～963・983・1011・1105～1185・1187～1192は胴部片である。937・1070は完形に復元できた。964～967・1193～1209は胴～底部片である。

1210～1226は縄文土器・鉢・口縁～胴部片である。

1227～1270は縄文土器・浅鉢である。1227～1255は口縁～胴部片である。1256～1266は胴部片である。1267～1270は底部片である。

1271～1298は弥生土器・鉢である。1271～1285・1287～1292・1294～1296は口縁～胴部片である。1286は完形に復元できた。1293・1297は胴部片である。1298は底部片である。

1299～1308は弥生土器・高杯である。1299・1300は口縁～胴部片である。1301・1302・1304は胴部片である。1303は杯部片である。1305～1308は脚部片である。

1309・1310は弥生土器・蓋である。1309は裾部片である。1310は胴部片である。



Fig.89 1C区Ⅳ層群出土土器75

(9)表採土器 (Fig.48)

第Ⅳ層群調査中の採集品であり、第Ⅳ層群に由来する可能性が高いと考えられる縄文土器・壺1点を図示した。

556は縄文土器・壺・頸部片である。556は内外面に、黒漆・朱漆によるとみられる塗彩を施す。556は外面に斜格子状文・点文からなる彩文を施す。556は搬入品の可能性がある。

註

(1) 第Ⅳ層群出土の土器群は、既往の土器編年観により、縄文時代晩期から弥生時代前期にかけての時期の所産と考えられる。当該期の煮炊具である深鉢形土器ないし甕形土器の、個々の個体に関する器形名称の選択という作業は、それぞれの型式学的系譜を明らかにした上、縄文時代から弥生時代への移行期という



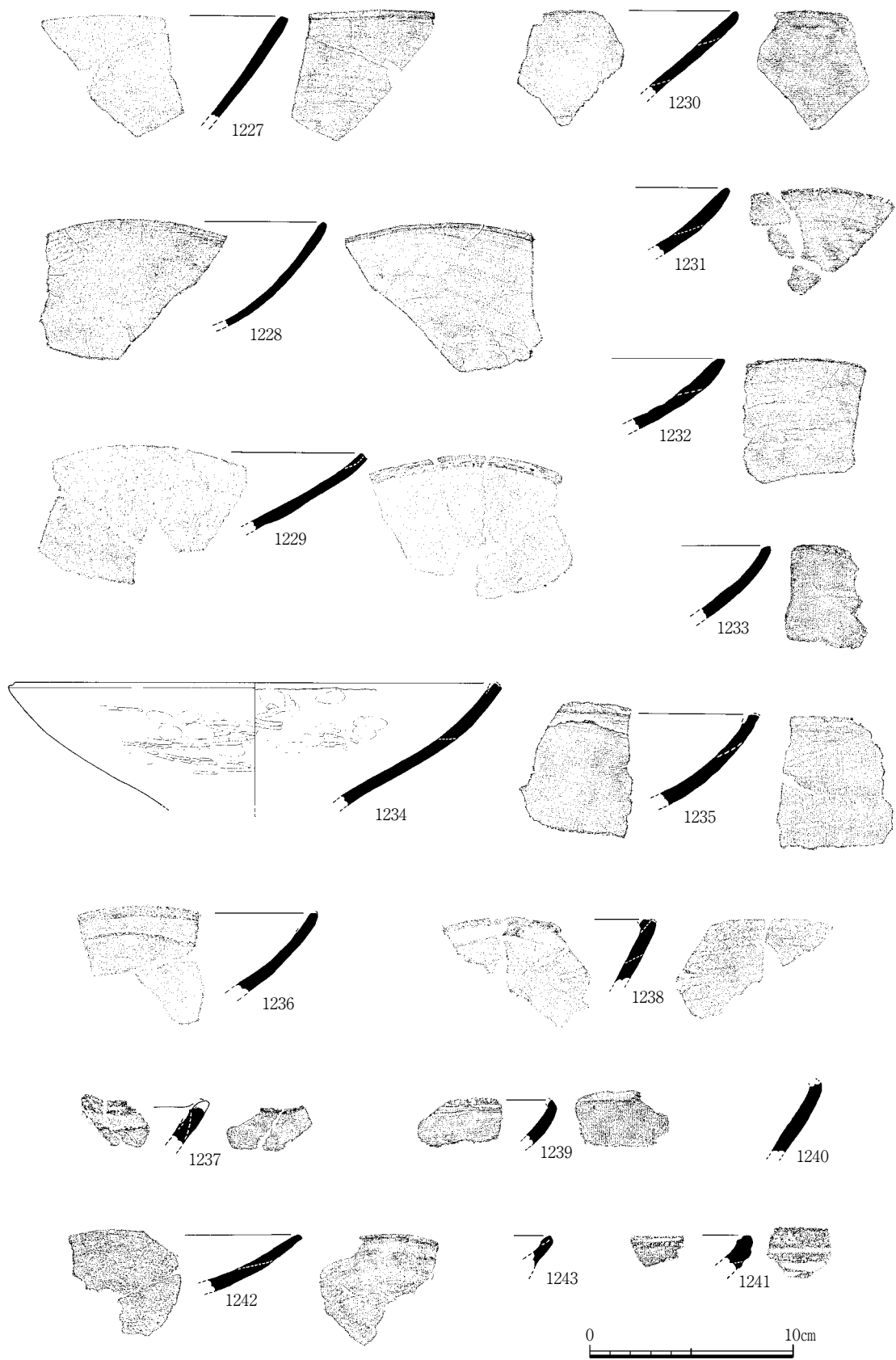


Fig.90 1C区Ⅳ層群出土土器76

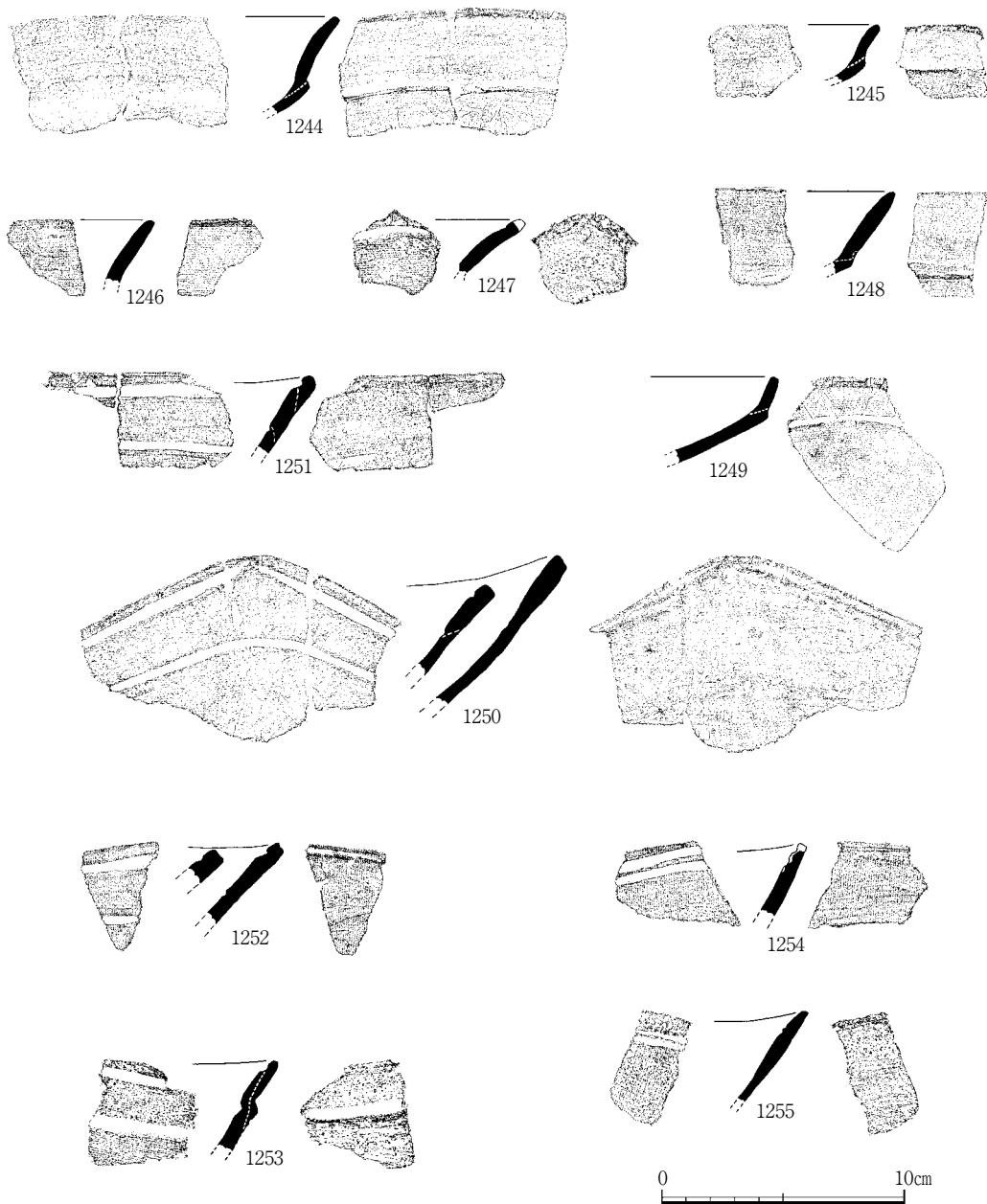


Fig.91 1C区Ⅳ層群出土土器77

背景を見据えておこなわれるべき「操作」である。さらに、極めて明確なものを除いて、その煮炊具が縄文土器であるか弥生土器であるかという弁別の行為も、上記と同義の「操作」に該当する。これらの「操作」に基づく器種名称・器形名称の使用は、原資料の客観的提示の場である調査報告書にはふさわしいものではなく、また同時に個々の原資料が固有する歴史性を損なう虞れもあると判断したことから、本編では、こと深鉢形土器ないし甕形土器の範疇に属する個体に対しては、「縄文土器」・「弥生土器」・「深鉢形土器」・「甕形土器」の用語を個別に付与せず、「深鉢～甕形土器」として一括することとした。その上で、「刻目突帯または無刻目突帯を有する」という1点のみに基づいて識別される個体群に対しては、「突帯文土器」という名称で括った。なお、器形・成形方法・器面調整方法・文様・胎土などの諸特徴から、既知の「弥生土器・甕形土器」であることが明らかな個体については、一旦「深鉢～甕形土器」とした上

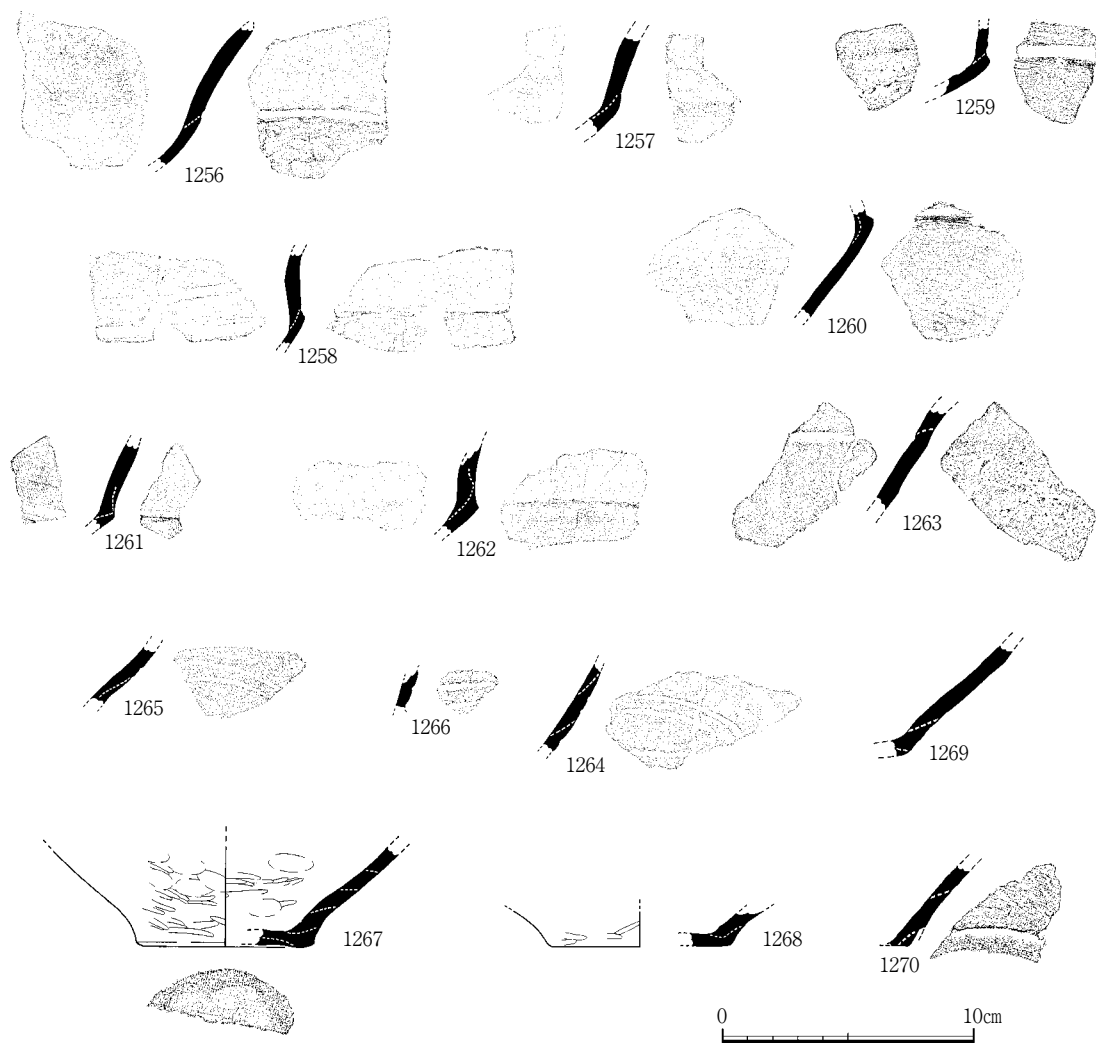


Fig.92 1C区Ⅳ層群出土土器78

で、土器観察表・備考欄にその旨を明記した。

(2) 同註(1)

(3) 三王冢遺跡例については高島芳弘氏（徳島県立博物館）から御教示いただき、文献の入手についても便宜を図っていただいた。

伊東信雄・須藤 隆『三王冢遺跡調査図録』一迫町教育委員会 1985年

(4) 同註(3)

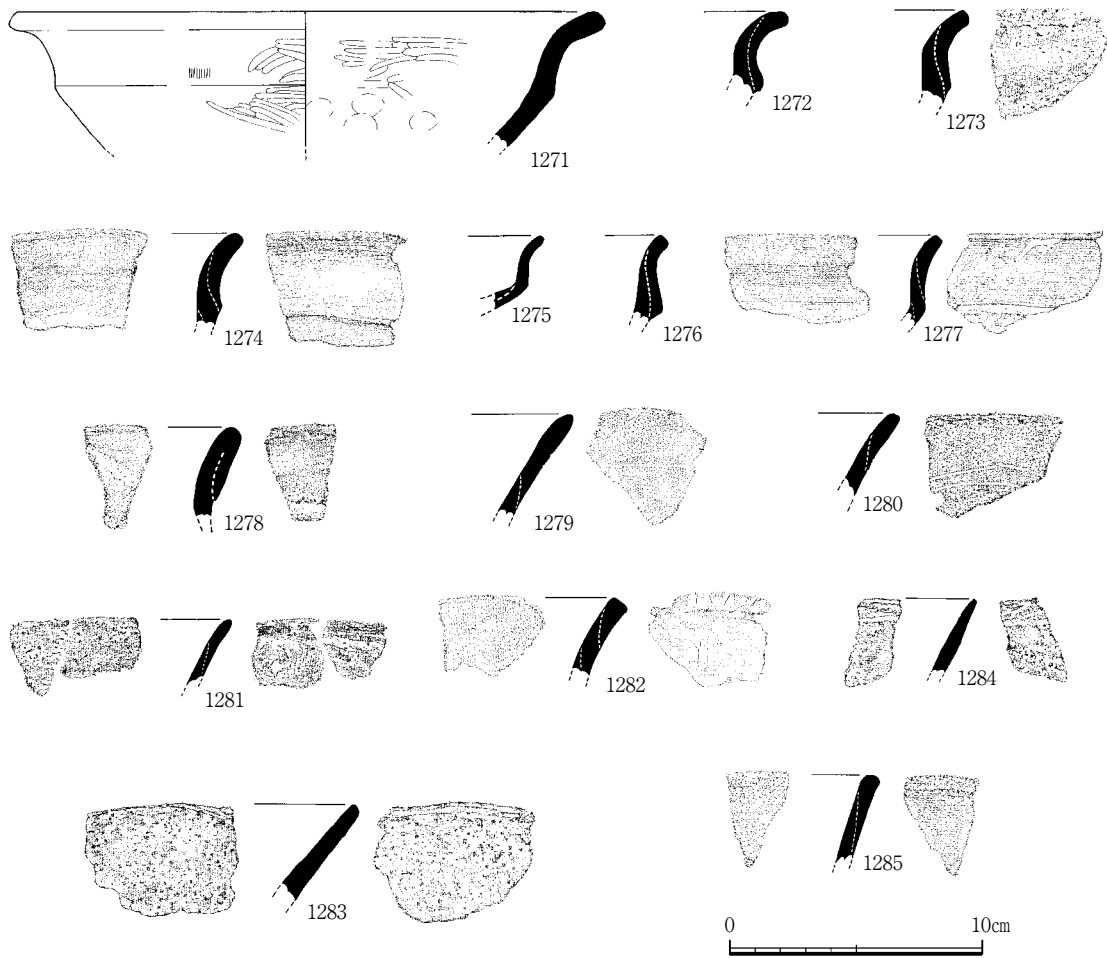


Fig.93 1C区Ⅳ層群出土土器79

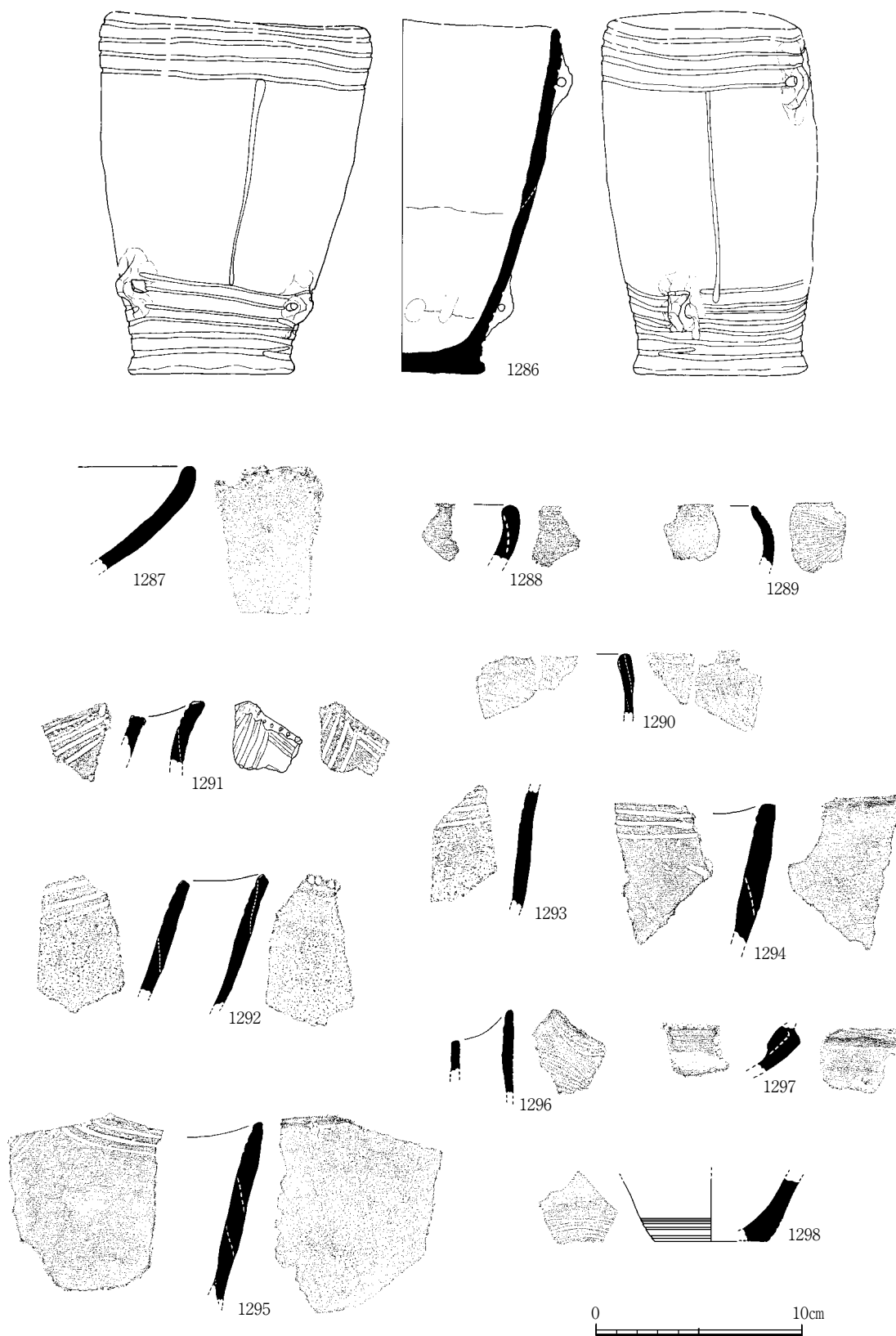


Fig.94 1C区Ⅳ層群出土土器80

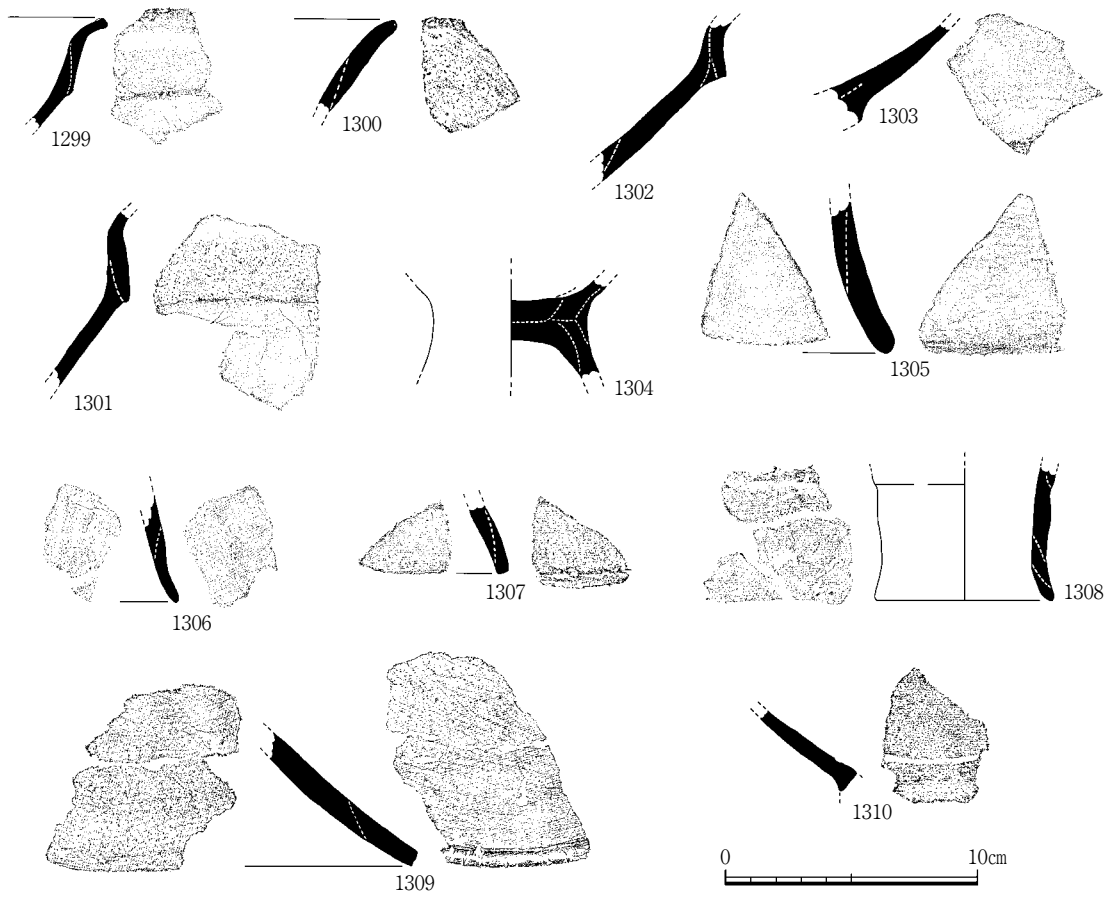


Fig.95 1C区Ⅳ層群出土土器81

表6 1C区出土土器観察表1

挿入番号	層位	器種/器形 /部位	法量 (cm)	文様・調整 外面/内面 その他の部位	色調 内面 外面	胎土	接合	備考
Fig.13-1	IVD 3層	縄文土器/壺 口縁部片	残高 2.90	ミガキ?/ミガキ?, ナデ?	灰褐 # 7.5YR 4/2 # 5YR 5/2	石英, 長石, 角閃石	?	
Fig.13-2	IVD 3層	縄文土器/壺 頸~胴部片	残高 5.40	接合部段=凹線状, ミガキ/ナデ, 押圧	灰褐 # 7.5YR 4/2 #	長石, 石英, 角閃石	内傾	
Fig.13-3	IVD 3層	縄文土器/壺 口縁部片	残高 4.00	外端刻目, 刻目突帯貼付1, 条痕, ナデ /ナデ	褐灰 # 7.5YR 6/1 灰褐 # 4/2	長石, 石英	内傾	
Fig.13-4	IVD 3層	縄文土器/壺 口縁部片	残高 3.20	刻目突帯貼付1 (刻目散発的?), ナデ/ナデ 端面: 外端側に刻目	明赤褐 # 5YR 5/6 にぶい黄褐 # 10YR 5/4	長石, 石英 チャート	内傾	波状口縁?
Fig.13-5	IVD 3層	縄文土器/壺 口縁部片	残高 2.40	刻目突帯貼付1, ナデ/ナデ	黒 # 7.5Y 2/1 灰 # 5Y 6/1	長石, 石英	内傾	口縁端部不整
Fig.13-6	IVD 3層	縄文土器/壺 口縁部片	残高 7.80	突帯貼付1, ナデ/ナデ, 押圧	にぶい橙 # 5YR 6/3 にぶい赤褐 # 5/4	石英, 長石	内傾	
Fig.13-7	IVD 3層	縄文土器/鉢 胴部片	口径 20.00 器高 7.80 底径 4.80	ミガキ 底面: ミガキ	にぶい黄橙 # 10YR 6/3 にぶい黄褐 # 5/3	長石, 石英	内傾	
Fig.16-8	IVD 2層	縄文土器/壺 口縁~胴部片	口径 13.60 残高 10.60	ミガキ/ミガキ, ナデ	黒褐 # 7.5YR 3/1 #	長石, 石英, 角閃石 雲母	内傾	口縁直下外面: 赤彩 端面: 赤彩
Fig.17-9	IVD 2層	縄文土器/壺 口縁~胴部片	口径 10.60 胴径 12.20 残高 20.60	沈線2+2, ミガキ/ミガキ, ナデ	黒 # 10YR 2/1 黒褐 # 3/1	長石, 石英	内傾	短頸部
Fig.17-10	IVD 2層	縄文土器/壺 胴部片	残高 10.20	ミガキ/ナデ, 押圧	褐灰 # 10YR 4/1 黒褐 # 3/1	石英, 長石, 雲母 角閃石	内傾	外面赤彩
Fig.17-11	IVD 2層	縄文土器/壺 胴部片	残高 2.80	段1=凹線状, ミガキ/ナデ, 押圧	黒 # 10YR 2/1 黒褐 # 3/1	石英, 長石	内傾	外面赤彩
Fig.17-12	IVD 2層	縄文土器/壺 胴部片	残高 3.10	沈線1, ミガキ/ミガキ	褐灰 # 7.5YR 4/1 黒褐 # 10YR 3/1	長石, 石英, 角閃石	内傾?	
Fig.17-13	IVD 2層	縄文土器/壺 胴部片	胴径 32.30 残高 16.00	板ナデ (ケズリ状) /ミガキ, ナデ (丁寧), ナデ	灰黄褐 # 10YR 6/2 にぶい黄橙 # 6/3	長石, 石英, 角閃石	内傾	内外面: スス・タール
Fig.17-14	IVD 2層	縄文土器/壺 胴部片	胴径 18.90 残高 4.40	沈線1, ミガキ/ナデ	黒 # 5Y 2/1 #	長石, 石英, 角閃石	内傾	上端部擬口縁で剥離 分割成形? 内外面: タール
Fig.17-15	IVD 2層	弥生土器/壺 胴部片	残高 3.20	沈線1, ミガキ, ナデ/段1, ナデ, 押圧	暗灰黄 # 2.5Y 5/2 #	長石, 石英, 雲母 角閃石	?	胎土: 弥生?
Fig.18-16	IVD 2層	突帯文土器 口縁部片	残高 1.00	外端刻目, 刻目突帯貼付1/ナデ	黒 # 5Y 2/1 #	長石, チャート 石英	内傾	外面: タール 17と同一個体
Fig.18-17	IVD 2層	突帯文土器 頸~胴部片	胴径 27.10 残高 23.60	屈曲部=凹線状, 条痕, ナデ/ナデ, 押圧	黒 # 2.5Y 2/1 黒褐 # 3/1	長石, チャート 石英	内傾	補修孔1, 補修孔未貫通1 外面: スス・タール(おこげ) 16と同一個体
Fig.18-18	IVD 2層	突帯文土器 口縁部片	残高 5.50	刻目突帯貼付2, ナデ/ナデ	褐灰 # 10YR 5/1 #	長石, 石英	内傾	外面: スス・タール
Fig.18-19	IVD 2層	突帯文土器 口縁部片	残高 3.20	沈線1+外端刻目, 刻目突帯貼付1, ナデ /ナデ	にぶい黄橙 # 10YR 7/2 にぶい橙 # 5YR 6/4	長石, 石英	内傾	外面: タール
Fig.18-20	IVD 2層	突帯文土器 口縁部片	残高 3.80	外端刻目, 刻目突帯貼付1, ナデ/ナデ	黒 # N 2/1 灰白 # 2.5Y 7/1	石英, 長石	内傾	
Fig.18-21	IVD 2層	突帯文土器 口縁部片	残高 5.00	外端刻目, 刻目突帯貼付1, ナデ/ナデ	褐灰 # 10YR 6/1 灰白 # 7/1	石英, 長石 チャート	内傾	
Fig.18-22	IVD 2層	突帯文土器 口縁部片	残高 4.80	外端刻目, 刻目突帯貼付1, ナデ/ナデ	褐灰 # 7.5YR 4/1 黒褐 # 3/1	石英, 長石 チャート	内傾	外面: タール(おこげ)
Fig.18-23	IVD 2層	突帯文土器 口縁部片	残高 3.00	外端刻目, 刻目突帯貼付1, ナデ, 押圧 /ナデ	褐灰 # 10YR 4/1 黄灰 # 2.5Y 6/1	石英, 長石 チャート	内傾	外面: タール
Fig.18-24	IVD 2層	突帯文土器 口縁部片	残高 2.70	外端刻目, 刻目突帯貼付1, ナデ/ナデ	黄灰 # 2.5Y 6/1 灰黄 # 6/2	石英, 長石	内傾	
Fig.18-25	IVD 2層	突帯文土器 口縁部片	残高 1.50	外端刻目, 刻目突帯貼付1, ナデ/ナデ	灰黄褐 # 10YR 4/2 黒褐 # 3/2	石英, 長石, 雲母	内傾	
Fig.18-26	IVD 2層	突帯文土器 口縁部片	残高 5.00	刻目突帯貼付1, ナデ/ナデ 端面: 刻目	黒 # N 2/1 #	石英, 長石	内傾	外面: タール(おこげ) 内面: タール
Fig.18-27	IVD 2層	突帯文土器 口縁部片	残高 2.50	刻目突帯貼付1, ナデ/ナデ	オリーブ黒 # 5Y 3/1 黒褐 # 10YR	石英, 長石 チャート	内傾	突帯貼付擬口縁露出 外面: タール
Fig.18-28	IVD 2層	突帯文土器 口縁部片	残高 1.70	刻目突帯貼付1, ナデ/ナデ	灰黄褐 # 10YR 4/2 黒褐 # 3/1	長石, 石英	内傾	外面: タール(おこげ)
Fig.18-29	IVD 2層	突帯文土器 口縁部片	残高 4.80	刻目突帯貼付1, ナデ/ナデ?	灰 # 5Y 5/1 にぶい黄橙 # 10YR 7/2	チャート, 石英 長石	内傾	弥生化突帯文
Fig.18-30	IVD 2層	突帯文土器 口縁部片	残高 4.20	突帯貼付1 (刻目?), ナデ/ナデ	暗灰 # N 3/1 黒 # 2/1	石英, 長石 チャート	内傾	端面外方へ肥厚 外面: タール(おこげ)
Fig.18-31	IVD 2層	突帯文土器 口縁部片	残高 1.90	刻目突帯貼付1, ナデ/ナデ, 押圧	灰黄褐 # 10YR 5/2 黒 # 2.5Y 2/1	長石, 石英	内傾	外面: タール
Fig.18-32	IVD 2層	突帯文土器 胴部片	残高 3.60	刻目突帯貼付1, 沈線1, ナデ, 押圧 /ナデ	暗灰黄 # 2.5Y 5/2 浅黄 # 7/3	石英, 長石	内傾	弥生化突帯文?
Fig.19-33	IVD 2層	深鉢~浅 口縁~胴部片	口径 14.80 胴径 14.10 残高 14.70	外端刻目, 条痕?, ナデ (ケズリ状) /条痕, ナデ	黒褐 # 10YR 3/1 #	赤色砂粒, 石英	内傾	内外面: スス・タール(おこげ) 胎土: 弥生化
Fig.19-34	IVD 2層	深鉢~浅 口縁部片	残高 5.20	条痕, ナデ/ナデ, 押圧	黒褐 # 5YR 3/1 黒 # 10YR 2/1	石英, 長石	内傾	外面: タール(おこげ) 内面: タール
Fig.19-35	IVD 2層	深鉢~浅 口縁部片	残高 7.20	ナデ, 押圧/ナデ (粗い), 押圧	黒褐 # 10YR 3/1 灰黄褐 # 5/2	石英, 長石 チャート	内傾	内外面: タール(おこげ)
Fig.19-36	IVD 2層	深鉢~浅 口縁部片	残高 4.40	押圧, ナデ/ナデ	灰黄褐 # 10YR 6/2 灰白 # 2.5Y 7/1	石英, 長石	内傾	
Fig.19-37	IVD 2層	深鉢~浅 胴部片	残高 4.50	沈線1, ナデ/ナデ	暗灰 # N 3/1 黄灰 # 2.5Y 7/2	長石, 石英 チャート	?	
Fig.19-38	IVD 2層	深鉢~浅 口縁部片	残高 2.90	外端刻目, ナデ/ナデ	黄灰 # 2.5Y 4/1 褐灰 # 10YR	長石, チャート 石英	内傾	外面: タール(おこげ)
Fig.19-39	IVD 2層	縄文土器/浅鉢 口縁部片	残高 3.90	ミガキ/沈線2, ミガキ	黒褐 # 10YR 3/1 黒 # 2/1	長石, 石英, 雲母	内傾	波状口縁, 方形浅鉢? 外面: タール
Fig.19-40	IVD 2層	縄文土器/浅鉢 口縁部片	残高 3.10	ケズリ, ミガキ?/ミガキ	黄灰 # 2.5Y 4/1 にぶい黄橙 # 10YR 6/4	長石, 石英	内傾?	波状口縁
Fig.19-41	IVD 2層	縄文土器/鉢 口縁部片	残高 2.60	ナデ, ミガキ/ミガキ	褐灰 # 10YR 4/1 黒褐 # 3/1	長石, 石英, 角閃石	内傾	
Fig.16-42	IVD 2層	縄文土器/浅鉢? 胴部片	残高 6.50	沈線文 (方形区画), ミガキ /ミガキ (多方向)	黒褐 # 10YR 3/1 #	長石, 石英, 雲母	内傾	沈線内赤彩

表7 1C区出土土器観察表2

補図番号	層位	器種/器形 /部位	質量 (cm)	文様・調整 外面/内面 その他の部位	色調 内面 外面	胎土	接合	備考
Fig.16-43	IVD 2層	縄文土器/鉢? 胴部片	残高 3.00	ナズリ, ナデ/ナデ	黒褐 黒 2.5Y # 3/1 # 2/1	長石, 石英, 角閃石	内傾	外面: タール 内面上端=段部: 赤彩
Fig.19-44	IVD 2層	縄文土器/浅鉢 底部片	残高 6.30 口径 5.00	ミガキ	暗褐 黒褐 10YR # 3/3 # 3/1	石英, 長石 赤色砂粒, 雲母	内傾	外面: タール 内面: 赤彩
Fig.20-45	IVD層	縄文土器/壺 口縁~胴部片	口径 14.10 胴径 31.00 残高 19.90	沈線1, 段1=凹線状, ミガキ/ナデ, 押圧	暗灰黄 黒褐 2.5Y # 4/2 # 3/1	長石, 石英, 角閃石 雲母	内傾	
Fig.20-46	IVD層	縄文土器/壺 頸~胴部片	胴径 21.80 残高 9.10	段部=凹線状, ミガキ/ナデ	灰褐 黒 7.5YR # 4/2 # 2/1	長石, 石英 赤色砂粒	内傾	
Fig.20-47	IVD層	縄文土器/壺 口縁~胴部片	残高 6.30	ミガキ/ミガキ, ナデ	黒 黒褐 5Y # 2/1 # 3/1	長石, 石英 赤色砂粒	内傾	
Fig.20-48	IVD層	縄文土器/壺 口縁~胴部片	残高 4.50	口縁直下凹線状, ミガキ/ミガキ, ナデ	黄灰 黒褐 2.5Y # 4/1 # 3/1	長石, 石英, 雲母 角閃石	内傾	
Fig.20-49	IVD層	縄文土器/壺 口縁~胴部片	残高 3.30	ミガキ/ミガキ, ナデ	黒褐 黒 10YR # 3/1 # #	長石, 雲母, 石英	内傾?	
Fig.20-50	IVD層	縄文土器/壺 口縁部片	残高 1.70	ナデ/ミガキ	にぶい黄橙 にぶい黄褐 10YR # 6/3 # 5/3	石英, 長石, 角閃石	内傾?	
Fig.20-51	IVD層	縄文土器/壺 口縁~胴部片	残高 4.00	ミガキ/ミガキ, ナデ	黒褐 黒 10YR # 3/1 # #	長石, 石英	内傾	内面: 未貫通穿孔1+炭充填? 焼成前穿孔1 短頸壺?
Fig.20-52	IVD層	縄文土器/壺 口縁~胴部片	残高 4.20	ミガキ	灰褐 黒 7.5YR # 4/2 # 2/1	長石, 角閃石, 石英 雲母	?	
Fig.20-53	IVD層	縄文土器/壺? 口縁部片	残高 3.30	ミガキ	褐灰 黒 10YR # 4/1 # #	石英, 長石, 雲母 角閃石	内傾	
Fig.16-54	IVD層	縄文土器/壺 胴部片	残高 2.00	沈線3, ミガキ/ナデ (丁寧)	黒褐 黒 2.5Y # 3/1 # 2/1	長石, 石英, 角閃石	外傾?	上下逆?→鉢? 沈線内: 赤彩充填
Fig.20-55	IVD層	縄文土器/壺 胴部片	胴径 25.20 残高 7.30	ミガキ/ナデ	黒褐 黒 2.5Y # 3/1 # 2/1	石英, 長石, 雲母 角閃石	内傾	
Fig.16-56	IVD層	縄文土器/壺 胴部片	残高 4.30	段部=沈線1, ミガキ/ナデ	褐灰 暗赤褐 10YR # 4/1 5YR # 3/3	石英, 長石, 雲母	内傾	外面: 赤彩=漆
Fig.20-57	IVD層	縄文土器/壺 胴部片	残高 2.10	段部=凹線状, ミガキ/ナデ, 押圧	にぶい褐 黒褐 7.5YR # 5/3 # 3/1	長石, 赤色砂粒 角閃石, 石英	内傾	
Fig.20-58	IVD層	縄文土器/壺 胴部片	残高 1.70	沈線1, ミガキ/ナデ	黄灰 黒 2.5Y # 5/1 # 4/1	長石, 石英, 雲母 角閃石	内傾	沈線内: 赤彩
Fig.20-59	IVD層	縄文土器/壺 胴部片	胴径 17.20 残高 4.70	沈線文 (舟形区画), ミガキ/ミガキ	褐灰 黒 10YR # 4/1 # #	長石, 角閃石, 石英 雲母	内傾	外面光沢→顔料付着? 分割成形品?
Fig.20-60	IVD層	縄文土器/壺 胴部片	残高 8.20	沈線1, ミガキ/ナデ (丁寧), 押圧	暗灰黄 黒褐 2.5Y # 4/2 # 3/1	長石, 石英, 雲母 角閃石	内傾	
Fig.20-61	IVD層	縄文土器/壺 胴部片	残高 3.50	沈線1, 斜沈線1, ミガキ/ミガキ, ナデ (丁寧)	黒 黒褐 2.5Y # 2/1 10YR # 3/1	長石, 石英, 角閃石	内傾	
Fig.20-62	IVD層	縄文土器/壺 胴部片	残高 3.70	沈線1, ミガキ/ナデ, 押圧	黒褐 黒 2.5Y # 3/1 5Y # 2/1	石英, 長石, 雲母 角閃石	内傾	沈線内: 赤彩 分割成形品?
Fig.21-63	IVD層	縄文土器/壺 胴部片	残高 7.20	ミガキ/ナデ	灰褐 黒 7.5YR # 4/2 # 2/1	石英, 長石 赤色砂粒	内傾	外面: 赤彩, タール
Fig.21-64	IVD層	縄文土器/壺 底部片	残高 2.30 底径 7.80	ナデ, 押圧 底面: ミガキ~ナデ (丁寧), 圧痕	にぶい黄橙 黒褐 10YR # 5/4 # 3/1	長石, 石英, 雲母 角閃石	内傾	外面: 赤彩
Fig.21-65	IVD層	縄文土器/壺 口縁部片	残高 5.70	ミガキ, ハケ, 押圧/ハケ, ミガキ 底面: 凹線状	にぶい黄橙 黒 10YR # 7/2 # #	石英, 長石, 雲母	外傾	下端: 擬口縁露出
Fig.21-66	IVD層	弥生土器/壺 口縁部片	残高 1.90	ミガキ	橙 にぶい黄橙 2.5YR # 6/6 10YR # 7/2	石英, 長石 赤色砂粒	外傾	外面: 赤彩 内面: 赤彩?
Fig.21-67	IVD層	弥生土器/壺 頸部片	残高 7.10	接合部: 段=沈線状, ミガキ/ミガキ	灰黄 黒 2.5Y # 7/2 # #	赤色砂粒, 長石 石英	外傾	大形品 下縁: 擬口縁露出
Fig.21-68	IVD層	弥生土器/壺 頸~胴部片	残高 4.70	接合部: 段=沈線状, ミガキ/?/押圧	暗褐 黒 10YR # 3/3 2.5YR # 2/1	石英, 長石 赤色砂粒	内傾	内外面: スス・タール
Fig.21-69	IVD層	弥生土器/壺 頸~胴部片	残高 3.20	接合部: 段=沈線状, ミガキ/ミガキ~ナデ (丁寧), ナデ, 押圧	にぶい黄 黒褐 2.5Y # 6/3 # 3/1	長石, 石英, 赤色砂粒, 雲母, 角閃石	外傾	
Fig.21-70	IVD層	弥生土器/?/壺 胴部片	残高 2.20	接合部: 沈線1, ミガキ/ナデ	オリーブ黒 黒 5Y # 3/1 # 2/1	長石, 石英, 角閃石	外傾	
Fig.22-71	IVD層	突帯文土器 口縁部片	残高 5.40	沈線状1, 刻目突帯貼付2, ナデ/ナデ	黒褐 黒 10YR # 3/1 # #	石英, 長石 チャート	内傾	外面: タール(おこげ)
Fig.22-72	IVD層	突帯文土器 口縁部片	残高 2.00	外端~端部外面: 刻目, 刻目突帯貼付1, ナデ/ナデ	褐灰 灰黄褐 10YR # 4/1 # 5/2	石英, 長石 チャート	内傾	内外面: スス・タール 2条突帯的?
Fig.22-73	IVD層	突帯文土器 口縁部片	残高 2.00	外端~端部外面: 刻目, 刻目突帯貼付1, ナデ/ナデ	灰黄 にぶい黄橙 2.5Y # 7/2 10YR # #	石英, チャート 長石	内傾	外面: タール 2条突帯的
Fig.22-74	IVD層	突帯文土器 口縁部片	残高 2.50	外端刻目, 刻目突帯貼付1, ナデ/ナデ	にぶい褐 にぶい橙 7.5YR # 6/3 # 6/4	長石, チャート 石英	内傾	2条突帯的
Fig.22-75	IVD層	突帯文土器 口縁部片	残高 2.10	外端~端部外面: 刻突文, 貼付突帯1+刺突, ナデ/ナデ	褐灰 黒 7.5YR # 4/1 10YR # #	長石, 石英	内傾	2条突帯的 外面: タール
Fig.22-76	IVD層	突帯文土器 口縁部片	残高 2.40	端部外面: 刻目, 刻目突帯貼付1, ナデ/ナデ	暗灰 黒褐 10YR # 3/3 # 2/2	長石, チャート 石英	内傾	
Fig.22-77	IVD層	突帯文土器 口縁~胴部片	口径 32.80 残高 11.50	外端刻目, 刻目突帯貼付1, 凹線1, ナデ/ナデ	灰黄褐 にぶい褐 10YR # 5/2 7.5YR # 5/3	長石, 石英 チャート	内傾	
Fig.22-78	IVD層	突帯文土器 口縁部片	残高 4.30	外端刻目, 刻目突帯貼付1, 斜沈線文 (複線), ナデ/ナデ	灰 灰白 5Y # 4/1 2.5Y # 7/1	石英, 長石 チャート	内傾	復線: 条痕原体?
Fig.22-79	IVD層	突帯文土器 口縁部片	残高 3.40	外端刻目, 刻目突帯貼付1, ナデ/ナデ	黒 黄灰 5Y # 2/1 2.5Y # 5/1	長石, 石英 チャート	内傾	外面: タール
Fig.22-80	IVD層	突帯文土器 口縁部片	残高 2.00	外端刻目, 刻目突帯貼付1, ナデ/ナデ	にぶい赤褐 にぶい橙 5YR # 5/3 # 6/3	長石, 石英 チャート	内傾	
Fig.22-81	IVD層	突帯文土器 口縁部片	残高 3.10	外端刻目, 刻目突帯貼付1, ナデ/ナデ	暗灰 灰白 N # 3/3 10YR # 7/1	石英, 長石	内傾	
Fig.22-82	IVD層	突帯文土器 口縁部片	残高 2.80	外端刻目, 刻目突帯貼付1, ナデ/ナデ	黒 黒 N # 2/2 # #	長石, 石英 チャート	内傾	
Fig.22-83	IVD層	突帯文土器 口縁~胴部片	残高 11.50	刻目突帯貼付1, 条痕, ナデ/ナデ, 押圧 底面: 刻目?	黄灰 黒 2.5Y # 5/1 # 4/1	長石, チャート 石英, 雲母	内傾	
Fig.22-84	IVD層	突帯文土器 口縁~胴部片	残高 11.30	貼付突帯1+刺突, ナデ, 押圧/ナデ, 押圧, ヘラナデ? 底面: 外端側に刻目	オリーブ黒 灰黄褐 7.5Y # 3/1 10YR # 5/2	長石, 石英 チャート	内傾	外面: スス・タール
Fig.22-85	IVD層	突帯文土器 口縁部片	残高 3.80	刻目突帯貼付1, ナデ/ナデ 底面: 刻目	黒 黒褐 10YR # 2/1 # 3/1	長石, 石英	内傾	外面: タール



表 8 1C区出土土器観察表 3

採発番号	層位	器種 / 器形 / 部位	法量 (cm)	文様・調整 外面 / 内面 その他の部位	色調 内面 外面	胎土	接合	備考
Fig.22-86	IVD層	突帯文土器 口縁部片	残高 2.50	刻目突帯貼付 1, ナデ / ナデ, 押圧	黒 N 2 / 灰褐 7.5YR 4 / 2	石英, 長石	内傾	外面: タール
Fig.22-87	IVD層	突帯文土器 口縁部片	残高 2.40	刻目突帯貼付 1, ナデ / ナデ 端面: 刻目	灰黄 2.5Y 5 / 1 灰黄褐 10YR 6 / 2	チャート, 石英 長石	内傾	
Fig.22-88	IVD層	突帯文土器 口縁部片	残高 4.00	外端刻目, 刻目突帯貼付 1, ナデ / ナデ	にぶい褐 7.5YR 5 / 3 褐灰 # 4 / 1	長石, 石英, 雲母 角閃石?	内傾	外面: タール(おこげ)
Fig.22-89	IVD層	突帯文土器 口縁部片	残高 1.60	刻目突帯貼付 1, ナデ / ナデ 端面: 外端側に刻目	にぶい橙 7.5YR 6 / 4 黒褐 # 3 / 1	長石, 石英 チャート	?	弥生化突帯文 外面: タール
Fig.23-90	IVD層	突帯文土器 口縁~胴部片	口径 27.10 胴径 24.40 残高 12.60	刻目突帯貼付 1, ナデ, ナデ (粗い) / ナデ, 押圧 端面: 刻目	にぶい黄橙 10YR 7 / 3 黒 2.5Y 2 / 1	石英, 長石	内傾	外面: タール
Fig.23-91	IVD層	突帯文土器 口縁~胴部片	口径 22.20 胴径 17.70 残高 22.20	刻目突帯貼付 1, 沈線 1, ナデ, ナデ (粗い) / ナデ (ケズリ状) / ナデ 端面: 刻目	暗灰黄 2.5Y 5 / 2 灰黄褐 10YR #	長石, 石英 チャート, 雲母	内傾	弥生化突帯文
Fig.23-92	IVD層	突帯文土器 口縁~胴部片	残高 14.30	刻目突帯貼付 1, 条痕, ナデ / ナデ 端面: 刻目	灰黄褐 10YR 6 / 2 にぶい黄褐 5 / 3	石英, 長石 チャート	内傾	外面: タール
Fig.24-93	IVD層	突帯文土器 口縁部片	残高 2.50	刻目突帯貼付 1 (刻目 2段), 条痕, ナデ / ナデ	灰黄褐 10YR 4 / 2 #	長石, チャート 石英	内傾	外面: タール(おこげ)
Fig.24-94	IVD層	突帯文土器 口縁部片	残高 3.50	刻目突帯貼付 1, ナデ / ナデ, ヘラナデ?, 押圧	灰 5Y 5 / 1 灰白 2.5Y 8 / 2	石英, 長石 チャート	内傾	
Fig.24-95	IVD層	突帯文土器 口縁部片	残高 4.00	刻目突帯貼付 1, ナデ / ナデ	灰黄 2.5Y 7 / 2 #	石英, チャート 長石	内傾	
Fig.24-96	IVD層	突帯文土器 口縁部片	残高 2.80	刻目突帯貼付 1, ナデ / ナデ	黄灰 2.5Y 5 / 1 暗黄灰 # 4 / 2	長石, チャート 石英	内傾	外面: タール
Fig.24-97	IVD層	突帯文土器 口縁部片	残高 2.30	刻目突帯貼付 1, ナデ / ナデ (丁字), ナデ	にぶい橙 5YR 6 / 4 #	チャート, 長石 石英	内傾	
Fig.24-98	IVD層	突帯文土器 口縁部片	残高 2.90	刻目突帯貼付 1, ナデ / 条痕, ナデ	黒 2.5Y 2 / 1 #	石英, 長石 チャート	内傾	
Fig.24-99	IVD層	突帯文土器 口縁部片	残高 2.40	刻目突帯貼付 1, ナデ (粗い) / ナデ, ナデ (ケズリ状?)	にぶい黄橙 10YR 7 / 3 #	チャート, 石英 赤色砂粒, 長石	内傾	
Fig.24-100	IVD層	突帯文土器 口縁部片	残高 5.20	刻目突帯貼付 1, ナデ / ナデ, 押圧, ナデ (ケズリ状)	灰黄褐 10YR 6 / 2 灰褐 7.5YR 4 / 2	石英, 長石 チャート	内傾	突帯貼付痕口縁露出
Fig.24-101	IVD層	突帯文土器 口縁部片	残高 3.30	刻目突帯貼付 1, ナデ, 条痕 / ナデ	にぶい黄橙 10YR 7 / 3 橙 5YR 6 / 6	長石, チャート 石英	内傾	外面: タール
Fig.24-102	IVD層	突帯文土器 口縁部片	残高 2.00	外端刻目, 接合部: 段=突帯状+刻目H (刺突 状), ナデ / ナデ	灰褐 7.5YR 4 / 2 にぶい赤褐 5YR 5 / 4	石英, 長石, 水晶	内傾	段利用の突帯文?
Fig.24-103	IVD層	突帯文土器 口縁部片	残高 4.70	貼付突帯 1 + 刺突, 沈線 1?, 条痕, ナデ / ナデ 端面: 刺突	黄灰 2.5Y 5 / 1 灰黄 # 6 / 2	石英, 長石 チャート	内傾	外面: タール
Fig.24-104	IVD層	突帯文土器 口縁部片	残高 2.40	刻目突帯貼付 1, 条痕, ナデ / ナデ	黒 N 2 / 2.5Y 4 / 1	長石, 石英 チャート	内傾	外面: タール
Fig.24-105	IVD層	突帯文土器 口縁部片	残高 4.00	刻目突帯貼付 1, ナデ / ナデ	にぶい褐 7.5YR 6 / 3 にぶい橙 # 6 / 4	石英, 長石 チャート	内傾	内面: 接合部に段
Fig.24-106	IVD層	突帯文土器 口縁部片	残高 5.00	刻目突帯貼付 1, ナデ / ナデ, 押圧	灰 5Y 5 / 1 灰黄 2.5Y 6 / 2	長石, チャート 石英	内傾	外面: タール 弥生化突帯文
Fig.24-107	IVD層	突帯文土器 口縁部片	残高 4.10	刻目突帯貼付 1, ナデ (粗い) / ナデ, ハケ	灰黄 2.5Y 7 / 2 灰白 # 8 / 2	長石	内傾?	外面: タール
Fig.24-108	IVD層	突帯文土器 口縁部片	残高 6.20	刻目突帯貼付 1, ナデ, ハケ? / ナデ	灰黄 2.5Y 6 / 2 褐灰 10YR 4 / 1	石英, 長石 チャート	内傾	外面: タール
Fig.24-109	IVD層	突帯文土器 口縁部片	残高 4.60	貼付突帯 1, 竹筴刺突 2段, 磨滅→不明 / ナデ, 押圧	灰黄褐 10YR 5 / 2 にぶい黄褐 # 5 / 3	粗砂粒, 長石	外傾?	端部不整・擬口縁? 上下逆? 特殊胎土
Fig.25-110	IVD層	深鉢~甕 口縁~胴部片	口径 19.80 胴径 17.90 残高 13.50	外端刻目, ナデ (粗い) / ナデ, 押圧, ヘラナデ?	褐灰 10YR 4 / 1 黒褐 # 3 / 1	石英, 長石 チャート	内傾	外面: スス・タール
Fig.25-111	IVD層	深鉢~甕 口縁~胴部片	口径 25.00 残高 10.60	外端刻目, ナデ, 条痕?, ナデ (粗い) / ヘラナデ, ナデ, 押圧	灰褐 7.5YR 4 / 2 黒褐 10YR 3 / 1	石英, チャート 長石	内傾	外面: タール
Fig.25-112	IVD層	深鉢~甕 口縁部片	残高 3.90	外端刻目, ナデ / ナデ (条痕状?), ナデ	にぶい褐 7.5YR 5 / 4 # 5 / 3	石英, 長石	内傾	
Fig.25-113	IVD層	深鉢~甕 口縁部片	残高 3.10	外端刻目, ナデ, 押圧 / ナデ	暗灰黄 2.5Y 5 / 2 にぶい黄褐 10YR 5 / 3	長石, 石英 チャート	内傾	外面: タール
Fig.25-114	IVD層	深鉢~甕 口縁部片	残高 2.20	外端刻目, ナデ / ナデ	黒褐 7.5YR 3 / 2 # 3 / 1	石英, チャート 長石	内傾	外面: タール
Fig.25-115	IVD層	深鉢~甕 口縁部片	残高 3.50	ナデ, 押圧 / ナデ 端面: 外端側に刻目	黒 2.5Y 2 / 1 黄灰 # 5 / 1	石英, 長石	内傾	外面: タール
Fig.25-116	IVD層	深鉢~甕 口縁部片	残高 5.40	ナデ (粗い) / ナデ 端面: 外端側に刻目	黄灰 2.5Y 4 / 1 #	長石, 石英	内傾	外面: タール
Fig.25-117	IVD層	深鉢~甕 口縁~胴部片	口径 20.60 胴径 18.60 残高 6.10	ナデ, 押圧 / ナデ	灰褐 7.5YR 5 / 2 褐灰 10YR 4 / 1	長石, 石英	内傾	外面: タール(おこげ)
Fig.25-118	IVD層	深鉢~甕 口縁部片	残高 3.90	ナデ / ナデ, 押圧	灰黄褐 10YR 5 / 2 黒褐 # 3 / 1	石英, 長石 チャート	内傾	外面: タール
Fig.25-119	IVD層	深鉢~甕 口縁部片	残高 0.90	ナデ	暗灰 N 3 / 黄灰 2.5Y 4 / 1	長石, 石英	内傾	
Fig.25-120	IVD層	深鉢~甕 口縁部片	残高 3.10	ナデ	にぶい黄橙 10YR 6 / 3 にぶい黄 #	石英, 長石 チャート	内傾	
Fig.25-121	IVD層	深鉢~甕 口縁部片	残高 4.90	条痕 / ナデ, 押圧	褐灰 7.5YR 4 / 1 黒褐 10YR 3 / 1	長石, 石英	内傾	外面: タール
Fig.25-122	IVD層	深鉢~甕 口縁部片	残高 3.50	ナデ (粗い, ケズリ状) / ナデ (粗い)	にぶい褐 7.5YR 5 / 3 #	長石, 石英 チャート, 雲母	内傾	
Fig.25-123	IVD層	深鉢~甕 胴部片	残高 7.70	沈線 1, ナデ / ナデ	暗灰 N 3 / 黒褐 10YR 3 / 1	石英, 長石	内傾	
Fig.25-124	IVD層	深鉢~甕 胴部片	残高 4.50	沈線 1, 条痕 / ナデ?	黄灰 2.5Y 6 / 1 # 4 / 1	長石, 石英 チャート	内傾	
Fig.25-125	IVD層	深鉢~甕 底部片	残高 6.50	ナデ (粗い), 押圧 / ナデ, 押圧	褐灰 10YR 4 / 1 黄灰 2.5Y 5 / 1	石英, 長石	内傾	内面: タール(おこげ) 同一深度に付着
Fig.25-126	IVD層	深鉢~甕 底部片	残高 4.50 底径 7.30	押圧, ナデ / ナデ (粗い), 押圧 底面: ナデ	灰黄褐 10YR # にぶい黄橙 #	石英, 長石 チャート	?	
Fig.26-127	IVD層	縄文土器 / 鉢 口縁部片	残高 2.80	ミガキ	黒褐 2.5Y 3 / 1 黒 5Y 2 / 1	長石, 石英, 雲母 角閃石	内傾	

表9 1C区出土土器観察表4

挿図番号	層位	器種/器形 部位	法量 (cm)	文様・調整 外面/内面 その他の部位	色調 内面 外面	胎土	接合	備考
Fig.26-128	IVD層	縄文土器/鉢 口縁部片	残高 1.70	ミガキ	黒灰 7.5Y 2/1 5Y 6/1	長石, 石英, 雲母 角閃石	内傾?	胎土: 弥生化?
Fig.26-129	IVD層	縄文土器/鉢 口縁部片	残高 3.40	ミガキ/ミガキ, 押圧	黄灰 2.5Y 5/1 " 4/1	長石, 石英, 雲母 角閃石	内傾	端部不整一擬口縁?
Fig.26-130	IVD層	縄文土器/鉢 口縁部片	残高 3.10	沈線1(段?), ナデ/押圧, ナデ	灰黄褐 10YR 5/2 黒褐 " 3/1	石英, 長石, 角閃石	内傾	歪?
Fig.26-131	IVD層	縄文土器/鉢 胴部片	残高 5.20	段1, ミガキ/ミガキ(暗文状)	黒褐 2.5Y 3/1 " "	長石, 石英, 雲母 角閃石	内傾	分割成形?
Fig.26-132	IVD層	縄文土器/鉢 胴部片	残高 3.10	凹線2, ナデ/ナデ, 押圧, ヘラナデ?	黒褐 10YR 3/2 " 3/1	長石, 石英, 雲母 角閃石	内傾	
Fig.26-133	IVD層	縄文土器/鉢? 底部片	残高 8.90	ナデ(粗い), 押圧/押圧, ナデ	褐灰 10YR 5/1 " 4/1	長石, 石英	内傾	外面: タール
Fig.26-134	IVD層	縄文土器/浅鉢	口径 22.30 残高 6.00	ミガキ	黒褐 10YR 3/1 黒 " 2/1	長石, 石英, 雲母	内傾	外面: タール 破断面: 粗圧痕1
Fig.26-135	IVD層	縄文土器/浅鉢 口縁部片	残高 5.70	ミガキ/ミガキ(暗文状)	黒 2.5Y 2/1 黒褐 " 3/1	長石, 石英	内傾	
Fig.26-136	IVD層	縄文土器/浅鉢 口縁部片	残高 5.20	ミガキ	褐灰 10YR 4/1 黒褐 " 3/1	長石, 石英, 角閃石	内傾	
Fig.26-137	IVD層	縄文土器/浅鉢 口縁部片	残高 3.70	ミガキ	黒褐 2.5Y 3/1 " "	長石, 石英, 角閃石 赤色砂粒	内傾	補修孔1(両側穿孔)
Fig.26-138	IVD層	縄文土器/浅鉢 口縁部片	残高 2.30	ミガキ/沈線1, ミガキ	黄灰 2.5Y 4/1 黒 " 2/1	長石, 角閃石	内傾	
Fig.26-139	IVD層	縄文土器/浅鉢 口縁部片	残高 4.10	ミガキ/ミガキ, ナデ(丁寧)	黄灰 2.5Y 4/1 灰黄褐 10YR 4/2	石英, 長石, 雲母	内傾	内外面端部: 赤彩 外面: タール
Fig.26-140	IVD層	縄文土器/浅鉢 口縁部片	残高 2.30	ミガキ	にぶい黄橙 10YR 6/3 " "	長石, 石英, 雲母	内傾	端部不整一擬口縁?
Fig.26-141	IVD層	縄文土器/浅鉢 口縁部片	残高 2.20	ミガキ, ケズリ?/ミガキ	黒 2.5Y 2/1 " "	長石, 石英, 角閃石	内傾	端部外面: 赤彩
Fig.26-142	IVD層	縄文土器/浅鉢 口縁部片	残高 5.00	ミガキ	暗灰 N 3/1 " "	長石, 石英, 雲母 角閃石	内傾	
Fig.26-143	IVD層	縄文土器/浅鉢 胴部片	残高 4.90	ミガキ	黒褐 2.5Y 3/1 " 3/2	石英, 長石, 雲母 赤色砂粒	内傾?	
Fig.26-144	IVD層	縄文土器/浅鉢 胴部片	残高 3.10	ミガキ/ミガキ~ヘラナデ	黒 10YR 2/1 黒褐 " 3/1	石英, 長石, 雲母	内傾	内外面: 赤彩
Fig.26-145	IVD層	縄文土器/浅鉢 底部片	残高 2.90 底径 10.00	ナデ, ケズリ/ナデ, 押圧 底面: 縦線圧痕?, 格子状	灰黄褐 10YR 4/2 " 5/2	石英, 長石, 角閃石	内傾	補修孔1(主に外側穿孔)
Fig.26-146	IVD層	縄文土器/浅鉢 底部片	残高 1.50 底径 7.00	条痕?, ナデ(ケズリ状) /ミガキ, ナデ	黒 5Y 2/1 " 2.5Y "	長石, 石英, 雲母	内傾	
Fig.26-147	IVD層	弥生土器/鉢 口縁部片	残高 4.00	接合部に段1, ミガキ, ナデ, ミガキ~ヘラナ デ/ミガキ, ナデ	にぶい黄橙 10YR 6/3 灰黄褐 " 5/2	長石, 石英 赤色砂粒	外傾	外面: スス? 内面: スス
Fig.26-148	IVD層	弥生土器/鉢? 胴部片	残高 1.70	沈線1+1?, ミガキ/ミガキ, ナデ	黒褐 10YR 3/1 褐灰 " 4/1	角閃石, 長石, 石英 雲母	内傾?	器種不明?
Fig.27-149	IVB2層	縄文土器/壺 口縁部片	残高 5.00	頸部沈線状, ミガキ/ミガキ, ナデ	褐灰 10YR 4/1 " "	長石, 石英, 角閃石	内傾	
Fig.27-150	IVB2層	縄文土器/壺 胴部片	残高 4.30	縦線沈線1, 弧状沈線1, ミガキ, ケズリ /ナデ	にぶい黄橙 10YR 5/3 褐灰 " 4/1	長石, 石英, 雲母 角閃石	内傾	
Fig.27-151	IVB2層	弥生土器?/壺 頸部片	残高 3.50	ミガキ/ミガキ, 押圧	暗灰 N 3/1 灰 " 6/1	長石, 石英, 雲母	内傾	
Fig.27-152	IVB2層	尖帯文土器 口縁部片	残高 3.50	外端刻目, 刻目突帯貼付1, ナデ /ナデ, 押圧	にぶい褐 7.5YR 5/4 にぶい橙 " 6/4	石英, 長石 チャート	内傾?	
Fig.27-153	IVB2層	尖帯文土器 口縁部片	残高 3.40	刻目突帯貼付1, ナデ, 押圧/ナデ, 押圧 端部: 刻目?	黄灰 2.5Y 5/1 にぶい褐 7.5YR 5/3	石英, 長石 チャート	内傾	
Fig.27-154	IVB2層	深鉢~甕 口縁部片	残高 3.40	刺突1段, ナデ/ナデ, 押圧	褐灰 10YR 4/1 灰白 2.5Y 8/2	長石, 石英 チャート	内傾	
Fig.27-155	IVB2層	縄文土器/鉢 口縁部片	残高 3.00	沈線1=段?, ミガキ/ミガキ	褐灰 7.5YR 4/1 " "	長石, 石英, 雲母	内傾	
Fig.27-156	IVB2層	縄文土器/浅鉢 口縁~胴部片	口径 21.40 残高 5.70	ミガキ	黒褐 10YR 3/1 黒 N 2/0	長石, 石英, 雲母	内傾	外面: タール
Fig.27-157	IVB2層	縄文土器/浅鉢 口縁部片	残高 2.70	ミガキ	にぶい黄橙 10YR 6/3 " 7/3	長石, 石英, 雲母	内傾	口縁端部欠?
Fig.28-158	IVB1層	弥生土器/壺 口縁~胴部片	口径 52.60 残高 38.60	口~頸接合部: 段, 頸~胴部境: 凹線状, ミガ キ, ナデ/ミガキ, 押圧	にぶい橙 7.5YR 6/4 にぶい黄橙 10YR 7/3	石英, 長石 赤色砂粒	外傾	大形品
Fig.27-159	IVB1層	弥生土器/壺 口縁部片	残高 3.40	ミガキ/ミガキ, ハケ, ナデ	浅黄褐 10YR 8/3 にぶい黄橙 " 7/3	石英, 赤色砂粒 長石, 雲母	?	内外面: スス
Fig.27-160	IVB1層	弥生土器/壺 頸~胴部片	残高 4.10	頸~胴部境: 沈線1=段, ミガキ, ナデ /押圧, ナデ	黒褐 10YR 3/2 " 2.5Y 3/1	石英, チャート 赤色砂粒, 長石	外傾	内外面: スス, タール
Fig.27-161	IVB1層	弥生土器/壺 底部片	残高 9.60 底径 16.80	ハケ, 押圧/押圧, ナデ 底面: ナデ?, 圧痕	浅黄褐 7.5YR 8/4 黒褐 10YR 3/1	長石, 石英, 雲母	外傾	外面: タール?・赤彩?
Fig.27-162	IVB1層	弥生土器/壺 底部片	残高 7.80 底径 13.40	押圧/ナデ	にぶい橙 7.5YR 7/4 にぶい黄橙 10YR "	石英, 長石 赤色砂粒	?	大形品?
Fig.27-163	IVB1層	深鉢~甕 口縁部片	残高 1.70	ナデ	灰 N 4/1 褐灰 10YR 5/1	チャート, 長石 石英	内傾?	
Fig.27-164	IVB1層	深鉢~甕 胴~底部片	残高 11.20 底径 11.50	板ナデ/ナデ, 押圧 底面: ナデ	灰黄褐 10YR 4/2 灰白 " 8/1	長石, チャート 赤色砂粒, 石英	?	弥生土器・甕
Fig.27-165	IVB1層	縄文土器/鉢 口縁部片	残高 3.90	沈線1=段?, ミガキ/ミガキ	灰黄褐 10YR 5/2 褐灰 " 4/1	長石, 石英, 角閃石	内傾	
Fig.27-166	IVB1層	縄文土器/浅鉢 胴部片	残高 2.20	段1, ミガキ/ミガキ	褐灰 10YR 4/1 黒 2.5Y 2/1	長石, 石英, 角閃石	内傾	
Fig.29-167	IVB層	縄文土器/壺 口縁~頸部片	残高 7.50	ミガキ/ミガキ, ナデ, 押圧	黄灰 2.5Y 4/1 暗灰黄 " 5/2	長石, 石英, 角閃石 雲母	内傾	
Fig.29-168	IVB層	縄文土器/壺 口縁~頸部片	残高 4.90	ミガキ/ミガキ, ナデ	黒褐 2.5Y 3/1 " "	長石, 石英, 角閃石	?	
Fig.29-169	IVB層	縄文土器/壺 口縁部片	残高 3.70	ナデ, 押圧	にぶい黄橙 10YR 7/2 " "	長石, 石英, 雲母 角閃石, チャート	?	
Fig.29-170	IVB層	縄文土器/壺 口縁~頸部片	残高 5.80	ミガキ/ミガキ?	にぶい黄 2.5Y 6/3 灰黄褐 10YR 4/2	長石, 石英, 角閃石 雲母	内傾	
Fig.29-171	IVB層	縄文土器/壺 口縁部片	残高 3.50	段1, ミガキ/ミガキ	褐灰 10YR 4/1 黒褐 " 3/1	長石, 石英, 角閃石	内傾	
Fig.29-172	IVB層	縄文土器/壺 頸部片	残高 5.50	ナデ/ナデ, 押圧	にぶい黄橙 10YR 6/3 " "	長石, 石英, 雲母 角閃石	内傾	

表10 1C区出土土器観察表5

挿入番号	層位	器種/器形 /部位	法量 (cm)	文様・調整 外面/内面 その他の部位	色調 内面 外面	胎土	接合	備考
Fig.29-173	IVB層	縄文土器/壺 頸部片	残高 9.30	ナデ(丁寧), ケズリ~ナデ, 押圧	灰黄褐 10YR 4/2 # 5/2	長石, 石英, 雲母	外傾	
Fig.29-174	IVB層	縄文土器/壺 頸部片	残高 9.30	凹線状1, ミガキ~ナデ(丁寧) /ナデ, 押圧	灰黄褐 10YR 4/2 # 5/2	長石, 石英	内傾	外面: タール
Fig.29-175	IVB層	縄文土器/壺 頸部片	残高 5.70	沈線1, ミガキ, ナデ, ハケ? /板ナデ, ナデ, 押圧	灰黄 2.5Y 6/2 # #	石英, 長石, 角閃石 雲母	内傾	外面: スス
Fig.29-176	IVB層	縄文土器/壺 頸~胴部片	残高 3.60	段1=沈線状, ナデ(ケズリ状) /ナデ(ケズリ状)	灰黄 2.5Y 7/2 # #	長石, 石英, 雲母 角閃石	内傾	
Fig.29-177	IVB層	縄文土器/壺 頸部片	残高 3.70	沈線1, ミガキ/ナデ	暗灰黄 2.5Y 5/2 黒褐 # 3/1	長石, 石英, 雲母 角閃石	内傾	
Fig.29-178	IVB層	縄文土器/壺 頸部片	残高 3.60	沈線1, ミガキ/ナデ	褐灰 10YR 4/1 黒褐 # 3/1	石英, 長石, 角閃石	内傾	
Fig.29-179	IVB層	縄文土器/壺 頸部片	残高 3.90	沈線1, ミガキ~ナデ(丁寧)/ナデ	にぶい黄 2.5Y 6/3 にぶい黄橙 10YR #	石英, 長石, 角閃石 赤色砂粒	?	
Fig.29-180	IVB層	縄文土器/壺 頸部片	残高 2.30	沈線1, ミガキ/ミガキ, ナデ	褐灰 10YR 4/1 黒褐 # 3/1	長石, 石英, 雲母	内傾	
Fig.29-181	IVB層	縄文土器/壺 頸部片	残高 4.00	沈線1?, ミガキ/ミガキ, ナデ, 押圧	黒褐 2.5Y 3/1 # #	長石, 石英, 角閃石	内傾	下端: 擬口縁露出
Fig.29-182	IVB層	縄文土器/壺 口縁~胴部片	残高 4.10	沈線状1, ミガキ/ナデ, 押圧	黒褐 10YR 3/1 にぶい褐 7.5YR 5/3	石英, 長石, 角閃石	内傾?	端部: 擬口縁? 波状口縁?
Fig.29-183	IVB層	縄文土器/壺 胴部片	残高 4.90	ミガキ/ミガキ, ナデ, 押圧	黄灰 2.5Y 5/1 # 4/1	長石, 石英, 角閃石	内傾	短頸蓋?
Fig.29-184	IVB層	縄文土器/壺 胴部片	胴径 33.50 残高 6.20	頸~胴接合部: 段=凹線状, ミガキ /ナデ, 押圧	暗灰黄 2.5Y 5/2 灰黄褐 10YR #	長石, 石英, 雲母 赤色砂粒	内傾	
Fig.29-185	IVB層	縄文土器/壺 胴部片	残高 2.50	沈線1, ミガキ, ナデ/ナデ, 押圧	黒褐 10YR 3/1 # 3/2	長石, 石英, 角閃石	内傾	
Fig.29-186	IVB層	縄文土器/壺 胴部片	残高 1.90	沈線1, ミガキ/ナデ, 押圧	にぶい黄 2.5Y 6/3 黒褐 # 3/1	石英, 長石, チャー ト, 雲母, 角閃石	内傾?	沈線内: 赤彩
Fig.29-187	IVB層	縄文土器/壺 頸~胴部片	残高 4.20	沈線1, ミガキ, ナデ, ケズリ /ナデ, 押圧	黄灰 2.5Y 5/1 黒 # 2/1	長石, 石英	内傾	
Fig.30-188	IVB層	縄文土器/壺 胴部片	残高 3.90	沈線1, ミガキ/ナデ	灰黄 2.5Y 6/2 暗灰黄 # 5/2	長石, 石英, 雲母 角閃石	内傾	
Fig.30-189	IVB層	縄文土器/壺 胴部片	残高 3.40	沈線1, ミガキ/ナデ	褐灰 10YR 4/1 黒褐 # 3/1	長石, 石英, 角閃石	内傾	沈線内: 赤彩
Fig.30-190	IVB層	縄文土器/壺 胴部片	残高 1.90	沈線1, ミガキ/ナデ	黒 2.5Y 2/1 暗灰黄 # 5/2	長石, 石英, 雲母 角閃石	内傾	擬口縁明確→分割成形?
Fig.30-191	IVB層	縄文土器/壺 胴部片	残高 1.90	沈線1, ミガキ/ナデ	黒褐 7.5YR 3/1 灰褐 # 4/2	長石, 石英, 雲母 角閃石	内傾	沈線内: 赤彩充填? 内外面: タール
Fig.30-192	IVB層	縄文土器/壺 胴部片	残高 3.00	ミガキ/ナデ?	にぶい黄橙 10YR 7/2 褐灰 # 4/1	石英, 長石, 雲母 角閃石	内傾	端部: 擬口縁
Fig.30-193	IVB層	縄文土器/壺 胴部片	残高 4.50	ナデ, ヘラナデ(丁寧)/ナデ	黒褐 2.5Y 3/1 灰黄 # 5/2	石英, 長石, 角閃石	外傾	
Fig.30-194	IVB層	縄文土器/壺 胴部片	残高 3.80	沈線5, ナデ?/ナデ?	にぶい黄橙 10YR 6/4 # 7/3	長石, 石英	内傾?	
Fig.30-195	IVB層	縄文土器/壺 胴部片	残高 1.90	斜沈線5, ミガキ/ナデ	暗灰黄 2.5Y 5/2 黄灰 # 4/1	長石, 石英, 角閃石	内傾	
Fig.30-196	IVB層	縄文土器/壺? 胴部片	残高 3.50	貼付突帯1, ナデ(丁寧) /余痕?, ナデ	褐灰 10YR 6/1 橙 2.5YR 6/8	長石, 石英, 雲母	内傾	
Fig.48-197	IVB層	縄文土器/壺 胴部片	残高 4.50	横位陰線区画文2帯(沈線1), 縦位 陰線区画文帯(陰線1), 沈線1 /ナデ	褐灰 10YR 4/1 赤 10R 4/8	長石, 石英, 雲母	外傾?	横位区画: 黒+赤漆 縦位区画: 黒+赤漆 内面: 黒色物付着 大間A式, 搬入品
Fig.30-198	IVB層	縄文土器/壺? 胴部片	残高 4.80	重環沈線4, 区画文(木葉状?), ミガキ /ナデ	黄灰 2.5Y 4/1 黒褐 # 3/1	長石, 石英	外傾?	上下逆? 搬入品?
Fig.30-199	IVB層	縄文土器/壺 胴部片	胴径? 19.30 残高 3.80	ケズリ, ナデ /ナデ(丁寧), 粘土付着	褐灰 10YR 4/1 灰黄褐 # 4/2	長石, 石英, 雲母 角閃石	内傾	端部: 擬口縁 外面: 赤彩 内面: タール
Fig.30-200	IVB層	縄文土器/壺 底部片	残高 1.20 底径 6.00	ナデ(粗い)/ナデ, 押圧	灰黄褐 10YR 6/2 # #	長石, 石英, 雲母 角閃石	内傾	
Fig.30-201	IVB層	縄文土器/壺 底部片	残高 2.20	ミガキ~ナデ(丁寧), ナデ/ナデ 底面: ナデ	にぶい黄褐 10YR 5/3 灰黄橙 # 5/2	長石, 石英, 雲母 角閃石	内傾?	
Fig.31-202	IVB層	弥生土器/壺 口縁部片	口径 13.20 器高 29.45 胴径 26.80 底径 ?	沈線2+2, ミガキ, ナデ? /ミガキ, ナデ, 押圧	にぶい黄橙 10YR 7/3 # #	赤色砂粒, 石英 長石	外傾	
Fig.31-203	IVB層	弥生土器/壺 口縁部片	残高 4.00	ナデ/沈線2, ナデ? 端面: 凹面, 沈線2	浅黄橙 10YR 8/3 にぶい赤褐 5YR 5/4	赤色砂粒, 長石 石英	外傾	大形品
Fig.31-204	IVB層	弥生土器/壺? 口縁部片?	残高 6.20	ミガキ/ミガキ~ナデ(丁寧)	浅黄橙 7.5YR 7/4 # #	赤色砂粒, 石英 長石	?	大形品, 器種? 205と同一個体?
Fig.31-205	IVB層	弥生土器/壺? 口縁部片?	残高 1.70	ナデ?/不明	にぶい黄橙 10YR 7/4 橙 5YR 6/6	赤色砂粒, 長石 石英	外傾	大形品, 器種? 204と同一個体?
Fig.31-206	IVB層	弥生土器/壺 口縁部片	残高 2.70	不明/ナデ	浅黄橙 7.5YR 8/4 橙 5YR 7/6	石英, 赤色砂粒 長石	?	大形品
Fig.31-207	IVB層	弥生土器/壺 口縁~頸部片	口径 15.40 残高 7.30	ミガキ, 押圧	灰白 10YR 8/2 にぶい黄橙 # 7/3	赤色砂粒, 石英	?	
Fig.31-208	IVB層	弥生土器/壺 口縁部片	口径 13.10 残高 3.70	沈線2, ミガキ, ナデ, 押圧/ミガキ	にぶい橙 7.5YR 7/4 # #	赤色砂粒, 石英 長石	?	
Fig.31-209	IVB層	弥生土器/壺 口縁部片	残高 4.00	ミガキ, ナデ(丁寧)	浅黄橙 10YR 8/3 にぶい黄橙 # 7/3	石英, 赤色砂粒 長石	外傾	
Fig.31-210	IVB層	弥生土器/壺 口縁部片	残高 3.00	ミガキ, ナデ/ミガキ	にぶい橙 7.5YR 7/4 灰白 10YR 8/2	赤色砂粒, 石英 長石, 雲母	?	内面: 赤変+被熱?
Fig.31-211	IVB層	弥生土器/壺 口縁部片	残高 3.40	ミガキ/ナデ?	にぶい黄橙 10YR 7/2 # 7/3	石英, 赤色砂粒 長石	外傾	
Fig.31-212	IVB層	弥生土器/壺 口縁部片	残高 2.30	ナデ/ミガキ, ナデ	にぶい黄橙 10YR 7/3 # #	石英, 長石 赤色砂粒, 雲母	?	
Fig.31-213	IVB層	弥生土器/壺 口縁部片	残高 2.90	ナデ(丁寧)	灰黄 2.5Y 7/2 にぶい黄橙 10YR #	石英, 長石 赤色砂粒	外傾	
Fig.31-214	IVB層	弥生土器/壺 口縁部片	残高 6.80	ミガキ/ミガキ, ハケ, ナデ, 押圧	赤 # # 赤 # #	石英, 長石 赤色砂粒	外傾	内外面: 赤彩

表11 1C区出土土器観察表6

押図番号	部位	器種/器形/部位	法量 (cm)	文様・調整 外面/内面 その他の部位	色調 内面 外面	胎土	接合	備考
Fig.31-215	IVB層	弥生土器/壺 口縁部片	残高 1.80	文様: 沈線1 (ミガキ原形?)	にぶい橙 5YR 6/4 にぶい黄橙 10YR "	石英, 長石, 雲母	?	内外面: 赤彩
Fig.31-216	IVB層	弥生土器/壺 口縁部片	残高 3.70	口へ頭接合部: 段, ミガキ~ナデ (丁寧) /ミガキ?	浅黄橙 10YR 8/3 にぶい橙 7.5YR 7/3	石英, 長石 赤色砂粒	外傾	内面: 赤彩?
Fig.31-217	IVB層	弥生土器/壺 口縁~頸部片	残高 3.30	ミガキ~ナデ (丁寧) /ミガキ	にぶい黄橙 10YR 5/3 黒褐 2.5Y 3/1	長石, 石英 赤色砂粒	?	外面: スス?・靨料? 内面: 端部黒変
Fig.31-218	IVB層	弥生土器/壺 頸部片	残高 20.10	ミガキ	にぶい黄橙 10YR 7/3 浅黄 2.5Y "	赤色砂粒, 石英 長石	外傾	大形品
Fig.31-219	IVB層	弥生土器/壺 頸部片	残高 4.20	ナデ? /ナデ	浅黄橙 10YR 8/3 " "	赤色砂粒, 長石 石英	外傾	大形品
Fig.31-220	IVB層	弥生土器/壺 頸部片	残高 5.30	ナデ	橙 7.5Y 6/6 " "	チャート, 石英 長石, 赤色砂粒 雲母, 角閃石	外傾	
Fig.31-221	IVB層	弥生土器/壺 頸~胴部片	残高 3.10	ミガキ/押圧	灰白 2.5Y 7/1 " 10YR 8/1	赤色砂粒, 長石 石英, 雲母	外傾	
Fig.31-222	IVB層	弥生土器/壺 頸~胴部片	残高 2.90	頸~胴接合部: 段=沈線状, ミガキ, ナデ 押圧, ナデ	灰白 10YR 8/2 にぶい橙 5YR 6/4	チャート 赤色砂粒	外傾	
Fig.31-223	IVB層	弥生土器/壺 頸部片?	残高 3.10	ミガキ? /ミガキ	にぶい橙 2.5YR 6/4 褐灰 7.5YR 5/1	石英, 長石, 雲母 赤色砂粒	外傾?	上下逆? 内外面: 赤彩
Fig.31-224	IVB層	弥生土器/壺 頸部片	残高 3.50	ミガキ/ミガキ?	紫 7.5YR 4/4 " "	長石, 石英 赤色砂粒	外傾	内外面: 赤彩 外面: 塗り分け?
Fig.31-225	IVB層	弥生土器/壺 頸~胴部片	残高 5.90	押圧, ミガキ/ハケ, 押圧	にぶい黄橙 10YR 7/3 にぶい橙 2.5YR 6/4	石英, 赤色砂粒 長石, 雲母	外傾	外面: 赤彩
Fig.31-226	IVB層	弥生土器/壺 頸~胴部片	残高 4.90	接合部: 段=沈線状, ミガキ /ハケ, 押圧, ナデ	灰白 2.5Y 8/2 にぶい赤橙 10R 6/4	石英, 長石 赤色砂粒	外傾	外面: 赤彩
Fig.31-227	IVB層	弥生土器/壺 頸~胴部片	残高 3.40	接合部: 段=凹線状, ミガキ~板ナデ? (ハケ 状原形/ハケ~板ナデ, 押圧)	黒 10YR 2/1 " 2/1	長石, 赤色砂粒	外傾	外面: 赤彩・黒変(被熱?) 内面: スス・タール
Fig.32-228	IVB層	弥生土器/壺 頸部片	残高 2.90	沈線2, ミガキ/ナデ, 押圧	にぶい黄橙 10YR 7/4 灰黄褐 5/2	赤色砂粒, 石英 長石	外傾	
Fig.32-229	IVB層	弥生土器/壺 頸部片	残高 2.60	接合部: 段, 沈線4, ミガキ, ナデ /ナデ	にぶい橙 7.5YR 7/4 " "	チャート 赤色砂粒	外傾	
Fig.32-230	IVB層	弥生土器/壺 頸部片	残高 3.90	斜沈線3, ミガキ~ナデ (丁寧) /押圧	灰白 10YR 8/2 にぶい橙 7.5YR 7/3	石英, 長石	?	
Fig.32-231	IVB層	弥生土器/壺 頸~胴部片	残高 6.20	沈線4, ミガキ~ナデ (丁寧) /押圧, ナデ	浅黄橙 7.5YR 8/4 にぶい橙 5YR 6/4	赤色砂粒, 石英 長石	?	
Fig.32-232	IVB層	弥生土器/壺 頸部片	残高 5.30	斜沈線4, ミガキ /ミガキ~ナデ (丁寧)	にぶい黄橙 10YR 7/3 " 6/4	石英, 長石	外傾	外面: タール
Fig.32-233	IVB層	弥生土器/壺 頸部片	残高 4.10	縦沈線4, ミガキ/押圧, ナデ	灰白 10YR 8/1 にぶい黄橙 7/2	長石, 石英 赤色砂粒	外傾	
Fig.32-234	IVB層	弥生土器/壺 頸部片	残高 4.20	縦沈線4, ナデ (丁寧) /ナデ?	浅黄橙 10YR 8/3 にぶい橙 7.5YR 7/4	赤色砂粒, 長石 石英	外傾	
Fig.32-235	IVB層	弥生土器/壺 頸部片	残高 2.70	斜沈線4, ミガキ~ナデ (丁寧) /ナデ, 押圧	にぶい橙 7.5YR 7/4 橙 5YR 6/6	赤色砂粒, 長石 チャート, 角閃石 石英	外傾	
Fig.32-236	IVB層	弥生土器/壺 頸部片	残高 2.70	沈線3 (複線山形文?), ミガキ~ナデ (丁寧) /ナデ, 押圧	灰白 10YR 8/2 にぶい橙 7.5YR 7/3	石英, 赤色砂粒	?	
Fig.32-237	IVB層	弥生土器/壺 頸部片	残高 3.20	沈線1+1, 複線山形文4条, ミガキ /押圧, ナデ	灰黄褐 10YR 6/2 " 4/2	石英, 長石 角閃石?	外傾	
Fig.32-238	IVB層	弥生土器/壺 頸~胴部片	残高 3.90	段1=沈線, 沈線2, 複線山形文5条~?, ナ デ, ヘラナデ/ナデ	にぶい橙 7.5YR 7/3 にぶい黄橙 10YR 7/2	赤色砂粒, 石英 長石	外傾	
Fig.32-239	IVB層	弥生土器/壺 頸~胴部片	残高 4.50	重弧文3条, ミガキ /押圧, ハケ, ナデ	灰白 2.5Y 8/2 浅黄 8/3	長石, 石英	?	
Fig.32-240	IVB層	弥生土器/壺 頸部片	残高 4.20	重弧文4条, 縦沈線1, ナデ, ミガキ /押圧, ナデ	灰白 2.5Y 7/1 にぶい橙 7.5YR 6/4	石英, 長石	外傾	
Fig.32-241	IVB層	弥生土器/壺? 頸~胴部片	残高 5.40	器付突帯1, 沈線3, 縦沈線3条区画, 木葉文, ナデ, 押圧, ミガキ /ミガキ, ナデ, 押圧	にぶい黄橙 10YR 7/2 褐灰 7.5YR 4/1	チャート, 石英 赤色砂粒	外傾	蓋?
Fig.32-242	IVB層	弥生土器/壺 頸部片	残高 3.80	木葉文, ナデ/ナデ	灰白 10YR 8/2 浅黄橙 8/3	赤色砂粒, 石英	?	
Fig.32-243	IVB層	弥生土器/壺 頸~胴部片	残高 2.20	木葉文, ミガキ/ナデ	灰白 10YR 8/2 " 2.5Y "	赤色砂粒, 石英	?	
Fig.32-244	IVB層	弥生土器/壺 頸部片	残高 3.10	沈線3, 縦刻目, ミガキ /ミガキ, ヘラナデ	黒褐 10YR 3/1 にぶい橙 7.5YR 7/3	石英, 長石 チャート	?	
Fig.32-245	IVB層	弥生土器/壺 頸~胴部片	残高 3.80	接合部: 突帯状+刻目, 沈線2, ミガキ /ナデ, 押圧	にぶい橙 7.5YR 7/4 橙 5YR 6/6	赤色砂粒, 長石 雲母, 石英	外傾	削出突帯状?
Fig.32-246	IVB層	弥生土器/壺 頸部片?	残高 1.80	沈線4, 刺突? (短沈線), ミガキ /ナデ	灰黄 2.5Y 7/2 " "	石英, 長石	外傾	
Fig.32-247	IVB層	弥生土器/壺 頸~胴部片	残高 4.30	突帯1+沈線2+縦沈線5, 斜沈線3, 沈線2, ナデ/押圧, ナデ	にぶい赤褐 5YR 5/4 " 6/6	チャート, 長石 赤色砂粒	?	削出突帯状?
Fig.32-248	IVB層	弥生土器/壺 口縁~頸部片	残高 3.20	接合部: 突帯状+刻目, 沈線1, 沈線状1, ミガキ, ナデ/ナデ, ミガキ	にぶい黄橙 10YR 7/2 灰白 8/2	石英, 長石	外傾	削出突帯状?
Fig.32-249	IVB層	弥生土器/壺 頸部片	残高 2.40	貼付突帯1+刻目, 沈線1, 沈線状1, ミガキ, ナデ/ナデ	にぶい黄橙 10YR 7/2 灰白 2.5Y 8/2	長石, 石英	外傾	
Fig.32-250	IVB層	弥生土器/壺 頸~胴部片	残高 1.90	刻目突帯貼付1+沈線=上下2分割, 沈線1, ミガキ~ナデ (丁寧) /押圧?	にぶい黄橙 10YR 7/3 にぶい橙 7.5YR "	チャート, 赤色砂粒 石英, 長石	外傾	
Fig.32-251	IVB層	弥生土器/壺 頸部片	残高 2.80	接合部: 段=沈線1, 沈線1, ミガキ /ナデ	にぶい橙 2.5YR 6/4 " 7.5YR 7/3	長石, 石英 赤色砂粒	外傾	削出突帯状?
Fig.32-252	IVB層	弥生土器/壺 胴部片	残高 3.70	接合部: 段+刻目, ナデ/ナデ, 押圧	灰黄 2.5Y 7/2 灰白 8/2	石英, 長石, 雲母 赤色砂粒	外傾	
Fig.32-253	IVB層	弥生土器/壺 胴部片	残高 5.40	沈線1, ミガキ/ミガキ, ナデ	にぶい黄橙 10YR 7/3 灰黄 2.5Y 6/2	石英, チャート 長石	?	
Fig.32-254	IVB層	弥生土器/壺 胴部片	残高 4.20	沈線3×2段, ミガキ/押圧, ミガキ	褐灰 10YR 6/1 にぶい黄橙 7/2	石英, 長石, 角閃石 雲母	?	
Fig.32-255	IVB層	弥生土器/壺 胴部片	残高 4.90	沈線3, ミガキ, ナデ (丁寧) /ナデ, 押圧, ヘラナデ	黄灰 2.5Y 4/1 にぶい橙 7.5YR 6/4	長石, 石英	外傾	
Fig.32-256	IVB層	弥生土器/壺 胴部片	残高 7.20	沈線4, ミガキ/押圧, ナデ	にぶい橙 7.5YR 7/4 灰白 10YR 8/2	石英, 長石 赤色砂粒	外傾	
Fig.32-257	IVB層	弥生土器/壺? 胴部片	残高 6.70	沈線2, ミガキ, ナデ /ナデ, 押圧, ヘラナデ	褐灰 10YR 4/1 にぶい赤褐 5YR 5/4	石英	外傾	傾き不明 蓋?

表12 1C区出土土器観察表7

図番	層位	器種/器形 /部位	法量 (cm)	文様・調整 外面/内面 その他の部位	色調 内面 外面	胎土	接合	備考
Fig.32-258	IV B層	弥生土器/壺 胴部片	残高 2.60	沈線 3, ミガキ/ナデ	黒褐 10YR 3/2 灰黄褐 5/2	長石, 石英	?	
Fig.32-259	IV B層	弥生土器/壺 胴部片	残高 1.90	沈線 2, ミガキ/ナデ	にぶい褐 7.5YR 5/3 にぶい黄褐 10YR "	長石, 石英	外傾	
Fig.32-260	IV B層	弥生土器/壺 胴部片	残高 2.60	沈線 3, ミガキ, ナデ/ミガキ	明褐灰 7.5YR 7/2 灰白 5Y 7/1	石英, 長石	外傾	大形品?
Fig.33-261	IV B層	弥生土器/壺? 胴部片	残高 2.20	沈線 3, ミガキ/押圧, ナデ	にぶい橙 7.5YR 6/4 にぶい黄褐 10YR 5/4	チャート	外傾	覆?
Fig.33-262	IV B層	弥生土器/壺 胴部片	残高 1.90	沈線 4+2, ミガキ/押圧?	灰白 2.5Y 7/1 にぶい褐 7.5YR 6/3	赤色砂粒, 長石 石英	?	
Fig.33-263	IV B層	弥生土器/壺 胴部片	残高 4.50	斜沈線 2 (複線山形文?), ミガキ /ミガキ~ナデ (丁寧)	にぶい橙 7.5YR 7/4 にぶい褐 5/3	長石, 石英	外傾	
Fig.33-264	IV B層	弥生土器/壺 胴部片	残高 3.60	斜沈線 1+2, ミガキ/ミガキ	灰黄褐 10YR 4/2 にぶい褐 7.5YR 5/3	長石, 石英	?	
Fig.33-265	IV B層	弥生土器/壺 胴部片	残高 3.50	斜沈線 2 (複線山形文?), ミガキ/ナデ	灰白 10YR 8/2 黄灰 2.5Y 4/1	赤色砂粒, 石英 長石	外傾	
Fig.33-266	IV B層	弥生土器/壺 胴部片	残高 3.80	沈線 2, 斜沈線 1 (山形文?), ミガキ /ナデ	にぶい黄褐 10YR 5/3 " "	石英, 長石	外傾	
Fig.33-267	IV B層	弥生土器/壺 胴部片	残高 1.80	複線山形文? 4条?, ミガキ/ナデ	にぶい黄橙 10YR 7/2 " "	長石, 石英	外傾	
Fig.33-268	IV B層	弥生土器/壺 胴部片	残高 2.30	斜沈線 5 (複線山形文?), ミガキ~ナデ (丁寧) /ナデ, ヘラナデ?, 押圧	にぶい黄橙 10YR 6/3 灰黄褐 5/2	チャート, 長石 石英	外傾	外面: スス・タール
Fig.33-269	IV B層	弥生土器/壺 胴部片	残高 2.10	斜沈線 2 (複線山形文?), ミガキ/ナデ	灰白 2.5Y 7/1 にぶい黄橙 10YR 7/2	赤色砂粒, 石英 長石	?	
Fig.33-270	IV B層	弥生土器/壺 胴部片	残高 1.80	斜沈線 4 (複線山形文?), ミガキ/ナデ	灰白 10YR 7/1 黒褐 2/2	赤色砂粒	?	外面: スス?
Fig.33-271	IV B層	弥生土器/壺 胴部片	残高 2.50	沈線 5, 斜沈線 5, ミガキ/ナデ, 押圧	灰白 2.5Y 8/1 にぶい黄橙 10YR 7/3	赤色砂粒, 長石 チャート	外傾	
Fig.33-272	IV B層	弥生土器/壺 胴部片	残高 3.50	複線山形文 3条, ミガキ /押圧, ナデ (丁寧)	灰白 2.5Y 8/2 黒 7.5Y 2/1	石英, 長石	外傾	外面: スス
Fig.33-273	IV B層	弥生土器/壺 胴部片	残高 3.60	沈線 2, 複線山形文 4条, ミガキ /ハケ, ナデ, ミガキ	灰白 2.5Y 8/2 にぶい黄橙 10YR 7/2	長石, 石英	外傾	274・275と同一個体?
Fig.33-274	IV B層	弥生土器/壺 胴部片	残高 2.70	沈線 2, 複線山形文 4条, ミガキ /ハケ, ミガキ	灰白 2.5Y 8/1 灰黄褐 10YR 6/2	石英, 長石, 雲母	外傾	273・275と同一個体?
Fig.33-275	IV B層	弥生土器/壺 胴部片	残高 1.60	沈線 2, 複線山形文 2条, ミガキ /ハケ, ナデ, ミガキ?	灰白 10YR 8/1 にぶい黄橙 7/2	長石, 石英	外傾	273・274と同一個体?
Fig.33-276	IV B層	弥生土器/壺 胴部片	残高 1.40	格子状沈線文 (多条), ミガキ/押圧?	灰白 10YR 8/2 褐灰 4/1	石英, 長石	外傾	
Fig.33-277	IV B層	弥生土器/壺 胴部片	残高 2.40	斜交沈線文 (多条), /ナデ	浅黄橙 2.5Y 7/3 橙 5YR 7/6	長石, 石英	?	
Fig.33-278	IV B層	弥生土器/壺 胴部片	残高 12.00	斜沈線 8+格子状分割, 弧沈線 4~5, ミガキ /押圧, ナデ	にぶい橙 7.5YR 7/4 浅黄橙 10YR 8/3	赤色砂粒, 長石 石英	外傾	外面: スス
Fig.33-279	IV B層	弥生土器/壺 胴部片?	残高 1.80	格子~斜格子沈線 (山形文?), ミガキ /ナデ?	灰 5Y 5/1 黒褐 5YR 3/1	長石, 石英	?	傾き不明
Fig.33-280	IV B層	弥生土器/壺? 胴部片	残高 4.10	接合部: 刻目突帯 2, ナデ/ナデ?	橙 7.5YR 6/6 にぶい褐 5/4	チャート, 石英 長石, 赤色砂粒	外傾	削出突帯?
Fig.33-281	IV B層	弥生土器/壺 胴部片	残高 2.10	貼付突帯 (隆帯) 1+沈線 2+斜沈線, ミガキ /ナデ, 押圧	黄灰 2.5Y 4/1 にぶい橙 7.5YR 6/4	チャート, 長石	外傾	
Fig.33-282	IV B層	弥生土器/壺 胴部片	残高 2.20	C字状貼付文+外周沈線, ミガキ /ナデ?	橙 5YR 7/6 にぶい赤褐 4/3	赤色砂粒, 石英 長石, 雲母	外傾	
Fig.33-283	IV B層	弥生土器/壺 胴部片	残高 3.80	段 1, 貼付文?, ミガキ, ナデ/ナデ	にぶい褐 7.5YR 5/3 灰褐 4/2	赤色砂粒, 石英 長石	外傾	下端: 擬口縁露出 外面: スス・タール C字状貼付文帯と同一個体?
Fig.33-284	IV B層	弥生土器/壺? 胴部片	残高 2.60	ナデ?/ミガキ, 沈線状, 押圧, ナデ	にぶい橙 5YR 7/4 黄灰 2.5Y 6/1	赤色砂粒, チャート 石英, 長石	外傾	傾き? 蓋? (上下逆?)
Fig.33-285	IV B層	弥生土器/壺 胴部片	残高 3.90	沈線 1, 斜沈線 (複線山形文?), 重弧文, ミ ガキ/ナデ	にぶい橙 7.5YR 6/4 " 2/1	長石, 石英 チャート	外傾	
Fig.33-286	IV B層	弥生土器/壺 胴部片	残高 4.90	重弧文 3条×2, ミガキ /ハケ, 押圧, ナデ	にぶい黄橙 10YR 6/3 灰黄褐 4/2	長石, 石英, 角閃石	?	
Fig.33-287	IV B層	弥生土器/壺 胴部片	残高 2.30	重弧文? 2条, ミガキ /ナデ, ミガキ?	にぶい橙 7.5YR 6/4 橙 5YR 7/6	長石, 石英, 雲母	外傾	
Fig.33-288	IV B層	弥生土器/壺 胴部片	残高 3.10	弧沈線 3+2, ミガキ/ナデ	にぶい黄橙 10YR 7/2 にぶい橙 5YR 6/3	石英, 長石	?	
Fig.33-289	IV B層	弥生土器/壺 胴部片	残高 2.60	重弧文 3条, ミガキ/ナデ	灰黄 2.5Y 7/2 灰黄褐 10YR 5/2	長石, 石英	?	
Fig.33-290	IV B層	弥生土器/壺 胴部片	残高 2.60	沈線 1, 重弧文 5条, ナデ (丁寧) /ナデ	灰白 2.5Y 8/2 にぶい橙 7.5YR 7/4	石英, 長石 赤色砂粒	?	
Fig.33-291	IV B層	弥生土器/壺 胴部片	残高 1.80	沈線 2, 重弧文 3条, ミガキ/ナデ	赤褐 5YR 4/6 橙 6/6	長石, 石英, 角閃石	外傾	
Fig.33-292	IV B層	弥生土器/壺 胴部片	残高 3.40	沈線 3 (重弧文?), ミガキ /ナデ (丁寧)	にぶい黄橙 10YR 7/3 褐灰 5/1	長石, 石英, 雲母 チャート	外傾	
Fig.33-293	IV B層	弥生土器/壺 胴部片	残高 2.00	沈線 12 (重弧文?), ミガキ/押圧	にぶい黄橙 10YR 7/3 にぶい褐 7.5YR 6/3	赤色砂粒, 石英 長石	?	傾き不明
Fig.33-294	IV B層	弥生土器/壺 胴部片	残高 2.90	木葉文, 沈線 1, ミガキ/ナデ	にぶい黄橙 10YR 7/2 " "	長石, 石英	?	
Fig.34-295	IV B層	弥生土器/壺 底部片	残高 7.20 底径 18.70	押圧, ナデ	灰白 7.5YR 8/1 明黄褐 10YR 7/6	石英, 長石 赤色砂粒	?	大形品
Fig.34-296	IV B層	弥生土器/壺 底部片	残高 6.40 底径 10.80	ハケ, 押圧, ナデ/押圧, ナデ?	にぶい黄橙 10YR 7/3 にぶい橙 7.5YR 7/4	赤色砂粒, 石英 長石	外傾	擬口縁露出
Fig.34-297	IV B層	弥生土器/壺 底部片	残高 8.10 底径 8.80	ミガキ, ハケ/ナデ, 押圧	にぶい橙 2.5YR 6/4 " 5YR 7/4	長石, チャート 赤色砂粒, 石英	外傾	
Fig.34-298	IV B層	弥生土器/壺 底部片	残高 4.80 底径 9.60	押圧, ナデ, ミガキ/押圧	褐灰 10YR 4/1 にぶい黄橙 6/3	長石, 石英 赤色砂粒	?	
Fig.34-299	IV B層	弥生土器/壺 底部片	残高 4.00 底径 10.60	押圧, ミガキ/押圧, ナデ	灰黄 2.5Y 7/2 灰白 10YR 7/1	石英, 長石 赤色砂粒	?	外面: タール 底面: スス
Fig.34-300	IV B層	弥生土器/壺 底部片	残高 4.70 底径 9.60	ハケ+ナデ?, ヘラナデ/押圧, ナデ	灰白 10YR 8/2 橙 2.5YR 7/6	長石, チャート 石英, 赤色砂粒 ナスカイト?	?	

表13 1C区出土土器観察表8

種図番号	層位	器種/器形 部位	法量 (cm)	文様・調整 外側/内面 その他の部位	色調 内面 外側	胎土	接合	備考			
Fig.34-301	IVB層	弥生土器/壺 底部片	残高 底径	3.70 10.30	押圧, ナデ, ミガキ~ヘラナデ(条痕的)/不明	灰白 #	10YR #	8 / 1 7 / 1	長石, 石英 赤色砂粒	?	内面: 黒変
Fig.34-302	IVB層	弥生土器/壺 底部片	残高 底径	3.20 9.00	押圧/押圧, ナデ	灰白 にぶい橙	2.5Y 5YR	7 / 1 6 / 4	長石, 赤色砂粒 石英	?	内面: 黒変
Fig.34-303	IVB層	弥生土器/壺 底部片	残高 底径	3.20 11.00	押圧, ナデ, ミガキ/押圧, ナデ 底面: 粒状圧痕, ミガキ(ナデ丁寧?)	にぶい黄橙 #	10YR #	7 / 2 7 / 3	石英, 長石 角閃石?	?	底面: スス・黒変
Fig.34-304	IVB層	弥生土器/壺? 底部片	残高 底径	2.90 7.10	押圧, ミガキ/押圧, ナデ 底面: ナデ, 圧痕	灰黄褐 #	2.5Y 10YR	7 / 2 6 / 2	チャート, 石英 長石	?	
Fig.35-305	IVB層	弥生土器/壺	口径 器高 胴径 底径	4.70 7.50 7.35 3.30	沈線2, 弧線4条, 重弧文4条, 複線山形文4 象, ミガキ/ミガキ, ナデ 底面: ナデ	灰白 #	10YR #	8 / 1 #	赤色砂粒, 石英 長石	?	小形品
Fig.36-306	IVB層	突帯文土器 口縁部片	残高	4.60	刻目突帯貼付2, ナデ/ナデ	灰 灰黄褐	5Y 10YR	4 / 1 5 / 2	長石, チャート 石英	内傾	外面: タール 2条突帯
Fig.36-307	IVB層	突帯文土器 口縁~胴部片	残高	10.50	外端刻目, 刻目突帯貼付1, ナデ/ナデ	にぶい黄 褐	7.5YR #	5 / 4 4 / 3	長石, 石英 チャート	内傾	
Fig.36-308	IVB層	突帯文土器 口縁部片	残高	5.60	外端刻目, 刻目突帯貼付1, ナデ/ナデ	褐灰 灰黄褐	10YR #	4 / 1 6 / 2	長石, 石英 チャート	内傾	
Fig.36-309	IVB層	突帯文土器 口縁部片	残高	3.30	刻目突帯貼付1, ナデ/ナデ 端面: 刻目	褐灰 灰黄褐	10YR #	6 / 1 5 / 2	長石, チャート #	内傾	外面: タール 貼付擬口縁露出
Fig.36-310	IVB層	突帯文土器 口縁部片	残高	2.60	外端刻目, 刻目突帯貼付1, ナデ/ナデ	にぶい黄橙 #	10YR #	7 / 3 #	長石, 石英 #	内傾	
Fig.36-311	IVB層	突帯文土器 口縁部片	残高	5.40	外端刻目, 刻目突帯貼付1, ナデ, 押圧 /ナデ	黒 にぶい褐	2.5Y 7.5YR	2 / 1 6 / 3	石英, 長石 チャート	内傾	
Fig.36-312	IVB層	突帯文土器 口縁~胴部片	残高	6.70	外端刻目, 刻目突帯貼付1, 条痕/ナデ	にぶい橙 橙	7.5YR #	6 / 4 6 / 6	長石, 石英 チャート	内傾	外面: タール
Fig.36-313	IVB層	突帯文土器 口縁部片	残高	3.60	外端刻目, 刻目突帯貼付1, ナデ/ナデ	灰黄 にぶい黄橙	2.5Y 10YR	7 / 2 #	長石, チャート 石英	内傾	外面: タール・スス
Fig.36-314	IVB層	突帯文土器 口縁~胴部片	残高	6.80	外端刻目, 刻目突帯貼付1, 条痕, ナデ /ナデ, 押圧, ヘラナデ	黒 黒褐	N 10YR	2 / 0 3 / 1	長石, チャート 石英	内傾	指頭押圧による刻目
Fig.36-315	IVB層	突帯文土器 口縁~胴部片	残高	6.70	刻目突帯貼付2, ナデ, 条痕 /ナデ, 押圧	灰黄褐 暗灰	10YR N	4 / 2 3 /	石英, 長石 チャート	内傾	外面: スス・タール(おこげ) 内面: タール
Fig.36-316	IVB層	突帯文土器 口縁部片	残高	4.10	刻目突帯貼付1, ナデ/ナデ, 押圧	褐灰 灰黄褐	10YR #	5 / 1 5 / 2	長石, チャート 石英	内傾	
Fig.36-317	IVB層	突帯文土器 口縁部片	残高	2.00	刻目突帯貼付1, ナデ, 押圧 /ナデ, 押圧	暗灰 灰	N #	3 / 4 /	長石, 石英 チャート	内傾	
Fig.36-318	IVB層	突帯文土器 口縁部片	残高	3.40	刻目突帯貼付1, ナデ, 押圧 /ナデ, 押圧	黒褐 褐灰	10YR #	3 / 1 4 / 1	石英, チャート 長石	内傾	外面: タール 胎土: 弥生化?
Fig.36-319	IVB層	突帯文土器 口縁部片	残高	1.50	貼付突帯1+刺突, ナデ/ナデ	暗灰 #	N #	3 / #	長石, チャート 石英	内傾	
Fig.36-320	IVB層	突帯文土器 口縁~胴部片	残高	7.20	刻目突帯貼付1, ナデ, ナデ(ケズリ状) /ナデ, 押圧	灰黄褐 にぶい褐	10YR 7.5YR	5 / 2 5 / 4	石英, チャート 長石	内傾	
Fig.36-321	IVB層	突帯文土器 口縁~胴部片	残高	8.10	刻目突帯貼付1, ナデ, ナデ(ケズリ状), 押 圧/ナデ, 押圧	にぶい褐 にぶい黄橙	7.5YR 10YR	5 / 3 #	チャート, 石英 長石	内傾	外面: タール
Fig.36-322	IVB層	突帯文土器 口縁部片	残高	3.70	貼付突帯1+竹管刺突, ナデ/ナデ	灰黄褐 #	10YR #	6 / 2 4 / 2	長石, チャート 石英	内傾	外面: タール
Fig.37-323	IVB層	突帯文土器 口縁部片	残高	2.70	刻目突帯貼付1, 竹管刺突2段, ナデ /ナデ?	橙 #	7.5YR #	6 / 6 #	粗砂粒, 長石 #	外傾?	特殊胎土
Fig.37-324	IVB層	突帯文土器 口縁部片	残高	1.50	貼付突帯1, ナデ/ナデ	浅黄橙 にぶい橙	7.5YR 5YR	8 / 3 7 / 4	粗砂粒, 石英, 長石 赤色砂粒	内傾?	罐部: 擬口縁? 特殊胎土
Fig.37-325	IVB層	突帯文土器 口縁部片	残高	6.00	刻目突帯貼付1, ナデ/ナデ 端面: 刻目	褐灰 黒褐	5YR #	4 / 1 3 / 1	長石, 石英, 雲母 #	内傾	外面: タール 弥生化突帯文
Fig.37-326	IVB層	突帯文土器 口縁部片	残高	3.30	刻目突帯貼付1, ナデ/ナデ	にぶい黄橙 褐灰	10YR #	7 / 3 6 / 1	石英, 長石, 雲母 #	内傾	外面: タール 弥生化突帯文
Fig.37-327	IVB層	突帯文土器 口縁部片	残高	4.80	刻目突帯貼付1, ナデ/ナデ	にぶい黄橙 灰黄褐	10YR #	6 / 3 6 / 2	長石, 石英 #	内傾	弥生化突帯文
Fig.37-328	IVB層	突帯文土器 口縁部片	残高	1.90	刻目突帯貼付1, ナデ/ナデ 端面: 刻目	黒褐 #	7.5YR 2.5Y	3 / 1 #	長石, 石英 チャート	外傾	外面: タール 弥生化突帯文
Fig.37-329	IVB層	突帯文土器 口縁部片	残高	2.40	刻目突帯貼付1, ナデ/ナデ(丁寧)	灰白 黄灰	2.5Y #	8 / 1 5 / 1	長石, 石英 チャート	外傾	弥生化突帯文
Fig.37-330	IVB層	深鉢~甕 口縁部片	残高	3.70	外端刻目, 条痕, ナデ/条痕, ナデ	橙 #	7.5YR #	6 / 6 #	長石, チャート 石英	内傾	外面: タール
Fig.37-331	IVB層	深鉢~甕 口縁部片	残高	2.80	条痕, ナデ 端面: 刻目	黒褐 #	10YR #	3 / 2 2 / 3	石英, 長石 赤色砂粒	内傾	外面: タール 胎土: 弥生化
Fig.37-332	IVB層	深鉢~甕 口縁部片	残高	4.70	条痕, ナデ/条痕	灰褐 灰白	7.5YR 10YR	4 / 2 8 / 2	長石, チャート 石英	内傾	
Fig.37-333	IVB層	深鉢~甕 口縁部片	残高	4.70	外端刻目, ナデ(粗い), 押圧/ナデ	にぶい赤褐 浅黄橙	5YR 10YR	5 / 4 8 / 3	石英, 長石 チャート	内傾	
Fig.37-334	IVB層	深鉢~甕 口縁部片	残高	2.00	条痕, ナデ/ナデ, 押圧	淡橙 灰白	5YR 7.5YR	8 / 3 8 / 2	粗砂粒, 長石 #	内傾?	外面: タール 特殊胎土
Fig.37-335	IVB層	深鉢~甕 口縁部片	残高	3.20	凹線状1, ナデ/ナデ, 押圧	褐灰 にぶい黄橙	10YR #	4 / 1 7 / 2	長石, チャート 石英	内傾	外面: タール
Fig.37-336	IVB層	深鉢~甕 口縁部片	残高	2.10	ナデ	黒褐 #	2.5Y #	3 / 1 #	チャート, 石英 長石	内傾	
Fig.37-337	IVB層	深鉢~甕 口縁部片	口径 器高 胴径	18.80 15.40 17.60	ナデ, 押圧	灰褐 黄灰	7.5YR 2.5Y	5 / 2 5 / 1	チャート, 長石 石英	内傾	外面: タール
Fig.37-338	IVB層	深鉢~甕 口縁部片	残高	3.60	ナデ, 押圧	にぶい黄橙 にぶい黄橙	10YR #	4 / 3 6 / 3	長石, 石英 チャート	内傾	
Fig.37-339	IVB層	深鉢~甕 口縁部片	残高	4.10	条痕, ナデ/ナデ(粗い), 押圧	にぶい橙 灰黄	5YR 2.5Y	6 / 4 6 / 2	石英, 長石 チャート	内傾	
Fig.37-340	IVB層	深鉢~甕 口縁部片	口径 残高	14.80 5.00	ナデ, 押圧	橙 #	7.5YR 5YR	6 / 6 #	石英, 長石 チャート, 角閃石?	外傾	内外面: タール(おこげ)
Fig.37-341	IVB層	深鉢~甕 口縁部片	残高	5.20	ナデ, 押圧 /ミガキ~ナデ(丁寧), ナデ, 押圧, ナデ(粗い)	黒褐 #	10YR #	3 / 2 3 / 1	石英, 長石 チャート	内傾	外面: タール(おこげ) 胎土: 弥生化?
Fig.37-342	IVB層	深鉢~甕 口縁~胴部片	残高	4.90	ナデ, 押圧 /ナデ, 押圧, 板ナデ?(圧痕)	黒 にぶい黄橙	7.5Y 10YR	2 / 1 5 / 3	石英, 長石 チャート	内傾	外面: タール

表14 1C区出土土器観察表9

挿図番号	層位	器種/器形 /部位	法量 (cm)	文様・調整 外面/内面 その他の部位	色調 内面 外面	胎土	接合	備考
Fig.38-343	IVB層	深鉢~裏 口縁部片	残高 2.40	ナデ/波頂部刻目, 沈線状, ナデ 端部: 面・沈線状 波頂部端部: 刻目	灰黄褐色 10YR 4/2 にぶい黄褐色 # 6/3	長石, 赤色砂粒 石英	内傾	波状口縁 内面: タール 大洞式模倣土器 968と同一個体?
Fig.38-344	IVB層	深鉢~裏 口縁部片	残高 1.10	外端刻目, ナデ/ナデ	にぶい黄褐色 10YR 5/3 # #	長石, 石英 チャート, 赤色砂粒	?	波状口縁
Fig.38-345	IVB層	深鉢~裏 口縁部片	残高 1.60	貼付突帯2+刻目, 凹形貼付文, ハケ?, ナデ /ナデ	にぶい黄褐色 10YR 7/3 灰黄褐色 # 5/2	チャート, 長石 石英	?	波状口縁
Fig.38-346	IVB層	深鉢~裏 口縁部片	残高 3.70	刻目突帯貼付2, ナデ/ハケ, ナデ	にぶい黄褐色 10YR 7/4 灰黄褐色 2.5Y 7/2	石英, チャート 長石, 角閃石	外傾	波状口縁
Fig.38-347	IVB層	深鉢~裏 口縁部片	残高 4.90	外端刻目, 刺突文(3本単位短沈線文?), ナデ /ナデ, 押圧	にぶい褐色 5YR 6/4 にぶい褐色 7.5YR 5/3	石英, 長石 角閃石, チャート	外傾	波状口縁 内面: 黒変
Fig.38-348	IVB層	深鉢~裏 口縁~胴部片	残高 7.60	外端刻目, 沈線1, ナデ, 押圧	浅黄褐色 10YR 8/3 褐色 5YR 7/6	長石, 赤色砂粒 チャート, 石英	外傾	弥生土器・甕 外面: スス・タール
Fig.38-349	IVB層	深鉢~裏 口縁部片	残高 2.80	外端刻目, 沈線3, ナデ/ナデ, 押圧	灰黄褐色 2.5Y 6/2 にぶい黄褐色 10YR 6/3	石英, 長石 赤色砂粒, チャート	外傾	弥生土器・甕
Fig.38-350	IVB層	深鉢~裏 口縁部片	残高 1.80	ナデ 端面: 外端側に刻目	灰黄褐色 10YR 4/2 暗灰 N 3/1	石英, 長石 角閃石, チャート	内傾?	外面: タール
Fig.38-351	IVB層	深鉢~裏 口縁~胴部片	口径 19.00 胴径 18.60 残高 5.80	沈線2, ヘラナデ?, ナデ, 押圧 /ナデ, 押圧 端面: 刻目	褐色 2.5YR 6/6 にぶい黄褐色 10YR 5/3	石英, チャート 長石, 赤色砂粒	外傾	弥生土器・甕 外面: スス・タール
Fig.38-352	IVB層	深鉢~裏 口縁部片	残高 3.40	ナデ/ナデ, 押圧	灰黄褐色 10YR 6/2 暗灰 # 4/1	石英, チャート 赤色砂粒, 長石	外傾	弥生土器・甕
Fig.38-353	IVB層	深鉢~裏 口縁部片	残高 2.20	沈線1?, ハケ?, ナデ, 押圧/ナデ 端面: 刻目	にぶい黄褐色 10YR 7/2 オリーブ黒 5Y 3/1	チャート, 石英	?	弥生土器・甕 外面: タール
Fig.38-354	IVB層	深鉢~裏 口縁~胴部片	口径 33.80 胴径 34.30 残高 20.00	ミガキ, 押圧, ナデ	明褐色 7.5YR 5/6 明赤褐色 5YR #	石英, 長石 赤色砂粒, 粗砂粒	内傾	内外面: スス・タール
Fig.39-355	IVB層	深鉢~裏 口縁~胴部片	残高 3.30	ナデ, 押圧	にぶい褐色 7.5YR 5/3 # # 5/4	石英, 長石 チャート	内傾	
Fig.39-356	IVB層	深鉢~裏 口縁~胴部片	残高 6.10	ナデ, 押圧, ミガキ/ミガキ, ナデ	褐色 5YR 6/6 にぶい褐色 7.5YR 6/4	石英, 長石 赤色砂粒, チャート	外傾	弥生土器・甕 外面: タール
Fig.39-357	IVB層	深鉢~裏 口縁部片	残高 2.30	ナデ	にぶい黄褐色 10YR 7/3 # # 6/3	石英, 長石 チャート, 赤色砂粒	外傾	弥生土器・甕 外面: タール
Fig.39-358	IVB層	深鉢~裏 口縁部片	残高 2.40	ミガキ, ナデ/ナデ, 押圧	灰白 10YR 8/2 暗灰 # 4/1	チャート, 石英 赤色砂粒, 長石	外傾	弥生土器・甕 端面: 赤彩 外面: スス・タール
Fig.39-359	IVB層	深鉢~裏 口縁部片	残高 1.70	竹管刺突, ナデ/ナデ	褐色 7.5YR 6/6 にぶい褐色 # 6/4	粗砂粒, 長石	内傾	特殊胎土
Fig.39-360	IVB層	深鉢~裏 口縁~胴部片	口径 23.30 残高 3.70	外端刻目, 接合部: 段, ハケ, ナデ, 押圧 /ハケ, ナデ, 押圧	にぶい褐色 5YR 6/4 灰黄褐色 10YR 5/2	チャート, 長石 石英, 赤色砂粒	外傾	弥生土器・甕 外面: スス・タール
Fig.39-361	IVB層	深鉢~裏 口縁~胴部片	残高 5.10	外端刻目, 接合部: 段, ハケ, ナデ /ハケ, ナデ, 押圧	にぶい褐色 7.5YR 6/4 # #	石英, 長石 長石	外傾	弥生土器・甕 外面: スス・タール
Fig.39-362	IVB層	深鉢~裏 口縁~胴部片	残高 7.00	接合部: 段, 沈線1, ナデ, ハケ? /ナデ, 押圧	灰白 10YR 8/2 にぶい褐色 7.5YR 7/3	チャート, 赤色砂粒 長石, 石英	外傾	弥生土器・甕 外面: スス・タール
Fig.39-363	IVB層	深鉢~裏 口縁部片	残高 4.70	接合部: 段, ナデ/ナデ?	にぶい褐色 7.5YR 5/4 明赤褐色 5YR 5/6	長石, 石英 赤色砂粒	外傾	弥生土器・甕 外面: スス・タール
Fig.39-364	IVB層	深鉢~裏 胴部片	残高 7.10	沈線2, ナデ/ナデ	黒 # 2.5Y 2/1 # 7.5Y #	長石, 石英 チャート	内傾	外面: タール
Fig.39-365	IVB層	深鉢~裏 胴部片	残高 4.30	半截竹管刺突文, ナデ/ナデ	黄灰褐色 2.5Y 6/1 褐色 7.5YR 4/3	長石, 石英 チャート	内傾	襷線: 糸痕原体?
Fig.39-366	IVB層	深鉢~裏 胴部片	残高 5.00	襷線文(糸痕?), ナデ/ナデ	暗灰 10YR 4/1 黒褐色 # 3/1	石英, 長石 チャート	内傾	外面: タール
Fig.39-367	IVB層	深鉢~裏 胴部片	残高 1.50	沈線1, 縦~斜沈線, ナデ/ナデ, 押圧	黒褐色 2.5Y 3/1 灰白 10YR 7/1	粗砂粒, 長石 石英	?	特殊胎土
Fig.39-368	IVB層	深鉢~裏 胴部片	残高 3.70	糸痕, ナデ/ナデ, ヘラナデ?	灰黄褐色 10YR 6/2 灰黄褐色 2.5Y 7/2	チャート, 石英 赤色砂粒, 長石	内傾	
Fig.39-369	IVB層	突帯文土器 胴部片	残高 4.30	刻目突帯貼付1, ナデ/ナデ, 押圧	灰 5Y 4/1 にぶい褐色 7.5YR 7/4	石英, 長石 チャート, 赤色砂粒	内傾?	外面: タール
Fig.39-370	IVB層	突帯文土器 胴部片	残高 4.20	貼付突帯1, ナデ/ナデ, 押圧	暗灰黄 2.5Y 5/2 明褐色 7.5YR 5/6	チャート, 長石	内傾	
Fig.39-371	IVB層	突帯文土器 胴部片	残高 3.20	刻目突帯貼付2, ナデ/押圧	暗灰 N 3/1 にぶい黄褐色 10YR 7/3	粗砂粒, 長石	内傾?	特殊胎土に似る?
Fig.39-372	IVB層	突帯文土器 胴部片	残高 2.70	刻目突帯貼付1, 斜沈線3, ナデ/押圧	にぶい褐色 7.5YR 7/4 # # 7/3	チャート, 長石 石英, 角閃石	外傾	弥生土器・甕 弥生化突帯文
Fig.39-373	IVB層	突帯文土器 胴部片	残高 4.20	刻目突帯貼付2, ナデ, ヘラナデ /押圧, ナデ	灰黄褐色 10YR 6/2 黒褐色 2.5Y 3/1	チャート, 長石	外傾	弥生土器・甕 外面: スス・タール 弥生化突帯文
Fig.39-374	IVB層	突帯文土器 胴部片	残高 3.20	刻目突帯貼付2, 斜沈線2?, ナデ /ナデ, 押圧	にぶい黄褐色 10YR 7/3 灰 5Y 5/1	長石, チャート 赤色砂粒, 石英 ササカイト?	外傾	弥生土器・甕 外面: タール 弥生化突帯文
Fig.39-375	IVB層	突帯文土器 胴部片	残高 3.70	刻目突帯貼付1, ナデ/ナデ	灰黄褐色 2.5Y 6/2 にぶい黄褐色 # 6/3	粗砂粒, 長石	内傾	特殊胎土
Fig.39-376	IVB層	突帯文土器 胴部片	残高 2.10	刻目突帯貼付1, ナデ/ナデ	にぶい黄褐色 10YR 7/2 暗灰 7.5YR 4/1	長石, 粗砂粒	?	特殊胎土上系?
Fig.39-377	IVB層	突帯文土器 胴部片	残高 5.10	刻目突帯貼付1, ナデ/ナデ	にぶい褐色 7.5YR 5/4 黒褐色 10YR 3/1	石英, 長石 雲母, チャート	内傾?	外面: タール 弥生化突帯文
Fig.39-378	IVB層	突帯文土器 胴部片	残高 3.00	刻目突帯貼付1, ナデ/押圧, ナデ	にぶい褐色 5YR 6/4 暗灰 7.5YR 4/2	チャート, 長石 石英	外傾	弥生土器・甕 外面: スス・タール 刻目: 板目痕 弥生化突帯文
Fig.39-379	IVB層	突帯文土器 胴部片	残高 4.60	貼付突帯1, ナデ?/ナデ, 押圧	にぶい褐色 7.5YR 5/3 褐色 2.5YR 6/6	チャート, 赤色砂粒 長石	外傾	弥生土器・甕 弥生化突帯文
Fig.39-380	IVB層	突帯文土器 胴部片	残高 5.20	貼付突帯1, ナデ/ナデ	褐色 5YR 6/6 にぶい褐色 # 6/4	長石, 赤色砂粒 チャート	内傾	弥生化突帯文 上下逆?
Fig.39-381	IVB層	深鉢~裏 胴部片	残高 2.60	貼付隆帯1+沈線2, 沈線1+1, ナデ /ナデ, 押圧	暗灰褐色 7.5YR 4/2 にぶい褐色 # 6/4	長石, 石英	外傾	弥生土器・甕 外面: スス 内面: 黒変
Fig.40-382	IVB層	深鉢~裏 胴部片	残高 5.40	接合部: 段+刻目, ハケ?, ナデ /ナデ, 押圧	灰褐色 7.5YR 4/2 にぶい褐色 # 6/4	長石, 石英	外傾	弥生土器・甕 外面: タール

表15 1C区出土土器観察表10

挿図番号	層位	器種/器形 部位	法量 (cm)	文様・調整 外面/内面 その他の部位	色調 内面 外面	胎土	接合	備考			
Fig.40-383	IVB層	深鉢~襷 胴部片	残高 底径	5.20 11.60	接合部:段+刻目, ナデ, ハケ /ナデ, 押圧	黒褐 黄灰	10YR 2.5Y	3/1 4/1	長石, 石英 赤色砂粒	外傾	弥生土器・襷
Fig.40-384	IVB層	深鉢~襷 胴部片	残高	3.60	接合部:段+刻目, ハケ, ナデ /ナデ, 押圧	にぶい橙 "	5YR "	6/4 6/3	長石, 赤色砂粒 チャート	外傾	弥生土器・襷
Fig.40-385	IVB層	深鉢~襷 胴部片	残高	7.00	沈線2, ナデ/ナデ, ハケ?	にぶい橙 褐灰	5YR 7.5YR	6/4 4/1	チャート, 長石 赤色砂粒, 角閃石?	内傾?	弥生土器?・襷 外面:スス
Fig.40-386	IVB層	深鉢~襷 胴部片	残高	2.80	斜沈線4+3(山形文?), ハケ, ナデ /ナデ	にぶい黄橙 にぶい橙	10YR 7.5YR	7/3 7/4	石英, チャート 長石	内傾	
Fig.40-387	IVB層	深鉢~襷 胴部片	残高	2.80	沈線2+1?, 斜沈線3, ナデ /ナデ, ヘラナデ	にぶい褐 にぶい赤褐	7.5YR 5YR	5/4 "	長石, チャート 石英	外傾	弥生土器・襷
Fig.40-388	IVB層	深鉢~襷 胴部片	残高	8.30	沈線2, 刺突1段, ハケ, ナデ /ナデ, 押圧	にぶい黄橙 灰黄褐	10YR "	7/4 5/2	赤色砂粒, チャート 石英	外傾	弥生土器・襷 外面:スス・タール
Fig.40-389	IVB層	深鉢~襷? 胴部片	残高	2.60	沈線2+1?, 刺突1段, ナデ/ナデ	にぶい黄橙 浅黄橙	10YR "	7/2 8/3	チャート, 石英 長石	外傾	弥生土器・襷 壺?
Fig.40-390	IVB層	深鉢~襷 胴部片	残高	2.70	沈線2, 刺突2段, ミガキ~ナデ(丁寧) /ナデ	浅黄橙 灰白	10YR "	8/3 8/2	チャート, 長石 石英	外傾	弥生土器・襷
Fig.40-391	IVB層	深鉢~襷 底片	残高 底径	3.00 11.60	ナデ, 押圧/ナデ, 板ナデ?, 押圧 底面:ナデ	灰黄褐 黄灰	10YR 2.5Y	6/2 5/1	長石, チャート 石英	?	
Fig.40-392	IVB層	深鉢~襷 底片	残高 底径	3.90 7.00	ナデ, 押圧 底面:ナデ	灰黄褐 黄灰	10YR 2.5Y	6/2 5/1	長石, 石英 チャート	?	内面:タール(おこけ)
Fig.40-393	IVB層	深鉢~襷 底片	残高 底径	2.20 4.80	ナデ/ナデ, 押圧 底面:ナデ, 押圧	褐灰 "	10YR "	4/1 5/1	チャート, 長石 石英	?	
Fig.40-394	IVB層	深鉢~襷 底片	残高 底径	2.80 8.30	押圧, ナデ 底面:押圧, ナデ	にぶい橙 "	7.5YR 5YR	6/4 "	石英, 長石, 雲母 石英	?	
Fig.40-395	IVB層	深鉢~襷 底片	残高 底径	7.00 7.30	押圧, ナデ 底面:ナデ(粗い・ケズリ状?)	にぶい褐 灰褐	7.5YR "	6/3 6/2	石英, 長石 チャート	外傾	外面:タール
Fig.40-396	IVB層	深鉢~襷 底片	残高 底径	4.40 6.60	ナデ, ヘラナデ/ナデ 底面:ナデ, 粒状圧痕	にぶい黄橙 橙	10YR 5YR	6/3 6/6	長石, 石英, 雲母 赤色砂粒, チャート	?	外面:スス・タール
Fig.40-397	IVB層	深鉢~襷 底片	残高 底径	6.00 7.20	押圧, ナデ 底面:ナデ, ヘラナデ	にぶい橙 橙	7.5YR 5YR	5/4 6/6	石英, 長石, 雲母 赤色砂粒, チャート 角閃石	?	弥生土器・襷
Fig.41-398	IVB層	縄文土器/鉢 口縁部片	口径 残高	20.80 7.80	ミガキ/沈線1, ミガキ	黒褐 黒	10YR "	3/1 2/1	石英, 長石, 角閃石 チャート	内傾	波状口縁 内外面:タール(煮炊?) 補修孔1(両側穿孔)
Fig.41-399	IVB層	縄文土器/鉢 口縁部片	残高	3.50	ミガキ	灰黄褐 黒褐	10YR "	5/2 3/1	長石, 石英, 雲母 角閃石	内傾	端面・内面:赤彩?
Fig.41-400	IVB層	縄文土器/鉢 口縁部片	残高	4.30	ミガキ	黄灰 黒褐	2.5Y "	4/1 3/1	石英, 長石, 角閃石	内傾	内外面:赤彩
Fig.41-401	IVB層	縄文土器/鉢 口縁部片	残高	4.20	沈線1, 山形文?, 斜沈線1, ミガキ(暗文状) /ミガキ	にぶい黄橙 にぶい褐	10YR 7.5YR	6/3 5/4	長石, 石英, 角閃石	内傾	
Fig.41-402	IVB層	縄文土器/鉢 口縁部片	残高	4.10	ミガキ/ミガキ, ナデ	黒褐 "	2.5Y "	3/1 "	長石, 石英, 雲母 角閃石	内傾	
Fig.41-403	IVB層	縄文土器/鉢 口縁部片	残高	4.00	ミガキ /ミガキ~ナデ(丁寧), ナデ, ヘラナデ	黒褐 "	2.5Y "	3/1 "	石英, 長石, 雲母	内傾	
Fig.41-404	IVB層	縄文土器/浅鉢 口縁部片	口径 残高	22.90 5.50	ミガキ/ミガキ(暗文状)	にぶい赤褐 "	5YR "	5/4 5/3	長石, 石英, 角閃石 雲母	内傾	
Fig.41-405	IVB層	縄文土器/浅鉢 口縁部片	残高	4.20	ミガキ, 刺突2/ミガキ	灰黄褐 黒	10YR N	5/2 2/	長石, 石英, 角閃石	内傾	刺突内:赤彩
Fig.41-406	IVB層	縄文土器/浅鉢 口縁部片	残高	3.40	ミガキ	灰黄褐 褐灰	10YR 7.5YR	5/2 4/1	石英, 長石, 雲母 角閃石	内傾	
Fig.41-407	IVB層	縄文土器/浅鉢 口縁部片	残高	2.30	ミガキ/沈線1, ミガキ	灰黄褐 黒褐	10YR "	4/2 3/1	長石, 石英, 雲母 角閃石	内傾	
Fig.41-408	IVB層	縄文土器/浅鉢 口縁部片	残高	2.00	不明/ミガキ	黄灰 灰	2.5Y 5Y	4/1 6/1	長石, 石英, 角閃石 雲母	内傾	
Fig.41-409	IVB層	縄文土器/浅鉢 口縁部片	残高	3.60	ミガキ/沈線2, ミガキ	褐灰 黒褐	10YR "	4/1 3/1	石英, 長石, 雲母 角閃石	内傾	波状口縁? 方形浅鉢?
Fig.41-410	IVB層	縄文土器/浅鉢 口縁部片	残高	4.30	ミガキ/ミガキ(暗文状)	黒 "	7.5Y "	2/1 "	長石, 石英, 雲母 角閃石	外傾	外面:タール
Fig.41-411	IVB層	縄文土器/浅鉢 口縁部片	残高	3.60	ミガキ, ケズリ, ナデ/ミガキ	灰黄褐 黒褐	10YR 2.5Y	4/2 3/1	長石, 石英, 角閃石 雲母	内傾	
Fig.41-412	IVB層	縄文土器/浅鉢 口縁部片	残高	3.50	ミガキ	黄灰 "	2.5Y "	4/1 "	長石, 石英, 雲母 角閃石	内傾	
Fig.41-413	IVB層	縄文土器/浅鉢 口縁部片	残高	2.30	ミガキ/沈線2, ミガキ	灰褐 にぶい橙	7.5YR "	4/2 7/3	長石, 石英, 角閃石	内傾	
Fig.41-414	IVB層	縄文土器/浅鉢 口縁部片	残高	2.60	ミガキ	黒褐 "	2.5Y "	3/1 "	長石, 石英 赤色砂粒, 角閃石 雲母	内傾	
Fig.41-415	IVB層	縄文土器/浅鉢 口縁部片	残高	3.40	ミガキ	黒褐 黒	2.5Y "	3/1 2/1	石英, 長石, 角閃石	内傾?	下筋:擬口縁 外面:タール
Fig.41-416	IVB層	縄文土器/浅鉢 口縁部片	残高	4.20	接合部:段=沈線状, ミガキ/ミガキ	黒褐 "	10YR "	3/1 "	石英, 長石, 雲母	内傾	内面:赤彩?
Fig.41-417	IVB層	縄文土器/浅鉢 口縁部片	残高	3.90	沈線1, ミガキ/ミガキ(暗文状)	黄灰 黒褐	2.5Y "	4/1 3/1	長石, 石英, 雲母 角閃石	内傾	
Fig.41-418	IVB層	縄文土器/浅鉢 胴部片	残高	3.70	ミガキ	黒 "	2.5Y "	2/1 "	長石, 石英, 雲母 角閃石	内傾	
Fig.41-419	IVB層	縄文土器/浅鉢 胴部片	残高	3.30	沈線1, ミガキ/ミガキ	にぶい黄橙 褐灰	10YR "	5/3 4/1	石英, 長石, 雲母 角閃石	内傾?	
Fig.41-420	IVB層	縄文土器/浅鉢 胴部片	残高	3.60	沈線1, ミガキ/ミガキ	黒褐 "	2.5Y "	3/1 "	長石, 石英, 雲母 角閃石	内傾	
Fig.41-421	IVB層	縄文土器/浅鉢 胴部片	残高	2.70	沈線1, ミガキ/ミガキ	黒褐 "	2.5Y "	3/1 "	長石, 石英, 雲母 角閃石	内傾	
Fig.41-422	IVB層	縄文土器/浅鉢 胴部片	残高	2.10	沈線1, ミガキ/ミガキ	褐灰 "	10YR "	4/1 "	長石, 石英, 雲母 角閃石	内傾	
Fig.41-423	IVB層	縄文土器/浅鉢 胴部片	残高	2.70	ミガキ/ミガキ, 段?1	オリーブ黒 黒褐	5Y 2.5Y	3/1 "	石英, 角閃石	内傾?	
Fig.41-424	IVB層	縄文土器/鉢 胴部片	残高	2.80	沈線2/ミガキ~ナデ(丁寧)	にぶい黄橙 にぶい黄橙	10YR "	6/3 5/3	長石, 石英, 角閃石	外傾	
Fig.41-425	IVB層	縄文土器/浅鉢 胴部片	残高	2.10	沈線5, ミガキ/ミガキ	黒褐 "	7.5YR "	3/1 "	石英, 長石, 雲母 角閃石	内傾	



表16 1C区出土土器観察表11

挿図番号	層位	器種・器形 /部位	法量 (cm)	文様・調整 外面/内面 その他の部位	色調 内面 外面	胎土	接合	備考	
Fig.41-426	IVB層	縄文土器/浅鉢 底部分	残高 3.00 底径 7.20	ミガキ、ナデ、ケズリ/ミガキ、ナデ 底面：ナデ(丁寧)	黒 # 2.5Y	2/1 #	長石、石英、雲母	内傾	
Fig.41-427	IVB層	縄文土器/浅鉢? 底部分?	残高 2.90 底径? 8.60	ミガキ 底面：ナデ(粗い)	褐灰 # 10YR	4/1 # 3/1	長石、石英、雲母	? 下端：擬口縁で分離? 焼成中に分離?	
Fig.41-428	IVB層	縄文土器/浅鉢 底部分	残高 1.40	ミガキ 底面：ナデ	黒褐 # 10YR	3/1 # 5/2	長石、石英、雲母 角閃石	?	
Fig.42-429	IVB層	弥生土器/鉢	口径 12.80 器高 23.60 胴径 11.60 底径 6.50	ナデ、押圧 底面：ナデ	灰 # N	4/0 # 5/4	長石、石英、角閃石 チャート	外傾	波状口縁=波頂部1? 波頂部端面：刻目1 外面：スス 大洞根痕土器
Fig.42-430	IVB層	弥生土器/鉢 口縁~胴部分	口径 16.30 残高 7.10	ミガキ/ミガキ、ナデ	にぶい黄褐 # 10YR	5/3 # 2.5Y	石英、長石 赤色砂粒	外傾?	外面：タール(おこげ)
Fig.42-431	IVB層	弥生土器/鉢 口縁部分	残高 2.70	ミガキ/ナデ、押圧	にぶい黄褐 # 10YR	7/2 # 2/2	長石、石英	外傾	外面：タール
Fig.42-432	IVB層	弥生土器/鉢? 底部分	残高 4.30 底径 5.60	ナデ(粗い)、押圧/ナデ、押圧 底面：ナデ	にぶい黄褐 # 10YR	7/2 # 5/2	石英、赤色砂粒 長石、チャート	?	外面：タール
Fig.42-433	IVB層	弥生土器/鉢? 底部分	残高 1.00 底径 3.80	ナデ 底面：ナデ?	にぶい黄褐 # 10YR	7/2 # 6/1	粗砂粒、長石、石英	?	特殊胎土
Fig.42-434	IVB層	弥生土器/高杯 胴部分	胴径 6.30 残高 4.40	貼付突帯1、ミガキ/ミガキ 底面：ナデ、押圧	にぶい黄褐 # 10YR	6/3 # 7/3	赤色砂粒、石英 長石、雲母	?	突帯：赤彩 貼付擬口縁露出
Fig.43-435	IVA層	縄文土器/壺 口縁部分	残高 2.70	沈線1、ミガキ/ミガキ、ナデ	灰黄褐 # 10YR	4/2 #	長石、石英、角閃石	内傾	
Fig.43-436	IVA層	縄文土器/壺 口縁部分	残高 2.40	ミガキ	黄灰 # 2.5Y	4/1 #	長石、石英、雲母	内傾	端面：凹面
Fig.43-437	IVA層	縄文土器/壺 口縁部分	残高 3.40	ミガキ	黒褐 # 2.5Y	3/2 # 10YR	長石、石英、雲母	内傾	
Fig.43-438	IVA層	縄文土器/壺 頸部分	残高 1.60	ミガキ、ナデ/不明	にぶい黄褐 # 10YR	7/2 # 7/3	石英、長石、雲母 角閃石	外傾	
Fig.43-439	IVA層	縄文土器/壺 頸~胴部分	残高 4.40	沈線2、ミガキ(ケズリ状)/ナデ	浅黄 # 2.5Y	7/3 # 10YR	石英、長石、雲母 角閃石	内傾	
Fig.43-440	IVA層	縄文土器/壺 胴部分	残高 2.50	沈線2、区画文(三叉状?)、ミガキ /不明	橙 # 7.5YR	6/6 # 4/2	石英、長石、雲母 角閃石	外傾?	短頸盛?
Fig.43-441	IVA層	縄文土器/壺 胴部分	残高 3.40	沈線1、ミガキ/ナデ	灰褐 # 5YR	4/2 # 10YR	長石、石英、角閃石	内傾	
Fig.43-442	IVA層	縄文土器/壺 頸~胴部分	残高 3.30	接合部：沈線1、ミガキ/ナデ	灰黄褐 # 10YR	6/2 # 6/3	長石、石英	内傾	
Fig.43-443	IVA層	縄文土器/壺 胴部分	残高 1.30	沈線2、ミガキ/ナデ?	にぶい橙 # 7.5YR	6/4 # 5YR	長石、石英、雲母	内傾	
Fig.43-444	IVA層	縄文土器/壺 胴部分	残高 2.30	ミガキ/ナデ	褐灰 # 7.5YR	4/1 # 10YR	長石、石英	内傾?	上端：擬口縁露出 外面：赤彩?
Fig.43-445	IVA層	弥生土器/壺 口縁部分	残高 5.10	ミガキ/?不明	淡黄 # 2.5Y	8/3 #	石英、長石、雲母	外傾	
Fig.43-446	IVA層	弥生土器/壺 頸~胴部分	残高 3.50	段：沈線状、ミガキ/ナデ	褐灰 # 10YR	6/1 # 4/1	石英、長石 赤色砂粒	?	
Fig.43-447	IVA層	弥生土器/壺 胴部分	残高 3.70	沈線2、斜沈線3(山形文?)、ハケ?、ミガ キ~ナデ(丁寧)/ナデ、押圧	にぶい黄褐 # 10YR	7/2 # 7/3	チャート、赤色砂粒 石英	外傾	
Fig.43-448	IVA層	突帯文土器 口縁部分	残高 2.60	刻目突帯貼付2、ナデ/ナデ、押圧	にぶい褐 # 7.5YR	6/3 # 6/6	長石、石英 チャート	内傾	
Fig.43-449	IVA層	突帯文土器 口縁部分	残高 3.20	刻目突帯貼付2、ナデ/ナデ	にぶい褐 # 7.5YR	5/4 # 6/3	石英、長石 チャート	内傾	
Fig.43-450	IVA層	突帯文土器 口縁部分	残高 4.80	刻目突帯貼付1、ナデ/ナデ(粗い) 端面：刻目	橙 # 2.5YR	6/6 # 5YR	長石、石英	内傾	
Fig.43-451	IVA層	突帯文土器 口縁部分	残高 3.20	外端~端面：刺突、刻目突帯貼付1、ナデ /ナデ、押圧	灰黄褐 # 10YR	5/2 # 3/2	長石、石英	内傾	外面：タール
Fig.43-452	IVA層	突帯文土器 口縁~胴部分	残高 4.10	刻目突帯貼付1、条痕、ナデ、押圧 /ナデ、押圧	黄灰 # 2.5Y	5/1 # 5YR	長石、石英 チャート	内傾	外面：タール
Fig.43-453	IVA層	突帯文土器 口縁部分	残高 3.40	貼付突帯1+刺突?、ナデ/ナデ?	灰 # 5Y	4/1 # 2.5Y	長石、石英 チャート	内傾	
Fig.43-454	IVA層	突帯文土器 口縁部分	残高 3.20	刻目突帯貼付1、ナデ/沈線1?、ナデ、押圧 端面：刻目?	灰黄褐 # 10YR	5/2 # 3/1	長石、チャート 石英	内傾	
Fig.43-455	IVA層	突帯文土器 口縁部分	残高 2.60	刻目突帯貼付1、ナデ/ナデ、ナデ(丁寧) 端面：刻目	にぶい黄褐 # 10YR	7/3 #	長石、石英、角閃石 チャート	内傾	弥生化突帯文
Fig.43-456	IVA層	突帯文土器 口縁部分	残高 2.80	外端刻目、刻目突帯貼付1、ナデ/ナデ	黒褐 # 2.5Y	3/1 #	石英、長石 チャート	内傾	
Fig.43-457	IVA層	深鉢~甕 口縁部分	残高 1.90	外端刻目、条痕、ナデ/ナデ	灰黄褐 # 10YR	6/2 # 2.5Y	長石、石英 チャート	内傾	波状口縁?
Fig.43-458	IVA層	深鉢~甕 口縁部分	残高 3.10	外端刻目、ナデ/ナデ、押圧	褐灰 # 10YR	5/1 # 6/3	石英、長石 チャート	内傾	
Fig.43-459	IVA層	深鉢~甕 口縁部分	残高 4.70	外端刺突?、ナデ/ナデ、押圧	にぶい黄褐 # 10YR	7/3 # 7.5YR	石英、長石 チャート	内傾	焼成前穿孔1
Fig.43-460	IVA層	深鉢~甕 口縁部分	残高 2.90	ナデ/ナデ、押圧	にぶい橙 # 7.5YR	7/4 #	長石、石英	?	
Fig.43-461	IVA層	突帯文土器 胴部分	残高 4.90	刻目突帯貼付1、ナデ、押圧/ナデ、押圧	にぶい褐 # 7.5YR	6/3 # 7.5Y	石英、長石 チャート	内傾?	
Fig.43-462	IVA層	突帯文土器 胴部分	残高 2.30	乳状突起貼付1、貼付突帯1?、ナデ /押圧	にぶい黄褐 # 10YR	6/3 # 5/3	粗砂粒、長石	?	特殊胎土
Fig.44-463	IVA層	縄文土器/鉢 口縁部分	残高 2.60	ミガキ	黒褐 # 10YR	3/1 # 5/2	長石、石英、雲母 角閃石	内傾?	
Fig.44-464	IVA層	縄文土器/鉢 口縁部分	残高 3.00	ナデ(粗い)/沈線1、ミガキ	黒褐 # 2.5Y	3/1 #	長石、石英、角閃石 雲母	?	波状口縁
Fig.44-465	IVA層	縄文土器/浅鉢 口縁部分	残高 2.50	ミガキ	黒 # 2.5Y	2/1 # 10YR	長石、石英、雲母 角閃石	内傾	
Fig.44-466	IVA層	縄文土器/浅鉢 口縁部分	残高 5.30	ミガキ	褐灰 # 10YR	5/1 # 5/2	長石、石英 チャート	内傾	
Fig.44-467	IVA層	縄文土器/浅鉢 口縁部分	残高 4.20	ミガキ、押圧/ミガキ	黒褐 # 2.5Y	3/1 # 10YR	長石、石英、雲母 角閃石	内傾	
Fig.44-468	IVA層	縄文土器/浅鉢 口縁部分	残高 3.90	ケズリ、ナデ、押圧 /沈線1、ミガキ、ナデ	にぶい黄褐 # 10YR	6/3 # 6/2	長石、石英、雲母 角閃石	内傾	

表17 1C区出土土器観察表12

挿図番号	層位	器種/器形 部位	法量 (cm)	文様・調整 外面/内面 その他の部位	色調 内面 外面	胎土	接合	備考
Fig.44-469	IV A層	縄文土器/浅鉢 口縁部片	残高 2.30	ミガキ	黒褐 10YR 3/1	長石, 石英	内傾?	
Fig.44-470	IV A層	縄文土器/浅鉢 口縁部片	残高 3.40	ミガキ(ケズリ状?) / 沈線2, ミガキ	黄灰 2.5Y 4/1 灰黄褐 10YR 4/2	石英, 長石, 雲母	内傾	波状口縁 方形浅鉢?
Fig.44-471	IV A層	縄文土器/浅鉢 胴部片	残高 3.10	段: 沈線1, ミガキ/ナデ?	黒 2.5Y 2/1	石英, 長石 チャート	内傾	外面: タール
Fig.45-472	IV層	縄文土器/深鉢 胴部片	残高 2.40	縄文RL, ナデ(丁寧)/ナデ	にぶい赤褐 5YR 5/4 明赤褐 5/6	長石, 石英, 雲母	内傾	後期・平城式?
Fig.45-473	IV層	縄文土器/深鉢 胴部片	残高 2.20	縄文RL, ナデ(丁寧) /ナデ, ナデ(粗い)	にぶい黄橙 10YR 6/3 にぶい褐 7.5YR 5/3	長石, 石英, 角閃石 雲母	内傾	後期・片轄式?
Fig.45-474	IV層	縄文土器/壺 口径 器高 胴径 底径	8.70 24.90 22.40 7.20	沈線2, ミガキ /ミガキ, ナデ(丁寧), ナデ(粗い) 底面: ナデ	黒褐 2.5Y 3/1	長石, 石英, 角閃石 雲母	内傾	断面: 赤彩 沈線: 赤彩充填 胴部曲部: 擬口縁露出 →分割成形?
Fig.45-475	IV層	縄文土器/壺 口縁~頸部片	口径 12.90 残高 10.90	ミガキ/ミガキ, ナデ, 押圧	灰褐 7.5YR 4/2	長石, 石英, 雲母	内傾	
Fig.45-476	IV層	縄文土器/壺 口縁~頸部片	口径 14.00 残高 4.10	ミガキ	黒褐 10YR 3/1	長石, 石英 赤色砂粒	外傾	
Fig.45-477	IV層	縄文土器/壺 口縁~頸部片	口径 12.20 残高 4.80	ミガキ	灰黄 2.5Y 6/2 黒 2/1	長石, 石英, 雲母	内傾	外面: タール
Fig.45-478	IV層	縄文土器/壺 口縁~頸部片	残高 8.60	沈線1(段?), ミガキ/ミガキ, ナデ	灰黄褐 10YR 4/2 黄灰 2.5Y 4/1	石英, 長石, 角閃石 雲母	内傾	
Fig.45-479	IV層	縄文土器/壺 口縁~頸部片	残高 6.90	ミガキ/ミガキ, ナデ	黒 2.5Y 2/1	長石, 石英, 雲母 角閃石	外傾	
Fig.45-480	IV層	縄文土器/壺 口縁~頸部片	残高 6.00	ミガキ/ミガキ, ナデ, 押圧	灰黄褐 10YR 4/2 黒褐 2.5Y 3/1	長石, 石英 赤色砂粒, 角閃石	内傾	外面: タール?
Fig.45-481	IV層	縄文土器/壺 口縁~頸部片	残高 4.50	ナデ, ミガキ /ナデ(ケズリ状), 押圧, ミガキ	灰黄褐 10YR 4/2 褐灰 4/1	長石, 石英	外傾	外面: 赤変? 被熱?
Fig.45-482	IV層	縄文土器/壺 口縁~頸部片	残高 4.00	沈線2, ミガキ, ナデ /ミガキ, ナデ, 押圧	黒褐 2.5Y 3/1	長石, 石英, 雲母	内傾	口縁部内面: 赤彩
Fig.45-483	IV層	縄文土器/壺 口縁~頸部片	残高 3.90	ミガキ, ナデ	黒褐 2.5Y 3/1	長石, 石英, 雲母 角閃石	内傾?	
Fig.45-484	IV層	縄文土器/壺 口縁部片	残高 1.60	ナデ/ミガキ	にぶい褐 7.5YR 5/3 にぶい橙 6/4	石英, 長石, 雲母 角閃石	?	
Fig.45-485	IV層	縄文土器/壺 口縁~頸部片	残高 3.60	沈線1, ナデ, ミガキ/ミガキ	灰黄褐 10YR 4/2 黒褐 3/1	長石, 石英, 雲母 角閃石	外傾	短頸壺? 胎土: 弥生化? 外面: タール
Fig.45-486	IV層	縄文土器/壺 口縁部片	残高 3.30	ミガキ, ナデ/ミガキ	褐灰 10YR 4/1 灰黄褐 4/2	長石, 石英, 雲母 角閃石	外傾	
Fig.45-487	IV層	縄文土器/壺 口縁部片	残高 2.70	ミガキ/ミガキ, ナデ	褐 7.5YR 4/3	長石, 石英, 雲母 角閃石	内傾	
Fig.45-488	IV層	縄文土器/壺 口縁部片	残高 2.90	ミガキ/ナデ?	黄灰 2.5Y 4/1 暗灰黄 4/2	石英, 長石, 雲母 角閃石	内傾	
Fig.45-489	IV層	縄文土器/壺 口縁部片	残高 3.30	ミガキ	黒 10YR 2/1 黒褐 3/1	長石, 石英	内傾	内面: 赤彩 短頸壺?
Fig.45-490	IV層	縄文土器/壺 口縁部片	残高 2.30	接合部: 段, 沈線1, ミガキ /ミガキ, ナデ, ミガキ(ケズリ状)	灰黄褐 10YR 5/2	長石, 石英, 雲母	内傾	
Fig.46-491	IV層	縄文土器/壺 口縁~頸部片	残高 5.60	ミガキ, ナデ, 押圧	淡黄 2.5Y 8/3 にぶい黄橙 10YR 7/3	長石, 石英, 雲母	内傾	
Fig.46-492	IV層	縄文土器/壺 口縁~頸部片	残高 5.70	沈線1, ミガキ/ミガキ, ナデ	黒褐 2.5Y 3/1 黄灰 4/1	長石, 石英, 角閃石	内傾	短頸壺
Fig.46-493	IV層	縄文土器/壺 口縁~胴部片	残高 5.00	ミガキ, ナデ	黄灰 2.5Y 4/1	長石, 石英, 角閃石	内傾	短頸壺
Fig.46-494	IV層	縄文土器/壺 口縁~胴部片	残高 4.00	沈線状1, ミガキ/ミガキ	褐灰 10YR 4/1 黒褐 3/1	長石, 石英, 雲母 角閃石	内傾	短頸壺 外面沈線以上: 赤彩
Fig.46-495	IV層	縄文土器/壺 口縁~胴部片	残高 2.30	沈線1, ミガキ/ミガキ	黒褐 10YR 3/1 褐灰 4/1	長石, 石英	内傾	短頸壺
Fig.46-496	IV層	縄文土器/壺? 口縁部片	口径 6.90 残高 4.90	斜沈線2, ミガキ~ナデ(丁寧), 押圧 /ミガキ, ナデ	褐灰 7.5YR 4/1 灰黄褐 10YR 5/2	長石, 石英	内傾	高杯?(上下逆?)
Fig.46-497	IV層	縄文土器/壺 頸部片	残高 4.90	ナデ, 押圧	にぶい黄橙 10YR 6/3	長石, 石英, 雲母 角閃石	内傾	
Fig.46-498	IV層	縄文土器/壺 頸部片	残高 7.10	ミガキ(暗文状)/ミガキ, ナデ	灰黄褐 10YR 4/2 黒褐 3/1	長石, 石英, 角閃石 雲母	内傾	内面: 赤彩
Fig.46-499	IV層	縄文土器/壺 頸部片	残高 3.30	段: 沈線状, ミガキ/ナデ, ミガキ	黒 2.5Y 2/1 黒褐 10YR 3/1	長石, 石英, 雲母 角閃石	?	上下逆? 内外面: 赤彩
Fig.46-500	IV層	縄文土器/壺 胴部片	残高 1.50	ミガキ	黒褐 2.5Y 3/1 黄灰 4/1	長石, 角閃石?	内傾	短頸壺?
Fig.46-501	IV層	縄文土器/壺 胴部片	残高 2.00	ミガキ~ナデ(丁寧)/ナデ	にぶい黄橙 10YR 6/3	石英, 長石, 雲母 角閃石	?	短頸壺?
Fig.46-502	IV層	縄文土器/壺 頸部片	残高 3.10	沈線1, ミガキ/ミガキ	褐灰 10YR 4/1 黒 5Y 2/1	長石, 石英, 雲母 角閃石	内傾	上端: 擬口縁露出
Fig.46-503	IV層	縄文土器/壺 頸部片	残高 2.80	沈線1, ミガキ/ミガキ	灰黄褐 10YR 6/2 黄灰 2.5Y 4/1	長石, 石英, 角閃石	内傾	
Fig.46-504	IV層	縄文土器/壺 頸部片	残高 3.10	沈線1, ミガキ/押圧, ナデ	灰黄褐 10YR 4/2	長石, 石英, 角閃石	外傾	
Fig.46-505	IV層	縄文土器/壺 頸部片	残高 3.30	弧沈線2, ミガキ/ナデ, 押圧	褐灰 10YR 4/1 黒 2.5Y 2/1	石英, 長石, 雲母 角閃石	内傾	外面: タール
Fig.48-506	IV層	縄文土器/壺 頸部片	残高 4.60	沈線1, 段?, ミガキ/ナデ, 押圧	にぶい黄橙 10YR 5/3	長石, 石英, 雲母	内傾	孔2? → 孔部: 赤彩
Fig.48-507	IV層	縄文土器/壺 頸部片	残高 1.90	沈線文, ミガキ, ナデ /ミガキ~ナデ(丁寧)	黒 2.5Y 2/1	長石, 石英	内傾	沈線文: 赤彩充填 下端外面: 赤彩 外面: スス・タール
Fig.46-508	IV層	縄文土器/壺? 胴部片	残高 3.10	沈線1, 斜沈線5, ミガキ/ナデ(丁寧)	にぶい黄 2.5Y 6/3 黄灰 4/1	長石, 石英, 雲母	?	
Fig.46-509	IV層	縄文土器/壺? 頸部片?	残高 2.50	沈線3, ミガキ/ナデ	黄灰 2.5Y 4/1 黒褐 3/1	長石, 石英	内傾?	
Fig.46-510	IV層	縄文土器/壺 頸~胴部片	残高 7.50	沈線2, 弧沈線2+2, ミガキ~ナデ(丁寧) /ナデ, 押圧	にぶい黄橙 10YR 6/3 黄灰 2.5Y 4/1	長石, 石英, 雲母	外傾	胎土: 弥生化? 重弧文?
Fig.46-511	IV層	縄文土器/壺 頸~胴部片	残高 6.00	沈線1, ナデ, ナデ(ケズリ状) /ナデ, 押圧, ナデ(粗い)	にぶい黄橙 10YR 6/3 灰黄 2.5Y 4/1	長石, 石英, 雲母 角閃石	内傾	

表18 1C区出土土器観察表13

挿入番号	層位	器種・器形 /部位	法量 (cm)	文様・調整 外面/内面 その他の部位	色調 内面 外面	胎土	接合	備考	
Fig.46-512	IV層	縄文土器/壺 頸~胴部片	残高 4.10	段: 沈線1, ミガキ /ミガキ, ナデ (ケズリ状)	黒 黒褐 # 3/1	2.5Y # 2/1	長石, 石英, 角閃石 雲母	内傾	
Fig.46-513	IV層	縄文土器/壺 胴部片	残高 3.20	沈線1, ミガキ /ミガキ~ヘラナデ, ナデ	黒褐 褐灰 10YR 7.5YR # 4/1	3/1 # 7/4	長石, 石英, 雲母 角閃石	内傾 沈線内: 赤彩	
Fig.46-514	IV層	縄文土器/壺 頸~胴部片	残高 4.50	接合部: 沈線状1, ミガキ, ナデ/ナデ	にぶい黄 # 6/4	7.5YR # 6/3	石英, 長石, 角閃石	内傾	
Fig.47-515	IV層	縄文土器/壺 頸~胴部片	口径 32.10 残高 4.60	沈線1, ミガキ, 押圧/ナデ, 押圧	灰黄褐 にぶい黄褐 10YR # 6/2 6/3	6/2 # 7/3	長石, 石英, 雲母 角閃石	内傾	
Fig.47-516	IV層	縄文土器/壺 頸~胴部片	残高 3.20	段: 沈線1, ナデ, ミガキ /ナデ, 板ナデ (原体圧痕?), 押圧	浅黄 # #	2.5Y # 7/3	石英, 長石, 角閃石 雲母	内傾?	
Fig.47-517	IV層	縄文土器/壺 胴部片	残高 2.50	段: 沈線状, ミガキ/ナデ	灰黄褐 にぶい黄褐 10YR # 5/2 6/3	5/2 # 6/3	石英, 長石	内傾 外面: スス・タール	
Fig.47-518	IV層	縄文土器/壺 頸~胴部片	残高 4.10	段: 沈線状, ナデ, 押圧 /ナデ, ナデ (粗い), 押圧	にぶい黄褐 にぶい黄 10YR 7.5YR # 6/3	7/3 # 6/3	長石, 石英, 雲母 角閃石, チャート	内傾	
Fig.47-519	IV層	縄文土器/壺 頸~胴部片	残高 2.50	接合部: 沈線1, ミガキ, ナデ (丁寧)	灰黄褐 褐灰 10YR # 5/2 5/1	5/2 # 5/1	長石, 石英	内傾 外面: タール	
Fig.47-520	IV層	縄文土器/壺 頸~胴部片	残高 3.10	接合部: 沈線1, ミガキ/ミガキ, ナデ	黒 黒褐 10YR # 2/1 3/1	2/1 # 3/1	長石, 石英, 角閃石 雲母	内傾	
Fig.47-521	IV層	縄文土器/壺 頸~胴部片	残高 1.40	沈線1 (+1?), ミガキ/ナデ, 押圧	黄灰 褐灰 2.5Y 10YR # 4/1	5/1 # 4/1	長石, 石英, 角閃石	内傾?	
Fig.47-522	IV層	縄文土器/壺 頸~胴部片	残高 2.00	沈線1, ナデ, ミガキ/ナデ, 押圧	黒褐 褐灰 10YR # 4/1	3/1 # 4/1	石英, 長石, 雲母	内傾	
Fig.47-523	IV層	縄文土器/壺 頸~胴部片	残高 2.70	接合部: 沈線1, ミガキ/ミガキ, ナデ	黒 # #	2.5Y # #	長石, 石英, 雲母	内傾	
Fig.47-524	IV層	縄文土器/壺 胴部片	残高 2.30	接合部: 沈線1, ミガキ, ナデ (丁寧)	にぶい黄褐 黒褐 10YR # 5/3 3/1	5/3 # 3/1	長石, 石英, 雲母 角閃石	内傾	
Fig.47-525	IV層	縄文土器/壺 胴部片	残高 2.00	接合部: 沈線1, ミガキ/ナデ	にぶい黄褐 灰黄褐 10YR # 5/3 5/2	5/3 # 5/2	長石, 石英, 雲母 角閃石	内傾	
Fig.47-526	IV層	縄文土器/壺 胴部片	残高 2.20	接合部: 段=凹線状, ミガキ/ナデ	灰黄褐 褐灰 10YR # 6/2 5/1	6/2 # 5/1	長石, 石英, 雲母 角閃石	内傾	
Fig.47-527	IV層	縄文土器/壺 頸~胴部片	残高 1.90	接合部: 沈線1, ミガキ/ナデ	黒 # #	2.5Y # 2/1	長石, 石英, 角閃石 雲母	内傾	
Fig.47-528	IV層	縄文土器/壺 頸~胴部片	残高 1.80	沈線1, ミガキ/ナデ, 押圧	灰黄褐 褐灰 10YR # 4/2 4/1	4/2 # 4/1	石英, 長石, 角閃石 雲母	内傾?	
Fig.47-529	IV層	縄文土器/壺 胴部片	残高 2.90	段: 沈線状, ミガキ/ナデ	にぶい黄 黒褐 7.5YR 2.5Y # 3/1	5/3 # 3/1	長石, 石英, 角閃石 赤色砂粒	内傾	
Fig.47-530	IV層	縄文土器/壺 胴部片	残高 3.40	段2: 沈線状, ミガキ, ナデ /ナデ (粗い)	灰黄褐 黒 10YR 2.5Y # 2/1	6/2 # 2/1	石英, 長石, 角閃石	内傾	
Fig.47-531	IV層	縄文土器/壺 胴部片	残高 2.10	段1: 沈線状, ミガキ/ナデ, 押圧	黒褐 褐灰 7.5YR # 3/1 4/1	3/1 # 4/1	長石, 石英, 雲母 角閃石	内傾 内面: スス・タール →煮炊?	
Fig.47-532	IV層	縄文土器/壺 頸~胴部片	残高 7.80	沈線2, ミガキ/ナデ, 押圧	オリーブ黒 黒 5Y # 3/1 2/1	3/1 # 2/1	長石, 石英, 雲母 角閃石	内傾	
Fig.47-533	IV層	縄文土器/壺 頸~胴部片	残高 3.60	接合部: 段=沈線1, ミガキ /ナデ, 押圧	暗灰黄 褐灰 2.5Y 10YR # 4/1	5/2 # 4/1	長石, 石英, 雲母	内傾	
Fig.47-534	IV層	縄文土器/壺 胴部片	残高 3.80	接合部: 沈線1, ミガキ/ナデ (粗い)	黒 黒褐 5Y 2.5Y # 3/1	2/1 # 3/1	長石, 石英, 雲母 角閃石	内傾	
Fig.47-535	IV層	縄文土器/壺 胴部片	残高 4.60	接合部: 沈線1, ミガキ/ナデ	暗灰黄 黄灰 2.5Y # 5/2 5/1	5/2 # 5/1	長石, 石英, 雲母 角閃石	内傾	
Fig.47-536	IV層	縄文土器/壺 胴部片	残高 5.60	ミガキ, ナデ/ナデ (粗い), 押圧	にぶい黄 にぶい黄褐 2.5Y 10YR # #	6/3 # #	長石, 石英	内傾	
Fig.47-537	IV層	縄文土器/壺 胴部片	残高 4.50	沈線1, ミガキ/ナデ	にぶい黄 褐灰 7.5YR # 4/1	5/3 # 4/1	長石, 石英, 角閃石 雲母	外傾 沈線内: 赤彩	
Fig.47-538	IV層	縄文土器/壺? 胴部片	残高 2.60	沈線4, ミガキ, ナデ (丁寧) /不明	にぶい黄褐 灰黄褐 10YR # 6/4 5/2	6/4 # 5/2	石英, 長石, 雲母 赤色砂粒	内傾?	
Fig.47-539	IV層	縄文土器/壺 胴部片	残高 2.70	沈線1, ミガキ, ナデ/押圧, ナデ	灰黄褐 # #	4/2 # #	長石, 石英, 角閃石	内傾	
Fig.47-540	IV層	縄文土器/壺? 胴部片	残高 3.70	沈線6 /不明	灰黄褐 にぶい黄褐 10YR # 4/2 6/3	4/2 # 6/3	長石, 石英, 角閃石?	? 上下逆? 胎土: 弥生化?	
Fig.47-541	IV層	縄文土器/壺? 胴部片	残高 2.20	沈線2, ミガキ/ナデ?	にぶい黄褐 灰黄褐 10YR # 6/3 6/2	6/3 # 6/2	長石, 石英, 雲母 角閃石	内傾	
Fig.47-542	IV層	縄文土器/壺 胴部片	残高 2.70	沈線2, 縦沈線2 /不明	にぶい黄褐 にぶい黄褐 10YR # 5/3 6/3	5/3 # 6/3	長石	内傾	
Fig.47-543	IV層	縄文土器/壺 胴部片	残高 2.70	沈線5, ミガキ/ナデ, ヘラナデ	暗灰黄 褐灰 2.5Y 10YR # 4/1	5/2 # 4/1	石英, 長石, 雲母	内傾 胎土: 弥生化?	
Fig.47-544	IV層	縄文土器/壺? 胴部片	残高 2.20	縦~斜沈線7, ミガキ/押圧, ナデ	灰黄褐 黒褐 10YR # 5/2 3/1	5/2 # 3/1	長石, 石英	?	
Fig.47-545	IV層	縄文土器/壺? 胴部片	残高 3.50	縦沈線2+2, ミガキ, ナデ/ナデ	黄灰 暗灰 2.5Y N # 3/	5/1 # 3/	長石, 石英, 角閃石 赤色砂粒	内傾	
Fig.47-546	IV層	縄文土器/壺? 胴部片	残高 4.40	貼付突起1, ミガキ, ナデ (丁寧) /ナデ, 押圧	灰褐 # #	7.5YR # #	4/2 # #	長石, 石英, 雲母 赤色砂粒, 角閃石	外傾 突起上面: 赤彩 外面: スス・タール
Fig.47-547	IV層	縄文土器/壺? 胴部片	残高 1.80	隆帯2 (貼付?), ミガキ /接合部: 段1, ナデ	褐灰 黒褐 10YR # 4/1 3/1	4/1 # 3/1	長石, 石英	内傾 擬口縁露出 隆帯: 剥出し?	
Fig.47-548	IV層	縄文土器/壺? 胴部片	残高 3.40	刻目突起貼付1, 沈線状1, ミガキ /ナデ	灰黄褐 # #	10YR # #	4/2 # #	長石, 石英, 雲母 角閃石	内傾 上端: 擬口縁露出 外面: スス
Fig.47-549	IV層	縄文土器/壺? 底部片	残高 1.00 底径 6.60	ミガキ/ナデ 底面: ナデ?	黒褐 # #	2.5Y # #	3/1 # #	長石, 石英, 雲母	? 内面: 擬口縁露出 分割成形部分品
Fig.47-550	IV層	縄文土器/壺 底部片	残高 2.80	不明/押圧 底面: 不明	灰白 灰黄 5Y 2.5Y # #	7/2 # #	長石, 石英, 角閃石	?	
Fig.48-551	IV層	縄文土器/壺 口縁部片	口径 16.70 残高 6.00	三角形連続区画文/沈線2 端面: 沈線1 波頂部端面: 沈線1	赤 # #	10R # 4/6	5/8 # 4/6	長石, 石英	? 波状口縁: 波頂部? 内外面: 黒+赤漆彩色 大洞A式, 搬入品
Fig.48-552	IV層	縄文土器/壺 胴部片	残高 5.20	隆帯区画文, 隆帯上: 沈線1 /不明	暗灰 暗赤褐 N 2.5YR # 3/4	3/4 # 3/4	長石, 石英	内傾 区画内: 黒+赤漆彩色 沈線内: 黒漆彩色 内面: 黒菱 大洞A式, 搬入品	
Fig.48-553	IV層	縄文土器/壺 胴部片	残高 9.10	貼付隆帯1, 隆帯上: 沈線1 ミガキ /ナデ?	黒 黒褐 10YR # 2/1 3/1	2/1 # 3/1	長石, 石英	内傾 外面: 黒漆彩色 内面: 黒菱 大洞A式, 搬入品	

表19 1C区出土土器観察表14

挿入番号	層位	器種/器形/部位	法量 (cm)	文様・調整 外面/内面 その他の部位	色調 外面	胎土	接合	備考	
Fig.48-554	IV層	縄文土器/壺 胴部片	残高 4.25	貼付隆帯1, ミガキ/ミガキ	黒 黒褐色	10YR 2/1 3/1	石英, 長石, 雲母	?	外面: 黒+赤漆彩色 内面: 黒変 大洞A式, 搬入品
Fig.48-555	IV層	縄文土器/壺 底部片	残高 2.10	底面: ナデ ミガキ	黒褐色 2.5Y	10YR 3/1 2.5Y	長石, 石英, 角閃石	?	大洞A式, 搬入品
Fig.48-556	表探	縄文土器/壺 頸部片	残高 5.60	彩文(斜格子状, 点), ミガキ? /ミガキ, ナデ, 押圧	黒褐色 赤褐色	10YR 3/1 10R 4/3	石英, 長石	内傾	内外面: 黒+赤漆? 彩色 搬入品?
Fig.49-557	IV層	弥生土器/壺 口縁~胴部片	口径 28.40 残高 24.80	接合部: 段1, ミガキ, 押圧, ナデ /押圧, ナデ, ミガキ	明赤褐色 "	2.5YR 5/6 "	長石, 赤色砂粒 石英	外傾	外面: 赤彩 口縁部内面: 赤彩
Fig.49-558	IV層	弥生土器/壺 口縁~頸部片	口径 20.60 残高 6.90	ミガキ/ミガキ, 押圧	浅黄褐色 にぶい黄褐色	10YR 8/3 7/4	石英, 長石, 雲母	外傾	
Fig.49-559	IV層	弥生土器/壺 口縁~頸部片	口径 14.10 残高 4.20	ミガキ, 押圧, ナデ	にぶい黄褐色 "	10YR 7/2 "	石英, 赤色砂粒	?	
Fig.49-560	IV層	弥生土器/壺 口縁~頸部片	口径 13.10 残高 6.00	沈線2, ナデ/ナデ, 押圧	浅黄褐色 にぶい褐色	7.5YR 8/4 6/4	赤色砂粒, チャート 石英	外傾	外面: タール
Fig.49-561	IV層	弥生土器/壺 口縁~頸部片	口径 14.30 残高 5.40	沈線3, 刺突2段, ミガキ/ミガキ	にぶい黄褐色 "	10YR 7/3 "	赤色砂粒, 石英 長石, 雲母	外傾	
Fig.49-562	IV層	弥生土器/壺 口縁~頸部片	口径 14.00 残高 5.10	沈線4~5, ミガキ/ミガキ, ナデ	にぶい黄褐色 "	10YR 7/3 "	赤色砂粒, 石英 角閃石?	?	
Fig.49-563	IV層	弥生土器/壺 口縁部片	残高 2.90	沈線1, ミガキ, ナデ/沈線2, ミガキ	にぶい黄褐色 "	10YR 7/2 "	長石, 石英, 角閃石	?	
Fig.49-564	IV層	弥生土器/壺 口縁部片	残高 3.40	沈線?1, ミガキ, ナデ, 押圧 /ミガキ, ナデ	明褐色 にぶい褐色	7.5YR 7/2 7/3	石英, 長石 赤色砂粒, チャート 雲母	外傾	
Fig.49-565	IV層	弥生土器/壺 口縁部片	残高 4.40	沈線1(段?), ミガキ/ミガキ	浅黄褐色 にぶい黄褐色	10YR 8/3 6/3	石英, 長石, 角閃石 雲母, 赤色砂粒	外傾	
Fig.49-566	IV層	弥生土器/壺 口縁部片	残高 3.40	沈線2, ハケ, ナデ, 押圧/ナデ	にぶい褐色 にぶい黄褐色	7.5YR 7/3 10YR "	チャート, 長石 石英	外傾	変?
Fig.49-567	IV層	弥生土器/壺 口縁部片	残高 1.90	沈線2, ミガキ~ナデ(丁寧) /ナデ(丁寧)	にぶい黄褐色 灰黄褐色	10YR 6/3 6/2	長石, 石英, 雲母	?	
Fig.49-568	IV層	弥生土器/壺 口縁部片	残高 2.70	沈線2, 接合部: 段=沈線状, ミガキ /ミガキ	にぶい黄褐色 黒	10YR 7/3 2/1	長石, 石英 赤色砂粒	外傾?	上下逆? 外面: 黒変→赤彩?
Fig.50-569	IV層	弥生土器/壺 口縁~頸部片	口径 28.50 残高 16.70	接合部: 段=凹線状, 押圧, ナデ? /ナデ, 押圧	にぶい黄褐色 "	10YR 6/3 "	赤色砂粒, 石英 長石	外傾	
Fig.50-570	IV層	弥生土器/壺 口縁部片	残高 6.20	外端刻目, 接合部: 段+刻目, ハケ, ナデ, 押 圧/ナデ, 板ナデ	にぶい黄褐色 にぶい褐色	10YR 2/3 7/3	石英, 赤色砂粒 長石, チャート	外傾	
Fig.50-571	IV層	弥生土器/壺 口縁~頸部片	残高 5.50	接合部: 段, ミガキ, 押圧 /ミガキ, ナデ(丁寧)	褐色 にぶい褐色	7.5YR 6/6 5/4	石英, 長石, 雲母 角閃石	外傾	
Fig.50-572	IV層	弥生土器/壺 口縁部片	残高 3.60	接合部: 段, 沈線1, ナデ(丁寧) /沈線(ヘラナデ?)1, ミガキ, ナデ	褐色 "	7.5YR 6/6 "	長石, 石英, 雲母 赤色砂粒	外傾	
Fig.50-573	IV層	弥生土器/壺 口縁部片	残高 3.40	接合部: 段, ミガキ/ミガキ	にぶい黄褐色 浅黄褐色	10YR 7/3 8/3	石英, 長石 赤色砂粒	外傾	
Fig.50-574	IV層	弥生土器/壺 口縁部片	残高 5.70	段2, ミガキ/ミガキ, 押圧	浅黄褐色 "	7.5YR 8/4 "	石英, 長石, 雲母	外傾	
Fig.50-575	IV層	弥生土器/壺 口縁部片	残高 2.40	接合部: 段=沈線状, 押圧, ナデ/ミガキ 断面: 凹線1	暗灰黄 灰黄褐色	2.5Y 5/2 10YR 6/2	石英, 長石, 角閃石 雲母	内傾	
Fig.50-576	IV層	弥生土器/壺 口縁部片	残高 4.30	接合部: 段, ナデ(丁寧)/ナデ(丁寧)	にぶい黄褐色 灰白	10YR 7/3 8/2	石英, 長石 赤色砂粒, 雲母	外傾	外面段以下: 赤彩?
Fig.50-577	IV層	弥生土器/壺 口縁部片	口径 15.60 残高 4.20	接合部: 段+貼付突帯1+沈線1, 沈線2? ミガキ/ミガキ	にぶい黄褐色 にぶい褐色	10YR 6/3 7.5YR 6/4	石英, 長石, 雲母	外傾	
Fig.50-578	IV層	弥生土器/壺 口縁部片	口径 14.90 残高 5.80	貼付隆帯1+沈線1, ミガキ, ナデ /ミガキ	黒褐色 にぶい褐色	10YR 3/2 5/3	石英, 長石 赤色砂粒	外傾	内外面: スス・タール
Fig.50-579	IV層	弥生土器/壺 口縁~頸部片	口径 13.60 残高 6.70	接合部: 突帯状+沈線1, ミガキ /ミガキ, ナデ, 押圧	赤褐色 "	5YR 4/6 "	長石, 石英, 雲母	外傾	
Fig.50-580	IV層	弥生土器/壺 口縁部片	残高 4.10	接合部: 段+沈線状=突帯状, ミガキ?, ナデ (丁寧)/ナデ?	黒褐色 にぶい黄褐色	10YR 3/1 7/2	長石, 石英 赤色砂粒	外傾	
Fig.50-581	IV層	弥生土器/壺 口縁部片	残高 3.50	ミガキ, ナデ/ミガキ	暗灰黄 灰黄褐色	2.5Y 5/2 10YR "	石英, 長石 赤色砂粒	?	
Fig.50-582	IV層	弥生土器/壺 口縁部片	残高 4.40	不明/ナデ	淡褐色 浅黄褐色	10YR 8/3 "	赤色砂粒, 石英 長石	外傾	
Fig.50-583	IV層	弥生土器/壺 口縁部片	残高 4.70	ミガキ 断面: 沈線1	赤褐色 浅黄褐色	10R 1/6 10YR 8/3	石英, 長石, 雲母	外傾	内外面: 赤彩
Fig.50-584	IV層	弥生土器/壺 口縁部片	残高 3.20	ミガキ	にぶい黄褐色 "	10YR 7/4 6/4	石英, 長石, 雲母	?	
Fig.50-585	IV層	弥生土器/壺 口縁部片	残高 4.50	ナデ, 押圧/ナデ	にぶい黄褐色 "	10YR 7/3 "	石英, チャート 赤色砂粒, 長石	外傾	
Fig.50-586	IV層	弥生土器/壺 口縁部片	残高 3.50	ナデ?/ナデ(丁寧)	にぶい黄褐色 にぶい褐色	10YR 7/4 7.5YR "	赤色砂粒, 長石 石英, 角閃石	外傾	
Fig.50-587	IV層	弥生土器/壺 口縁部片	残高 3.30	ミガキ	明赤褐色 "	2.5YR 5/6 "	石英, 長石, 雲母	?	
Fig.50-588	IV層	弥生土器/壺 口縁部片	残高 2.90	ミガキ/ナデ?	浅黄褐色 にぶい黄褐色	10YR 8/4 7/4	赤色砂粒, 石英 長石	?	
Fig.50-589	IV層	弥生土器/壺 口縁~頸部片	残高 4.00	外端刻目, ハケ, ナデ, 押圧 /ハケ, ナデ, 押圧	浅黄褐色 にぶい黄褐色	10YR 8/3 7/4	チャート, 長石 赤色砂粒, 石英	外傾	刻目: 板目痕=ハケ原 体?
Fig.50-590	IV層	弥生土器/壺 口縁部片	残高 2.90	ミガキ/不明	にぶい黄褐色 "	10YR 6/4 7/4	石英, 長石 赤色砂粒, 雲母	外傾	
Fig.51-591	IV層	弥生土器/壺 口縁部片	残高 2.90	ミガキ	浅黄褐色 にぶい黄褐色	2.5Y 7/3 10YR 5/3	石英, 長石	外傾	
Fig.51-592	IV層	弥生土器/壺 口縁部片	残高 2.80	沈線2, ミガキ/ミガキ	にぶい黄褐色 "	10YR 6/4 6/3	長石, 石英, 雲母	外傾	
Fig.51-593	IV層	弥生土器/壺 口縁部片	残高 3.00	ナデ/ミガキ, ナデ	にぶい黄褐色 "	10YR 6/3 "	石英, 長石, 雲母 角閃石	外傾	
Fig.51-594	IV層	弥生土器/壺 口縁部片	残高 3.00	ミガキ	にぶい黄褐色 にぶい褐色	10YR 7/4 7.5YR "	長石, 石英	?	
Fig.51-595	IV層	弥生土器/壺 口縁部片	残高 2.50	ミガキ/押圧, ミガキ~ナデ(丁寧)	にぶい黄褐色 灰黄	10YR 7/2 2.5Y	赤色砂粒, 長石 石英	?	
Fig.51-596	IV層	弥生土器/壺 口縁部片	残高 2.80	ハケ, ナデ, 押圧/ハケ?, ナデ 断面: 沈線1+刻目	にぶい褐色 "	7.5YR 7/4 "	長石, 石英 チャート	外傾	
Fig.51-597	IV層	弥生土器/壺 口縁部片	残高 2.10	ナデ(丁寧)/ミガキ 断面: 凹線状	浅黄褐色 灰白	10YR 8/3 8/2	石英, 長石, 雲母	?	

表20 1C区出土土器観察表15

挿入番号	層位	器種/器形 /部位	法量 (cm)	文様・調整 外面/内面 その他の部位	色調 内面 外面	胎土	接合	備考
Fig.51-598	IV層	弥生土器/壺 口縁部片	残高 3.40	ミガキ, ナデ (丁寧) /ミガキ	橙 5YR 7/6 浅黄橙 7.5YR 8/3	赤色砂粒, 石英 長石	?	
Fig.51-599	IV層	弥生土器/壺 口縁部片	残高 3.30	ミガキ~ナデ (丁寧) /ナデ (丁寧)	にぶい橙 7.5YR 7/4 橙 5YR 7/6	長石, 石英	外傾	
Fig.51-600	IV層	弥生土器/壺 口縁部片	残高 3.30	ナデ? /ミガキ, ナデ	灰白 10YR 8/2 浅黄橙 # 8/3	赤色砂粒, 石英 角閃石, チャート 長石	外傾	
Fig.51-601	IV層	弥生土器/壺 口縁部片	残高 2.50	ミガキ/ミガキ, ナデ	浅黄橙 10YR 8/3 # 8/4	石英, 長石, 雲母 角閃石, 赤色砂粒	外傾	
Fig.51-602	IV層	弥生土器/壺 口縁部片	残高 1.60	ミガキ, ナデ	にぶい橙 7.5YR 6/4 にぶい黄橙 10YR 7/3	石英, 赤色砂粒 長石	外傾	
Fig.51-603	IV層	弥生土器/壺 口縁部片	残高 2.90	ミガキ/ハケ, ミガキ	にぶい橙 7.5YR 7/3 にぶい黄橙 10YR 7/2	石英, 長石, 雲母 角閃石, 赤色砂粒	外傾	外面: 赤彩? 内面: 赤彩
Fig.51-604	IV層	弥生土器/壺 口縁部片	残高 3.90	ミガキ	赤褐 10R 5/4 # #	長石, 石英, 雲母	外傾	内外面: 赤彩
Fig.51-605	IV層	弥生土器/壺 口縁部片	残高 2.90	ミガキ 端面: ミガキ	赤 # 10R 5/6 # #	長石, 石英 赤色砂粒, 雲母	?	内外面: 赤彩
Fig.51-606	IV層	弥生土器/壺 口縁部片	残高 4.30	ミガキ	橙 2.5YR 7/6 # 6/6	石英, 長石, 雲母 赤色砂粒	外傾	内外面: 赤彩
Fig.51-607	IV層	弥生土器/壺 口縁部片	残高 2.50	ナデ, ミガキ	にぶい橙 5YR 6/4 # #	石英, 長石, 雲母	?	内外面: 赤彩
Fig.51-608	IV層	弥生土器/壺 口縁部片	残高 3.10	ミガキ	にぶい黄橙 10YR 7/2 # 7/3	石英, 長石, 角閃石 赤色砂粒	外傾	外面: 赤彩?
Fig.51-609	IV層	弥生土器/壺 口縁部片	残高 1.90	ミガキ	橙 2.5YR 7/6 にぶい黄橙 10YR 7/3	石英, 長石, 雲母	外傾	内外面: 赤彩
Fig.51-610	IV層	弥生土器/壺 口縁部片	残高 1.60	ミガキ? /不明	灰白 10YR 8/2 淡赤橙 2.5YR 7/4	赤色砂粒, 石英 長石	外傾	外面: 赤彩
Fig.51-611	IV層	弥生土器/壺 口縁部片	残高 1.90	ミガキ? /不明	灰白 10YR 8/2 # #	石英, 赤色砂粒	?	外面: 赤彩?
Fig.51-612	IV層	弥生土器/壺 口縁~頸部片	残高 4.10	ミガキ/ナデ?	灰白 10YR 8/2 赤 10R 5/6	石英, 長石, 角閃石 赤色砂粒	外傾	内外面: 赤彩
Fig.51-613	IV層	弥生土器/壺 口縁部片	残高 2.00	ミガキ/ナデ	灰白 2.5Y 8/2 # #	石英, 長石, 角閃石	外傾	内外面: 赤彩
Fig.51-614	IV層	弥生土器/壺 口縁部片	残高 2.10	ミガキ	にぶい黄橙 10YR 6/3 にぶい橙 5YR 6/4	石英, 長石 赤色砂粒	外傾	内外面: 赤彩
Fig.51-615	IV層	弥生土器/壺 口縁部片	残高 3.30	ミガキ/ミガキ?	赤橙 10R 6/6 淡赤橙 2.5YR 7/4	石英, 長石, 雲母 赤色砂粒	?	内外面: 赤彩
Fig.51-616	IV層	弥生土器/壺 口縁~頸部片	残高 6.40	ミガキ	赤 # 10R 5/6 # #	石英, 長石 赤色砂粒	外傾	内外面: 赤彩
Fig.51-617	IV層	弥生土器/壺 口縁部片	残高 3.00	ミガキ	にぶい橙 2.5YR 6/3 灰白 10YR 8/2	石英, 長石 赤色砂粒	?	内外面: 赤彩
Fig.51-618	IV層	弥生土器/壺 口縁部片	残高 2.80	ミガキ	明赤褐 2.5YR 5/6 にぶい橙 # 6/4	長石, 石英 赤色砂粒	外傾	内外面: 赤彩
Fig.51-619	IV層	弥生土器/壺 口縁部片	残高 2.80	ミガキ	灰白 10YR 8/2 赤橙 10R 6/6	石英, 長石, 雲母 赤色砂粒	?	内外面: 赤彩
Fig.51-620	IV層	弥生土器/壺 口縁部片	残高 2.40	ミガキ	灰黄 2.5Y 7/2 灰褐 5YR 4/2	石英, 長石	?	外面: 赤彩?
Fig.51-621	IV層	弥生土器/壺 口縁部片	残高 1.60	ミガキ	赤褐 10R 4/4 褐灰 10YR 5/1	長石, 石英 赤色砂粒	?	内外面: 赤彩
Fig.51-622	IV層	弥生土器/壺 口縁部片	残高 2.40	ミガキ	赤褐 10R 5/4 # #	石英, 長石 赤色砂粒	外傾	内外面: 赤彩 外面: 黒変部分あり
Fig.51-623	IV層	弥生土器/壺 口縁部片	残高 2.20	ミガキ, ナデ/ミガキ 端面: 凹線状	にぶい黄橙 10YR 7/3 # #	長石, 石英, 雲母 赤色砂粒	?	外面: 赤彩? 内面: 赤彩
Fig.51-624	IV層	弥生土器/壺 口縁部片	残高 1.60	ナデ, ミガキ/ミガキ 端面: 凹線状 (ミガキ原体?)	浅黄橙 10YR 8/3 灰白 # 8/2	石英, 長石 赤色砂粒	?	外面: 赤彩・黒変あり 内面: タール?
Fig.51-625	IV層	弥生土器/壺 頸部片	残高 4.20	ナデ, ミガキ	にぶい黄橙 10YR 7/4 橙 2.5YR 6/6	石英, 長石 チャート, 角閃石	外傾	内外面: 赤彩?
Fig.51-626	IV層	弥生土器/壺 頸部片	残高 6.70	ミガキ/ミガキ, 押圧	にぶい黄橙 10YR 7/2 浅黄 5YR 8/4	赤色砂粒, 石英 長石	外傾	
Fig.51-627	IV層	弥生土器/壺 頸部片	残高 4.40	ミガキ/ナデ, 押圧	浅黄 2.5Y 7/3 黒 # 2/1	石英, 長石, 雲母	外傾	内外面: 赤彩?
Fig.51-628	IV層	弥生土器/壺 頸~胴部片	残高 4.10	ミガキ/ナデ, 押圧	にぶい黄 2.5Y 6/3 灰黄褐 10YR 5/2	長石, 石英 赤色砂粒	外傾	外面: 顔料? 外面: スス・タール
Fig.51-629	IV層	弥生土器/壺 頸部片	残高 5.10	段1, ミガキ, ナデ/ナデ	灰白 2.5Y 8/2 # 10YR #	石英, 長石, 雲母 赤色砂粒	内傾?	
Fig.51-630	IV層	弥生土器/壺 頸部片	残高 1.60	接合部: 段=沈線状, ミガキ/ナデ	橙 7.5YR 7/6 にぶい黄橙 10YR 7/3	石英, 長石, 雲母 角閃石	外傾	
Fig.51-631	IV層	弥生土器/壺 頸部片	残高 3.90	沈線1, ミガキ/ハケ, ナデ	灰白 10YR 8/2 にぶい黄橙 # 7/2	石英, 長石, 雲母 角閃石	外傾	
Fig.51-632	IV層	弥生土器/壺 頸~胴部片	残高 3.30	沈線1, ミガキ~ナデ (丁寧) /押圧, ナデ (短い)	灰白 10YR 8/2 にぶい黄橙 # 7/2	赤色砂粒, 石英 長石	外傾	
Fig.51-633	IV層	弥生土器/壺 頸部片	残高 3.80	沈線1, ミガキ/ナデ, ミガキ~ヘラナデ	オリーブ黒 5Y 3/1 にぶい赤褐 5YR 5/4	長石, 石英	外傾	
Fig.51-634	IV層	弥生土器/壺 頸部片	残高 3.20	沈線1, ナデ/押圧, ナデ	オリーブ黒 5Y 3/1 にぶい橙 7.5YR 6/4	長石, 石英	?	
Fig.51-635	IV層	弥生土器/壺 頸部片	残高 1.70	沈線1, ミガキ/押圧, ナデ (丁寧)	にぶい橙 7.5YR 7/4 # #	石英, 長石, 雲母	外傾	
Fig.51-636	IV層	弥生土器/壺 頸~胴部片	残高 2.30	接合部: 段, 沈線1, ミガキ/ハケ	灰白 10YR 8/2 # 6/6	長石, 赤色砂粒 石英	外傾	外面: 赤彩
Fig.51-637	IV層	弥生土器/壺 頸~胴部片	残高 2.40	沈線2, ミガキ/押圧, ナデ	浅黄橙 10YR 8/3 # 8/4	長石, 石英, 角閃石 雲母	外傾	
Fig.51-638	IV層	弥生土器/壺 頸部片	残高 2.40	沈線2, ナデ/ナデ, ヘラナデ	にぶい橙 7.5YR 5/4 # #	長石, 石英	外傾	
Fig.51-639	IV層	弥生土器/壺? 頸部片?	残高 2.10	沈線2, ナデ/ナデ?	にぶい橙 7.5YR 6/3 黄灰 2.5Y 6/1	長石, 石英, 角閃石	外傾	
Fig.51-640	IV層	弥生土器/壺 頸部片	残高 1.70	沈線1+1, ナデ (丁寧) /ナデ	にぶい黄橙 10YR 7/3 にぶい橙 7.5YR 7/4	石英, チャート	外傾	
Fig.51-641	IV層	弥生土器/壺 頸部片	残高 4.90	沈線3, ミガキ/ナデ	暗灰 N 3/ / 灰黄褐 10YR 6/2	石英, チャート	外傾	

表21 1C区出土土器観察表16

挿図番号	層位	器種/器形 部位	法量 (cm)	文様・調整 外面/内面 その他の部位	色調 内面 外面	胎土	接合	備考
Fig.51-642	IV層	弥生土器/壺 頸部片	残高 3.50	沈線3, ミガキ/ミガキ, ナデ	にぶい黄橙 10YR 7/2 " " 7/3	長石, 石英, 雲母	外傾	
Fig.51-643	IV層	弥生土器/壺 頸部片	残高 1.90	沈線3, ナデ(丁寧)/ナデ	浅黄橙 10YR 8/3 " " "	赤色砂粒	?	
Fig.51-644	IV層	弥生土器/壺 頸部片	残高 2.30	沈線4, ミガキ~ナデ(丁寧)/ナデ	にぶい黄橙 10YR 7/2 " " 7/3	赤色砂粒, 石英 長石	外傾	
Fig.51-645	IV層	弥生土器/壺 頸部片	残高 2.80	沈線6, ミガキ, ハケ/押圧, ナデ	にぶい橙 7.5YR 7/4 灰白 10YR 8/2	赤色砂粒, 石英 長石	外傾	
Fig.52-646	IV層	弥生土器/壺 頸部片	残高 8.10	縦沈線4+4, ミガキ, ナデ /ミガキ, 押圧	にぶい黄褐 10YR 4/3 にぶい黄橙 " 6/3	石英, 長石, 雲母	外傾	外面: スス?
Fig.52-647	IV層	弥生土器/壺 頸~胴部片	残高 6.00	沈線5, 縦沈線4, 斜沈線1, ミガキ /ナデ	にぶい黄褐 10YR 5/3 灰黄褐 " 6/2	石英, 長石 角閃石?	外傾	外面: スス・タール 内面: 黒変
Fig.52-648	IV層	弥生土器/壺 頸部片	残高 3.70	斜~縦沈線1, ミガキ/ナデ, 押圧	灰黄 2.5Y 7/2 10YR 5/2	石英, 長石	外傾	
Fig.52-649	IV層	弥生土器/壺 頸部片	残高 5.20	沈線3, 沈線間: 刻目, 斜沈線3, ミガキ~ナ デ(丁寧)/ナデ	淡黄 2.5Y 8/3 にぶい黄橙 10YR 7/3	石英, 長石	外傾?	外面: スス・タール
Fig.52-650	IV層	弥生土器/壺 頸部片	残高 6.00	沈線5(複線山形文?), ミガキ /ナデ, ヘラナデ	灰黄 2.5Y 7/2 にぶい黄橙 10YR "	チャート, 石英	外傾	
Fig.52-651	IV層	弥生土器/壺 頸部片	残高 2.70	沈線2, 複線山形文? 6条, ミガキ? /不明	灰白 2.5Y 8/2 浅黄橙 7.5Y 8/4	石英, 赤色砂粒 長石	外傾	
Fig.52-652	IV層	弥生土器/壺 頸部片	残高 3.10	沈線1, 斜沈線1, ミガキ /ナデ, ヘラナデ?	灰黄 2.5Y 7/2 にぶい黄橙 10YR "	石英, 長石 チャート, 角閃石	外傾	
Fig.52-653	IV層	弥生土器/壺 頸部片	残高 3.90	沈線2, 縦沈線2, ナデ /ナデ, 板ナデ?(圧痕)	にぶい褐 7.5YR 5/3 " " "	長石, 石英	外傾	
Fig.52-654	IV層	弥生土器/壺 頸部片	残高 4.60	斜沈線3, ナデ/ナデ, 押圧	褐灰 7.5YR 4/1 黒褐 10YR 3/2	赤色砂粒, 長石 石英	外傾	内外面: スス・タール
Fig.52-655	IV層	弥生土器/壺 頸部片	残高 3.30	沈線2, 縦沈線3, ナデ/ナデ	にぶい赤褐 5YR 5/4 にぶい橙 7.5YR 7/4	長石, 石英 チャート	外傾?	
Fig.52-656	IV層	弥生土器/壺 頸部片	残高 3.40	沈線1, 斜沈線1, ミガキ /押圧, ナデ	灰黄 2.5Y 7/2 黒 N 2/0	石英, 長石, 角閃石	外傾	傾き不明
Fig.52-657	IV層	弥生土器/壺 頸部片	残高 2.80	沈線2, 山形文? 2条, ナデ/ナデ	にぶい褐 7.5YR 5/3 " " 6/3	長石, 石英	外傾?	
Fig.52-658	IV層	弥生土器/壺 頸部片	残高 4.30	縦沈線2, ミガキ/ナデ	灰黄 2.5Y 7/2 黒 N 2/0	石英, 長石, 角閃石	外傾	
Fig.52-659	IV層	弥生土器/壺 頸部片	残高 3.10	沈線1, 斜沈線2, ミガキ /ミガキ, 押圧	灰黄 2.5Y 7/2 黒 5Y 2/1	長石, 石英	?	傾き不明
Fig.52-660	IV層	弥生土器/壺 頸部片	残高 1.60	斜沈線4(山形文?), ミガキ/ナデ	灰黄褐 10YR 4/2 " " 5/2	長石, 石英, 雲母	外傾	外面: タール
Fig.52-661	IV層	弥生土器/壺 頸部片	残高 2.10	縦沈線3, 斜沈線7, ミガキ/ナデ?	にぶい黄橙 10YR 7/4 にぶい赤褐 5YR 5/3	赤色砂粒, 石英 長石	?	上下逆?
Fig.52-662	IV層	弥生土器/壺 頸部片	残高 1.70	沈線3, 斜沈線3, ミガキ/不明	灰黄 2.5Y 7/2 " " "	長石, 石英 チャート	外傾?	
Fig.52-663	IV層	弥生土器/壺 頸部片	残高 1.80	斜沈線2(弧沈線?), ミガキ/不明	にぶい橙 7.5YR 7/4 " " "	石英, 長石 赤色砂粒, 角閃石 雲母	外傾	
Fig.52-664	IV層	弥生土器/壺 頸部片	残高 5.90	沈線1, 重弧文5条, ナデ/押圧, ナデ	灰白 10YR 8/2 にぶい橙 7.5YR 7/4	赤色砂粒, 石英 長石, チャート 雲母	外傾	
Fig.52-665	IV層	弥生土器/壺 頸部片	残高 7.90	沈線2, 沈線間: 刻目, 木葉文, ミガキ /ナデ, 押圧	灰黄 2.5Y 7/2 明赤褐 5YR 5/6	石英, 長石 チャート, 雲母	外傾	木葉文: 有軸
Fig.52-666	IV層	弥生土器/壺 頸~胴部片	残高 4.50	刺突(短沈線?) 2段, ハケ, ナデ/ナデ	にぶい橙 7.5YR 7/3 " 5YR 7/4	赤色砂粒, チャート 長石	外傾	
Fig.52-667	IV層	弥生土器/壺 頸部片	残高 2.80	沈線3, 沈線間: 浅沈線3, ミガキ~ナデ(丁 寧)/ナデ	灰白 2.5Y 7/1 にぶい黄橙 10YR 7/2	石英, 長石 チャート	外傾	
Fig.52-668	IV層	弥生土器/壺 頸部片	残高 5.00	沈線2, 沈線間: 刻目, 弧沈線1, ミガキ /ナデ, 押圧	にぶい橙 7.5YR 7/4 " " 6/4	石英, 長石 チャート	外傾	
Fig.52-669	IV層	弥生土器/壺 頸部片	残高 3.90	刻目突帯貼付1, 沈線8, ミガキ/ナデ	灰黄 2.5Y 7/2 灰黄褐 10YR 5/2	石英, 長石 チャート	外傾	弥生化突帯文 外面: スス
Fig.52-670	IV層	弥生土器/壺 頸部片	残高 3.30	貼付突帯1, 沈線3, ミガキ/不明	灰白 10YR 8/2 にぶい橙 7.5YR 7/3	石英, 赤色砂粒 長石	外傾	
Fig.52-671	IV層	弥生土器/壺 頸部片	残高 2.40	貼付突帯1+上下沈線, 沈線2, ミガキ, ナデ (丁寧)/ナデ?	灰白 10YR 8/1 にぶい橙 7.5YR 7/4	赤色砂粒, 石英 長石, チャート	外傾	
Fig.52-672	IV層	弥生土器/壺 頸部片?	残高 3.40	貼付突帯1+沈線1+上下沈線, ミガキ /ミガキ, ナデ	にぶい黄橙 10YR 7/4 暗灰 N 3/0	石英, 長石, 雲母 赤色砂粒	外傾?	
Fig.52-673	IV層	弥生土器/壺 頸部片	残高 1.70	接合部: 段=沈線状+刻目突帯, 沈線3, ミガ キ~ナデ(丁寧)/ナデ?	灰白 2.5Y 8/2 " 10YR "	赤色砂粒, チャート	外傾	
Fig.52-674	IV層	弥生土器/壺 頸~胴部片	残高 2.00	接合部: 刻目突帯1, 沈線3+3, ミガキ /ナデ?	にぶい黄橙 10YR 7/2 灰黄褐 " 6/2	石英, チャート	外傾	削出し突帯? 弥生化突帯文
Fig.53-675	IV層	弥生土器/壺 頸部片	残高 8.60	接合部: 沈線3=突帯状?, ミガキ, ナデ /ナデ(丁寧)	にぶい黄橙 10YR 6/3 灰黄 2.5Y 7/2	チャート, 石英 長石, 赤色砂粒	外傾	削出し突帯?
Fig.53-676	IV層	弥生土器/壺 頸部片	残高 7.90	接合部: 沈線3=突帯状?, ミガキ, ナデ /ミガキ~ナデ(丁寧)	にぶい黄橙 10YR 7/3 " " "	赤色砂粒, 長石 石英, チャート	外傾	削出し突帯?
Fig.53-677	IV層	弥生土器/壺? 頸部片?	残高 1.40	接合部: 段=沈線状, ナデ? /ナデ(丁寧)	灰褐 7.5YR 6/2 にぶい黄橙 10YR 7/2	赤色砂粒, 石英 長石	外傾	
Fig.53-678	IV層	弥生土器/壺 頸部片	残高 4.20	接合部: 段=沈線状+刻目, ナデ/ナデ	にぶい黄橙 10YR 7/3 " " 7/2	石英, 長石	外傾	
Fig.53-679	IV層	弥生土器/壺 頸部片	残高 3.80	接合部: 段=沈線状+刻目, ナデ(丁寧) /ナデ, 押圧	浅黄 2.5Y 7/3 橙 7.5YR 6/6	石英, 長石, 雲母 赤色砂粒	外傾	
Fig.53-680	IV層	弥生土器/壺 頸部片	残高 3.60	接合部: 段+刻目, ミガキ, ナデ(丁寧) /ナデ(丁寧), ナデ	灰黄 2.5Y 7/2 " " "	長石, チャート 石英	外傾	
Fig.53-681	IV層	弥生土器/壺 頸部片	残高 2.50	接合部: 段+刻目, ミガキ~ナデ(丁寧) /ミガキ~ナデ(丁寧)	灰褐 7.5YR 4/2 にぶい橙 " 6/4	石英, 長石 赤色砂粒, 雲母	外傾	
Fig.53-682	IV層	弥生土器/壺 頸~胴部片	残高 7.10	段1: 沈線状, ミガキ/押圧, ナデ	灰白 2.5YR 8/1 " 10YR 7/1	石英, 長石	外傾	外面: スス・タール?
Fig.53-683	IV層	弥生土器/壺 頸~胴部片	残高 5.10	ミガキ/ハケ, ナデ	灰黄 2.5Y 7/2 にぶい橙 5YR 6/4	石英, 長石 赤色砂粒	内傾	外面: 赤彩
Fig.53-684	IV層	弥生土器/壺 頸~胴部片	残高 6.60	段: 沈線1, ハケ?, ミガキ/押圧	灰黄褐 10YR 4/2 明赤褐 2.5YR 5/6	石英, 長石 赤色砂粒	外傾	外面: 赤彩・黒変あり
Fig.53-685	IV層	弥生土器/壺 頸~胴部片	残高 15.50	ミガキ/ナデ, 押圧	灰白 10YR 8/2 にぶい橙 7.5YR 7/3	赤色砂粒, 石英 長石	外傾	大形品

表22 1C区出土土器観察表17

検出番号	層位	器種／器形 ／部位	法量 (cm)	文様・調整 外面／内面 その他の部位	色調 内面 外面	胎土	接合	備考
Fig.53-686	IV層	弥生土器／壺 頸～胴部片	残高 3.30	沈線2, 複線山形文3条, ミガキ／ナデ	にぶい黄橙 10YR 7/4 黒 2.5Y 2/1	長石, 石英, 雲母 角閃石	外傾	
Fig.53-687	IV層	弥生土器／壺 胴部片	残高 2.90	接合部: 段=凹線状, ミガキ／押圧	にぶい黄橙 10YR 7/2 灰黄褐 # 5/2	長石, 石英, 雲母	内傾	外面: スス?
Fig.53-688	IV層	弥生土器／壺 頸～胴部片	残高 4.60	沈線2, 複線山形文3条, ミガキ／ナデ	黒褐 10YR 2/2 にぶい黄橙 # 5/3	長石, 石英, 雲母?	外傾	
Fig.53-689	IV層	弥生土器／壺 頸～胴部片	残高 4.00	接合部: 段, 沈線4, ミガキ～ナデ (丁寧) ／ナデ	灰白 2.5Y 8/2 にぶい橙 7.5YR 6/3	赤色砂粒, 石英 チャート	外傾	
Fig.53-690	IV層	弥生土器／壺 頸～胴部片	残高 2.60	段: 沈線状, 沈線3, ミガキ～ナデ (丁寧) ／ハケ, ナデ	にぶい橙 7.5YR 7/4 橙 # 7/6	長石, 石英, 角閃石 雲母, 赤色砂粒	外傾	
Fig.53-691	IV層	弥生土器／壺 頸～胴部片	残高 3.40	接合部: 段, ミガキ／押圧	灰白 10YR 8/2 灰黄 2.5Y 7/2	長石, 石英	内傾	
Fig.53-692	IV層	弥生土器／壺 頸～胴部片	残高 2.60	接合部: 段, 沈線1, ミガキ?／ナデ	灰白 2.5Y 8/2 にぶい橙 7.5YR 7/4	赤色砂粒, 石英 長石	内傾	大形品?
Fig.53-693	IV層	弥生土器／壺 頸～胴部片	残高 2.40	沈線2, ミガキ／ミガキ～ヘラナデ	黒 2.5Y 2/1 灰黄褐 10YR 4/2	石英, チャート	外傾	
Fig.53-694	IV層	弥生土器／壺 頸～胴部片	残高 3.20	沈線4, ミガキ／ミガキ, ナデ	灰黄褐 10YR 4/2 黒 2.5Y 2/1	石英, 長石	外傾?	外面: スス・タール 小形品
Fig.53-695	IV層	弥生土器／壺 頸～胴部片	残高 2.40	段1, 複線山形文3条, ミガキ ／ハケ, ナデ, ミガキ?	黒褐 2.5Y 3/1 にぶい黄 # 6/3	石英, 長石, 雲母	外傾?	
Fig.53-696	IV層	弥生土器／壺 胴部片	残高 4.50	沈線3, ナデ／ナデ	浅黄褐 7.5YR 8/4 灰白 10YR 8/2	チャート, 石英 赤色砂粒	外傾	
Fig.54-697	IV層	弥生土器／壺 頸～胴部片	残高 4.30	段1, 重弧文3条, ミガキ／押圧	灰白 10YR 8/1 にぶい黄橙 # 7/2	石英, 長石 赤色砂粒	外傾	
Fig.54-698	IV層	弥生土器／壺 頸～胴部片	残高 4.40	沈線1, ミガキ／ナデ, 押圧	橙 # 5YR 6/6 # #	石英, 長石 チャート	外傾	
Fig.54-699	IV層	弥生土器／壺 頸～胴部片	残高 4.50	段: 沈線状, ミガキ／ナデ	灰白 10YR 8/2 浅黄 2.5Y 8/3	石英, 長石 赤色砂粒	外傾	外面: スス?
Fig.54-700	IV層	弥生土器／壺 頸～胴部片	残高 5.60	段1, 沈線2+1 (重弧文?), ミガキ ／ナデ, 押圧	褐灰 10YR 4/1 明黄橙 # 6/6	石英, 長石, 雲母	外傾	
Fig.54-701	IV層	弥生土器／壺 頸～胴部片	残高 4.60	沈線2, 複線山形文? 3条, ミガキ, ナデ ／ナデ	灰白 10YR 8/1 灰黄褐 # 5/2	石英, 長石	外傾	
Fig.54-702	IV層	弥生土器／壺 頸～胴部片	残高 3.20	沈線3, ナデ／ナデ	灰白 2.5Y 8/2 にぶい橙 7.5YR 6/3	石英, 赤色砂粒	外傾	
Fig.54-703	IV層	弥生土器／壺 頸～胴部片	残高 2.70	接合部: 沈線1, ミガキ／ナデ (粗い)	褐灰 10YR 4/1 # #	長石, 石英, 雲母	外傾	厚さ不明?
Fig.54-704	IV層	弥生土器／壺 頸～胴部片	残高 3.10	段+沈線 (1+1) + 爪形沈線文, ミガキ ／ナデ, 押圧	にぶい橙 5YR 7/4 # 7.5YR #	チャート, 石英 赤色砂粒	外傾	ムカデ状
Fig.54-705	IV層	弥生土器／壺 頸～胴部片	残高 2.80	段1, 沈線1, 複線山形文4条／不明	灰黄 2.5Y 6/2 # 7/2	赤色砂粒, 石英 長石	外傾	
Fig.54-706	IV層	弥生土器／壺 頸～胴部片	残高 3.60	段1: 凹線状, ハケ, ミガキ／ハケ, 押圧	黒褐 10YR 3/1 灰黄褐 # 4/2	石英, 長石, 雲母 赤色砂粒	内傾	外面: 赤彩・黒変? (タール?)
Fig.54-707	IV層	弥生土器／壺 頸～胴部片	残高 3.30	段1: 凹線状, ハケ?, ミガキ／押圧, ナデ	黒褐 10YR 3/2 にぶい赤褐 2.5YR 5/4	石英, 長石, 雲母 赤色砂粒	?	外面: 赤彩 内面: 黒変
Fig.54-708	IV層	弥生土器／壺 頸～胴部片	残高 2.30	沈線2, ミガキ～ナデ (丁寧) ／押圧, ナデ	灰褐 7.5YR 5/2 にぶい橙 # 5/3	石英, 長石, 雲母 角閃石	外傾	外面: 赤彩
Fig.54-709	IV層	弥生土器／壺 胴部片	残高 4.00	段1: 沈線状, ミガキ／押圧, ナデ	灰黄 2.5Y 7/2 # #	長石, 石英, 雲母	外傾	
Fig.54-710	IV層	弥生土器／壺 頸～胴部片	残高 3.50	接合部: 段=凹線状, ミガキ ／ハケ?, ナデ, ヘラナデ?	にぶい黄橙 10YR 7/2 灰黄褐 # 5/2	長石, 石英	内傾	
Fig.54-711	IV層	弥生土器／壺 頸～胴部片	残高 3.20	段: 沈線状, ミガキ／ナデ, 押圧	灰白 10YR 8/2 黒 2.5Y 2/1	石英, 長石 赤色砂粒, 雲母	外傾	
Fig.54-712	IV層	弥生土器／壺 頸～胴部片	残高 2.90	接合部: 段, ミガキ／ミガキ	黒 10YR 2/1 にぶい橙 7.5YR 6/3	長石, 石英	内傾	
Fig.54-713	IV層	弥生土器／壺 胴部片	残高 5.20	沈線1+2, ミガキ～ナデ (丁寧) ／ナデ	灰白 2.5Y 8/2 # 10YR #	赤色砂粒, 石英	外傾	
Fig.54-714	IV層	弥生土器／壺 胴部片	残高 3.80	段: 沈線状, ミガキ／不明	淡黄 2.5Y 8/3 灰白 # 8/2	石英, 長石	内傾	外面: 赤彩?
Fig.54-715	IV層	弥生土器／壺 頸～胴部片	残高 3.40	ミガキ／ナデ, 押圧	灰白 10YR 8/2 # 8/1	石英, 赤色砂粒 長石	内傾	
Fig.54-716	IV層	弥生土器／壺 胴部片	残高 3.50	段: 沈線1?, ミガキ／ナデ, 押圧	にぶい黄橙 10YR 7/3 にぶい橙 7.5YR 6/4	石英, 長石, 雲母 赤色砂粒	外傾	傾き? 外面: 赤彩
Fig.54-717	IV層	弥生土器／壺 頸～胴部片	残高 2.30	段: 沈線状, ミガキ／押圧	黒褐 10YR 3/2 橙 5YR 7/6	石英, 長石 赤色砂粒	内傾	外面: 赤彩・黒変あり
Fig.54-718	IV層	弥生土器／壺 胴部片	残高 5.00	沈線1, ミガキ～ナデ (丁寧)／ナデ	にぶい橙 7.5YR 7/4 # #	チャート, 石英 長石	外傾	外面: スス
Fig.54-719	IV層	弥生土器／壺 胴部片	残高 3.10	沈線1, ミガキ／押圧, ナデ	灰白 5Y 7/1 暗灰 N 3/	石英, 長石	外傾	
Fig.54-720	IV層	弥生土器／壺 胴部片	残高 3.30	沈線1, ミガキ／ナデ?	灰白 10YR 8/1 # 7/1	石英, 長石, 雲母 角閃石	外傾	
Fig.54-721	IV層	弥生土器／壺 胴部片	残高 6.40	沈線1 (段?), ミガキ ／押圧, ミガキ (ヘラナデ?)	灰黄 2.5Y 7/2 灰黄褐 10YR 6/2	石英, 長石 チャート	外傾	外面: スス・タール
Fig.54-722	IV層	弥生土器／壺 胴部片	残高 3.30	沈線2, ミガキ／ナデ	褐灰 10YR 4/1 にぶい黄橙 # 7/2	石英, 長石 チャート, 雲母	外傾	内面: タール
Fig.54-723	IV層	弥生土器／壺 胴部片	残高 3.30	沈線2, ミガキ／ナデ	暗灰黄 2.5Y 5/2 灰黄褐 10YR #	長石, 石英 チャート	外傾	
Fig.54-724	IV層	弥生土器／壺 胴部片	残高 3.80	沈線2, ミガキ／ナデ	灰黄 2.5Y 7/2 暗灰 N 3/	赤色砂粒, 石英 長石	外傾	外面: 赤彩?
Fig.54-725	IV層	弥生土器／壺 胴部片	残高 4.60	沈線2／ナデ?	橙 7.5YR 6/6 にぶい黄橙 10YR 6/3	長石, 石英, 雲母	内傾	
Fig.54-726	IV層	弥生土器／壺 胴部片	残高 3.50	沈線2, ミガキ／ナデ, ヘラナデ?	灰黄褐 10YR 6/2 # 5/2	石英, 長石 チャート	外傾	外面: スス
Fig.54-727	IV層	弥生土器／壺 頸～胴部片	残高 4.50	沈線2, ミガキ／ナデ	灰白 2.5Y 8/2 淡黄 # 8/3	赤色砂粒, 石英 長石, チャート	外傾	
Fig.55-728	IV層	弥生土器／壺 胴部片	残高 3.10	沈線2, ミガキ, ヘラナデ?／ナデ	灰黄 2.5Y 7/2 にぶい黄橙 10YR 7/3	チャート, 長石 石英	外傾	
Fig.55-729	IV層	弥生土器／壺 胴部片	残高 2.50	沈線2, ミガキ／ナデ	灰黄 2.5Y 7/2 # 6/2	石英, チャート 赤色砂粒	外傾?	
Fig.55-730	IV層	弥生土器／壺 胴部片	残高 2.50	沈線2, ミガキ／押圧, ナデ	灰黄 2.5Y 7/2 # #	石英, チャート 雲母	外傾	

表23 1C区出土土器観察表18

挿図番号	層位	器種/器形 部位	法量 (cm)	文様・調整 外面/内面 その他の部位	色調 内面 外面	胎土	接合	備考
Fig.55-731	IV層	弥生土器/壺 胴部片	残高 6.70	沈線3, ミガキ/ミガキ, ナデ	暗灰黄褐色 2.5Y 5/2 灰黄褐色 10YR "	チャート, 長石 石英	外傾	
Fig.55-732	IV層	弥生土器/壺 胴部片	残高 3.10	沈線3~4, 弧沈線1, ミガキ/押圧	灰黄 2.5Y 7/2 灰黄褐色 10YR 6/2	長石, 石英, 角閃石	外傾	
Fig.55-733	IV層	弥生土器/壺 胴部片	残高 2.90	沈線3, ミガキ/ナデ, 押圧	灰黄 2.5Y 7/2 浅黄 " 7/3	チャート, 石英	外傾	
Fig.55-734	IV層	弥生土器/壺 胴部片	残高 2.40	沈線3, ナデ (丁寧) /ナデ	灰白 10YR 8/1 にぶい黄橙 " 7/2	石英, 長石	内傾	
Fig.55-735	IV層	弥生土器/壺 胴部片	残高 2.10	沈線3, ミガキ/ナデ, 押圧	浅黄 2.5Y 7/3 にぶい黄橙 10YR 7/2	長石, 石英 チャート	外傾	
Fig.55-736	IV層	弥生土器/壺 胴部片	残高 1.90	沈線3, ミガキ/ミガキ~ナデ (丁寧)	にぶい黄橙 10YR 7/2 暗灰 N 3/	チャート, 長石 石英, 赤色砂粒	外傾	
Fig.55-737	IV層	弥生土器/壺 胴部片	残高 3.70	沈線5, ミガキ/押圧	にぶい黄橙 10YR 7/3 灰黄褐色 " 6/2	赤色砂粒, チャート 石英	外傾	
Fig.55-738	IV層	弥生土器/壺 胴部片	残高 2.50	沈線9, ミガキ/ナデ	にぶい黄橙 10YR 7/2 褐色 " 6/1	長石, 石英	外傾	
Fig.55-739	IV層	弥生土器/壺 胴部片	残高 9.10	段: 沈線状, 沈線1+1, 爪形沈線文, 複線山 形文2条, ミガキ/ナデ, 押圧	橙 " 5YR 7/6 " "	チャート, 石英 長石, 赤色砂粒	外傾	ムカデ状 外面: スス・タール
Fig.55-740	IV層	弥生土器/壺 頸~胴部片	残高 6.00	沈線3, 斜沈線5+9, ミガキ/ナデ	黒褐色 10YR 3/1 灰黄 2.5Y 6/2	石英, 長石, 雲母 角閃石	外傾	
Fig.55-741	IV層	弥生土器/壺 胴部片	残高 4.20	斜沈線3, ミガキ~ナデ (丁寧) /押圧	灰白 10YR 8/1 " " 8/2	石英, チャート 赤色砂粒	外傾	
Fig.55-742	IV層	弥生土器/壺 胴部片	残高 3.40	沈線3, 複線山形文4条, ミガキ /ミガキ, 押圧	黒 2.5Y 2/1 灰黄褐色 10YR 5/2	石英, 長石	外傾	
Fig.55-743	IV層	弥生土器/壺 胴部片	残高 4.90	沈線1, 複線山形文2条, ミガキ /ナデ, ヘラナデ	浅黄褐色 7.5YR 8/4 にぶい橙 " 7/4	長石, 赤色砂粒 チャート	外傾	外面: タール
Fig.55-744	IV層	弥生土器/壺 胴部片	残高 4.20	複線山形文? 3条, ミガキ~ナデ (丁寧) /押圧, ナデ	にぶい黄橙 10YR 6/3 浅黄褐色 7.5YR 8/6	赤色砂粒, 石英 チャート	外傾?	
Fig.55-745	IV層	弥生土器/壺 胴部片	残高 3.70	複線山形文6条, 沈線8+3, ミガキ? /ナデ, 押圧	灰白 10YR 8/2 にぶい黄橙 " 7/2	石英, 長石 赤色砂粒, 角閃石	外傾	
Fig.55-746	IV層	弥生土器/壺 胴部片	残高 4.20	斜沈線3, ミガキ~ナデ (丁寧) /ハケ, ナデ	褐色 10YR 6/1 灰白 " 8/2	石英, 長石, 角閃石	外傾	内面: タール
Fig.55-747	IV層	弥生土器/壺 胴部片	残高 3.60	斜沈線3, ミガキ/ナデ, 押圧	淡黄 2.5Y 8/3 浅黄 " 7/3	長石, チャート 石英, 赤色砂粒	外傾?	
Fig.55-748	IV層	弥生土器/壺 胴部片	残高 3.30	複線山形文4条, ミガキ/押圧, ナデ	にぶい黄橙 10YR 7/2 にぶい橙 7.5YR 7/4	石英, 長石 赤色砂粒	外傾	外面: スス・タール
Fig.55-749	IV層	弥生土器/壺 胴部片	残高 4.00	沈線1, 斜沈線3+1, ミガキ/ナデ	灰黄褐色 10YR 5/2 黄褐色 2.5Y 5/1	石英, 長石 チャート, 角閃石	外傾	外面: スス・タール
Fig.55-750	IV層	弥生土器/壺 胴部片	残高 3.70	沈線3, 複線山形文6条? /ナデ?	灰黄褐色 10YR 6/2 褐色 " 4/1	長石, 石英 チャート	外傾	外面: スス・タール
Fig.55-751	IV層	弥生土器/壺 胴部片	残高 4.50	斜沈線4, ミガキ/ナデ	灰白 10YR 7/1 にぶい黄橙 " 7/2	長石, 石英, 雲母	外傾	
Fig.55-752	IV層	弥生土器/壺 胴部片	残高 3.90	沈線1, 刻目1段, 斜沈線2+1, ハケ, ナデ /ナデ	にぶい橙 7.5YR 7/3 " " "	長石, チャート	外傾	
Fig.55-753	IV層	弥生土器/壺 胴部片	残高 3.90	斜沈線6+1, ミガキ/ナデ, 押圧	にぶい黄橙 10YR 7/3 " " "	チャート, 赤色砂粒 石英	外傾	
Fig.55-754	IV層	弥生土器/壺 胴部片	残高 2.80	沈線2+1, 複線山形文5条, ミガキ~ナデ (丁寧) /ナデ, 押圧	灰白 10YR 8/1 橙 2.5YR 7/6	赤色砂粒, チャート 石英, 長石	外傾	
Fig.55-755	IV層	弥生土器/壺 胴部片	残高 3.30	複線山形文3条, ナデ/ナデ, 押圧	にぶい褐色 7.5YR 6/3 にぶい橙 5YR 6/4	長石, チャート 赤色砂粒	外傾	
Fig.56-756	IV層	弥生土器/壺 胴部片	残高 2.60	沈線3, 斜沈線4, ミガキ, ナデ /ナデ, 押圧	にぶい黄橙 10YR 7/3 " " 6/3	チャート, 長石 赤色砂粒, 石英	外傾	
Fig.56-757	IV層	弥生土器/壺 頸~胴部片	残高 2.90	接合部: 沈線1, 沈線2, 斜沈線3+4, ミガ キ/ナデ?	灰白 2.5Y 8/1 にぶい黄橙 10YR 7/3	チャート, 赤色砂粒 石英	外傾	
Fig.56-758	IV層	弥生土器/壺 胴部片	残高 2.80	斜沈線4+3, ミガキ/ナデ	灰黄褐色 10YR 6/2 " " "	石英, 長石	外傾	
Fig.56-759	IV層	弥生土器/壺 胴部片	残高 1.60	沈線2, 斜沈線1, ミガキ/ナデ?	橙 7.5YR 6/6 にぶい橙 " 5/4	長石, 石英, 雲母	外傾?	
Fig.56-760	IV層	弥生土器/壺? 胴部片	残高 3.30	斜沈線4 (斜格子状), ミガキ /ミガキ, ナデ, 押圧	にぶい黄橙 10YR 7/2 " " 7/3	チャート, 長石 赤色砂粒	外傾	傾き不明
Fig.56-761	IV層	弥生土器/壺 胴部片	残高 2.00	斜沈線7+2 (複線山形文?), ミガキ /ナデ	灰白 10YR 8/2 灰 N 4/	赤色砂粒, 長石 石英	外傾?	
Fig.56-762	IV層	弥生土器/壺 胴部片	残高 1.70	沈線1, 斜沈線5, ミガキ~ナデ (丁寧) /ナデ, 押圧	灰白 2.5Y 8/2 橙 5YR 7/6	チャート, 赤色砂粒 角閃石, 石英	内傾?	外面: スス 葉?
Fig.56-763	IV層	弥生土器/壺 胴部片	残高 1.70	斜沈線3, 沈線1 (段?), ミガキ/ナデ	灰黄 2.5Y 6/2 " " "	石英, 長石 赤色砂粒	外傾	
Fig.56-764	IV層	弥生土器/壺 胴部片	残高 2.40	斜沈線3, ナデ? /ナデ	灰白 2.5Y 8/2 浅黄褐色 10YR 8/3	チャート, 赤色砂粒 長石	外傾	
Fig.56-765	IV層	弥生土器/壺 胴部片	残高 3.20	重弧文3+2条, ミガキ/ナデ, ヘラナデ?	にぶい橙 7.5YR 7/4 橙 " 7/6	石英, 長石, 雲母	外傾	
Fig.56-766	IV層	弥生土器/壺 胴部片	残高 3.30	沈線3 (+1?), 縦短沈線, 重弧文3条, ミガキ~ナデ (丁寧) /ナデ, 押圧	灰白 10YR 8/2 浅黄褐色 7.5YR 8/3	石英, チャート 赤色砂粒, 長石	外傾	
Fig.56-767	IV層	弥生土器/壺 胴部片	残高 2.10	沈線2+縦短沈線 (格子状), 木葉文/ナデ	灰白 10YR 8/2 浅黄褐色 7.5YR 8/3	チャート, 赤色砂粒 石英	外傾	
Fig.56-768	IV層	弥生土器/壺 胴部片	残高 3.40	重弧文5条, ミガキ/押圧	灰白 10YR 8/1 灰褐色 7.5YR 5/2	赤色砂粒, 石英 チャート, 長石	外傾	
Fig.56-769	IV層	弥生土器/壺 胴部片	残高 5.10	沈線3+縦短沈線3 (格子状), 重弧文1+ 4条, ミガキ/ナデ, 押圧	にぶい橙 7.5YR 7/4 " " 6/4	石英, 長石, 雲母	外傾	外面: スス・タール
Fig.56-770	IV層	弥生土器/壺 胴部片	残高 4.60	沈線2, 重弧文4~5条, ミガキ/ナデ	浅黄褐色 10YR 8/3 " " "	石英, 長石, 雲母 角閃石, 赤色砂粒 チャート	外傾	
Fig.56-771	IV層	弥生土器/壺 胴部片	残高 5.80	重弧文4条, ナデ? /ナデ, 押圧	灰黄褐色 10YR 4/2 浅黄褐色 " 8/3	赤色砂粒, チャート 長石	外傾	
Fig.56-772	IV層	弥生土器/壺 胴部片	残高 4.30	斜沈線1, 重弧文3条, ミガキ /ミガキ, ナデ, 押圧	灰黄 2.5Y 7/2 灰白 " 8/2	石英, 長石 チャート	外傾	
Fig.56-773	IV層	弥生土器/壺 胴部片	残高 3.20	弧沈線3 (+1? 重弧文?), ミガキ~ナデ (丁寧) /押圧	浅黄褐色 10YR 8/3 " " "	チャート, 赤色砂粒 長石	外傾	
Fig.56-774	IV層	弥生土器/壺 胴部片	残高 4.00	重弧文4+2条, 弧沈線2, ミガキ /押圧, ナデ	灰白 2.5Y 8/2 にぶい黄橙 10YR 7/3	石英, 赤色砂粒 チャート, 長石	外傾	



表24 1C区出土土器観察表19

棟号番号	層位	器種/器形 部位	法量 (cm)	文様・調整 外側/内面 その他の部位	色調 内面 外側	胎土	接合	備考
Fig.56-775	IV層	弥生土器/壺 胴部片	残高 2.20	弧沈線2, ナデ(丁寧)?/押圧	灰白 10YR 8/2 浅黄橙 7.5YR 8/4	チャート, 長石 赤色砂粒, 石英	外傾	
Fig.56-776	IV層	弥生土器/壺 胴部片	残高 4.20	沈線3, 重弧文3+3条, ミガキ/ナデ	灰白 10YR 8/2 にぶい黄橙 # 6/3	石英, 長石, 雲母 チャート	外傾	
Fig.56-777	IV層	弥生土器/壺 胴部片	残高 2.90	沈線3+2, 重弧文4+4条, ミガキ/ナデ	オリーブ黒 5Y 3/1 にぶい橙 7.5YR 6/3	石英, 長石, 角閃石	外傾	
Fig.56-778	IV層	弥生土器/壺 胴部片	残高 2.40	沈線2, 重弧文3条, ミガキ/押圧?	にぶい橙 7.5YR 7/4 # 6/4	チャート, 長石	外傾	
Fig.56-779	IV層	弥生土器/壺 胴部片	残高 2.50	沈線3, 重弧文4条?/ナデ, 押圧	オリーブ黒 5Y 3/1 にぶい橙 7.5YR 5/4	石英, 長石 赤色砂粒	外傾	
Fig.56-780	IV層	弥生土器/壺 胴部片	残高 2.40	沈線1, 弧沈線2, 斜沈線5, ミガキ/ナデ	にぶい黄橙 10YR 7/2 灰黄橙 # 6/2	赤色砂粒 チャート?	外傾	上端: 擬口縁露出
Fig.56-781	IV層	弥生土器/壺 胴部片	残高 1.60	沈線1, 重弧文?3条/ナデ	灰黄 2.5Y 7/2 にぶい黄橙 10YR 6/3	長石	?	
Fig.56-782	IV層	弥生土器/壺 胴部片	残高 3.10	重弧文3条, ミガキ/押圧	明赤橙 2.5YR 5/8 橙 5YR 7/6	長石, 石英	外傾	
Fig.56-783	IV層	弥生土器/壺 胴部片?	残高 1.00	重弧文5条, ミガキ/不明	灰黄 2.5Y 7/2 灰黄橙 10YR 5/2	長石, 石英 チャート	外傾?	
Fig.56-784	IV層	弥生土器/壺 胴部片	残高 3.70	木葉文, ミガキ~ナデ(丁寧)? /ナデ, 押圧	灰白 2.5Y 8/1 黄灰 # 5/1	赤色砂粒, 長石 石英, チャート	外傾	
Fig.56-785	IV層	弥生土器/壺 胴部片	残高 4.40	木葉文, ミガキ/ナデ	灰白 10YR 8/1 橙 5YR 7/6	石英, 長石	外傾	
Fig.56-786	IV層	弥生土器/壺 胴部片	残高 3.80	沈線1, 木葉文, ミガキ/ナデ	にぶい橙 7.5YR 6/4 にぶい橙 # 6/3	チャート, 赤色砂粒 長石, 石英, 雲母	外傾?	外面: スス
Fig.56-787	IV層	弥生土器/壺 胴部片	残高 5.20	貼付突帯2, 沈線2~3, 木葉文?, ミガキ, ナデ/ナデ?	橙 5YR 6/6 にぶい橙 7.5YR 5/4	石英, 長石, 角閃石 赤色砂粒	外傾	外面: タール
Fig.56-788	IV層	弥生土器/壺 胴部片	残高 5.40	接合部: 隆帯+斜格子沈線, 沈線2, 木葉文, ミガキ/ナデ?	黒 5Y 2/1 にぶい黄橙 10YR 6/3	長石, チャート 石英	?	上: 外傾接合 下: 内傾接合 外面: スス・タール
Fig.57-789	IV層	弥生土器/壺 胴部片	残高 2.60	木葉文, 縦沈線1, ミガキ/ナデ	にぶい橙 7.5YR 6/4 黒 10YR 2/1	長石, チャート 赤色砂粒, 石英	外傾?	外面: スス・タール
Fig.57-790	IV層	弥生土器/壺 胴部片	残高 4.50	木葉文2段(軸: 沈線3), ミガキ/ナデ	にぶい黄橙 10YR 7/2 黒 N 2/0	石英, 長石	外傾	有軸木葉文
Fig.57-791	IV層	弥生土器/壺 胴部片	残高 3.40	木葉文, ミガキ/ナデ	にぶい橙 7.5YR 7/4 # #	石英, 赤色砂粒 長石, 角閃石 チャート	外傾	
Fig.57-792	IV層	弥生土器/壺 胴部片	残高 3.70	木葉文(軸: 沈線1), 斜沈線2, ミガキ/ ナデ	灰黄 2.5Y 7/2 にぶい黄橙 10YR 7/3	石英, 赤色砂粒 チャート, 角閃石 長石	外傾	
Fig.57-793	IV層	弥生土器/壺 胴部片	残高 2.90	木葉文, 沈線2, 縦沈線?2, ナデ/ ハケ, ヘラナデ?	灰黄 2.5Y 7/2 灰橙 7.5Y 4/2	赤色砂粒, 石英 長石	外傾	
Fig.57-794	IV層	弥生土器/壺 胴部片	残高 2.30	沈線3, 木葉文, ミガキ~ナデ(丁寧) /ナデ	灰白 2.5Y 7/1 にぶい橙 7.5YR 7/3	長石, 赤色砂粒 石英	外傾	
Fig.57-795	IV層	弥生土器/壺 胴部片	残高 3.90	木葉文, 斜沈線3, ミガキ/ナデ	黄灰 2.5Y 5/1 暗灰黄 # 5/2	石英, チャート 赤色砂粒	外傾?	
Fig.57-796	IV層	弥生土器/壺 胴部片	残高 2.70	木葉文, ミガキ/押圧, ナデ	灰黄橙 10YR 6/2 # 4/2	長石, 石英 赤色砂粒	外傾	有軸木葉文: 軸線直交
Fig.57-797	IV層	弥生土器/壺 胴部片	残高 4.00	木葉文(軸: 沈線1?), ミガキ? /ナデ?, 押圧	にぶい黄橙 10YR 7/3 橙 2.5YR 6/6	石英, 長石 チャート	外傾	
Fig.57-798	IV層	弥生土器/壺 胴部片	残高 1.90	木葉文? (弧沈線8), ミガキ/ナデ	灰黄橙 10YR 5/2 にぶい黄橙 # 6/3	長石, 石英	外傾?	
Fig.57-799	IV層	弥生土器/壺 胴部片	残高 4.30	沈線1, 木葉文, ミガキ/ 押圧, ナデ?	灰黄橙 10YR 6/2 にぶい黄橙 # 7/3	赤色砂粒, 石英	外傾	
Fig.57-800	IV層	弥生土器/壺 胴部片	残高 2.60	沈線2, 斜沈線5(木葉文?), ミガキ/ ナデ	灰黄橙 10YR 5/2 にぶい黄橙 # 7/2	長石, 石英, 雲母	外傾	
Fig.57-801	IV層	弥生土器/壺 胴部片	残高 2.40	沈線1, 木葉文? (弧沈線5), ミガキ~ナデ (丁寧)/ナデ, 押圧	にぶい黄橙 10YR 7/2 # 7/3	長石, 石英 チャート	外傾	
Fig.57-802	IV層	弥生土器/壺 胴部片	残高 3.10	縦沈線1, ミガキ~ナデ(丁寧)/押圧	灰白 2.5Y 7/1 # 8/2	石英, 長石 角閃石	外傾	
Fig.57-803	IV層	弥生土器/壺 胴部片	残高 2.00	沈線1, 縦沈線10, ミガキ/ナデ	灰黄 2.5Y 7/2 暗灰 N 3/	長石, チャート 石英	外傾	
Fig.57-804	IV層	弥生土器/壺 胴部片	残高 3.50	沈線2, 縦沈線1段, ミガキ, ナデ/ ナデ, 押圧	灰黄橙 10YR 6/2 にぶい黄橙 # 7/2	チャート, 長石 石英, 角閃石	外傾	
Fig.57-805	IV層	弥生土器/壺? 胴部片	残高 2.50	沈線文(格子状), ミガキ/ミガキ, ナデ	にぶい黄橙 10YR 5/3 にぶい橙 7.5YR #	長石, チャート 石英	外傾	
Fig.57-806	IV層	弥生土器/壺? 胴部片	残高 3.00	沈線3+縦沈線4(格子状・刻目?) /不明	浅黄 2.5Y 7/3 灰黄 # 6/2	長石, 石英 赤色砂粒	外傾	覆?
Fig.57-807	IV層	弥生土器/壺 頸~胴部片	残高 3.30	沈線2, 竹管刺突, ミガキ, ナデ(丁寧) /ナデ	黄灰 2.5Y 6/1 淡黄 # 8/3	石英, 長石 チャート	外傾?	
Fig.57-808	IV層	弥生土器/壺 胴部片	残高 4.10	C字状貼付文, ミガキ/不明	灰白 2.5Y 8/2 灰黄 # 7/2	石英, 長石, 雲母	外傾	
Fig.57-809	IV層	弥生土器/壺 胴部片	残高 2.10	弧状(C字?) 貼付文, ミガキ/押圧, ナデ	灰黄 2.5Y 7/2 黄灰 # 5/1	石英, 長石, 雲母 角閃石	外傾?	貼付擬口縁露出
Fig.57-810	IV層	弥生土器/壺 胴部片	残高 6.60	C字状貼付文, ミガキ/ミガキ	にぶい橙 5YR 7/4 橙 # 6/6	長石, 石英 チャート, 赤色砂粒	外傾	傾き不明
Fig.57-811	IV層	弥生土器/壺? 胴部片	残高 6.30	貼付突帯1, 斜沈線2, ナデ/ナデ, 押圧	橙 5YR 6/6 にぶい橙 7.5YR 5/3	長石, チャート 赤色砂粒	内傾?	上下逆? 覆?
Fig.57-812	IV層	弥生土器/壺 胴部片	残高 5.60	貼付突帯2, /ナデ, 押圧	にぶい橙 5YR 6/4 橙 2.5YR 6/8	チャート, 赤色砂粒 長石	外傾	
Fig.57-813	IV層	弥生土器/壺 胴部片	残高 3.20	貼付突帯1, 斜沈線?1, ミガキ~ナデ(丁寧), 押圧/ハケ~条痕?, ケズリ, ナデ	暗灰黄 2.5Y 5/2 橙 2.5YR 6/8	石英, 長石, 雲母 角閃石	外傾	
Fig.57-814	IV層	弥生土器/壺 胴部片	残高 2.20	貼付突帯1, 沈線1, /ナデ	にぶい黄橙 10YR 7/3 にぶい橙 7.5YR #	石英, 長石 チャート, 雲母	外傾	
Fig.57-815	IV層	弥生土器/壺 胴部片	残高 4.20	貼付突帯1, 沈線2+4, ミガキ, ナデ /ナデ, 押圧	灰黄 2.5Y 7/2 にぶい橙 7.5YR 6/4	石英, 長石, 雲母	外傾	
Fig.57-816	IV層	弥生土器/壺 胴部片	残高 4.10	刻目突帯貼付1, 沈線3, ミガキ/ ミガキ, ナデ	にぶい黄橙 10YR 6/3 灰黄橙 # 5/2	石英, 長石 チャート	内傾	
Fig.57-817	IV層	弥生土器/壺 胴部片	残高 2.90	貼付突帯1, 沈線4, ミガキ/ナデ	にぶい黄橙 10YR 7/3 橙 7.5YR 7/6	長石, 石英 赤色砂粒, 角閃石	外傾	

表25 1C区出土土器観察表20

挿入番号	層位	器種/器形 部位	法量 (cm)	文様・調整 外面/内面 その他の部位	色調 内面 外面	胎土	接合	備考
Fig.57-818	IV層	弥生土器/壺 胴部片	残高 2.40	貼付突帯1, ミガキ/ミガキ	灰黄 # 2.5Y 7/2	長石, 石英 角閃石	外傾?	
Fig.57-819	IV層	弥生土器/壺 胴部片	残高 4.90	貼付隆帯1+縦沈線(刻目), ナデ /ナデ, 押圧	灰黄褐 # 10YR 6/2	チャート, 石英 赤色砂粒	内傾	外面: スス・タール
Fig.57-820	IV層	弥生土器/壺 胴部片	残高 3.60	接合部: 段=突帯状, ミガキ/押圧, ナデ	にぶい黄橙 # 10YR 7/2	チャート, 赤色砂粒 長石	内傾	削出し突帯? 上下逆?
Fig.57-821	IV層	弥生土器/壺 胴部片	残高 4.60	接合部: 突帯, ミガキ, ナデ/押圧, ナデ	橙 # 2.5YR 7/6	赤色砂粒, 石英	外傾	削出し突帯?
Fig.57-822	IV層	弥生土器/壺 胴部片	残高 2.40	接合部: 突帯, 沈線3, ミガキ/不明	灰 # N 6/4	赤色砂粒, 石英	外傾	
Fig.57-823	IV層	弥生土器/壺 胴部片	残高 2.20	沈線1, 刻目(短沈線)1段, ミガキ, ナデ /不明	にぶい黄橙 # 10YR 7/3	チャート, 長石 赤色砂粒, 石英	外傾?	
Fig.57-824	IV層	弥生土器/壺? 胴部片	残高 1.50	刻目, ナデ?/ナデ?	灰白 # 10YR 8/1	石英, 長石 赤色砂粒	外傾	
Fig.58-825	IV層	弥生土器/壺 胴部片	残高 3.80	ミガキ~ナデ(丁寧)/ナデ, 押圧	褐灰 # 10YR 6/1	赤色砂粒, 石英	外傾	外面: タール
Fig.58-826	IV層	弥生土器/壺 胴部片	残高 5.00	稜線1, ミガキ/押圧, ナデ	灰白 # 2.5Y 7/1	長石, 石英, 雲母	外傾	外面: 赤彩
Fig.58-827	IV層	弥生土器/壺 胴部片	残高 5.80	ミガキ/押圧?	橙 # 5Y 6/6	石英, 長石 赤色砂粒	?	
Fig.58-828	IV層	弥生土器/壺 底部片	残高 5.40 底径 15.60	押圧, ハケ, ナデ/押圧, ナデ 底面: ナデ, 粒状圧痕	灰白 # 10YR 8/2	長石, 石英, 雲母	?	外面: 赤彩・タール?
Fig.58-829	IV層	弥生土器/壺 底部片	残高 5.20 底径 14.70	押圧, ナデ, ミガキ/押圧 底面: 押圧, 粒状圧痕	灰黄褐 # 10YR 7/3	石英, 長石, 雲母 赤色砂粒	?	外面: 赤彩・スス
Fig.58-830	IV層	弥生土器/壺? 底部片	残高 4.60 底径 12.30	ナデ, ミガキ/ナデ 底面: ナデ, ミガキ	灰黄褐 # 10YR 4/2	長石, 石英, 雲母	?	鉢? 外面: スス 内面: 黒変あり
Fig.58-831	IV層	弥生土器/壺 底部片	残高 4.20 底径 13.20	ミガキ/ナデ 底面: ミガキ	灰褐 # 7.5YR 6/2	長石, 石英, 雲母	内傾?	外面: スス 鉢?
Fig.58-832	IV層	弥生土器/壺 底部片	残高 7.90 底径 11.50	ミガキ/ミガキ?, ナデ(丁寧)? 底面: ナデ	にぶい橙 # 7.5YR 6/4	長石, 石英 赤色砂粒	?	外面: タール? 内面: 黒変 裏?
Fig.58-833	IV層	弥生土器/壺 底部片	残高 5.70 底径 11.90	押圧, ミガキ/押圧, ナデ?	灰黄 # 2.5Y 7/2	石英, 長石, 雲母	外傾	接合複雑 外面: 赤彩・黒変あり
Fig.58-834	IV層	弥生土器/壺 底部片	残高 3.10 底径 10.90	ミガキ?, ナデ, 押圧/不明 底面: ナデ, 粒状圧痕(糊痕?)	にぶい黄褐 # 10YR 5/3	長石, 石英 赤色砂粒	?	外面: スス
Fig.58-835	IV層	弥生土器/壺 底部片	残高 2.80 底径 10.20	ミガキ/ナデ, ナデ(丁寧) 底面: ミガキ~ナデ(丁寧)	にぶい褐 # 7.5YR 6/3	石英, 長石 チャート, 赤色砂粒	?	内面: タール
Fig.58-836	IV層	弥生土器/壺 底部片	残高 2.20 底径 11.30	押圧, ナデ/ナデ 底面: ナデ(丁寧)	にぶい黄橙 # 10YR 7/2	石英, 長石 赤色砂粒, 角閃石?	?	
Fig.58-837	IV層	弥生土器/壺? 底部片	残高 1.50 底径 9.60	押圧, ナデ 底面: 不明	橙 # 2.5YR 7/8	長石, 石英 赤色砂粒, 角閃石	?	
Fig.58-838	IV層	弥生土器/壺 底部片	残高 7.60 底径 8.00	ミガキ, 板ナデ, 押圧 /ナデ(ケズリ状), ナデ, ヘラナデ 底面: ナデ, 押圧, 粒状圧痕	灰黄褐 # 10YR 6/2	長石, 石英 赤色砂粒, チャート 角閃石	?	
Fig.59-839	IV層	弥生土器/壺 底部片	残高 4.40 底径 8.00	ナデ/押圧, ナデ	灰白 # 2.5Y 8/2	赤色砂粒, 石英	?	
Fig.59-840	IV層	弥生土器/壺 底部片	残高 1.90 底径 8.00	ミガキ, 押圧/ミガキ 底面: ナデ, 圧痕?	にぶい橙 # 7.5YR 6/4	石英, 長石, 雲母 角閃石	?	
Fig.59-841	IV層	弥生土器/壺 底部片	残高 2.90 底径 7.30	ハケ, ナデ, ヘラナデ~ミガキ? /ナデ, 押圧? 底面: ナデ?	淡黄 # 2.5Y 8/3	赤色砂粒, 長石	?	底面: スス?
Fig.59-842	IV層	弥生土器/壺 底部片	残高 2.50 底径 7.60	ナデ, 押圧 底面: ナデ, 粒状圧痕2	黒褐 # 10YR 3/2	石英, 長石, 雲母	?	
Fig.59-843	IV層	弥生土器/壺 底部片	残高 2.40 底径 6.50	ミガキ, ナデ(丁寧)/ナデ, 押圧 底面: ナデ, 押圧	にぶい黄 # 2.5Y 6/3	石英, 長石, 雲母 角閃石, 赤色砂粒	外傾	
Fig.59-844	IV層	弥生土器/壺? 底部片	残高 3.40 底径 6.10	ミガキ/押圧, ナデ 底面: ミガキ, ナデ	にぶい黄橙 # 10YR 6/4	チャート, 石英 赤色砂粒	?	
Fig.59-845	IV層	弥生土器/壺 底部片	残高 2.60 底径 6.00	ミガキ 底面: ナデ	黒 # 2.5Y 2/1	長石, 石英, 雲母 角閃石	?	内外面: スス・タール 煮炊?
Fig.59-846	IV層	弥生土器/壺 胴部片	残高 1.30	突帯1+刺突1短沈線, 沈線2, ミガキ /ナデ	灰 # N 5/4	長石	?	上下逆? 847と同一個体?
Fig.59-847	IV層	弥生土器/壺 頸~胴部片	胴径 10.50 残高 5.40	沈線6+6~7, 隅丸方形沈線区画+木葉文, 区画結節部: 刺突・三叉状, ミガキ /押圧, ナデ(絞目状)	黄灰 # 2.5Y 5/1	石英, 長石 チャート	外傾	846と同一個体?
Fig.60-848	IV層	突帯文土器 口縁~胴部片	口径 37.10 胴径 35.50 残高 31.70	外端刻目, 刻目突帯貼付1, ナデ, 条痕 /ナデ	褐灰 # 10YR 6/1	石英, 長石 チャート	内傾	
Fig.60-849	IV層	突帯文土器 口縁~胴部片	口径 28.00 胴径 29.20 残高 11.20	外端刻目, 刻目突帯貼付1, 条痕, ナデ /条痕, ナデ, 押圧	黒褐 # 10YR 3/1	長石, 石英	内傾	
Fig.61-850	IV層	突帯文土器 口縁~胴部片	口径 23.30 胴径 23.30 残高 19.50	外端刻目, 刻目突帯貼付1, ナデ, 条痕, ナデ (ケズリ状) /ヘラナデ, ナデ	黒褐 # 10YR 3/2	石英, 長石	内傾	外面: スス・タール 内面: タール(おこげ)
Fig.61-851	IV層	突帯文土器 口縁~胴部片	残高 11.80	外端刻目, 刻目突帯貼付1, ナデ, 条痕 /ナデ	褐灰 # 10YR 5/1	長石, 石英 チャート	内傾	外面: タール
Fig.61-852	IV層	突帯文土器 口縁~胴部片	残高 7.80	外端刻目, 刻目突帯貼付1, ナデ, 押圧, 刻目 壓痕2/ナデ	黒 # 5Y 2/1	長石, 石英 チャート	内傾	外面: タール
Fig.61-853	IV層	突帯文土器 口縁~胴部片	残高 7.80	外端刻目, 刻目突帯貼付1, 条痕, ナデ /ナデ, 押圧	灰黄 # 2.5Y 5/1	チャート	内傾	
Fig.61-854	IV層	突帯文土器 口縁~胴部片	残高 7.70	外端刻目, 刻目突帯貼付1, ナデ, 押圧 /ナデ	にぶい黄橙 # 10YR 6/4	石英, 長石 チャート	内傾	
Fig.62-855	IV層	突帯文土器 口縁~胴部片	残高 7.50	刻目突帯貼付1, ナデ, 押圧/ナデ?, 押圧 /ナデ, 押圧	黄灰 # 2.5Y 4/1	長石, 石英 チャート	内傾	外面: タール
Fig.62-856	IV層	突帯文土器 口縁~胴部片	残高 6.50	外端刻目, 刻目突帯貼付1, 条痕, ナデ, 押圧 /ナデ, 押圧	暗灰黄 # 2.5Y 5/2	チャート, 長石 石英	内傾	
Fig.62-857	IV層	突帯文土器 口縁~胴部片	残高 6.00	外端刻目, 刻目突帯貼付1, ナデ /ナデ, 押圧	黒褐 # 10YR 3/1	石英, 長石 チャート	内傾	貼付口縁露出
Fig.62-858	IV層	突帯文土器 口縁部片	残高 5.60	外端刻目, 刻目突帯貼付1, ナデ /ナデ	灰 # 5Y 5/1	石英, 長石 チャート	内傾	円孔3

表26 1C区出土土器観察表21

挿入番号	層位	器種/器形 /部位	法量 (cm)	文様・調整 外側/内面 その他の部位	色調	内面 外面	胎土	接合	備考
Fig.62-859	IV層	突帯文土器 口縁~胴部片	残高 5.10	外端~端部外面: 刻目, 刻目突帯貼付1, ナデ /ナデ, 押圧	黒 灰黄	N 2/ 2.5Y 6/2	石英, 長石 チャート	内傾	外面: タール
Fig.62-860	IV層	突帯文土器 口縁部片	残高 4.60	外端刻目, 刻目突帯貼付1, 条痕, ナデ /ナデ, 押圧	灰黄褐 灰白	10YR 5/2 # 8/2	長石, 石英 チャート	内傾	
Fig.62-861	IV層	突帯文土器 口縁部片	残高 4.40	刻目突帯貼付1/ナデ 端部外面側: 刻目	灰 #	5Y 5/1 # 6/1	石英, 長石 チャート	内傾	
Fig.62-862	IV層	突帯文土器 口縁部片	残高 3.70	外端刻目, 刻目突帯貼付1, 内形刺突2, ナデ /ナデ, 押圧	暗灰 灰	N 3/0 5Y 6/1	長石, 石英 チャート	内傾	外面: タール 刺突1: 焼成後貫通
Fig.62-863	IV層	突帯文土器 口縁部片	残高 3.60	刻目突帯貼付1, ナデ /ナデ(ケズリ状), ナデ, 押圧 端部外面側: 刻目	灰黄 褐灰	2.5Y 6/2 10YR 5/1	長石, チャート 石英	内傾	外面: タール
Fig.62-864	IV層	突帯文土器 口縁部片	残高 3.50	外端刻目, 刻目突帯貼付1, ナデ /ナデ?	灰白 #	2.5Y 8/1 # 8/2	チャート, 石英 長石	内傾?	
Fig.62-865	IV層	突帯文土器 口縁部片	残高 3.00	刻目突帯貼付1, 条痕?, ナデ/ナデ 端部外面側: 刻目	灰 灰黄褐	5Y 4/1 10YR 6/2	長石, 石英 チャート	内傾	
Fig.62-866	IV層	突帯文土器 口縁部片	残高 3.00	刻目突帯貼付1, 条痕, ナデ/ナデ 端部: 刻目	灰黄褐 橙	10YR 6/2 7.5YR 6/6	チャート	内傾	外面: タール
Fig.62-867	IV層	突帯文土器 口縁部片	残高 2.30	刻目突帯貼付1, ナデ, 押圧/ナデ 端部: 刻目	灰黄 浅黄橙	2.5Y 6/2 10YR 8/3	石英, 長石 チャート	内傾?	外面: タール
Fig.62-868	IV層	突帯文土器 口縁部片	残高 4.60	刻目突帯貼付1, ナデ, 押圧 /内端刻目, ナデ	暗灰 にぶい黄橙	N 3/0 10YR 7/2	長石, チャート 石英	内傾	円孔3(外側穿孔) 原体2個分の大きさ
Fig.63-869	IV層	突帯文土器 口縁~胴部片	口径 30.50 残高 9.20	刻目突帯貼付1, ナデ, 押圧/ナデ	褐灰 黒	7.5YR 4/1 N 2/0	長石, 石英	内傾	外面: タール
Fig.63-870	IV層	突帯文土器 口縁~胴部片	口径 28.90 胴径 26.30 残高 14.30	刻目突帯貼付1, ナデ, 条痕/ナデ, 押圧	黒 灰黄褐	2.5Y 2/1 10YR 4/2	チャート, 長石 石英	内傾	外面: タール
Fig.63-871	IV層	突帯文土器 口縁~胴部片	口径 25.40 胴径 22.90 残高 22.10	刻目突帯貼付1, 沈線1, ナデ, ナデ(粗い) /ナデ(丁寧)	灰黄 黒褐	2.5Y 7/2 10YR 3/1	石英, 長石, 雲母	内傾	
Fig.64-872	IV層	突帯文土器 口縁~胴部片	口径 14.10 残高 8.40	刻目突帯貼付1, ナデ, 条痕/ナデ, 押圧	にぶい褐 黒褐	7.5YR 5/3 10YR 3/2	石英, チャート 長石	内傾	外面: タール
Fig.64-873	IV層	突帯文土器 口縁~胴部片	口径 17.20 胴径 17.00 残高 10.90	刻目突帯貼付1, 条痕, ナデ/ナデ	灰褐 にぶい褐	7.5YR 5/2 # 5/3	長石, 石英 チャート	内傾	内外面: スス・タール(おこげ)
Fig.64-874	IV層	突帯文土器 口縁~胴部片	残高 14.40	刻目突帯貼付1, ナデ, 押圧/ナデ, 押圧	黒 灰黄褐	10YR 2/1 # 6/2	長石, 石英 チャート	内傾	
Fig.64-875	IV層	突帯文土器 口縁~胴部片	残高 11.80	刻目突帯貼付1, ナデ, 条痕/ナデ, 押圧	黒 灰黄褐	2.5Y 2/1 10YR 4/2	石英, 長石 チャート	内傾	外面: タール(おこげ)
Fig.64-876	IV層	突帯文土器 口縁~胴部片	残高 9.00	刻目突帯貼付1, ナデ/ナデ, 押圧	にぶい橙 橙	7.5YR 7/4 # 7/6	長石, 石英 チャート	内傾	
Fig.64-877	IV層	突帯文土器 口縁~胴部片	残高 8.50	刻目突帯貼付1, ナデ, 押圧, ナデ(粗い) /ナデ, 押圧	黄灰 #	2.5Y 4/1 # #	長石, 石英 チャート	内傾	
Fig.65-878	IV層	突帯文土器 口縁~胴部片	残高 8.10	刻目突帯貼付1, ナデ, 押圧, 条痕 /ナデ(粗い), ナデ, 押圧	黒 黄灰	2.5Y 2/1 # 4/1	長石, 石英 チャート	内傾	
Fig.65-879	IV層	突帯文土器 口縁~胴部片	残高 6.80	刻目突帯貼付1, ナデ, 押圧/ナデ	黒 にぶい黄橙	2.5Y 2/1 10YR 7/3	長石, チャート 石英	内傾	外面: タール(おこげ)
Fig.65-880	IV層	突帯文土器 口縁~胴部片	残高 6.80	刻目突帯貼付1, 条痕/ナデ, 押圧	にぶい褐 橙	7.5YR 6/3 5YR 6/6	長石, 石英 赤色砂粒, チャート	内傾	外面: タール
Fig.65-881	IV層	突帯文土器 口縁~胴部片	残高 5.60	刻目突帯貼付1, ナデ, 押圧/ナデ	にぶい褐 灰白	7.5YR 6/3 2.5Y 8/2	石英, 長石 チャート	内傾	
Fig.65-882	IV層	突帯文土器 口縁部片	残高 5.60	刻目突帯貼付1, ナデ, 押圧/ナデ, 押圧	灰 灰黄	5Y 4/1 2.5Y 7/2	チャート, 長石 石英	内傾	
Fig.65-883	IV層	突帯文土器 口縁部片	残高 5.50	刻目突帯貼付1, 条痕, ナデ, 押圧 /ナデ, ナデ(丁寧)	黄灰 褐灰	2.5Y 5/1 10YR 4/1	長石, チャート	内傾	外面: タール
Fig.65-884	IV層	突帯文土器 口縁部片	残高 4.80	刻目突帯貼付1, ナデ, 押圧/ナデ, 押圧	褐灰 灰黄褐	10YR 4/1 # 6/2	長石, チャート 石英	内傾	
Fig.65-885	IV層	突帯文土器 口縁部片	残高 4.00	刻目突帯貼付1, ナデ, 押圧/ナデ, 押圧	にぶい褐 灰黄褐	7.5YR 5/3 10YR 6/2	石英, チャート 長石	内傾	
Fig.65-886	IV層	突帯文土器 口縁部片	残高 4.00	刻目突帯貼付1, ナデ/ナデ	灰黄褐 #	10YR 5/2 # 6/2	石英, 長石 チャート	内傾	
Fig.65-887	IV層	突帯文土器 口縁部片	残高 3.70	刻目突帯貼付1, ナデ, 押圧/ナデ, 押圧	灰 灰白	5Y 4/1 2.5Y 8/1	長石, チャート 石英	内傾	
Fig.65-888	IV層	突帯文土器 口縁部片	残高 3.50	刻目突帯貼付1, ナデ, 押圧/ナデ, 押圧	黒褐 にぶい橙	10YR 3/1 7.5YR 6/4	長石, 石英 チャート	内傾	
Fig.66-889	IV層	突帯文土器 口縁部片	残高 3.10	刻目突帯貼付1, ナデ, 押圧/ナデ	灰 灰白	N 4/0 5Y 8/1	石英, 長石 チャート	内傾	外面: タール
Fig.66-890	IV層	突帯文土器 口縁部片	残高 3.10	刻目突帯貼付1, ナデ, 押圧/ナデ, 押圧	灰黄褐 #	10YR 5/2 # 6/2	長石, 石英 チャート	内傾	
Fig.66-891	IV層	突帯文土器 口縁部片	残高 3.10	刻目突帯貼付1, ナデ/ナデ	暗灰黄 橙	2.5Y 5/2 7.5YR 6/6	チャート, 長石 石英	内傾	円孔1(外側穿孔)
Fig.66-892	IV層	突帯文土器 口縁部片	残高 2.80	刻目突帯貼付1, ナデ/ナデ, 押圧	暗灰黄 灰黄	2.5Y 5/2 # 6/2	長石, チャート	内傾	
Fig.66-893	IV層	突帯文土器 口縁部片	残高 1.80	貼付突帯1+刺突, ナデ/ナデ	黒 黄灰	5Y 2/1 2.5Y 5/1	長石, 石英	内傾	
Fig.66-894	IV層	突帯文土器 口縁部片	口径 35.20 残高 6.70	刻目突帯貼付1, ナデ, 条痕/ナデ	にぶい褐 にぶい橙	7.5YR 6/3 # 6/4	石英, 長石 チャート	内傾	外面: スス・タール
Fig.66-895	IV層	突帯文土器 口縁~胴部片	残高 10.50	外端刻目, 刻目突帯貼付1, ナデ /ナデ, ナデ(丁寧), 刺突	暗灰黄 にぶい橙	2.5Y 5/2 7.5YR 6/4	長石, 石英 チャート, 角四石	内傾	
Fig.66-896	IV層	突帯文土器 口縁~胴部片	残高 6.30	刻目突帯貼付1, 条痕, ナデ/ナデ, 押圧	オリブ黒 暗灰	5Y 3/1 N 3/0	長石, チャート 石英	内傾	外面: タール(おこげ)
Fig.66-897	IV層	突帯文土器 口縁~胴部片	残高 5.20	刻目突帯貼付1, ナデ, 押圧/ナデ	灰黄褐 #	10YR 5/2 # 6/2	チャート, 長石 石英, 赤色砂粒	内傾	
Fig.66-898	IV層	突帯文土器 口縁~胴部片	残高 4.20	刻目突帯貼付1, ナデ/ナデ?	にぶい黄橙 灰白	10YR 7/2 2.5Y 7/1	長石, チャート 石英	内傾	
Fig.66-899	IV層	突帯文土器 口縁部片	残高 3.40	刻目突帯貼付1, ナデ, 押圧/ナデ, 押圧	褐灰 灰黄褐	7.5YR 4/1 10YR 6/2	長石, 石英 チャート	内傾	外面: タール 補修孔1(主に外側穿孔)
Fig.66-900	IV層	突帯文土器 口縁部片	残高 2.90	貼付突帯1, ナデ, 押圧/ナデ	にぶい黄橙 #	10YR 7/3 # #	長石, 石英 チャート	内傾	
Fig.66-901	IV層	突帯文土器 口縁部片	残高 1.90	外端刻目: 貼付突帯状, 条痕, ナデ/ナデ	褐灰 #	10YR 4/1 # #	長石, 石英 チャート	内傾?	外面: タール

表27 1C区出土土器観察表22

押図番号	層位	器種/器形 部位	法量 (cm)	文様・調整 外面/内面 その他の部位	色調 内面 外面	胎土	接合	備考
Fig.66-902	IV層	突帯文土器 口縁~胴部片	残高 5.80	刻目突帯貼付1, ナデ, 押圧/ナデ, 押圧	褐灰 10YR 4/1 にぶい橙 7.5YR 7/4	チャート, 長石 石英	内傾	外面: タール
Fig.66-903	IV層	突帯文土器 口縁部片	残高 3.90	外端刻目, 刻目突帯貼付1, 条痕, ナデ /ナデ	黒 5Y 2/1 暗灰黄 2.5Y 5/2	長石, 石英 チャート	内傾	外面: タール
Fig.66-904	IV層	突帯文土器 口縁~胴部片	残高 6.20	外端刻目, 刻目突帯貼付1, 条痕/ナデ	褐灰 10YR 4/1 " 5/1	長石, チャート 石英	内傾	外面: タール
Fig.67-905	IV層	突帯文土器 口縁部片	口径 29.00 残高 6.50	刻目突帯貼付1, ナデ/ナデ	灰黄褐 10YR 4/2 黒褐 " 3/2	石英, 長石, 雲母	内傾	外面: タール 弥生化突帯文?
Fig.67-906	IV層	突帯文土器 口縁部片	残高 3.60	刻目突帯貼付1, ナデ/ナデ	黒褐 10YR 3/1 " "	石英, 長石	内傾	外面: タール 弥生化突帯文?
Fig.67-907	IV層	突帯文土器 口縁部片	残高 4.00	刻目突帯貼付1, 縦線文, ナデ, 押圧 /ナデ, 押圧	にぶい橙 7.5YR 6/4 " "	長石, チャート 石英	内傾	外面: タール 弥生化突帯文? 908,909と同一個体?
Fig.67-908	IV層	突帯文土器 口縁部片	残高 3.10	刻目突帯貼付1, 縦線文2, ナデ, 押圧 /ナデ	にぶい褐 7.5YR 5/3 黒褐 10YR 3/2	石英, チャート 長石	内傾	外面: タール 弥生化突帯文? 907,909と同一個体?
Fig.67-909	IV層	突帯文土器 胴部片	残高 6.30	沈線1, 縦線文2, ナデ, 条痕? /ナデ, ヘラナデ, 押圧	にぶい褐 7.5YR 5/3 黒褐 " 3/1	長石, チャート 石英	内傾	外面: タール 907,908と同一個体?
Fig.67-910	IV層	突帯文土器 口縁部片	残高 7.60	刻目突帯貼付1, ナデ, 押圧/ナデ, 板ナデ?	にぶい褐 7.5YR 6/3 " 5/3	石英, 長石 チャート	内傾?	外面: タール 弥生化突帯文?
Fig.67-911	IV層	突帯文土器 口縁部片	残高 3.10	刻目突帯貼付1, ナデ/ナデ	灰黄褐 10YR 5/2 褐灰 " 4/1	石英, 長石 チャート, 角閃石	内傾	外面: タール 弥生化突帯文?
Fig.67-912	IV層	突帯文土器 口縁~胴部片	残高 8.20	刻目突帯貼付1, ナデ, 押圧/ナデ	橙 7.5YR 7/6 " 6/6	チャート, 石英 長石	内傾	外面: タール 弥生化突帯文?
Fig.67-913	IV層	突帯文土器 口縁部片	残高 3.20	外端刻目: 突帯状, 刻目突帯貼付1, ナデ /ナデ	褐灰 5YR 5/1 にぶい橙 " 6/4	石英, 長石 チャート	内傾	弥生化突帯文?
Fig.67-914	IV層	突帯文土器 口縁部片	残高 3.40	刻目突帯貼付2, ナデ?, 押圧 /押圧, ナデ?	オリブ黒 5Y 3/1 " "	長石?	内傾	弥生化突帯文?
Fig.67-915	IV層	突帯文土器 口縁部片	残高 3.80	刻目突帯貼付3, ナデ, 押圧/ナデ	褐灰 10YR 4/1 " "	長石, 石英 チャート	内傾	弥生化突帯文?
Fig.67-916	IV層	突帯文土器 口縁部片	残高 4.60	刻目突帯貼付1, ナデ, 押圧/ナデ, 押圧 端面: 刻目	にぶい黄橙 10YR 7/2 黒褐 " 3/1	長石, 石英 チャート	内傾	外面: ス・タール 弥生化突帯文?
Fig.67-917	IV層	突帯文土器 口縁部片	残高 2.80	外端刻目, 刻目突帯貼付1, ナデ /ナデ, 押圧	灰白 10YR 8/1 にぶい黄橙 " 7/2	粗砂粒, 長石	内傾?	外面: タール 特殊胎土的? 弥生化突帯文?
Fig.67-918	IV層	突帯文土器 口縁部片	残高 4.30	外端刻目?, 刻目突帯貼付1, ナデ /ナデ, 押圧	灰黄 2.5Y 6/2 暗灰黄 " 5/2	長石, 石英 チャート	内傾	弥生化突帯文?
Fig.67-919	IV層	突帯文土器 口縁部片	残高 3.00	外端刻目, 刻目突帯貼付1, ナデ/ナデ	灰 5Y 4/1 灰白 2.5Y 8/2	長石, 石英	内傾?	弥生化突帯文?
Fig.67-920	IV層	突帯文土器 口縁部片	残高 2.90	刻目突帯貼付1, ナデ/ナデ, 押圧 端面: 刻目	浅黄橙 10YR 8/3 " 8/4	チャート, 赤色砂粒 長石, 石英	内傾	弥生化突帯文?
Fig.68-921	IV層	突帯文土器 口縁~胴部片	残高 2.80	刻目突帯貼付1, ナデ/ナデ, 押圧	灰黄褐 10YR 5/2 褐灰 " 4/1	石英, 長石, 雲母 チャート	内傾	弥生化突帯文?
Fig.68-922	IV層	突帯文土器 口縁部片	残高 1.40	刻目突帯貼付1, ナデ/不明	灰黄褐 10YR 6/2 にぶい黄橙 " 7/3	雲母, 石英, 長石 角閃石	内傾	弥生化突帯文?
Fig.68-923	IV層	突帯文土器 口縁部片	残高 3.10	刻目突帯貼付1, 円形刺突2, ナデ, 押圧 /不明	黄灰 2.5Y 5/1 にぶい褐 7.5YR 6/3	チャート, 長石 石英	内傾	弥生化突帯文?
Fig.68-924	IV層	突帯文土器 口縁部片	残高 2.00	貼付突帯1+刺突, ナデ/ナデ	灰黄褐 10YR 6/2 " "	石英, チャート 長石	内傾?	弥生化突帯文?
Fig.68-925	IV層	突帯文土器 口縁部片	残高 2.60	刻目突帯貼付1, ナデ/ナデ	にぶい黄 2.5Y 6/3 にぶい黄橙 10YR 7/3	長石, 石英, 雲母	内傾?	弥生化突帯文?
Fig.68-926	IV層	突帯文土器 口縁部片	残高 3.20	刻目突帯貼付1, ナデ/ナデ, 押圧	黒褐 2.5Y 3/1 暗灰 N 3/0	長石, 石英	内傾?	弥生化突帯文?
Fig.68-927	IV層	突帯文土器 口縁部片	残高 2.70	刻目突帯貼付1, ナデ/ナデ, 押圧	にぶい黄橙 10YR 7/2 灰白 2.5Y 8/2	石英, チャート 長石	内傾?	弥生化突帯文?
Fig.68-928	IV層	突帯文土器 口縁部片	残高 2.90	刻目突帯貼付1, ナデ, 押圧/ナデ	にぶい黄褐 10YR 5/4 にぶい黄橙 " 6/3	チャート, 長石	内傾?	弥生化突帯文?
Fig.68-929	IV層	突帯文土器 口縁部片	残高 2.00	貼付突帯1, ナデ/ナデ?	にぶい黄橙 10YR 7/3 " 6/3	粗砂粒, 長石	内傾?	特殊胎土系?
Fig.68-930	IV層	突帯文土器 口縁部片	残高 3.20	貼付突帯1, ナデ/ナデ, 押圧	にぶい褐 7.5YR 6/3 にぶい黄橙 10YR 7/3	チャート, 石英 長石	内傾	弥生化突帯文?
Fig.68-931	IV層	突帯文土器 口縁~胴部片	口径 19.80 胴径 18.50 残高 7.70	外端刻目, 貼付突帯1+刺突, ナデ, 板ナデ? /ナデ, 押圧	灰黄 2.5Y 7/2 橙 2.5YR 6/6	チャート, 長石	外傾	内外面: ス・タール 弥生化突帯文?
Fig.68-932	IV層	突帯文土器 口縁部片	残高 3.70	外端刻目, 貼付突帯1, ナデ, ヘラナデ? /ナデ, 押圧	褐灰 5YR 5/1 灰褐 " 5/2	長石, 赤色砂粒 石英, チャート	外傾	
Fig.68-933	IV層	突帯文土器 口縁部片	残高 3.70	外端刻目, 刻目突帯貼付1, ナデ, 押圧 /ハケ?, ナデ, 押圧	浅黄橙 10YR 8/3 にぶい黄褐 " 5/3	チャート, 赤色砂粒 石英, 長石	外傾	外面: ス・タール
Fig.68-934	IV層	突帯文土器 口縁部片	残高 4.90	接合部: 刻目突帯1, ナデ /ミガキ~ナデ (丁摩) 端面: 刻目	橙 5YR 6/6 にぶい赤褐 " 5/3	長石, チャート 赤色砂粒	外傾	削出し突帯?
Fig.68-935	IV層	突帯文土器 口縁部片	残高 4.00	刻目突帯貼付1, ナデ/ナデ	褐灰 7.5YR 4/1 にぶい黄橙 10YR 6/3	石英, 赤色砂粒 長石, チャート	外傾	弥生化突帯文?
Fig.68-936	IV層	突帯文土器 口縁部片	残高 3.90	刻目突帯貼付1, ナデ, 条痕/ナデ 端面外端刻目	暗灰 N 3/1 にぶい黄橙 10YR 7/2	長石, チャート 石英	外傾	
Fig.69-937	IV層	突帯文土器	口径 16.40 器高 21.20 胴径 16.70 底径 9.20	外端刻目, 刻目突帯貼付2+2, 貼付突帯3, 乳状突起貼付4×4×2段, ナデ, 押圧 /ナデ, 押圧	灰褐 5YR 6/2 " "	粗砂粒, 赤色砂粒	外傾	特殊胎土
Fig.69-938	IV層	突帯文土器 口縁~胴部片	口径 16.60 残高 18.90 胴径 16.70	外端刻目, 刻目突帯貼付2+3+3, 山形貼付 刻目突帯2段, ヒレ状突起貼付2×8×2段, ナデ /押圧, ナデ	褐灰 7.5YR 6/1 灰褐 " 6/2	粗砂粒	内傾	外面: タール 特殊胎土
Fig.70-939	IV層	深鉢~甕 口縁~胴部片	残高 4.20	縦~斜沈線文, ナデ/ナデ, 押圧	灰黄褐 10YR 5/2 褐灰 " 6/1	粗砂粒, 長石, 石英	内傾	波状口縁 外面: タール 特殊胎土
Fig.70-940	IV層	突帯文土器 口縁部片	残高 2.80	外端刻目, 刻目突帯貼付1, 乳状突起貼付1, ナデ/ナデ	黄灰 2.5Y 5/1 " 4/1	粗砂粒, 石英	外傾?	波状口縁 特殊胎土系?
Fig.70-941	IV層	突帯文土器 口縁部片	残高 2.20	貼付突帯2, ナデ/ナデ	浅黄橙 10YR 8/3 にぶい橙 5YR 7/4	長石, 石英 赤色砂粒	外傾	波状口縁 特殊胎土

表28 1C区出土土器観察表23

挿入番号	層位	器種・器形 /部位	法量 (cm)	文様・調整 外面/内面 その他の部位	色調 内面 外面	胎土	接合	備考
Fig.70-942	IV層	突帯文土器 口縁部片	残高 2.80	刻目突帯貼付2, ナデ, 押圧/ナデ, 押圧	灰 5Y 4/1	粗砂粒, 長石	内傾	特殊胎土
Fig.70-943	IV層	突帯文土器 口縁~胴部片	残高 7.00	外端刻目?, 刻目突帯貼付1, 条痕, ナデ /押圧	明褐灰 7.5YR 7/2 灰黄褐 10YR 6/2	粗砂粒, 長石	内傾	特殊胎土
Fig.70-944	IV層	突帯文土器 口縁部片	残高 2.40	外端刻目, 刻目突帯貼付1, 条痕, ナデ /不明	灰白 5YR 8/2 明褐灰 " 7/2	粗砂粒, 長石	内傾	特殊胎土
Fig.70-945	IV層	突帯文土器 口縁~胴部片	残高 11.60	刻目突帯貼付1, ナデ/ナデ	にぶい黄橙 10YR 7/3 " " "	粗砂粒, 石英, 長石	外傾	外面: スス・タール 特殊胎土
Fig.70-946	IV層	突帯文土器 口縁部片	残高 1.70	貼付突帯1+刻目, ナデ/ナデ	灰黄褐 10YR 6/2 にぶい黄橙 " 7/2	粗砂粒, 長石	内傾	特殊胎土
Fig.70-947	IV層	突帯文土器 口縁部片	残高 2.50	刻目突帯貼付1, ナデ/ナデ	にぶい橙 7.5YR 6/4 橙 5YR 6/6	粗砂粒, 長石	内傾	特殊胎土
Fig.70-948	IV層	深鉢~裏 口縁部片	残高 6.90	木葉文, ナデ, 押圧/ナデ, 押圧 断面: 刻目	にぶい黄橙 10YR 7/4 灰黄褐 " 6/2	粗砂粒, 長石, 石英	内傾	特殊胎土
Fig.70-949	IV層	深鉢~裏 口縁部片	残高 3.60	ナデ/ナデ, 押圧	灰黄褐 10YR 5/2 明褐灰 7.5YR 7/2	粗砂粒, 長石, 石英	内傾?	特殊胎土
Fig.70-950	IV層	深鉢~裏 口縁部片	残高 3.20	ナデ/ナデ, 押圧	灰白 2.5Y 8/2 " 10YR "	粗砂粒, 石英, 長石	?	波状口縁? 特殊胎土
Fig.70-951	IV層	深鉢~裏 口縁部片	残高 3.20	ナデ/ナデ, 押圧	灰黄褐 10YR 6/2 " " "	粗砂粒, 長石, 石英	?	内外面: タール 特殊胎土系 鉢~高杯・胴部?
Fig.70-952	IV層	深鉢~裏 口縁~胴部片	残高 3.40	条痕, ナデ, 押圧/ナデ, 押圧	にぶい黄橙 10YR 7/3 " " "	粗砂粒, 長石, 石英	内傾	特殊胎土
Fig.70-953	IV層	深鉢~裏 口縁部片	残高 2.70	竹管状圧痕1?, ナデ/ナデ, 押圧	褐灰 7.5YR 4/1 灰褐 " 5/2	粗砂粒, 長石	?	特殊胎土 鉢?
Fig.70-954	IV層	深鉢~裏 口縁部片	残高 3.50	ナデ	黒褐 10YR 3/1 " " "	粗砂粒, 長石	外傾	波状口縁? 外面: タール 特殊胎土 鉢?
Fig.69-955	IV層	突帯文土器 胴部片	残高 16.10	刻目突帯貼付2+2, 貼付突帯1, 山形貼付 刻目突帯1段, ヒレ状突起貼付2, 縦列点5, 刺突1, 竹管刺突1, ナデ, 押圧 /ナデ, 押圧	褐灰 10YR 6/1 灰黄褐 " 6/2	粗砂粒	内傾	特殊胎土
Fig.70-956	IV層	突帯文土器 胴部片	残高 3.00	刻目突帯貼付1, 乳状突起貼付1, ハケ?, 押 圧/押圧, ナデ	灰 " 5Y 5/1 " " "	粗砂粒, 長石	内傾	特殊胎土
Fig.70-957	IV層	突帯文土器 胴部片	残高 1.60	刻目突帯貼付2, ナデ/不明	にぶい黄橙 10YR 7/3 にぶい橙 7.5YR 6/4	粗砂粒, 長石	外傾?	上下逆? 外面: タール 特殊胎土系
Fig.71-958	IV層	突帯文土器 胴部片	残高 22.00 胴径 29.50	刻目突帯貼付1, ナデ, ナデ(粗い), 押圧 /ナデ	黒灰 10YR 3/2 褐灰 " 4/1	粗砂粒	内傾	内外面: スス・タール 特殊胎土
Fig.71-959	IV層	突帯文土器 胴部片	残高 7.00	刻目突帯貼付2, ナデ, 押圧/ナデ, 押圧	灰白 10YR 8/2 灰 N 6/	粗砂粒	内傾?	特殊胎土
Fig.71-960	IV層	突帯文土器 胴部片	残高 8.20	刻目突帯貼付1, ナデ, 押圧/不明	灰白 10YR 8/2 灰黄褐 " 4/2	粗砂粒, 長石	内傾?	外面: タール 特殊胎土
Fig.71-961	IV層	突帯文土器 胴部片	残高 3.80	刻目突帯貼付1, ナデ/ナデ, 押圧	にぶい黄橙 10YR 7/2 褐灰 " 4/1	粗砂粒	?	特殊胎土
Fig.71-962	IV層	突帯文土器 胴部片	残高 3.90	刻目突帯貼付1, ナデ/ナデ	明褐灰 5YR 7/2 にぶい橙 " 7/3	粗砂粒, 長石, 石英	内傾	特殊胎土
Fig.71-963	IV層	突帯文土器 胴部片	残高 3.20	刻目突帯貼付1, 木葉文, ナデ/ナデ?	にぶい橙 7.5YR 7/4 にぶい褐 " 6/3	粗砂粒, 長石	内傾	特殊胎土
Fig.71-964	IV層	深鉢~裏 底部片	残高 5.70 底径 10.70	押圧, ナデ 底面: ナデ?	黄灰 2.5Y 6/1 " " "	粗砂粒, 長石	?	特殊胎土
Fig.71-965	IV層	深鉢~裏 底部片	残高 6.00 底径 9.60	ナデ, 押圧 底面: ナデ	褐灰 10YR 5/1 灰黄褐 " 5/2	粗砂粒	?	特殊胎土
Fig.71-966	IV層	深鉢~裏 底部片	残高 4.50 底径 8.80	ナデ, 押圧 底面: ナデ	褐灰 10YR 5/1 にぶい橙 7.5YR 7/3	粗砂粒, 石英, 長石	?	特殊胎土
Fig.71-967	IV層	深鉢~裏 底部片	残高 3.60 底径 8.50	押圧, ナデ 底面: ナデ	灰白 2.5Y 7/1 にぶい黄橙 10YR 7/2	粗砂粒, 長石	?	特殊胎土
Fig.72-968	IV層	突帯文土器 口縁~胴部片	口径 13.00 残高 7.10 胴径 13.90	刻目突帯貼付1+上下沈線状, ハケ?, ナデ, ヘラナデ/端部内方折返し, ナデ, 押圧 波頂部端面: 刻目1	にぶい橙 7.5YR 7/3 明褐灰 " 7/2	石英, 長石 チャート, 赤色砂粒	内傾	波状口縁: 波頂部10個 外面: タール 大洞模倣土器
Fig.72-969	IV層	突帯文土器 口縁~胴部片	残高 7.20	刻目突帯貼付1+上下沈線状, ナデ, 押圧 /端部内方折返し, 波頂部刻目1, ナデ, 押圧 波頂部端面: 刻目1	にぶい黄橙 7.5YR 7/4 にぶい橙 10YR 6/3	石英, 長石 赤色砂粒, チャート	内傾	波状口縁 大洞模倣土器
Fig.72-970	IV層	深鉢~裏 口縁~胴部片	残高 3.60	ナデ/押圧, ナデ	にぶい黄橙 10YR 5/3 " " "	長石, 石英 チャート	内傾	波状口縁 大洞模倣土器
Fig.72-971	IV層	深鉢~裏 口縁~胴部片	残高 5.30	沈線1, ナデ, 押圧/沈線2, 押圧, ナデ 波頂部端面: 沈線1 波頂部端面: 刺突1	にぶい黄橙 10YR 7/3 にぶい褐 7.5YR 6/3	長石, 赤色砂粒 チャート, 石英	外傾	波状口縁 大洞模倣土器
Fig.72-972	IV層	深鉢~裏 口縁部片	残高 3.20	ナデ/ナデ, 押圧 波頂部端面: 刻目1	褐灰 10YR 6/1 にぶい橙 7.5YR 6/4	石英, 長石	?	波状口縁 大洞模倣土器?
Fig.72-973	IV層	深鉢~裏 口縁部片	残高 2.40	ナデ/ナデ, 押圧 波頂部端面: 刻目1	灰黄褐 10YR 4/2 " " 5/2	長石, チャート	?	波状口縁 大洞模倣土器?
Fig.72-974	IV層	突帯文土器 口縁~胴部片	残高 13.10 胴径 15.20	外端刻目, 刻目突帯貼付1+3, 縦刻目突帯貼 付1×4?, 環状貼付1×4?, ナデ, 条痕 /ナデ, 押圧	にぶい黄橙 10YR 7/2 灰黄褐 " 6/2	チャート, 長石 石英, 赤色砂粒	内傾	波状口縁 刻目: 板目痕
Fig.72-975	IV層	突帯文土器 口縁部片	残高 2.90	外端刻目(貼付?), 刻目突帯貼付1, 縦刻目 突帯貼付1, ナデ/ナデ, 押圧	にぶい褐 7.5YR 5/3 " " "	長石, チャート 石英	内傾?	波状口縁? 外面: タール
Fig.72-976	IV層	突帯文土器 口縁部片	残高 3.30	外端刻目, 刻目突帯貼付2, 沈線2+1, 斜沈 線2, ナデ/沈線4	にぶい黄橙 10YR 7/2 灰黄褐 " 6/2	石英, チャート 長石	内傾	波状口縁 外面: スス・タール
Fig.72-977	IV層	突帯文土器 口縁部片	残高 3.40	外端刻目, 刻目突帯貼付2, 斜沈線1, ナデ /沈線3, ミガキ~ナデ(丁寧), ナデ	浅黄 2.5Y 7/3 灰黄褐 10YR 6/2	チャート, 石英 長石	内傾	波状口縁
Fig.72-978	IV層	突帯文土器 口縁部片	残高 2.70	外端刻目, 刻目突帯貼付2, ナデ /波頂部内端刻目1, 沈線3+2, ミガキ?, ナデ	にぶい黄橙 10YR 7/2 " " 6/3	チャート, 長石 石英	内傾?	波状口縁 外面: タール
Fig.72-979	IV層	突帯文土器 口縁部片	残高 2.00	貼付突帯2, ナデ/ナデ 断面: 刻目	にぶい橙 7.5YR 7/3 " 5YR 7/4	石英, 長石 チャート	内傾?	波状口縁
Fig.72-980	IV層	深鉢~裏 口縁部片	残高 2.20	沈線1, ハケ原体圧痕?1, ナデ /波頂部: 縦沈線2, ナデ 断面: 刻目	にぶい黄橙 10YR 7/3 " " "	長石, 石英 チャート	外傾?	波状口縁

表29 1C区出土土器観察表24

挿入番号	層位	器種・器形 部位	法量 (cm)	文様・調整 外面/内面 その他の部位	色調 内面 外面	胎土	接合	備考
Fig.72-981	IV層	深鉢～甕 口縁～胴部片	残高 5.80	沈線 3、短沈線文 (2本単位) /ナデ、ヘラナデ	にぶい褐 7.5YR 5/3 灰褐 # 4/2	長石、チャート 石英、赤色砂粒	内傾?	外面: タール
Fig.72-982	IV層	深鉢～甕 口縁部片	残高 4.00	短沈線文 (2本単位)、ナデ?/ナデ?	橙 5YR 6/6 にぶい赤褐 # 5/4	長石、赤色砂粒 チャート	外傾	波状口縁 外面: タール
Fig.72-983	IV層	深鉢～甕 胴部片	残高 2.90	沈線 2?、短沈線文 (2本単位)、ナデ /ナデ、押圧	にぶい褐 7.5YR 6/3 にぶい赤褐 5YR 5/3	長石、チャート 石英、赤色砂粒	内傾?	
Fig.72-984	IV層	突帯文土器 口縁部片	残高 3.40	外端刻目、刻目突帯貼付 1、ナデ /ナデ、押圧	灰褐 7.5YR 4/2 褐灰 # 4/1	長石、石英 チャート	内傾	波状口縁 外面: タール(おこげ)
Fig.72-985	IV層	深鉢～甕 口縁～胴部片	残高 5.30	ナデ?/押圧、ナデ	灰褐 7.5YR 4/2 褐灰 # 4/1	チャート、赤色砂粒 石英、長石	外傾?	波状口縁(擬口縁?) 外面: タール
Fig.72-986	IV層	深鉢～甕 口縁部片	残高 3.60	ナデ、押圧	黄灰 2.5Y 5/1 にぶい橙 7.5YR 6/3	石英、長石 チャート、赤色砂粒	内傾	波状口縁
Fig.73-987	IV層	深鉢～甕 口縁～胴部片	口径 27.40 残高 22.60 胴径 25.60	外端刻目、ナデ、条痕/ナデ	にぶい橙 7.5YR 7/4 にぶい赤褐 5YR 4/4	石英、長石 チャート	内傾	
Fig.73-988	IV層	深鉢～甕 口縁部片	残高 3.00	外端刻目、刺突、ナデ、条痕? /ナデ、押圧	黒褐 10YR 3/1 黄灰 2.5Y 4/1	長石、石英 チャート	内傾	外面: タール
Fig.73-989	IV層	深鉢～甕 口縁部片	残高 3.40	外端刻目、竹筥刺突文 1段、ナデ、押圧 /ナデ、押圧	黄灰 2.5Y 4/1 黒褐 # 3/1	長石、石英 チャート	内傾	
Fig.73-990	IV層	深鉢～甕 口縁部片	残高 2.50	外端刻目、条痕、ナデ/ナデ、押圧	灰 N 4/4 灰黄 2.5Y 7/2	長石、チャート 石英	内傾	外面: タール
Fig.73-991	IV層	深鉢～甕 口縁部片	残高 2.70	外端刺突(刻目)、ナデ/ナデ	にぶい黄橙 10YR 6/4 灰黄褐 # 5/2	長石、石英 チャート	?	
Fig.73-992	IV層	深鉢～甕 口縁部片	残高 3.10	ナデ、押圧	褐灰 10YR 4/1 暗灰 N 3/3	石英、長石 チャート	内傾	
Fig.73-993	IV層	深鉢～甕 口縁～胴部片	残高 10.00	外端刻目、ナデ /内端刻目、ナデ、ヘラナデ、押圧	黄灰 2.5Y 4/1 にぶい橙 7.5YR 6/4	石英、長石 チャート	内傾	外面: タール
Fig.73-994	IV層	深鉢～甕 口縁～胴部片	残高 10.70	外端刻目、ナデ/内端刻目、ナデ	黄灰 2.5Y 4/1 黒褐 # 3/1	石英、長石 チャート	内傾	補修孔 1 外面: タール(おこげ)
Fig.73-995	IV層	深鉢～甕 口縁～胴部片	残高 3.70	条痕、押圧、ナデ?/沈線 1、ナデ、押圧 断面: 刻目	灰黄褐 10YR 4/2 にぶい黄橙 # 5/3	長石、石英 チャート	内傾	
Fig.73-996	IV層	深鉢～甕 口縁～胴部片	残高 5.60	条痕(ハケ状?)、ナデ/ナデ 断面: 刻目	黒褐 10YR 3/1 褐灰 # 4/1	長石、石英 チャート	内傾	内外面: タール
Fig.73-997	IV層	深鉢～甕 口縁～胴部片	残高 4.10	条痕、ナデ、押圧 /内端刻目、沈線 1、ナデ、押圧	灰黄褐 10YR 6/2 # 5/2	長石、チャート 石英	内傾	
Fig.73-998	IV層	深鉢～甕 口縁部片	残高 4.20	条痕、ナデ、押圧/ナデ、押圧	暗灰 N 3/3 黒褐 2.5Y 3/1	石英、長石 チャート	内傾	外面: タール
Fig.73-999	IV層	深鉢～甕 口縁～胴部片	残高 5.20	ナデ、条痕?/ナデ、押圧、条痕?	暗灰 N 3/3 橙 7.5YR 6/6	石英、長石 チャート	内傾	
Fig.74-1000	IV層	深鉢～甕 口縁部片	残高 3.60	ナデ、条痕?/ナデ、押圧	褐 7.5YR 4/3 灰黄褐 10YR 4/2	石英、長石 チャート	内傾	外面: タール
Fig.74-1001	IV層	深鉢～甕 口縁部片	残高 2.40	条痕/ナデ、押圧	褐灰 10YR 4/1 黒褐 # 3/1	石英、長石 チャート	内傾	外面: タール
Fig.74-1002	IV層	深鉢～甕 口縁部片	残高 3.60	条痕、ナデ、押圧/ナデ、押圧	灰黄褐 10YR 5/2 褐灰 # 4/1	石英、チャート 長石	内傾	
Fig.74-1003	IV層	深鉢～甕 口縁～胴部片	残高 8.60	条痕、ナデ/ナデ、押圧	黒褐 10YR 3/1 # #	長石、石英 チャート	内傾	外面: タール(おこげ)
Fig.74-1004	IV層	深鉢～甕 口縁～胴部片	残高 5.40	条痕/ナデ、押圧	にぶい橙 5YR 6/4 黒褐 10YR 3/2	石英、長石 チャート	内傾	外面: タール
Fig.74-1005	IV層	深鉢～甕 口縁～胴部片	残高 4.30	ナデ、押圧	灰黄褐 10YR 6/2 # 5/2	長石、石英 チャート	内傾	外面: タール
Fig.74-1006	IV層	深鉢～甕 口縁部片	残高 2.20	ナデ、押圧/ナデ	黄灰 2.5Y 5/1 灰黄褐 10YR 4/2	長石、石英 チャート	内傾	
Fig.74-1007	IV層	深鉢～甕 口縁～胴部片	残高 2.60	ナデ	灰 # 5Y 6/1 # 5/1	長石、石英 チャート	内傾	
Fig.74-1008	IV層	深鉢～甕 口縁～胴部片	残高 5.20	ナデ/ナデ、押圧	褐灰 10YR 4/1 # 6/1	石英、長石	内傾	
Fig.74-1009	IV層	深鉢～甕? 口縁～胴部片	残高 7.30	ナデ/ナデ、押圧	褐灰 10YR 4/1 # #	長石	内傾?	鉢?
Fig.74-1010	IV層	深鉢～甕 口縁～胴部片	残高 6.10	外端刻目、沈線文、ナデ、押圧 /ナデ、押圧	黒 2.5Y 2/1 黒褐 # 3/1	石英、長石 チャート	内傾	外面: タール 1011と同一個体
Fig.74-1011	IV層	深鉢～甕 胴部片	残高 9.60	短沈線文、ナデ、押圧/ナデ、押圧	黒 # 2.5Y 2/1 # #	石英、長石 チャート	内傾	外面: タール(おこげ) 1010と同一個体
Fig.74-1012	IV層	深鉢～甕 口縁部片	残高 1.50	沈線 1、刺突 1段、ナデ/ナデ	褐灰 10YR 4/1 # #	長石、チャート 石英	内傾	
Fig.74-1013	IV層	深鉢～甕 口縁～胴部片	残高 14.60	ナデ、ナデ(粗い)、条痕?	黄灰 2.5Y 6/1 褐灰 10YR 4/1	長石、石英 チャート	内傾	外面: タール(おこげ) 胎土: 弥生化?
Fig.75-1014	IV層	深鉢～甕 口縁部片	残高 3.50	条痕、ナデ/ナデ	黒褐 10YR 3/1 褐灰 # 4/1	チャート、長石	内傾?	外面: タール
Fig.75-1015	IV層	深鉢～甕 口縁部片	残高 2.90	凹線状 1、ヘラナデ、ナデ、押圧 /ナデ、押圧	褐灰 10YR 4/1 灰黄褐 # 5/2	長石、石英 チャート	内傾	外面: タール 胎土: 弥生化?
Fig.75-1016	IV層	深鉢～甕 口縁部片	残高 5.00	ナデ/ナデ、押圧	にぶい黄橙 10YR 7/2 浅黄橙 # 8/3	石英、チャート 長石	内傾?	外面: タール(おこげ) 内面: タール
Fig.75-1017	IV層	深鉢～甕 口縁部片	残高 3.40	ハケ、ナデ/ ミガキ～ナデ(丁寧)、ナデ、沈線?	にぶい褐 7.5YR 5/3 # 6/3	石英、長石 チャート	?	内外面: スス・タール
Fig.75-1018	IV層	深鉢～甕 口縁部片	残高 3.80	ナデ、押圧	灰黄褐 10YR 6/2 # #	石英、長石 赤色砂粒、チャート	外傾	
Fig.75-1019	IV層	深鉢～甕 口縁～胴部片	残高 5.80	ミガキ/ミガキ、ナデ	オリーブ黒 5Y 3/1 にぶい橙 7.5Y 7/4	長石、石英 赤色砂粒、チャート	外傾	内面: タール
Fig.75-1020	IV層	深鉢～甕 口縁～胴部片	残高 5.40	ナデ(粗い)、押圧/ナデ、押圧	にぶい黄橙 10YR 7/3 黒褐 # 3/1	石英、赤色砂粒 長石、チャート	外傾	
Fig.75-1021	IV層	深鉢～甕 口縁～胴部片	残高 6.50	ナデ、押圧	灰黄褐 10YR 4/2 黒 5Y 2/1	長石、石英 チャート	内傾	外面: タール
Fig.75-1022	IV層	深鉢～甕 口縁～胴部片	残高 4.80	条痕、ナデ/ナデ、押圧 断面: 刻目	灰黄褐 10YR 6/2 にぶい黄橙 # 3/6	石英、長石 チャート	内傾	
Fig.75-1023	IV層	深鉢～甕 口縁部片	残高 3.40	ナデ、押圧/ナデ(ハケ状)、押圧	暗灰 N 3/3 灰黄褐 10YR 4/2	長石、石英 チャート	内傾	
Fig.75-1024	IV層	深鉢～甕 口縁部片	残高 1.90	ナデ?/ナデ	灰黄 2.5Y 6/2 にぶい黄橙 10YR 6/3	長石、チャート 石英	内傾	円孔 1

表30 1C区出土土器観察表25

挿入番号	層位	器種・器形 部位	法量 (cm)	文様・調整 外側・内面 その他の部位	色調 内面 外面	胎土	接合	備考
Fig.75-1025	IV層	深鉢～甕 口縁～胴部片	残高 7.80	ナデ, 押圧	橙 5YR 6/6 にぶい橙 7.5YR 6/4	チャート, 長石 石英, 赤色砂粒	内傾	胎土: 弥生化?
Fig.75-1026	IV層	深鉢～甕 口縁部片	残高 3.30	ナデ/ナデ, 押圧	灰白 10YR 8/2 にぶい黄橙 # 7/2	長石, 赤色砂粒 石英, チャート	内傾	
Fig.75-1027	IV層	深鉢～甕? 口縁部片	残高 2.00	ナデ/ナデ, 押圧	灰黄褐 10YR 6/2 にぶい橙 5YR 6/4	石英, 長石 チャート	外傾?	弥生土器・甕?
Fig.75-1028	IV層	深鉢～甕 口縁部片	残高 2.30	縦沈線 (刻目?), ナデ/ハケ, ナデ	灰黄 2.5Y 7/2 灰黄褐 10YR 6/2	チャート, 赤色砂粒 長石, 石英	外傾	弥生土器・甕
Fig.75-1029	IV層	深鉢～甕 口縁部片	残高 2.70	斜沈線 4 + 2 / 斜沈線 3 端面: 刻目 波頂部断面: 凹面・内外方拡張	にぶい黄褐 10YR 5/3 にぶい黄橙 # 7/3	チャート, 長石 石英	内傾?	波状口縁
Fig.75-1030	IV層	深鉢～甕 口縁～胴部片	残高 3.50	刻目, 沈線 2, 刺突 1 段 (短沈線状) / 穿孔? 1, ナデ, 押圧	にぶい黄橙 10YR 6/3 灰黄褐 # 6/2	長石, チャート 石英	内傾	外面: タール 特殊胎土系?
Fig.75-1031	IV層	深鉢～甕 口縁部片	残高 2.40	外端肥厚+刻目 (突帯状), ヘラナデ, ナデ / ナデ, 押圧	にぶい橙 7.5YR 7/4 にぶい黄橙 10YR 7/3	チャート, 赤色砂粒 石英, 長石	外傾	弥生土器・甕
Fig.75-1032	IV層	深鉢～甕 口縁～胴部片	残高 3.50	外端肥厚+刻目 (突帯的?), ナデ, 押圧 / ナデ	灰黄 2.5Y 7/2 にぶい黄橙 10YR #	チャート, 角閃石 石英, 赤色砂粒 長石	外傾	弥生土器・甕
Fig.75-1033	IV層	深鉢～甕 口縁部片	残高 1.70	外端肥厚+刻目 (突帯的?), ナデ/ナデ	にぶい橙 7.5YR 5/3 灰黄褐 10YR 4/2	長石, 石英 赤色砂粒	外傾?	弥生土器・甕?
Fig.75-1034	IV層	深鉢～甕 口縁部片	残高 1.70	外端肥厚+刻目 (突帯的?), ナデ/ナデ	灰白 2.5Y 8/2 # 10YR #	赤色砂粒, チャート 石英, 長石	外傾	弥生土器・甕
Fig.75-1035	IV層	深鉢～甕 口縁部片	残高 1.50	外端肥厚+刻目 (突帯的?), ナデ/ナデ	にぶい橙 5YR 7/4 # 6/4	長石, チャート 石英, 赤色砂粒	?	
Fig.75-1036	IV層	深鉢～甕 口縁部片	残高 1.80	外端刻目, ハケ, ナデ/ハケ, ナデ	灰黄 2.5Y 7/2 にぶい黄橙 10YR 6/3	長石, チャート 石英	外傾	弥生土器・甕 外面: スス・タール
Fig.75-1037	IV層	深鉢～甕 口縁部片	残高 1.90	外端刻目, ナデ, ナデ (丁寧) / ナデ	にぶい黄橙 10YR 5/3 灰黄褐 # 4/2	長石, 石英 チャート	外傾	弥生土器・甕 突帯的?
Fig.75-1038	IV層	深鉢～甕 口縁部片	残高 1.60	外端刻目, 沈線 1, ハケ, ナデ / ハケ?, ナデ	にぶい橙 5YR 7/3 # 6/3	長石, 石英	外傾?	弥生土器・甕? 外面: タール 突帯的?
Fig.75-1039	IV層	深鉢～甕 口縁部片	残高 1.50	沈線 1 + 外端刻目 (突帯的?), ナデ / ナデ	にぶい黄橙 10YR 7/2 灰黄褐 # 6/2	赤色砂粒, 長石 チャート, 石英	外傾	弥生土器・甕 外面: スス・タール
Fig.76-1040	IV層	深鉢～甕 口縁～胴部片	口径 16.40 残高 12.50 胴径 15.30	外端刻目, ナデ/ナデ, 押圧	にぶい黄橙 10YR 6/3 黒褐 # 3/2	長石, チャート 石英, 赤色砂粒	外傾	弥生土器・甕 外面: 黒変
Fig.76-1041	IV層	深鉢～甕 口縁～胴部片	口径 16.70 残高 11.80 胴径 17.20	外端刻目, ナデ, 押圧 / ナデ, ヘラナデ, 押圧	にぶい赤褐 5YR 5/4 黒褐 7.5YR 3/1	石英, 長石 チャート	外傾	弥生土器・甕 外面: スス・タール
Fig.76-1042	IV層	深鉢～甕 口縁～胴部片	口径 22.70 残高 10.10 胴径 21.80	外端刻目, ナデ, 押圧 / ナデ, 押圧, 板ナデ (原体圧痕)	にぶい橙 5YR 6/4 にぶい赤褐 # 5/3	チャート, 長石 石英	外傾	弥生土器・甕 外面: タール
Fig.76-1043	IV層	深鉢～甕 口縁～胴部片	口径 23.60 残高 10.00 胴径 23.30	外端刻目, ナデ/ナデ, 押圧, 板ナデ	にぶい橙 7.5YR 7/3 灰褐 # 4/2	チャート, 長石 石英, 赤色砂粒	外傾	弥生土器・甕 内外面: スス・タール
Fig.76-1044	IV層	深鉢～甕 口縁～胴部片	口径 26.80 残高 12.40 胴径 24.80	外端刻目, ハケ, ナデ, 押圧 / ハケ, ナデ, 押圧	黒褐 10YR 3/1 灰黄褐 # 6/2	チャート, 石英 長石, 赤色砂粒	外傾	弥生土器・甕 内外面: スス・タール
Fig.77-1045	IV層	深鉢～甕 口縁～胴部片	口径 22.40 残高 9.80 胴径 22.20	外端刻目, ハケ, ナデ, 押圧 / ハケ, ナデ, 押圧	黒褐 10YR # # #	チャート, 長石 石英, 赤色砂粒	外傾	弥生土器・甕 刻目: 板目痕
Fig.77-1046	IV層	深鉢～甕 口縁～胴部片	口径 24.30 残高 4.30	外端刻目, ナデ, 押圧 / ハケ, ナデ, 押圧	浅黄橙 7.5YR 8/4 にぶい黄橙 10YR 7/3	石英, 長石 チャート, 赤色砂粒	外傾	弥生土器・甕
Fig.77-1047	IV層	深鉢～甕 口縁～胴部片	残高 5.40	外端刻目, ハケ, ナデ, 押圧 / ナデ, 押圧	にぶい黄橙 10YR 5/3 褐灰 # 4/1	長石, チャート 石英	外傾	弥生土器・甕 外面: スス・タール
Fig.77-1048	IV層	深鉢～甕 口縁～胴部片	残高 5.10	外端刻目, ナデ, 押圧/ナデ	にぶい橙 7.5YR 6/3 # 5/3	長石, チャート 石英, 赤色砂粒	外傾	弥生土器・甕 外面: スス・タール
Fig.77-1049	IV層	深鉢～甕 口縁部片	残高 3.40	外端刻目, ナデ, 押圧/ナデ	にぶい赤褐 5YR 5/4 にぶい橙 7.5YR 6/4	長石, 石英 チャート, 赤色砂粒	外傾	弥生土器・甕 外面: スス・タール
Fig.77-1050	IV層	深鉢～甕 口縁～胴部片	口径 18.80 残高 7.20 胴径 17.40	外端刻目, 接合部: 段=沈線状, ハケ, 押圧, ナデ/ナデ, 押圧	浅黄橙 7.5YR 8/3 橙 5YR 6/6	チャート, 赤色砂粒 長石, 石英	外傾	弥生土器・甕 外面: スス・タール
Fig.77-1051	IV層	深鉢～甕 口縁～胴部片	口径 17.00 残高 9.90 胴径 20.30	外端刻目, 接合部: 段=沈線状, ナデ, 押圧 / 押圧, ナデ	にぶい橙 7.5YR 6/3 # 5/3	チャート, 長石 石英, 赤色砂粒	外傾	弥生土器・甕 外面: スス・タール 内面: 黒変
Fig.77-1052	IV層	深鉢～甕 口縁部片	残高 4.10	外端刻目, 接合部: 段, ナデ, 板ナデ, 押圧 / ハケ, ナデ, 押圧	にぶい橙 5YR 6/4 にぶい赤褐 # 5/3	石英, 長石 チャート, 赤色砂粒	外傾	弥生土器・甕
Fig.77-1053	IV層	深鉢～甕 口縁～胴部片	残高 3.40	外端刻目, 接合部: 段=沈線状, ミガキ, ナデ, 押圧/ナデ, 押圧	にぶい橙 7.5YR 6/4 # #	長石, チャート 石英	外傾	弥生土器・甕 産?
Fig.77-1054	IV層	深鉢～甕 口縁部片	残高 4.00	外端刻目, 接合部: 段=沈線状, ナデ / ナデ, 押圧	にぶい橙 7.5YR 6/3 # 5/3	石英, 長石 チャート, 赤色砂粒	外傾	弥生土器・甕 外面: スス・タール
Fig.77-1055	IV層	深鉢～甕 口縁部片	残高 4.00	外端刻目, 接合部: 段=沈線状, 沈線 2, ナデ / ナデ	明赤褐 5YR 5/6 にぶい赤褐 # 5/4	石英, 長石 チャート, 赤色砂粒	外傾	弥生土器・甕 外面: スス・タール
Fig.78-1056	IV層	深鉢～甕 口縁～胴部片	口径 20.90 残高 10.10 胴径 20.60	外端刻目, 沈線 2, ハケ, ナデ, 押圧 / ナデ, 板ナデ, 押圧	浅黄 2.5Y 7/3 灰黄 # 6/2	石英, 長石 チャート	外傾	弥生土器・甕 刻目: ハケ原体? 外面: スス・タール
Fig.78-1057	IV層	深鉢～甕 口縁～胴部片	口径 17.80 残高 11.90 胴径 17.00	外端刻目, 沈線 2, ナデ/押圧, ナデ	にぶい黄橙 10YR 7/2 灰黄褐 # 4/2	赤色砂粒, チャート 石英, 長石	外傾	弥生土器・甕 刻目: 板目痕 外面: スス
Fig.78-1058	IV層	深鉢～甕 口縁～胴部片	残高 3.90	外端刻目, 沈線 3, ナデ, 押圧 / ナデ, 押圧	褐灰 10YR 5/1 # #	チャート, 石英 長石	外傾	弥生土器・甕
Fig.78-1059	IV層	深鉢～甕 口縁～胴部片	残高 4.10	外端刻目, 沈線 1, 刺突 1 段, ハケ, ナデ, 押圧/ナデ, 押圧	にぶい黄橙 10YR 7/3 # #	チャート, 石英 雲母, 長石	外傾	弥生土器・甕
Fig.78-1060	IV層	深鉢～甕 口縁部片	残高 2.80	外端刻目, ナデ, 押圧/ナデ	灰褐 7.5YR 5/2 # #	長石, 石英 チャート	外傾	弥生土器・甕 外面: スス・タール
Fig.78-1061	IV層	深鉢～甕 口縁部片	残高 3.10	外端刻目, ナデ/ナデ, 押圧, 圧痕 (爪形?)	灰白 10YR 8/1 明褐灰 7.5YR 7/2	赤色砂粒, チャート 石英, 長石	外傾	弥生土器・甕
Fig.78-1062	IV層	深鉢～甕 口縁部片	残高 1.70	外端刻目, ナデ/ナデ	にぶい赤褐 5YR 5/4 # #	石英, 長石 チャート, 赤色砂粒	外傾	弥生土器・甕

表31 1C区出土土器観察表26

種目番号	層位	器種/器形 部位	法量 (cm)	文様・調整 外面/内面 その他の部位	色調		胎土	接合	備考
					内面	外面			
Fig.78-1063	IV層	深鉢~裏 口縁部片	残高 1.70	外端刻目, ナデ/ナデ	にぶい黄橙	10YR 7/2	長石, 石英	外傾	弥生土器・裏 外面: タール
Fig.78-1064	IV層	深鉢~裏 口縁部片	残高 2.10	外端肥厚+刻目 (突帯状), ナデ, 押圧	黒褐	5YR 6/6	石英, チャート	?	弥生土器・裏 外面: スス・タール
Fig.78-1065	IV層	深鉢~裏 口縁部片	残高 1.70	外端刻目, ナデ/ナデ	にぶい黄橙	2.5Y 6/3	長石, チャート	外傾	弥生土器・裏 外面: スス・タール
Fig.78-1066	IV層	深鉢~裏 口縁部片	残高 1.70	外端刻目, ナデ, 押圧/ナデ	にぶい黄橙	10YR 7/3	石英	外傾	弥生土器・裏 外面: スス・タール
Fig.78-1067	IV層	深鉢~裏 口縁部片	残高 1.70	外端刻目, ナデ, 押圧/ハケ?, ナデ	にぶい褐	7.5YR 6/3	チャート, 長石	外傾	弥生土器・裏
Fig.78-1068	IV層	深鉢~裏 口縁~胴部片	残高 2.80	外端刻目, ナデ/ナデ	灰褐	7.5YR 6/2	長石, チャート	外傾	弥生土器・裏 液状口縁
Fig.79-1069	IV層	深鉢~裏 口縁~胴部片	口径 22.20 残高 20.80 胴径 21.80	ハケ? (条痕的?), ナデ, 押圧	明赤褐	2.5YR 5/6	長石, 赤色砂粒	外傾	弥生土器・裏 外面: スス・タール
Fig.79-1070	IV層	深鉢~裏	口径 22.60 器高 26.40 胴径 22.90 底径 8.40	ナデ, ヘラナデ, 押圧 /ハケ?, ナデ, 押圧	にぶい褐	7.5YR 5/4	石英, チャート	外傾	弥生土器・裏 外面: スス
Fig.79-1071	IV層	深鉢~裏 口縁~胴部片	残高 16.10	ナデ, 押圧	淡黄	2.5Y 8/3	長石, チャート	外傾	弥生土器・裏 外面: スス・タール
Fig.79-1072	IV層	深鉢~裏 口縁~胴部片	残高 8.10	ナデ, 押圧	にぶい黄橙	10YR 6/3	石英	外傾	弥生土器・裏 外面: スス・タール
Fig.79-1073	IV層	深鉢~裏 口縁~胴部片	残高 6.20	板ナデ, ナデ/押圧, ナデ	にぶい褐	7.5YR 5/3	チャート, 長石	外傾	弥生土器・裏 外面: スス・タール
Fig.79-1074	IV層	深鉢~裏 口縁~胴部片	残高 3.80	段1 (押圧), ハケ, ナデ/ナデ, 押圧	灰黄	2.5Y 7/2	チャート, 長石	外傾	弥生土器・裏 外面: スス・タール
Fig.79-1075	IV層	深鉢~裏 口縁~胴部片	残高 4.30	ナデ, 押圧	にぶい褐	7.5YR 5/3	長石, 赤色砂粒	内傾	弥生土器・裏
Fig.79-1076	IV層	深鉢~裏 口縁~胴部片	残高 3.50	接合部: 段, ハケ, 押圧/ナデ, 押圧	にぶい黄橙	7.5YR 7/4	長石, チャート	外傾	弥生土器・裏
Fig.79-1077	IV層	深鉢~裏 口縁部片	残高 3.40	接合部: 段, ナデ, 押圧/ナデ	にぶい褐	7.5YR 5/3	長石, チャート	外傾	弥生土器・裏
Fig.80-1078	IV層	深鉢~裏 口縁~胴部片	口径 24.00 残高 21.50 胴径 25.20	沈線1, ハケ, ナデ, 押圧 /ハケ, 押圧, ナデ	にぶい褐	7.5YR 7/4	チャート, 長石	外傾	弥生土器・裏 外面: スス・タール
Fig.80-1079	IV層	深鉢~裏 口縁~胴部片	口径 20.90 残高 9.30 胴径 20.00	沈線2, ナデ, 板ナデ/ナデ, 押圧	赤褐	5YR 4/6	石英, 長石	外傾	弥生土器・裏 外面: スス・タール
Fig.81-1080	IV層	深鉢~裏 口縁~胴部片	口径 17.30 残高 6.60 胴径 17.40	沈線2 (複線状), ナデ (ハケ状), 押圧	にぶい黄橙	7.5YR 7/3	石英, 長石	外傾	弥生土器・裏 下端: 擬口縁露出 外面: スス・タール
Fig.81-1081	IV層	深鉢~裏 口縁~胴部片	口径 37.00 残高 23.30 胴径 37.60	接合部: 突帯状×2, 斜沈線3×2, ミガキ~ ナデ (丁寧), ナデ/ナデ, 押圧	にぶい黄橙	10YR 4/6	チャート, 赤色砂粒	外傾	弥生土器・裏 石英, 長石
Fig.81-1082	IV層	深鉢~裏 口縁~胴部片	残高 15.00	沈線1, 竹管刺突3段, ナデ, 押圧 /ナデ, 押圧	浅黄橙	10YR 8/3	チャート, 石英	外傾	弥生土器・裏 外面: スス・タール
Fig.81-1083	IV層	深鉢~裏 口縁~胴部片	残高 6.00	沈線1, ナデ, 押圧/ナデ, 押圧	にぶい黄橙	10YR 7/2	チャート, 長石	外傾	弥生土器・裏 外面: スス・タール
Fig.81-1084	IV層	深鉢~裏 口縁部片	残高 2.70	沈線1, 刺突1段, ハケ, ナデ/ハケ, ナデ	にぶい黄橙	10YR 7/2	長石, チャート	?	弥生土器・裏 外面: スス・タール
Fig.81-1085	IV層	深鉢~裏 口縁部片	残高 2.50	沈線1, ナデ, 押圧/ナデ, 押圧	にぶい黄橙	10YR 7/3	チャート, 石英	外傾?	弥生土器・裏
Fig.81-1086	IV層	深鉢~裏 口縁部片	残高 2.50	斜沈線3+2, ナデ/ナデ	灰黄褐	5YR 5/2	長石	外傾	弥生土器・裏
Fig.81-1087	IV層	深鉢~裏 口縁部片	残高 1.50	不明/沈線2, ナデ?	にぶい黄橙	10YR 7/3	長石, チャート	外傾	弥生土器・裏?
Fig.81-1088	IV層	深鉢~裏 口縁部片	残高 2.00	ハケ, ナデ/ナデ	にぶい黄橙	10YR 7/2	長石, チャート	?	弥生土器・裏? 外面: スス・タール
Fig.82-1089	IV層	深鉢~裏 口縁部片	残高 1.90	ナデ, ヘラナデ/ナデ	にぶい黄橙	7.5YR 6/4	長石, チャート	外傾?	弥生土器・裏?
Fig.82-1090	IV層	深鉢~裏 口縁部片	残高 2.30	ナデ	にぶい黄橙	10YR 7/2	長石, 赤色砂粒	外傾	弥生土器・裏 外面: スス・タール
Fig.82-1091	IV層	深鉢~裏 口縁部片	残高 2.80	ナデ	にぶい黄橙	10YR 7/3	赤色砂粒, チャート	外傾	弥生土器・裏 外面: スス・タール
Fig.82-1092	IV層	深鉢~裏 口縁部片	残高 2.00	ナデ	にぶい黄橙	10YR 5/3	チャート, 長石	?	弥生土器・裏? 外面: スス・タール
Fig.82-1093	IV層	深鉢~裏 口縁部片	残高 1.90	ナデ (丁寧)	灰黄褐	10YR 6/2	長石, 石英	外傾?	
Fig.82-1094	IV層	深鉢~裏 口縁~胴部片	残高 3.30	ナデ, ナデ (丁寧), 押圧 /ナデ (ハケ状), 板ナデ, 押圧	灰褐	7.5YR 4/2	長石, チャート	外傾?	弥生土器・裏? 外面: タール
Fig.82-1095	IV層	深鉢~裏 口縁~胴部片	残高 4.70	ナデ, 押圧	明褐	7.5YR 7/2	長石, チャート	外傾	弥生土器・裏
Fig.82-1096	IV層	深鉢~裏 口縁~胴部片	残高 2.90	ナデ, 押圧	にぶい黄橙	10YR 6/3	赤色砂粒, 石英	外傾	弥生土器・裏
Fig.82-1097	IV層	深鉢~裏 口縁部片	残高 2.50	沈線2, ナデ/ナデ	にぶい黄橙	10YR 7/3	赤色砂粒, チャート	外傾	弥生土器・裏
Fig.82-1098	IV層	深鉢~裏 口縁部片	残高 3.80	ミガキ	黒褐	7.5YR 3/1	石英, 長石	外傾	弥生土器・裏 内外面: スス・タール 高杯・脚部?
Fig.82-1099	IV層	深鉢~裏 口縁部片	残高 2.60	ナデ, 押圧	にぶい黄橙	10YR 7/3	石英, チャート	外傾	弥生土器・裏 長石
Fig.82-1100	IV層	深鉢~裏 口縁部片	残高 2.40	ナデ, 押圧/ナデ	灰褐	7.5YR 4/2	長石, 石英	内傾?	
Fig.82-1101	IV層	深鉢~裏 口縁部片	残高 2.00	ナデ, 押圧/ナデ	にぶい黄橙	5YR 7/6	長石, 石英	外傾	弥生土器・裏 赤色砂粒, チャート



表32 1C区出土土器観察表27

挿入番号	層位	器種・器形 /部位	法量 (cm)	文様・調整 外面/内面 その他の部位	色調 内面 外面	胎土	接合	備考
Fig.82-1102	IV層	深鉢～甕 口縁部片	残高 1.70	ナデ、押圧、沈線状1/ナデ	にぶい橙 7.5YR 6/4 灰褐 # 4/2	長石、赤色砂粒 石英、チャート	内傾?	
Fig.82-1103	IV層	深鉢～甕 口縁部片	残高 2.10	沈線1, ナデ/ナデ	にぶい橙 7.5YR 6/3 灰褐 # 5/2	石英、長石 チャート、赤色砂粒	外傾	弥生土器・甕
Fig.82-1104	IV層	深鉢～甕 口縁部片	残高 1.90	爪形文1段、ミガキ、ナデ/ハケ、ミガキ	灰褐 7.5YR 6/2 にぶい橙 # 6/3	長石、石英	内傾	
Fig.83-1105	IV層	深鉢～甕 胴部片	残高 7.00	接合部:段=凹線状、ナデ、条痕 /ナデ、板ナデ	褐灰 10YR 4/1 # 7.5YR 5/1	石英、長石 チャート	内傾	
Fig.83-1106	IV層	深鉢～甕 胴部片	残高 6.70	接合部:段、ナデ、ナデ(粗い)、条痕 /ナデ	灰白 2.5Y 7/1 にぶい黄褐 10YR 5/3	長石、石英 チャート	内傾	
Fig.83-1107	IV層	深鉢～甕 胴部片	残高 5.40	接合部:段=沈線状、ナデ、ナデ(ケズリ状) /ナデ、ヘラナデ(原体圧痕)、押圧	にぶい黄褐 10YR 5/3 褐灰 7.5YR 4/1	長石、石英 赤色砂粒、角閃石	内傾	
Fig.83-1108	IV層	深鉢～甕 胴部片	残高 6.90	沈線1, ナデ、条痕/ナデ	オリブ黒 5Y 3/1 # #	長石、石英 チャート	内傾	
Fig.83-1109	IV層	深鉢～甕 胴部片	残高 3.40	沈線1, ナデ/ナデ	にぶい黄褐 10YR 5/3 黒褐 # 3/2	長石、石英、雲母 角閃石	内傾?	胎土:弥生化?
Fig.83-1110	IV層	深鉢～甕 胴部片	残高 4.40	沈線1, ナデ、条痕/ナデ	黒褐 10YR 3/1 黄灰 2.5Y 4/1	長石、石英	内傾	
Fig.83-1111	IV層	深鉢～甕 胴部片	残高 5.50	沈線2?(条痕?), ナデ/ナデ	黒褐 5Y 2/1 黒褐 10YR 3/1	長石、石英	内傾	
Fig.83-1112	IV層	深鉢～甕 胴部片	残高 4.00	沈線1, 条痕、ナデ/ナデ(ケズリ状)	灰 N 4/4 にぶい橙 7.5YR 6/4	長石、石英 チャート	内傾	
Fig.83-1113	IV層	深鉢～甕 胴部片	残高 2.10	斜沈線1, ナデ/ナデ	黄灰 2.5Y 4/1 にぶい黄褐 10YR 5/3	長石、石英 チャート	内傾	
Fig.83-1114	IV層	深鉢～甕 胴部片	残高 2.40	ナデ/沈線1(+1?), 縦沈線1, ナデ	灰黄褐 10YR 5/2 # 6/2	長石、石英 チャート	?	
Fig.83-1115	IV層	深鉢～甕 胴部片	残高 4.10	沈線2, ナデ/ナデ	灰黄褐 10YR 6/2 黄灰 2.5Y 6/1	長石、石英 チャート	内傾	
Fig.83-1116	IV層	深鉢～甕 胴部片	残高 5.00	条痕、ナデ/不明	灰黄褐 10YR 6/2 にぶい黄橙 # 6/3	長石、石英 チャート	?	焼き不明
Fig.83-1117	IV層	深鉢～甕 胴部片	残高 4.10	条痕、ナデ/ナデ、押圧	にぶい黄橙 10YR 6/3 黄灰 2.5Y 5/1	粗砂粒、石英	内傾	特殊胎土
Fig.83-1118	IV層	深鉢～甕 胴部片	残高 2.80	条痕、ナデ/沈線?, ヘラナデ、ナデ	黒 N 2/2 灰褐 7.5YR 4/2	チャート、長石 石英	内傾	
Fig.83-1119	IV層	深鉢～甕 胴部片	残高 2.60	円形刺突2, 条痕/ナデ	にぶい橙 7.5YR 6/4 # #	長石、チャート 石英	内傾	
Fig.83-1120	IV層	深鉢～甕 胴部片	残高 1.90	橋内刺突、ナデ/ナデ	にぶい黄橙 10YR 6/3 にぶい橙 7.5YR #	長石、チャート 石英	?	
Fig.83-1121	IV層	深鉢～甕 胴部片	残高 2.30	円形刺突1?, ナデ/ナデ	褐灰 10YR 6/1 にぶい橙 7.5YR 6/3	チャート、長石	?	
Fig.84-1122	IV層	突帯文土器 胴部片	残高 8.00	刻目突帯貼付1, 条痕、ナデ/ナデ	黄灰 2.5Y 4/1 黒 10YR 2/1	石英、長石 チャート	内傾	外面:タール
Fig.84-1123	IV層	突帯文土器 胴部片	残高 6.10	刻目突帯貼付1, 条痕、ナデ、押圧/ナデ	黒 N 2/0 黒褐 10YR 3/1	石英、長石	内傾	外面:タール
Fig.84-1124	IV層	突帯文土器 胴部片	残高 5.90	貼付突帯1(刻目?), ナデ/ナデ	浅黄 2.5Y 7/3 黄灰 # 5/1	長石、石英	内傾?	
Fig.84-1125	IV層	突帯文土器 胴部片	残高 3.50	刻目突帯貼付1, 斜沈線1, ナデ、押圧 /ナデ、押圧	オリブ黒 5Y 3/1 灰黄 2.5Y 6/2	長石、チャート 石英	内傾	
Fig.84-1126	IV層	突帯文土器 胴部片	残高 2.50	刻目突帯貼付1, 沈線2, ナデ/ナデ	灰黄褐 10YR 6/2 黄灰 2.5Y 4/1	長石、石英 チャート	内傾	
Fig.84-1127	IV層	突帯文土器 胴部片	残高 2.40	貼付突帯1, 条痕、ナデ/ナデ	にぶい橙 7.5YR 5/4 黒褐 2.5Y 3/1	石英、長石 チャート	?	上下逆?
Fig.84-1128	IV層	突帯文土器 胴部片	残高 9.30	刻目突帯貼付1, ナデ、条痕、ナデ(粗い) /ナデ	にぶい黄褐 10YR 5/3 # #	長石、石英	内傾	弥生化突帯文? 外面:タール
Fig.84-1129	IV層	突帯文土器 胴部片	残高 3.50	刻目突帯貼付1, 条痕、ナデ /条痕、ナデ	にぶい黄褐 10YR 5/3 灰黄褐 # 6/2	粗砂粒、石英、長石	内傾	外面:タール 特殊胎土
Fig.84-1130	IV層	突帯文土器 胴部片	残高 3.60	刻目突帯貼付1, ナデ、押圧/ナデ	灰黄褐 10YR 5/2 にぶい黄橙 # 7/3	石英、長石、雲母	内傾?	
Fig.84-1131	IV層	突帯文土器 胴部片	残高 2.00	刻目突帯貼付1, ナデ/ナデ、押圧	灰黄褐 10YR 5/2 浅黄橙 # 8/3	石英、長石、雲母	内傾?	
Fig.84-1132	IV層	突帯文土器 胴部片	残高 3.00	貼付突帯1, ナデ、押圧/ナデ	褐灰 10YR 4/1 # #	長石、石英	内傾?	上下逆?
Fig.84-1133	IV層	突帯文土器 胴部片	残高 3.10	刻目突帯貼付1, ナデ/?/ナデ	にぶい黄橙 10YR 6/3 灰黄 2.5Y 6/2	長石、石英、角閃石	内傾?	弥生化突帯文?
Fig.84-1134	IV層	突帯文土器 胴部片	残高 2.10	沈線2, 刻目突帯貼付2, ナデ /ナデ、押圧	灰白 2.5Y 8/2 灰黄 # 7/2	チャート、長石 石英	内傾?	傾き不明 波状口縁? 外面:タール 胎土:弥生化
Fig.84-1135	IV層	突帯文土器 胴部片	残高 3.00	刻目突帯貼付2, ナデ/ナデ	にぶい橙 7.5YR 7/4 # 6/4	チャート、長石 石英	内傾?	外面:タール 胎土:弥生化
Fig.84-1136	IV層	深鉢～甕 胴部片	残高 5.10	刻目、縦沈線1, ナデ /ナデ、ヘラナデ、押圧	灰黄褐 10YR 6/2 にぶい黄橙 # 6/3	長石、赤色砂粒 チャート	外傾	外面:スス・タール 1137.1138と同一個体?
Fig.84-1137	IV層	突帯文土器 胴部片	残高 2.80	接合部:刻目突帯1, 沈線2, ハケ /ナデ、押圧	にぶい橙 7.5YR 7/3 黒褐 10YR 3/2	チャート、長石 石英、赤色砂粒	内傾	外面:スス・タール 1136.1138と同一個体?
Fig.84-1138	IV層	突帯文土器 胴部片	残高 3.30	縦貼付突帯2, 斜沈線文、ナデ /ナデ、押圧	にぶい黄橙 10YR 7/3 # #	赤色砂粒、チャート 長石、石英	内傾	外面:スス・タール 胎土:弥生化 1136.1137と同一個体?
Fig.84-1139	IV層	突帯文土器 胴部片	残高 2.10	刻目突帯貼付1, ナデ/ナデ	にぶい黄橙 10YR 7/2 灰白 # 7/1	石英、チャート 長石	内傾?	
Fig.84-1140	IV層	突帯文土器 胴部片	残高 4.50	刻目突帯貼付1, ナデ/ナデ	黒褐 10YR 3/1 # #	雲母、石英、長石	内傾	弥生化突帯文? 外面:タール
Fig.84-1141	IV層	突帯文土器 胴部片	残高 5.30	刻目突帯貼付1, ナデ、ハケ/ナデ、押圧	灰黄褐 10YR 5/2 黒褐 # 3/2	長石、チャート 石英、赤色砂粒	内傾	刻目:横目 外面:スス・タール 上下逆? 弥生化突帯文?
Fig.84-1142	IV層	突帯文土器 胴部片	残高 2.60	貼付突帯1, ナデ/不明	褐灰 7.5YR 6/1 にぶい橙 # 7/3	赤色砂粒、長石 石英、チャート	内傾	弥生化突帯文? 外面:タール(おこげ)
Fig.84-1143	IV層	突帯文土器 胴部片	残高 4.20	刻目突帯貼付1, ナデ/ナデ	黒褐 2.5Y 3/1 # #	石英、長石	内傾	

表33 1C区出土土器観察表28

標本番号	層位	器種/器形/部位	法量 (cm)	文様・調整 外面/内面 その他の部位	色調 内面 外面	胎土	接合	備考	
Fig.84-1144	IV層	突帯文土器 胴部片	残高 7.90	刻目突帯貼付2, 斜沈線2, 沈線~条痕, 沈線 状1, ナデ/ナデ, 押圧	黒 黄灰 # # 4/1	2.5Y # 4/1	石英, 長石 チャート	内傾	弥生化突帯文?
Fig.84-1145	IV層	突帯文土器 胴部片	残高 5.40	刻目突帯貼付2, 斜沈線2, 沈線状1, ナデ, 押圧/ナデ	黒 灰黄褐 10YR # 5/2	5Y # 2/1	石英, 長石 チャート	内傾	弥生化突帯文?
Fig.84-1146	IV層	突帯文土器 胴部片	残高 2.30	刻目突帯貼付2, ナデ/ナデ, 押圧	暗灰 灰 N # 3/1	3/1 # 4/1	長石 チャート	内傾	特殊胎土系
Fig.84-1147	IV層	突帯文土器 胴部片	残高 3.40	刻目突帯貼付3, 縦沈線(刺突?)1段, 斜沈 線5, ナデ/ナデ	にぶい黄橙 黒褐 10YR # 7/3	10YR # 3/1	赤色砂粒, チャート	内傾	
Fig.85-1148	IV層	突帯文土器 胴部片	残高 5.60	刻目突帯貼付1, ナデ, 条痕/ナデ, 押圧	灰黄褐 にぶい黄橙 10YR # 5/2	5/2 # 6/3	チャート, 石英 赤色砂粒	外傾	外面: スス・タール 弥生化突帯文
Fig.85-1149	IV層	突帯文土器 胴部片	残高 5.40	刻目突帯貼付1, ナデ, ヘラナデ(条痕?) /ナデ, 押圧	灰褐 にぶい赤褐 7.5YR # 4/2	4/2 # 5/3	チャート, 長石 赤色砂粒	外傾	外面: スス・タール 弥生化突帯文
Fig.85-1150	IV層	突帯文土器 胴部片	残高 3.50	刻目突帯貼付1, ハケ, ナデ/ハケ, ナデ	にぶい橙 浅黄橙 7.5YR # 7/4	7/4 # 8/3	チャート, 石英 長石	外傾	弥生化突帯文
Fig.85-1151	IV層	突帯文土器 胴部片	残高 2.40	刻目突帯貼付1, ナデ/ナデ, 押圧	にぶい黄橙 # 10YR # 7/4	7/4 # 6/4	チャート, 赤色砂粒 長石, 石英	外傾	
Fig.85-1152	IV層	突帯文土器 胴部片	残高 2.00	貼付突帯1?, 沈線状1, ハケ /ナデ, 板ナデ	浅黄橙 # 7.5YR # 8/4	8/4 # 10YR # 8/3	チャート, 赤色砂粒 石英, 長石	外傾	外面: タール
Fig.85-1153	IV層	突帯文土器 胴部片	残高 1.90	刻目突帯貼付1, 沈線2, 弧沈線1, ミガキ /ナデ, 押圧	黄灰 黒褐 2.5Y # 5/1	5/1 # 3/1	石英 石英	外傾	胎土: 弥生化
Fig.85-1154	IV層	突帯文土器 胴部片	残高 3.20	刻目突帯貼付2, 刺突1, 沈線状1, ナデ /ナデ	橙 明赤褐 2.5YR # 6/6	6/6 # 5/6	長石, 石英 赤色砂粒	外傾	弥生化突帯文
Fig.85-1155	IV層	突帯文土器 胴部片	残高 2.80	貼付突帯2, ナデ/ナデ, 押圧	にぶい褐 にぶい橙 7.5YR # 5/3	5/3 # 6/4	長石, 石英 チャート	外傾	弥生化突帯文
Fig.85-1156	IV層	突帯文土器 胴部片	残高 2.00	貼付突帯1, 斜沈線2+3/不明	橙 にぶい橙 7.5YR # 7/6	7/6 # 7/4	チャート, 長石	外傾?	
Fig.85-1157	IV層	深鉢~甕 胴部片	残高 5.80	接合部: 段, ヘラナデ~ミガキ, ナデ /ナデ?, 押圧	灰黄 # 2.5Y # 7/2	7/2 # #	石英, 長石 赤色砂粒	外傾	弥生土器・甕
Fig.85-1158	IV層	深鉢~甕 胴部片	残高 4.60	接合部: 段+刻目, ハケ, ナデ /ナデ, 押圧	灰白 浅黄橙 10YR # 8/2	8/2 # 8/3	チャート, 石英	外傾	弥生土器・甕 外面: スス・タール
Fig.85-1159	IV層	深鉢~甕 胴部片	残高 4.40	接合部: 段+刻目, ハケ, ナデ /ハケ, ナデ, 押圧	浅黄橙 にぶい黄橙 10YR # 8/3	8/3 # 7/2	チャート, 赤色砂粒 長石	外傾	弥生土器・甕 外面: スス・タール
Fig.85-1160	IV層	深鉢~甕 胴部片	残高 4.70	接合部: 段+刻目(刺突?), ハケ, ナデ /ナデ, 押圧	にぶい黄橙 # 10YR # 7/2	7/2 # #	赤色砂粒, チャート 石英, 角閃石	外傾	弥生土器・甕 外面: スス・タール
Fig.85-1161	IV層	深鉢~甕 胴部片	残高 6.20	接合部: 段+刻目, ナデ/押圧, ナデ	灰褐 # 7.5YR # 4/2	4/2 # #	石英, 長石 赤色砂粒	外傾	弥生土器・甕 外面: スス
Fig.85-1162	IV層	深鉢~甕 胴部片	残高 5.50	接合部: 段+刻目(5個単位), ナデ /ナデ, 押圧	浅黄橙 にぶい黄橙 10YR # 8/3	8/3 # 6/3	チャート, 長石	外傾	弥生土器・甕 刻目: 板目痕? 外面: スス・タール
Fig.85-1163	IV層	深鉢~甕 胴部片	残高 2.30	接合部: 段+刻目, ナデ/ナデ, 押圧	灰白 浅黄橙 10YR # 8/2	8/2 # 8/3	チャート, 長石 石英	外傾	弥生土器・甕
Fig.85-1164	IV層	深鉢~甕 胴部片	残高 6.40	接合部: 段+刻目, 沈線1, ナデ /ナデ, ヘラナデ?	黒 にぶい橙 10YR # 2/1	2/1 # 2.5YR # 6/4	石英, 長石 チャート	外傾	弥生土器・甕 内外面: 黒変
Fig.85-1165	IV層	深鉢~甕 胴部片	残高 3.80	接合部: 段+刻目, 沈線1, ナデ /ナデ, 押圧	褐 にぶい褐 7.5YR # 4/3	4/3 # 6/3	長石, 石英 赤色砂粒	外傾	弥生土器・甕
Fig.85-1166	IV層	深鉢~甕 胴部片	残高 2.00	接合部: 段+刻目, 沈線1, ナデ /ナデ	にぶい褐 # 7.5YR # 5/3	5/3 # #	チャート, 石英 長石, 雲母	外傾	弥生土器・甕
Fig.85-1167	IV層	深鉢~甕 胴部片	残高 3.40	接合部: 段+刻目, 沈線1, ハケ, ナデ /ナデ, 押圧	にぶい黄橙 黒褐 10YR # 5/3	5/3 # 3/2	チャート, 赤色砂粒 石英, 角閃石	外傾	弥生土器・甕 接合複雑? 外面: スス・タール
Fig.85-1168	IV層	深鉢~甕 胴部片	残高 5.80	接合部: 段+沈線状, 刺突2段, ハケ, ヘラナ デ?/ナデ, 押圧	にぶい黄橙 にぶい黄褐 10YR # 7/2	7/2 # 5/3	長石, チャート 石英	外傾	弥生土器・甕 刺突: 木目痕? 外面: スス・タール
Fig.85-1169	IV層	深鉢~甕 胴部片	残高 3.60	接合部: 段+刻目, 沈線1, ミガキ~ナデ (丁寧)/押圧, ナデ	灰黄褐 褐灰 10YR # 5/2	5/2 # 4/1	チャート, 石英 長石	外傾	弥生土器・甕 外面: スス・タール
Fig.85-1170	IV層	深鉢~甕 胴部片	残高 2.30	接合部: 段+刻目, 沈線2, ハケ, ナデ /ナデ, ヘラナデ?	灰白 浅黄 5Y # 8/2	8/2 # 7/3	チャート, 長石 石英	内傾	弥生土器・甕
Fig.85-1171	IV層	深鉢~甕 胴部片	残高 6.70	接合部: 刻目, ナデ /ナデ, 押圧, 板ナデ? (圧痕)	褐灰 褐 7.5YR # 4/1	4/1 # 10YR # #	チャート, 長石 石英	外傾	弥生土器・甕 外面: スス・タール
Fig.85-1172	IV層	深鉢~甕 胴部片	残高 2.40	接合部: 段+刻目, ナデ/ナデ, 押圧	灰黄褐 灰褐 10YR # 6/2	6/2 # 5YR # #	チャート, 長石 石英	外傾	弥生土器・甕
Fig.85-1173	IV層	深鉢~甕 胴部片	残高 1.80	接合部: 段+刻目, ナデ/押圧	黒褐 褐灰 10YR # 3/1	3/1 # 7.5YR # 4/1	チャート, 長石 石英, 赤色砂粒	外傾	弥生土器・甕
Fig.86-1174	IV層	深鉢~甕 胴部片	残高 5.60	沈線2, ハケ, ナデ/ナデ	暗灰 褐灰 N # 3/1	3/1 # 10YR # 5/1	チャート, 長石 石英	外傾	弥生土器・甕 外面: タール 内面: 黒変
Fig.86-1175	IV層	深鉢~甕 胴部片	残高 4.30	沈線3, ナデ?/ハケ?, ナデ, 押圧	浅黄橙 橙 10YR # 8/4	8/4 # 5YR # 6/6	チャート, 長石 石英, 赤色砂粒	外傾	弥生土器・甕 内面: スス
Fig.86-1176	IV層	深鉢~甕 胴部片	残高 1.30	沈線3, ハケ, ナデ/ナデ, ヘラナデ	にぶい褐 黒褐 7.5YR # 5/3	5/3 # 3/1	長石, 赤色砂粒	?	
Fig.86-1177	IV層	深鉢~甕 胴部片	残高 6.50	沈線4, 斜沈線2+4, ナデ/ナデ, 押圧	にぶい褐 灰褐 7.5YR # 5/3	5/3 # 4/2	長石, 石英 角閃石	外傾	弥生土器・甕
Fig.86-1178	IV層	深鉢~甕 胴部片	残高 4.20	接合部: 突帯状, 沈線2, ナデ /ナデ(短い)	黒褐 褐 10YR # 3/1	3/1 # 5YR # 6/6	石英, 長石	内傾?	
Fig.86-1179	IV層	深鉢~甕 胴部片	残高 1.70	段2, ナデ/ナデ	にぶい橙 灰黄褐 7.5YR # 6/4	6/4 # 10YR # 5/2	長石, 石英 赤色砂粒	?	外面: タール?
Fig.86-1180	IV層	深鉢~甕 胴部片	残高 2.80	斜沈線4(山形文?), ナデ?/ナデ	橙 # 2.5YR # 6/6	6/6 # 5YR # #	長石, 石英, 雲母 チャート, 赤色砂粒	?	上下逆? 外面: スス・タール
Fig.86-1181	IV層	深鉢~甕 胴部片	残高 2.40	斜沈線3(山形文?), ナデ, ハケ? /ナデ, 押圧	にぶい褐 # 7.5YR # 5/3	5/3 # #	長石, 石英 チャート	外傾	弥生土器・甕
Fig.86-1182	IV層	深鉢~甕 胴部片	残高 1.50	斜沈線3, ナデ/ナデ, 押圧	橙 灰褐 5YR # 6/6	6/6 # 7.5YR # 4/2	長石, 赤色砂粒 石英	?	外面: タール
Fig.86-1183	IV層	深鉢~甕 胴部片	残高 2.70	沈線2, 刻目(縦沈線状), ナデ/ナデ	にぶい褐 # 7.5YR # 5/4	5/4 # #	赤色砂粒, 長石 雲母, 石英, 角閃石 チャート	外傾	弥生土器・甕 外面: スス・タール
Fig.86-1184	IV層	深鉢~甕 胴部片	残高 3.60	沈線2, 縦沈線1段, ナデ/ナデ	灰黄褐 にぶい橙 10YR # 5/2	5/2 # 7.5YR # 6/4	長石, 石英 チャート, 赤色砂粒	外傾	弥生土器・甕
Fig.86-1185	IV層	深鉢~甕 胴部片	残高 2.10	沈線1, 竹筥刺突1段, ナデ, 刻目? /ナデ	灰黄褐 にぶい褐 10YR # 6/2	6/2 # 7.5YR # 6/3	長石, 石英 チャート	外傾	弥生土器・甕

表34 1C区出土土器観察表29

挿入番号	層位	器種/器形 /部位	法量 (cm)	文様・調整 外側/内面 その他の部位	色調 内面 外側	胎土	接合	備考
Fig.86-1186	IV層	深鉢~裏 頸~胴部片	残高 3.50	沈線3+1?, 刺突3段(刻目的), ハケ, ナデ/ハケ, 押圧, ナデ	にぶい褐 7.5YR 5/4 にぶい黄橙 10YR 6/3	チャート, 長石 石英	外傾	弥生土器・裏
Fig.86-1187	IV層	深鉢~裏 胴部片	残高 2.50	沈線2, 円形刺突2段, ナデ /ハケ, ナデ	灰褐 7.5YR 4/2 にぶい褐 # 5/4	長石, 石英 チャート	外傾	弥生土器・裏 外面: スス・タール
Fig.86-1188	IV層	深鉢~裏 胴部片	残高 3.40	沈線3, 楕円刺突2段, ナデ/ナデ	浅黄橙 10YR 8/3 にぶい黄橙 # 6/3	チャート, 石英 赤色砂粒	外傾	弥生土器・裏 外面: スス・タール
Fig.86-1189	IV層	深鉢~裏 胴部片	残高 1.90	沈線3, 刺突2段, 斜沈線1+2(山形文?), ナデ/ナデ, 押圧	にぶい黄橙 10YR 6/3 にぶい褐 7.5YR #	長石, 石英	外傾	弥生土器・裏
Fig.86-1190	IV層	深鉢~裏 胴部片	残高 3.40	沈線1, 刺突1段, ハケ/ナデ, 押圧	にぶい橙 7.5YR 6/4 # 5YR #	チャート, 長石 石英	外傾	弥生土器・裏
Fig.86-1191	IV層	深鉢~裏 胴部片	残高 2.50	縦竹管刺突2列, ナデ/ナデ	褐灰 10YR 4/1 灰褐 7.5YR 4/2	長石, チャート 石英	外傾	弥生土器・裏
Fig.86-1192	IV層	深鉢~裏 胴部片	残高 4.00	沈線?1, 沈線文?, ミガキ~ナデ(丁寧) /押圧	にぶい橙 7.5YR 6/4 にぶい黄橙 10YR 6/3	石英, 長石 赤色砂粒, チャート	外傾	弥生土器・裏
Fig.87-1193	IV層	深鉢~裏 底部片	残高 5.60 底径 8.80	条痕, 押圧, ナデ/ナデ 底面: ナデ, 押圧	灰黄 2.5Y 6/2 灰褐 5YR 4/2	長石, 石英 チャート	?	
Fig.87-1194	IV層	深鉢~裏 底部片	残高 3.00 底径 7.40	ナデ, 押圧 底面: ナデ	にぶい黄橙 10YR 4/3 # 4/1	石英, チャート 長石	内傾	内面: タール(おこげ)
Fig.87-1195	IV層	深鉢~裏 底部片	残高 3.60 底径 9.60	ナデ, 押圧	黄灰 2.5Y 4/1 にぶい褐 7.5YR 5/3	チャート, 長石 石英	内傾	内面: タール
Fig.87-1196	IV層	深鉢~裏 底部片	残高 1.50 底径 8.60	ナデ, 押圧 底面: ナデ(粗い)	暗灰 N 3/ # 灰 # 4/	長石, 石英 チャート	?	
Fig.87-1197	IV層	深鉢~裏 底部片	残高 2.10 底径 8.20	ナデ/ナデ, 押圧 底面: ナデ	黄灰 2.5Y 4/1 # 6/1	石英, 長石 チャート	?	
Fig.87-1198	IV層	深鉢~裏 底部片	残高 1.60 底径 7.00	ナデ(粗い)/ナデ, 押圧 底面: ナデ(丁寧)	灰黄褐 10YR 6/2 にぶい黄橙 # 7/3	石英, 長石, 雲母	?	外面: タール
Fig.87-1199	IV層	深鉢~裏 胴~底部片	残高 16.90 底径 8.80	ハケ, 押圧/押圧, ナデ 底面: ナデ, 押圧	にぶい黄橙 10YR 7/2 にぶい褐 7.5YR 7/4	チャート, 長石 石英	外傾	弥生土器・裏 内面: スス・タール
Fig.87-1200	IV層	深鉢~裏 底部片	残高 6.00 底径 7.20	ハケ, 押圧/押圧 底面: ナデ, 粒状圧痕	にぶい黄橙 10YR 6/3 にぶい褐 7.5YR #	石英, 長石, 雲母 チャート	外傾	弥生土器・裏 外面: タール
Fig.87-1201	IV層	深鉢~裏 底部片	残高 3.60 底径 7.00	ナデ, 板ナデ, ハケ/ナデ, 押圧 底面: ナデ, 押圧	明褐灰 7.5YR 7/2 にぶい橙 # 6/3	長石, 赤色砂粒 チャート, 石英	?	
Fig.87-1202	IV層	深鉢~裏 胴~底部片	残高 10.30 底径 7.50	板ナデ, ナデ, 押圧/押圧, ナデ 底面: ナデ, 粒状圧痕	灰 5Y 4/1 にぶい橙 5YR 6/4	石英, 長石 チャート	外傾	弥生土器・裏
Fig.87-1203	IV層	深鉢~裏 胴~底部片	残高 9.20 底径 6.40	押圧, ナデ 底面: ナデ	橙 7.5YR 6/6 # 5YR #	チャート, 石英 長石, 赤色砂粒	外傾	弥生土器・裏
Fig.88-1204	IV層	深鉢~裏 底部片	残高 7.50 底径 8.10	板ナデ, 押圧, ナデ/ナデ, 押圧 底面: ナデ, 押圧	灰黄 2.5Y 7/2 灰黄褐 10YR 5/2	長石, 石英 赤色砂粒	内傾?	
Fig.88-1205	IV層	深鉢~裏 底部片	残高 6.60 底径 8.20	板ナデ, ナデ, 押圧/ナデ, 押圧 底面: 粒状圧痕, ナデ, ナデ(丁寧)	灰白 10YR 8/2 # 8/1	石英, チャート 長石, 赤色砂粒	?	内面: スス・タール
Fig.88-1206	IV層	深鉢~裏 底部片	残高 5.60 底径 5.70	ナデ 底面: ナデ	にぶい黄 2.5Y 6/3 黄灰 # 5/1	石英, 長石, 角閃石 チャート	外傾?	弥生土器・裏? 鉢?
Fig.88-1207	IV層	深鉢~裏 底部片	残高 3.80 底径 7.90	板ナデ, ナデ, 押圧/押圧, ナデ 底面: ナデ, 粒状圧痕	にぶい橙 7.5YR 7/3 にぶい褐 # 6/3	石英, 長石 赤色砂粒, チャート	?	
Fig.88-1208	IV層	深鉢~裏 底部片	残高 3.40 底径 6.90	押圧, ナデ 底面: ナデ, ナデ(ケズリ状)	にぶい橙 7.5YR 6/4 にぶい褐 # 5/4	石英, 長石 チャート, 角閃石	?	
Fig.88-1209	IV層	深鉢~裏 底部片	残高 3.90 底径 7.50	ナデ, 押圧, ヘラナデ? (沈線状) /ナデ, 押圧 底面: ナデ, 粒状圧痕	灰黄褐 10YR 4/2 橙 5YR 6/6	長石, 石英 チャート, 粗砂粒 角閃石	?	内面: スス・タール
Fig.89-1210	IV層	縄文土器/鉢 口縁部片	残高 2.00	ミガキ/ミガキ~ナデ(丁寧)?	褐灰 10YR 4/1 黒 # 3/1	長石, 石英, 雲母	内傾	端面・外面: 赤彩 内面: 赤彩?
Fig.89-1211	IV層	縄文土器/鉢 口縁部片	残高 4.10	ミガキ	灰黄褐 10YR 4/2 暗灰 N 3/ #	長石, チャート 石英	内傾	
Fig.89-1212	IV層	縄文土器/鉢 口縁部片	残高 2.50	不明/沈線2+1	灰黄褐 10YR 4/2 にぶい黄橙 # 4/3	石英, 長石, 角閃石	内傾?	
Fig.89-1213	IV層	縄文土器/鉢 口縁部片	残高 3.90	ミガキ	黒 N 2/ # # 3/1	石英, 長石	内傾?	端面: 擬口縁 外面: タール
Fig.89-1214	IV層	縄文土器/鉢? 口縁部片	残高 6.10	ミガキ, 押圧/ナデ, 押圧	黒褐 10YR 3/1 黒 N 2/ #	石英, 長石, 雲母	内傾	外面: タール?
Fig.89-1215	IV層	縄文土器/鉢 口縁部片	残高 3.80	段1, 沈線1, ミガキ/ミガキ	にぶい黄橙 10YR 6/3 黄灰 2.5Y 4/1	長石, 石英, 雲母 角閃石	内傾	
Fig.89-1216	IV層	縄文土器/鉢 口縁部片	残高 4.00	沈線1?, ミガキ/ミガキ	黒褐 10YR 3/1 黒 N 2/ #	長石, 石英, 雲母	内傾	下端: 擬口縁露出 外面: スス
Fig.89-1217	IV層	縄文土器/鉢 口縁部片	残高 3.10	沈線2, ミガキ/段: 凹線状, ミガキ	褐灰 10YR 4/1 にぶい黄橙 # 6/3	石英, 長石	内傾?	
Fig.89-1218	IV層	縄文土器/鉢 口縁部片	残高 3.60	ミガキ	黒褐 2.5Y 3/1 黒 5Y 2/1	石英, 長石, 雲母 チャート	内傾	外面: タール
Fig.89-1219	IV層	縄文土器/鉢 口縁部片	残高 3.90	ミガキ/ミガキ, ナデ	黒褐 2.5Y 3/1 黒 # 2/1	長石, 石英, 雲母	外傾?	
Fig.89-1220	IV層	縄文土器/鉢 口縁部片	残高 4.10	ミガキ, ナデ/ミガキ	黒褐 10YR 3/1 褐灰 7.5YR 4/1	長石, 石英, 雲母	内傾	
Fig.89-1221	IV層	縄文土器/鉢 口縁部片	残高 2.50	外端刻目?, ミガキ~ナデ(丁寧) /段1, ミガキ~ナデ(丁寧)	灰黄褐 10YR 5/2 にぶい黄橙 # 5/3	石英, 長石, 雲母	内傾?	
Fig.89-1222	IV層	縄文土器/鉢 口縁部片	残高 1.70	沈線1, ミガキ/ナデ, 押圧	2.5Y 2/1 黒 # 3/1	長石, 石英	内傾?	
Fig.89-1223	IV層	縄文土器/鉢? 口縁部片	残高 2.60	ハケ?, ミガキ, ナデ(丁寧) /ミガキ	黄灰 2.5Y 4/1 暗灰 # 4/2	石英, 長石, 雲母 角閃石	外傾	器種?
Fig.89-1224	IV層	縄文土器/鉢 口縁~胴部片	残高 6.00	沈線1, ミガキ/ミガキ	にぶい黄橙 10YR 7/3 # #	石英, 長石, 角閃石	?	内面: 赤彩
Fig.89-1225	IV層	縄文土器/鉢 口縁~胴部片	残高 3.80	沈線2, ミガキ/ミガキ	黒褐 2.5Y 3/1 暗灰黄 # 4/2	長石, 石英, 角閃石	内傾	補修孔1(両側穿孔) 外面: タール
Fig.89-1226	IV層	縄文土器/鉢 口縁~胴部片	残高 3.90	ナデ, ケズリ, ミガキ /沈線2, ミガキ, ナデ	黒褐 10YR 3/1 # #	長石, 石英, 雲母	内傾	
Fig.90-1227	IV層	縄文土器/浅鉢 口縁部片	残高 5.00	ミガキ	黄灰 2.5Y 4/1 黒 # 2/1	長石, 石英 角閃石?	内傾	外面: 赤彩
Fig.90-1228	IV層	縄文土器/浅鉢 口縁部片	残高 5.10	ミガキ	にぶい褐 7.5YR 5/3 # #	雲母, 長石, 石英	内傾	
Fig.90-1229	IV層	縄文土器/浅鉢 口縁部片	残高 3.80	ミガキ	黒 10YR 2/1 黒褐 # 3/1	石英, 長石, 雲母	内傾	

表35 1C区出土土器観察表30

挿入番号	層位	器種/器形 /部位	法量 (cm)	文様・調整 外面/内面 その他の部位	色調 内面 外面	胎土	接合	備考
Fig.90-1230	IV層	縄文土器/浅鉢 口縁部片	残高 4.00	ミガキ	黒褐 # 10YR 3/1	長石, 石英, 角閃石 雲母	内傾	
Fig.90-1231	IV層	縄文土器/浅鉢 口縁部片	残高 3.30	ミガキ/不明	灰黄褐 # 10YR 5/2	長石, 石英, 雲母 角閃石	内傾	
Fig.90-1232	IV層	縄文土器/浅鉢 口縁部片	残高 3.50	ミガキ	黄灰 # 2.5Y 4/1	石英, 長石, 雲母 角閃石	内傾	
Fig.90-1233	IV層	縄文土器/浅鉢 口縁部片	残高 3.60	ミガキ	灰黄 # 2.5Y 7/2	石英, チャート	内傾	
Fig.90-1234	IV層	縄文土器/浅鉢 口縁-胴部片	口径 23.40 残高 6.00	ミガキ	黄灰 # 2.5Y 4/1	長石, 石英, 雲母	内傾	端部: 擬口縁 内外面: タール 垂?
Fig.90-1235	IV層	縄文土器/浅鉢 口縁部片	残高 4.50	ミガキ	黒褐 # 2.5Y 3/1	長石, 石英, 雲母	内傾	端部: 擬口縁
Fig.90-1236	IV層	縄文土器/浅鉢 口縁部片	残高 3.90	ミガキ	黒褐 # 2.5Y 3/1	長石, 石英, 雲母	内傾	端部: 擬口縁 内面: タール
Fig.90-1237	IV層	縄文土器/浅鉢 口縁部片	残高 2.20	ミガキ	黄灰 # 2.5Y 4/1	長石, 石英, 角閃石 雲母	外傾	端部: 擬口縁露出 波状口縁
Fig.90-1238	IV層	縄文土器/浅鉢 口縁部片	残高 3.10	ミガキ	黄灰 # 2.5Y 6/1	長石, 石英, 雲母 角閃石	内傾	端部: 擬口縁露出
Fig.90-1239	IV層	縄文土器/浅鉢 口縁部片	残高 2.20	ミガキ	褐灰 # 10YR 4/1	石英, 長石 チャート	内傾	
Fig.90-1240	IV層	縄文土器/浅鉢 口縁部片	残高 3.50	ミガキ	灰黄褐 # 10YR 6/2	長石, 石英	?	
Fig.90-1241	IV層	縄文土器/浅鉢 口縁部片	残高 1.70	沈線 3, ナデ? / 沈線 1, ナデ (丁寧)	褐灰 # 7.5YR 4/1	長石, 石英	内傾	
Fig.90-1242	IV層	縄文土器/浅鉢 口縁部片	残高 2.80	ミガキ	灰黄褐 # 10YR 4/2	長石, 石英, 雲母	内傾	
Fig.90-1243	IV層	縄文土器/浅鉢 口縁部片	残高 1.70	ナデ, 押圧/ミガキ, 沈線状 1	黒 # 5Y 2/1	長石, 石英	?	内面沈線状: 赤彩
Fig.91-1244	IV層	縄文土器/浅鉢 口縁部片	残高 4.10	段 1, 沈線 1, ミガキ/ミガキ	灰黄褐 # 10YR 4/2	石英, 長石, 雲母 角閃石	内傾	外面: スス・タール
Fig.91-1245	IV層	縄文土器/浅鉢 口縁部片	残高 2.40	沈線 1, ミガキ/ミガキ	褐 # 7.5YR 4/3	長石, 石英, 雲母 角閃石	内傾	
Fig.91-1246	IV層	縄文土器/浅鉢 口縁部片	残高 2.70	ミガキ	灰黄褐 # 10YR 5/2	長石, 石英, 雲母	内傾?	
Fig.91-1247	IV層	縄文土器/浅鉢 口縁部片	残高 2.20	ナデ/沈線 1 (段?), ミガキ, ナデ 端面: 刻目 1	褐灰 # 7.5YR 4/1	長石, 石英, 雲母 角閃石	内傾?	
Fig.91-1248	IV層	縄文土器/浅鉢 口縁部片	残高 3.40	接合部: 段=沈線状, ミガキ/ミガキ	黒褐 # 2.5Y 3/1	長石, 石英, 雲母	内傾	
Fig.91-1249	IV層	縄文土器/浅鉢 口縁-胴部片	残高 3.60	沈線 1, ミガキ/ミガキ (暗文状)	褐灰 # 10YR 4/1	石英, 長石, 雲母 角閃石	内傾	
Fig.91-1250	IV層	縄文土器/浅鉢 口縁-胴部片	残高 6.20	ミガキ, ナデ/沈線 2, ミガキ	黒褐 # 2.5Y 3/1	石英, 長石	内傾	波状口縁・方形浅鉢? 外面: タール
Fig.91-1251	IV層	縄文土器/浅鉢 口縁部片	残高 3.30	ミガキ, ナデ (丁寧) / 沈線 2, ミガキ	黒 # 2.5Y 2/1	石英, 長石, 雲母	外傾	波状口縁・方形浅鉢? 外面: タール
Fig.91-1252	IV層	縄文土器/浅鉢 口縁部片	残高 3.40	ミガキ, ナデ/沈線 2, ミガキ	黒褐 # 10YR 3/1	長石, 石英	内傾?	波状口縁・方形浅鉢?
Fig.91-1253	IV層	縄文土器/浅鉢 口縁部片	残高 3.80	段: 沈線状, ナデ, ケズリ / 沈線 2, ナデ	灰白 # 10YR 8/1	石英, 長石	?	波状口縁・方形浅鉢? 外面: タール 胎土: 弥生化?
Fig.91-1254	IV層	縄文土器/浅鉢 口縁部片	残高 3.00	ミガキ/沈線 2, ミガキ, ナデ	黒褐 # 2.5Y 3/1	長石, 石英, 雲母	内傾	波状口縁・方形浅鉢?
Fig.91-1255	IV層	縄文土器/浅鉢 口縁部片	残高 3.80	ミガキ, ナデ/沈線 2, ミガキ	黒褐 # 10YR 3/1	石英, 長石, 雲母 角閃石	内傾	波状口縁
Fig.92-1256	IV層	縄文土器/浅鉢 胴部片	残高 5.50	沈線 1, ミガキ/ミガキ	黒褐 # 2.5Y 3/1	長石, 石英, 雲母 チャート	内傾	
Fig.92-1257	IV層	縄文土器/浅鉢 胴部片	残高 3.80	沈線 1, ミガキ/ミガキ	黒褐 # 2.5Y 3/1	長石, 石英, 雲母	内傾	
Fig.92-1258	IV層	縄文土器/浅鉢 胴部片	残高 3.60	沈線 1, ミガキ/ミガキ	灰黄褐 # 10YR 4/2	角閃石	内傾	
Fig.92-1259	IV層	縄文土器/浅鉢 胴部片	残高 2.80	沈線 1, ミガキ/ナデ	黄灰 # 2.5Y 6/3	石英, 赤色砂粒	内傾	胎土: 弥生化?
Fig.92-1260	IV層	縄文土器/浅鉢 胴部片	残高 4.30	沈線 1, ミガキ/ミガキ	にぶい黄 # 10YR	長石, チャート 雲母, 角閃石	内傾	
Fig.92-1261	IV層	縄文土器/浅鉢 胴部片	残高 3.40	段 1, ミガキ/ミガキ	黄灰 # 2.5Y 4/1	長石, 石英, 雲母	内傾	
Fig.92-1262	IV層	縄文土器/浅鉢 胴部片	残高 3.60	ミガキ	黄灰 # 2.5Y 4/1	長石, チャート 石英	?	外面: タール
Fig.92-1263	IV層	縄文土器/浅鉢 胴部片	残高 4.00	ナデ (丁寧), ナデ (粗い) / 接合部: 沈線 1, ミガキ, ナデ (丁寧)	黒褐 # 10YR 5/2	長石, 石英 チャート, 雲母	内傾	
Fig.92-1264	IV層	縄文土器/浅鉢 胴部片	残高 3.50	沈線文 (楕円?), 段? 1, ミガキ / ミガキ	黒褐 # 2.5Y 3/1	長石, 石英, 雲母 角閃石	内傾	
Fig.92-1265	IV層	縄文土器/浅鉢 胴部片	残高 2.30	沈線 2, ミガキ/ミガキ	黒褐 # 2.5Y 3/1	石英, 長石, 雲母 チャート, 角閃石	内傾	
Fig.92-1266	IV層	縄文土器/浅鉢 胴部片	残高 1.60	沈線 3, ミガキ/ミガキ	黒褐 # 10YR 4/2	長石, 石英, 雲母	内傾?	
Fig.92-1267	IV層	縄文土器/浅鉢 底部片	残高 4.00 底径 6.30	ミガキ/ミガキ, ナデ 底面: ミガキ	黒褐 # 10YR 3/1	長石, 石英, 角閃石	内傾	
Fig.92-1268	IV層	縄文土器/浅鉢 底部片	残高 1.40 底径 7.00	ミガキ/ミガキ, ナデ 底面: ミガキ	灰褐 # 7.5YR 4/2	石英, 長石, 雲母 角閃石	?	
Fig.92-1269	IV層	縄文土器/浅鉢 底部片	残高 4.40	ナデ (ケズリ状), ナデ/ナデ 底面: ナデ?	黒褐 # 10YR 3/1	石英, 長石	内傾	内外面: タール→煮炊?
Fig.92-1270	IV層	縄文土器/浅鉢 底部片	残高 3.20	ミガキ/ミガキ~ナデ (丁寧) 接合面: ミガキ, ナデ	黒 # 5Y 2/1	長石, 石英, 雲母	内傾	下端: 擬口縁 内面: タール→煮炊?
Fig.93-1271	IV層	弥生土器/鉢 口縁-胴部片	口径 22.50 残高 5.40	ハケ, ミガキ/ミガキ, 押圧	黄灰 # 2.5Y 4/1	石英, 長石, 雲母	?	
Fig.93-1272	IV層	弥生土器/鉢 口縁部片	残高 3.30	接合部: 段=沈線状, ナデ? / ミガキ, ナデ (丁寧)	灰黄褐 # 10YR 6/2	長石, 石英	外傾	外面: スス・タール

表36 1 C区出土土器観察表31

挿入番号	層位	器種・器形 /部位	法量 (cm)	文様・調整 外面/内面 その他の部位	色調 内面 外面	胎土	接合	備考	
Fig.93-1273	IV層	弥生土器/鉢 口縁~胴部片	残高 3.70	接合部:段/不明	にぶい褐 #	7.5YR 6/3	チャート, 赤色砂粒 石英, 長石	外傾	
Fig.93-1274	IV層	弥生土器/鉢 口縁~胴部片	残高 3.70	接合部:段(突出), ミガキ, ナデ /ミガキ	褐灰 #	10YR 4/1	長石, 石英, 雲母	外傾	外面:黒変?
Fig.93-1275	IV層	弥生土器/鉢 口縁~胴部片	残高 2.90	ミガキ?	灰黄 #	2.5Y 6/2	長石, 石英, 雲母	外傾	
Fig.93-1276	IV層	弥生土器/鉢 口縁~胴部片	残高 3.50	ミガキ	灰黄褐 #	10YR 6/2	長石, 石英 赤色砂粒, チャート 角閃石	外傾	外面:赤彩
Fig.93-1277	IV層	弥生土器/鉢 口縁~胴部片	残高 3.60	接合部:段, ミガキ/ミガキ	にぶい黄橙 #	10YR 7/3	石英, 長石, 雲母 角閃石, チャート	外傾	
Fig.93-1278	IV層	弥生土器/鉢 口縁部片	残高 3.60	接合部:段, ミガキ/ミガキ	灰黄 #	2.5Y 7/2	長石, 石英 赤色砂粒, 角閃石	外傾	歪?
Fig.93-1279	IV層	弥生土器/鉢 口縁部片	残高 4.10	沈線2, ミガキ, ナデ(丁寧)/ナデ	にぶい黄橙 #	10YR 7/2	石英, 長石 赤色砂粒, 雲母 角閃石	外傾	高杯?
Fig.93-1280	IV層	弥生土器/鉢 口縁部片	残高 3.30	沈線2, 沈線文(山形?), ミガキ~ナデ(丁寧), ナデ /ミガキ~ナデ(丁寧)	灰白 #	2.5Y 8/2	石英, 長石, 角閃石	外傾	歪?
Fig.93-1281	IV層	弥生土器/鉢 口縁部片	残高 2.70	ミガキ, ナデ	にぶい黄橙 #	10YR 7/2	赤色砂粒, 長石	外傾	内外面:スス・タール
Fig.93-1282	IV層	弥生土器/鉢 口縁部片	残高 3.10	ミガキ, ナデ	灰白 #	10YR 8/2	長石, 石英	外傾	
Fig.93-1283	IV層	弥生土器/鉢 口縁部片	残高 3.90	ナデ, 押圧/ミガキ, ナデ	黒褐 #	10YR 3/1	長石, 石英	?	内面:スス・タール 高杯?
Fig.93-1284	IV層	弥生土器/鉢? 口縁部片	残高 3.00	ナデ(ケズリ状)/沈線1, ナデ, 押圧	褐灰 #	10YR 4/1	長石	外傾?	
Fig.93-1285	IV層	弥生土器/鉢 口縁部片	残高 3.50	ミガキ/ナデ, 押圧	灰白 #	10YR 8/2	赤色砂粒, 長石	外傾	高杯・脚部?
Fig.94-1286	IV層	弥生土器/鉢	口径 12.30 器高 17.30 底径 7.40	橋状把手2×2, 沈線4+7, 縦沈線4, ミガキ, ナデ /ナデ 底面:不明	にぶい黄橙 #	10YR 6/3	長石, 石英 チャート	内傾	
Fig.94-1287	IV層	弥生土器/鉢 口縁部片	残高 5.00	ミガキ, 押圧/ナデ	黒褐 #	10YR 3/2	サスカイト	外傾?	外面:タール
Fig.94-1288	IV層	弥生土器/鉢 口縁部片	残高 2.70	ミガキ, ナデ /ミガキ~ナデ(丁寧), ナデ	にぶい黄橙 #	10YR 6/3	長石, 石英, 角閃石	外傾	外面:黒変?
Fig.94-1289	IV層	弥生土器/鉢 口縁部片	残高 2.90	沈線文(木葉文?), ミガキ /押圧, ナデ	褐灰 #	10YR 4/1	長石, 石英, 雲母 角閃石	内傾?	
Fig.94-1290	IV層	弥生土器/鉢? 口縁部片	残高 3.00	ミガキ, ナデ	にぶい黄橙 #	10YR 7/3	石英, 長石	外傾	内外面:スス・タール
Fig.94-1291	IV層	弥生土器/鉢 口縁部片	残高 3.10	外端刻目, 沈線2, 縦沈線4, ナデ /内端刻目, 沈線3+2, ナデ 端面:沈線1 波頂部端面:刻目1	にぶい赤褐 #	5YR 5/4	石英, 長石	外傾	波状口縁 大洞横断面?
Fig.94-1292	IV層	弥生土器/鉢 口縁~胴部片	残高 6.40	ナデ, ケズリ, 押圧 /内端刻目, 沈線3, ナデ	灰白 #	10YR 8/1	赤色砂粒, 長石	外傾	波状口縁
Fig.94-1293	IV層	弥生土器/鉢 胴部片	残高 5.70	ミガキ~ナデ(丁寧), ナデ /沈線3, ナデ	灰白 #	2.5Y 8/2	チャート, 赤色砂粒	?	波状口縁
Fig.94-1294	IV層	弥生土器/鉢 口縁~胴部片	残高 6.80	ミガキ, ナデ/沈線3, ミガキ, ナデ	灰黄 #	2.5Y 4/1	石英, 長石, 雲母 角閃石	外傾	波状口縁 外面:黒変 1295と同一個体?
Fig.94-1295	IV層	弥生土器/鉢 口縁~胴部片	残高 8.60	ミガキ~ナデ(丁寧) /沈線3, ミガキ, 押圧, ナデ	暗灰 #	N 3/	石英, 長石, 雲母	外傾	波状口縁 1294と同一個体?
Fig.94-1296	IV層	弥生土器/鉢? 口縁部片	残高 4.10	沈線2, 木葉文?, ミガキ~ナデ(丁寧), 押圧 /ナデ?	灰黄 #	2.5Y 6/2	石英, 長石 赤色砂粒	?	波状口縁 傾き不明
Fig.94-1297	IV層	弥生土器/鉢? 胴部片	残高 2.20	段・肥厚, ミガキ/ミガキ	灰黄褐 #	10YR 6/2	長石, 石英	?	
Fig.94-1298	IV層	弥生土器/鉢? 底部片	残高 3.10 底径 5.50	沈線4, ミガキ~ナデ(丁寧), 押圧 /押圧, ナデ 底面:不明	にぶい黄橙 #	10YR 7/4	長石, チャート 赤色砂粒, 石英 角閃石	?	
Fig.95-1299	IV層	弥生土器/高杯 口縁~胴部片	残高 4.40	ミガキ, ナデ/ミガキ~ナデ(丁寧)	にぶい黄橙 #	10YR 7/3	赤色砂粒, 石英	外傾	
Fig.95-1300	IV層	弥生土器/高杯 口縁~胴部片	残高 3.70	ナデ 端面:刻目?	にぶい橙 #	7.5YR 7/4	赤色砂粒, チャート	外傾	
Fig.95-1301	IV層	弥生土器/高杯 胴部片	残高 7.00	ミガキ/ナデ, 押圧	にぶい黄橙 #	10YR 7/3	石英, 長石	外傾	
Fig.95-1302	IV層	弥生土器/高杯 胴部片	残高 6.30	ミガキ	灰黄 #	2.5Y 7/2	石英, 長石, 雲母 角閃石	外傾	外面:赤彩
Fig.95-1303	IV層	弥生土器/高杯? 杯部片	残高 4.00	ミガキ, ナデ(丁寧) /ミガキ~ナデ(丁寧)	灰黄褐 #	10YR 6/2	長石, 石英 赤色砂粒, 角閃石	?	外面:スス・タール
Fig.95-1304	IV層	弥生土器/高杯 胴部片	残高 3.90 胴径 6.10	押圧, ナデ/ナデ 底面:押圧, ナデ	にぶい黄橙 #	10YR 6/3	赤色砂粒, 石英	?	杯部:擬口縁露出
Fig.95-1305	IV層	弥生土器/高杯 脚部片	残高 6.10	ミガキ	灰白 #	8/1	長石, 角閃石	?	
Fig.95-1306	IV層	弥生土器/高杯 脚部片	残高 4.30	ミガキ~ナデ(丁寧), ナデ /ナデ?, 絞目?	浅黄橙 #	10YR 8/3	赤色砂粒, チャート	内傾 倒立?	
Fig.95-1307	IV層	弥生土器/高杯 脚部片	残高 2.80	ミガキ~ナデ(丁寧), ナデ /ナデ, 押圧	橙 #	5YR 7/6	長石, 赤色砂粒 石英	内傾 倒立?	内外面:スス・タール
Fig.95-1308	IV層	弥生土器/高杯? 脚部片	残高 5.30 底径 6.90	接合部:段1, ナデ, ミガキ, 押圧 /ナデ, 押圧	橙 #	5YR 6/6	長石, 赤色砂粒	外傾	
Fig.95-1309	IV層	弥生土器/蓋 蓋部片	残高 5.30	ミガキ	にぶい褐 #	7.5YR 6/3	石英, 長石	内傾 倒立?	内面:スス・タール
Fig.95-1310	IV層	弥生土器/蓋 胴部片	残高 3.20	沈線1, ナデ/ナデ?	にぶい黄橙 #	10YR 5/3	石英, 長石 赤色砂粒, チャート	内傾?	高杯・脚部片? 下端:擬口縁露出 外面:黒変

### (3) 1D区

#### 1. 調査区の概要

本調査区は、第1調査区の南端に位置し、調査前の現況は水分の多い水田であった。耕作土下には、今日までその機能を十分果たす竹材を利用した排水用暗渠が随所に埋設されており、その下層には灰色粘土やシルトが厚く堆積する。調査区の北方には、粘土化していない埋没低丘陵が存在しており、本調査区は概ね低地平坦部における湿地帯の様相を呈している。平成8年度の第1次調査においては、木製品の集中出土地点が確認されている。今次本調査において、北半部では遺構は検出されず出土遺物も僅少であるが、南半部においては弥生時代～古代にわたって重複する自然流路が検出され、搬入土器をはじめ木製品などの遺物が良好な状態で出土している。生活の痕跡が確認されなかったことや、自然流路以外には遺構が確認できなかったことなどから、低湿地帯における自然流路としての位置付けができよう。

#### 2. 調査の方法

- (1) 耕作土及び、遺物包含層上層までは重機を用いて掘削し、遺物包含層は土層観察と併行して重機及び人力で掘削する。
- (2) 公共座標に基づく4 m四方のグリッドを設定し、人力で遺物包含層の掘削及び遺構検出を行う。
- (3) 遺物出土状況及び遺構検出状況に応じて、調査区を「北半部」と「南半部」とに二分する。
- (4) 「北半部」においては遺構は検出されず、遺物も僅少であったことから、確認トレンチを設定し、最終確認の掘削を人力で行う。
- (5) 検出された遺構は人力で掘削し、状況に応じて写真撮影を行い、断面図・平面図・遺物出土状況図を作成する。
- (6) 遺構トレンチ内下層において面的な広がりが見込まれたため、下層の掘削を重機及び人力で行う。
- (7) 最終確認のためのトレンチを設定し、人力で掘削を行う。

#### 3. 層序 (Fig.97・98)

本調査区において確認された層序は、第Ⅰ層：表土、第Ⅱ層：黒褐色土、第Ⅲ層：黒褐色土（小礫・橙色ブロック混）、第Ⅳ層：黒褐色土（黄褐色ブロック混）、第Ⅴ層：灰色土、第Ⅵ層：黒褐色土、第Ⅶ層：灰色土、第Ⅷ層：灰色土、第Ⅸ層：暗緑灰色土、第Ⅹ層：灰色土、第Ⅺ層：黒褐色土（植物繊維・木細片を含む）、第Ⅻ層：灰色土（炭化物少量含む）、第Ⅼ層：灰色土、第Ⅽ層：黒褐色土、第Ⅾ層：灰色土、第ⅰ層：黒褐色土である。第Ⅰ層の表土層は現在の耕作土であり、第Ⅱ層以下は自然堆積層である。上層部はシルト質であるが、下層にいくにつれて粘土質が強くなり、湿地の様相を呈している。遺物包含層は第Ⅳ層であり、第Ⅴ層において遺構が検出された。「北半部」における遺物包含層は便宜上付した第Ⅲa-1層であり、第Ⅳ

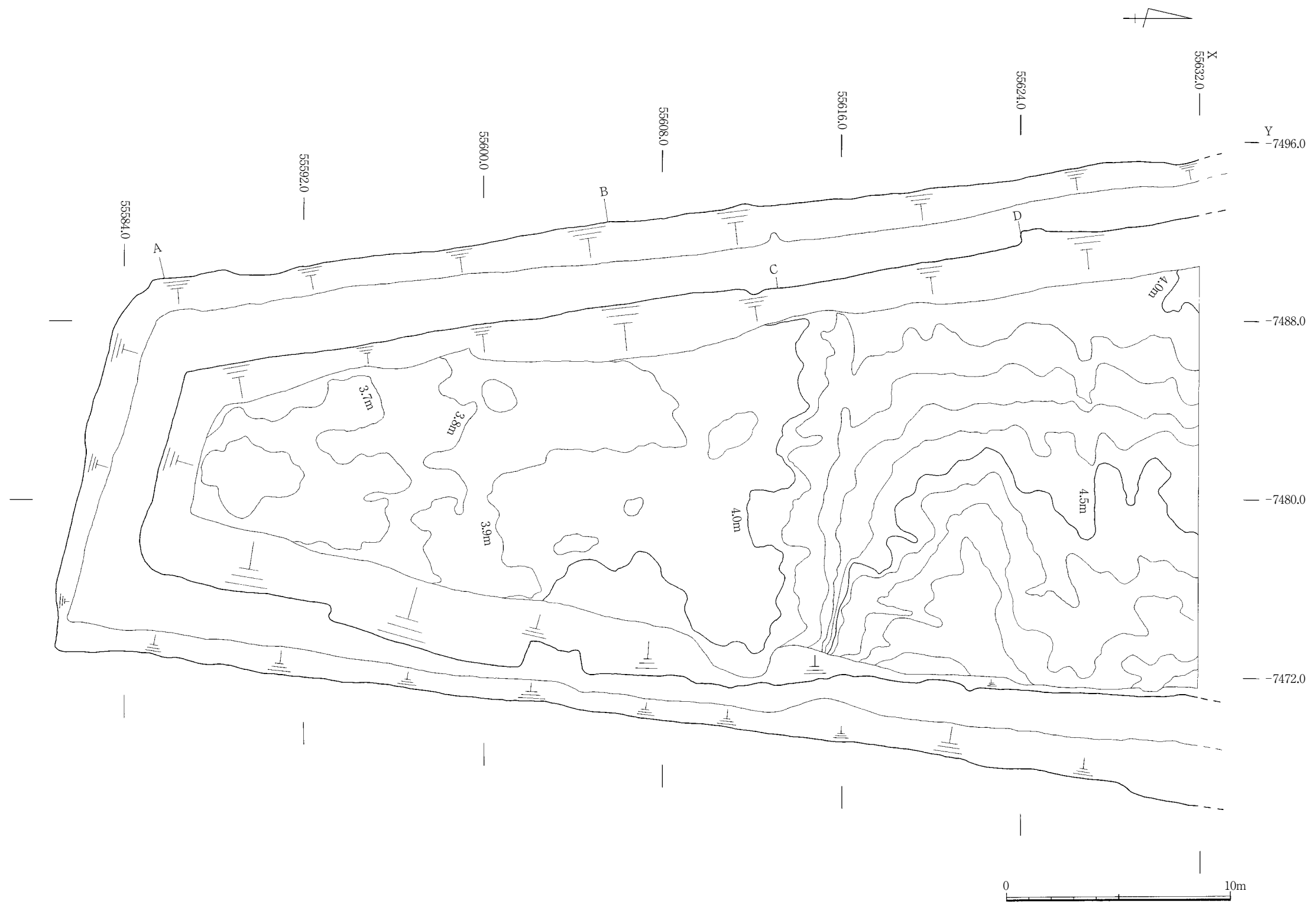
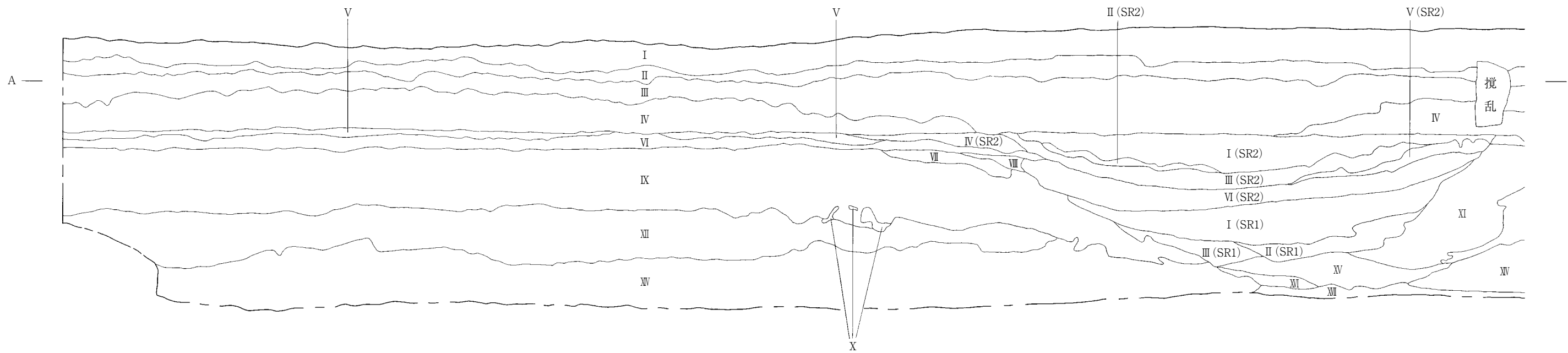


Fig.96 1D区全体図 (S : 1/200)

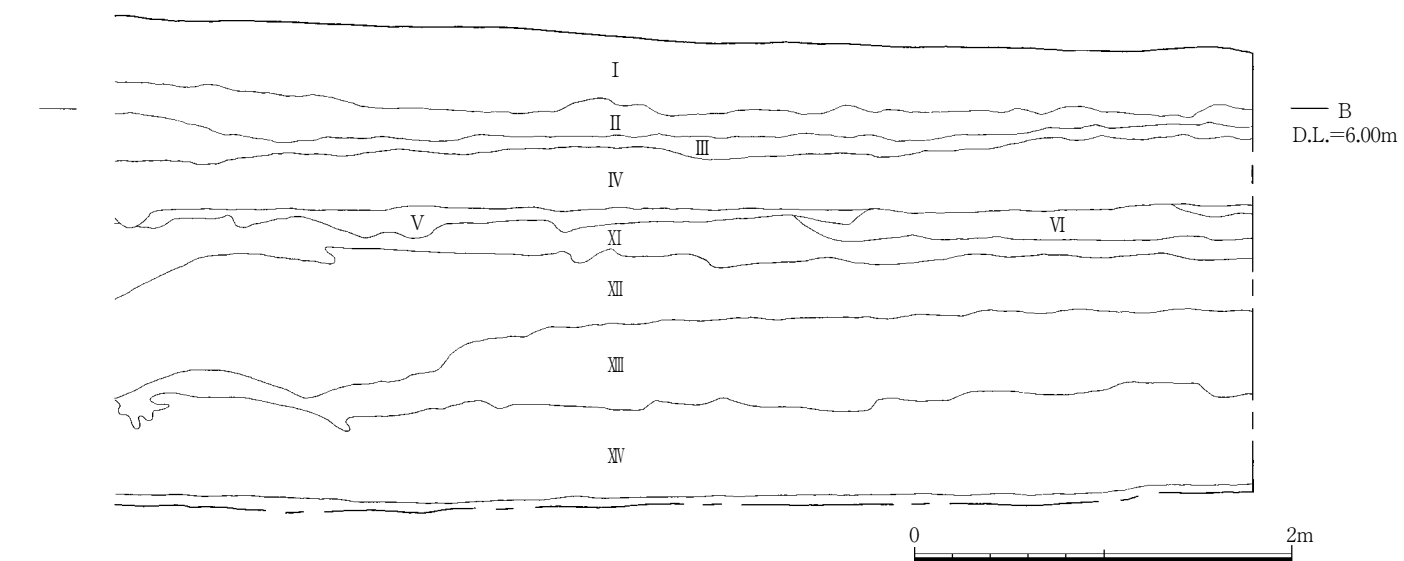






- |            |                    |               |                       |
|------------|--------------------|---------------|-----------------------|
| 第I層：黄褐色土   | 耕作土。               | 第IX層：暗緑灰色土    |                       |
| 第II層：黒褐色土  | 鉄分の沈着がみられる。        | 第X層：灰色土       |                       |
| 第III層：黒褐色土 | 小礫・橙色ブロックが混入する。    | 第XI層：黒褐色土     | 植物繊維・細かい木片を含む。        |
| 第IV層：黒褐色土  | 黄褐色ブロックが混入する。      | 第XII層：灰色土     | 少量の炭化物を含む。            |
| 第V層：灰色土    |                    | 第XIII層：灰色土    |                       |
| 第VI層：黄灰色土  |                    | 第XIV層：黒褐色土    |                       |
| 第VII層：灰色土  |                    | 第XV層：灰色土      | 植物繊維・炭化物を含む。          |
| 第VIII層：灰色土 |                    | 第XVI層：黒褐色土    | 少量の炭化物を含む。            |
|            |                    | 第XVII層：黒褐色土   |                       |
| SR1        |                    | SR2           |                       |
| 第I層：黒褐色土   | 植物繊維・炭化物・木片を含む。    | 第I層：黒褐色土      | 炭化物を少量含む。灰色粘土塊が混入する。  |
| 第II層：灰色土   | 植物繊維・炭化物・多量の木片を含む。 | 第II層：黒褐色土     | 炭化物を少量含む。多量の腐植土が混入する。 |
| 第III層：黄灰色土 | 植物繊維・炭化物・木片を含む。    | 第III層：オリーブ黒色土 | 植物繊維・腐植土が混入する。        |
|            |                    | 第IV層：黄灰色土     |                       |
|            |                    | 第V層：褐灰色土      |                       |
|            |                    | 第VI層：オリーブ黒色土  |                       |

Fig.97 1D区南半部西壁土層断面図 (S: 1/40)



- |               |                 |                |                         |
|---------------|-----------------|----------------|-------------------------|
| 第IIIa-1層：黒色土  | 炭化物を多く含む。粘性が強い。 | 第IIIb層：灰色土     | 木片・炭化物を少量含む。鉄分の凝固箇所がある。 |
| 第IIIa-2層：黄灰色土 | 木片を少量含む。        | 第IIIc層：オリーブ灰色土 | 混入物無し。                  |

Fig.98 1D区北半部西壁土層断面図 (S: 1/40)



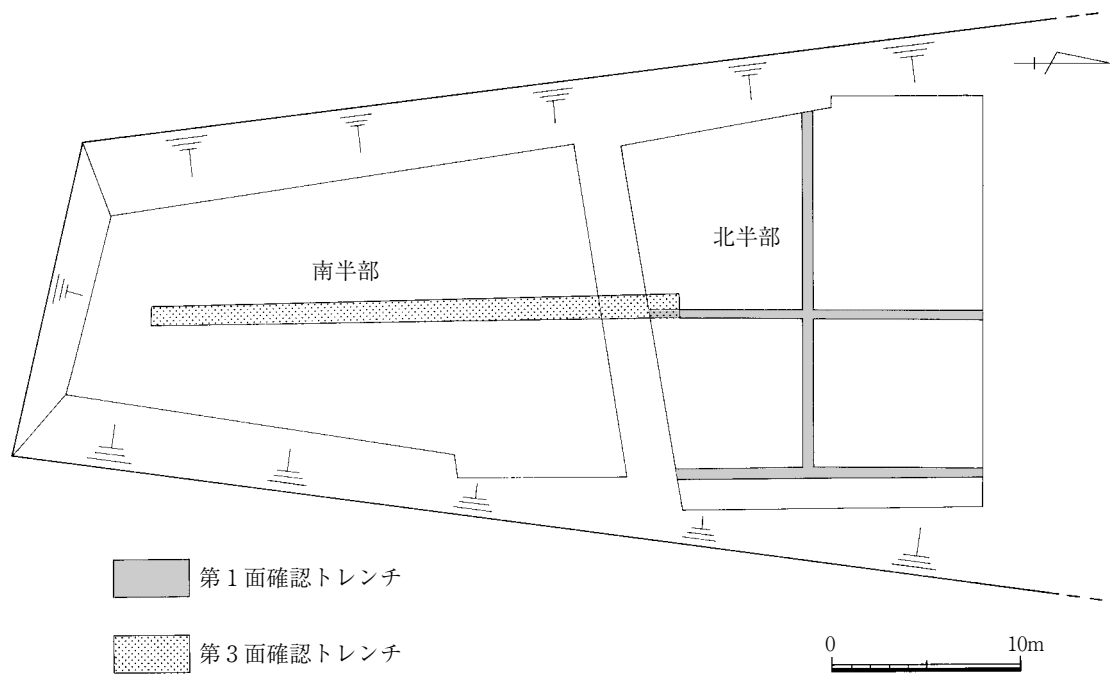


Fig.99 1D区区割り及び確認トレンチ位置図 (S:1/400)

層に対応する。「南半部」で確認された第Ⅻ層を細分した第Ⅲb層・Ⅲc層においても遺物の出土が確認されているが、少量であることから混入であろう。また、第Ⅻ層においても少量の遺物が確認されているが、何れも明確な遺物包含層としては位置付け難い。

#### 4. 遺構

遺構は、調査区南半部において遺物包含層であるⅣ層掘削後、Ⅴ層上面において奈良時代から平安時代にかけてのものとみられる自然流路が検出され、その下面に重複する弥生時代後期終末～古墳時代初頭の自然流路が確認できた。

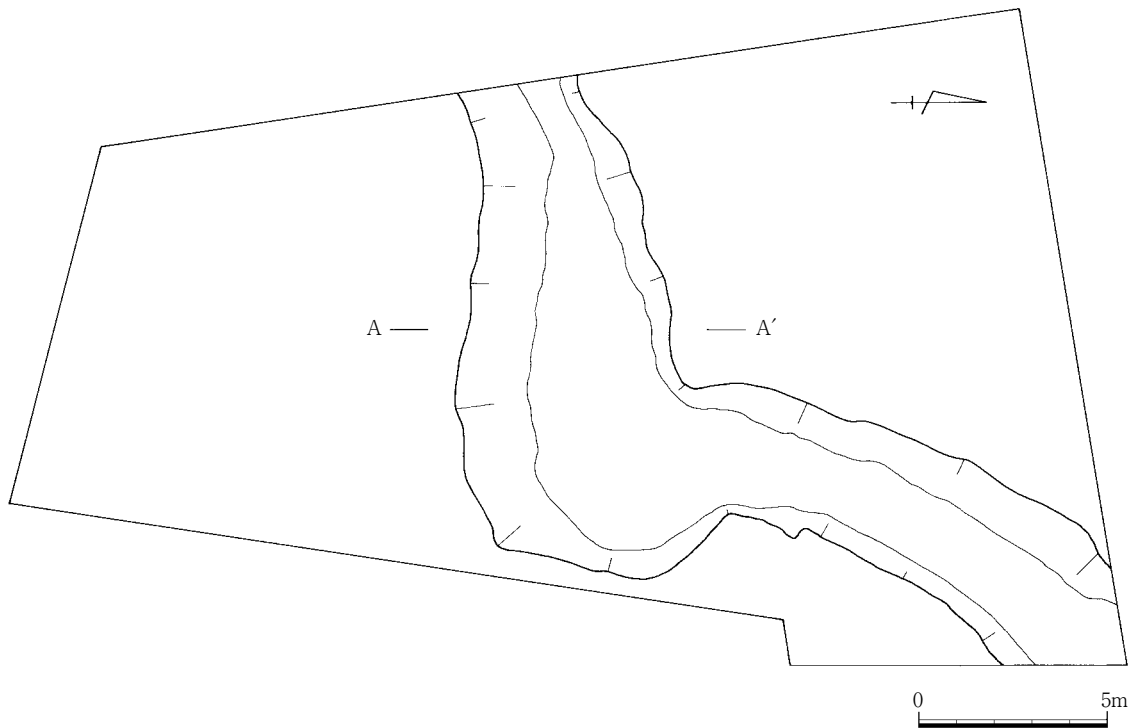


Fig.100 1 D区 S R 1 平面図 (S : 1/200)

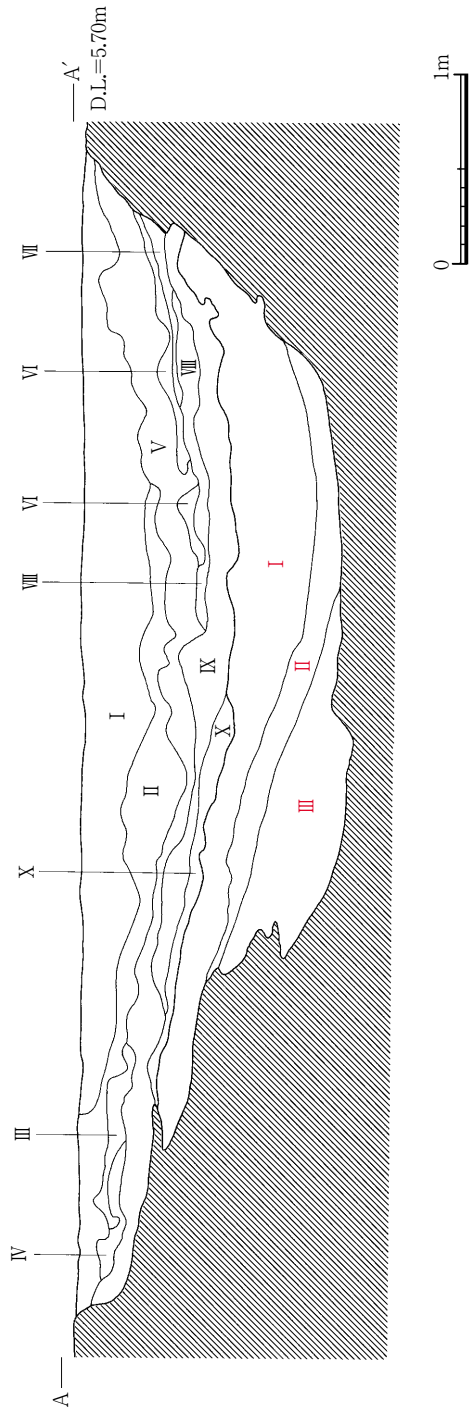
### (1) 弥生時代後期終末～古墳時代初頭の遺構

当該期の検出遺構は、自然流路1本である。

S R 1 (Fig.100・101)

調査区のはほぼ中央部、北東壁から緩やかに蛇行して西壁に達する形で検出されたSR2のトレンチ断面において確認されたものである。上部はSR2に切られており、SR1の明確な遺構検出面としては確認できない。規模は幅3～4m、深さ約60cm、確認延長約22mであり、西から東方向へ流れていたものとみられる。蛇行部では浸食されて幅が広がる。断面は、全体的に舟底形である。埋土は、第I～第III層からなっており、炭化物・植物繊維・木片等を含むシルトが主体である。

出土遺物は弥生土器17点、古式土師器151点、土師器10点、石器1点、木製品7点、骨片、二枚貝等であり、弥生土器2点、古式土師器9点、土師器4点、石器1点、木製品7点を図示した。(Fig.103・104・105・106・107)



**SR1**

- 第I層：灰色土
- 第II層：灰色土 (木片・骨片等の有機物を多量に含む)
- 第III層：オリープ黒色土 (木片・骨片等の有機物を多量に含む)

**SR2**

- 第I層：黒褐色土 (木片・骨片等の有機物を少量含む)
- 第II層：灰色土 (木片・骨片等を多く含む, 炭化物を含む。黒い腐植土の塊が混入して斑状である)
- 第III層：灰色土 (木片を少量含む。灰色土が混入し, 斑状である)
- 第IV層：オリープ黒色土 (木片等の有機物を多量に含む)
- 第V層：オリープ黒色土 (木片・炭化物・骨片等を多量に含む)
- 第VI層：黒色土 (腐植土・木片等を多量に含む)
- 第VII層：オリープ黒色土 (木片等を多量に含む)
- 第VIII層：灰オリープ色土 (木片・骨片等の有機物を少量含む)
- 第IX層：オリープ黒色土 (木片・骨片等を少量含む)
- 第X層：オリープ黒色土 (木片・骨片等が下部に集中する)

Fig.101 1D区SR1・SR2土層断面図 (S:1/40)

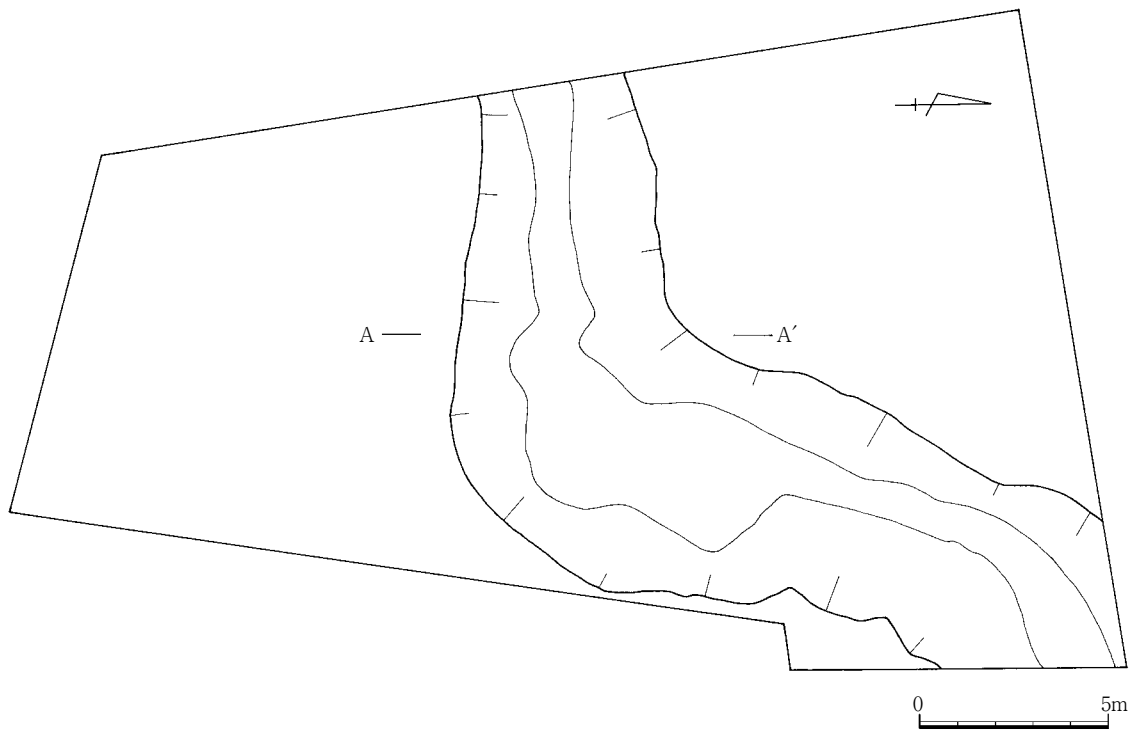


Fig.102 1D区SR2平面図 (S : 1/200)

## (2) 層上面(奈良時代～平安時代)検出の遺構

当該期の検出遺構は、自然流路1本である。

SR2 (Fig.101・102)

調査区のはほぼ中央部、北東壁から緩やかに蛇行して西壁に達する形でV層の灰色土層より流木片の散在とともに検出された。規模は幅4～7m、深さ60～80cm、確認延長約22mであり、蛇行部では浸食されて幅がやや広がる。流路方向・断面等は下部のSR1と同様である。埋土は、第I層～第X層からなっており、木片や腐植物等の有機物を含むシルトが主体である。

出土遺物は土師器9点、木製品9点、骨片等であり、土師器2点、木製品9点を図示した。(Fig.106・108・109)

## 5. 遺物

遺物は、調査区南半部で確認された重複する各遺構と第IV層、北半部の第IIIc層、第IIIb層、第IIIa層、第II層の各層から出土した。



Fig.103 1D区SR1遺物(木製品)出土状況図(S:1/40)





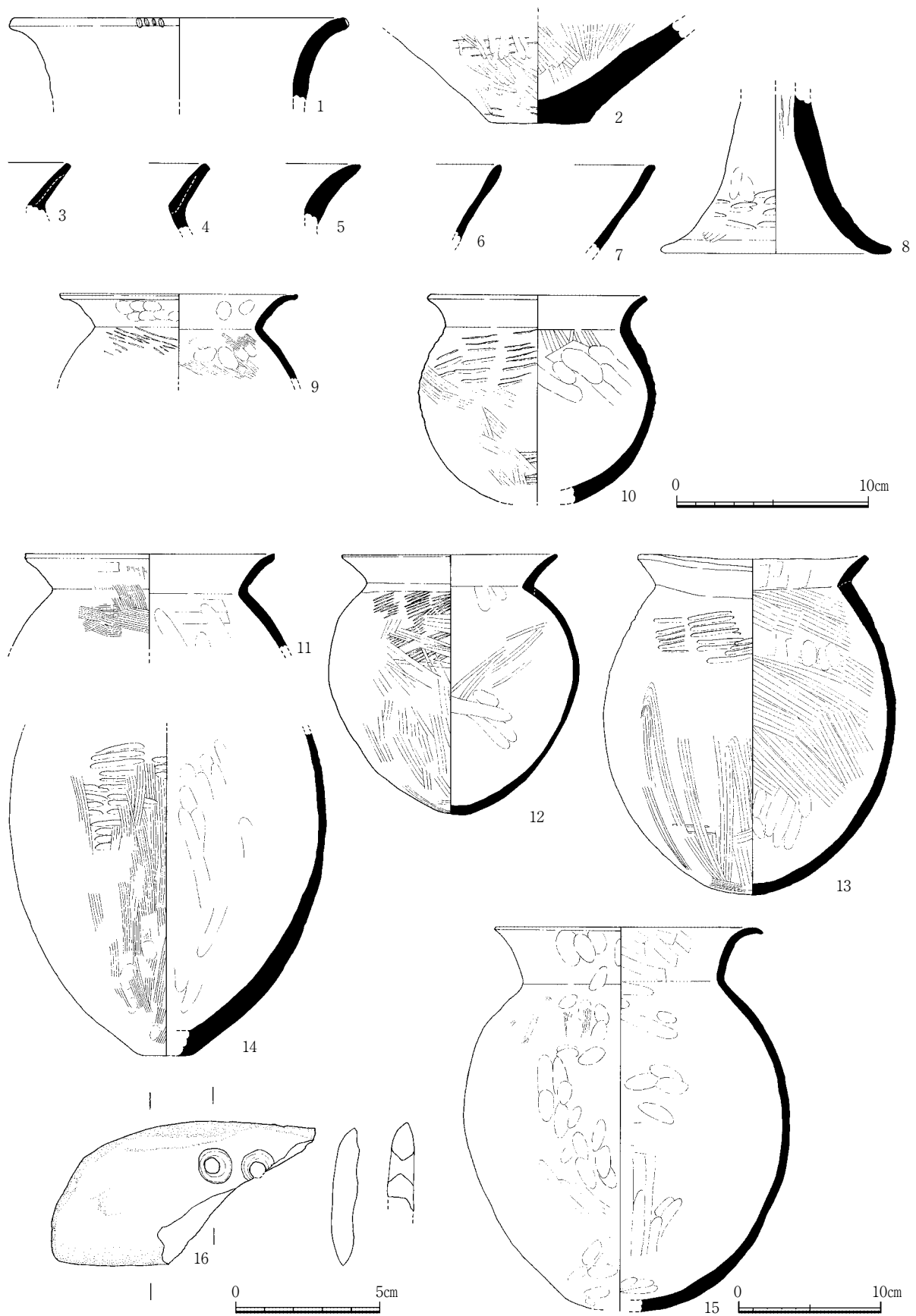


Fig.104 1D区SR1出土遺物(土器・石器)

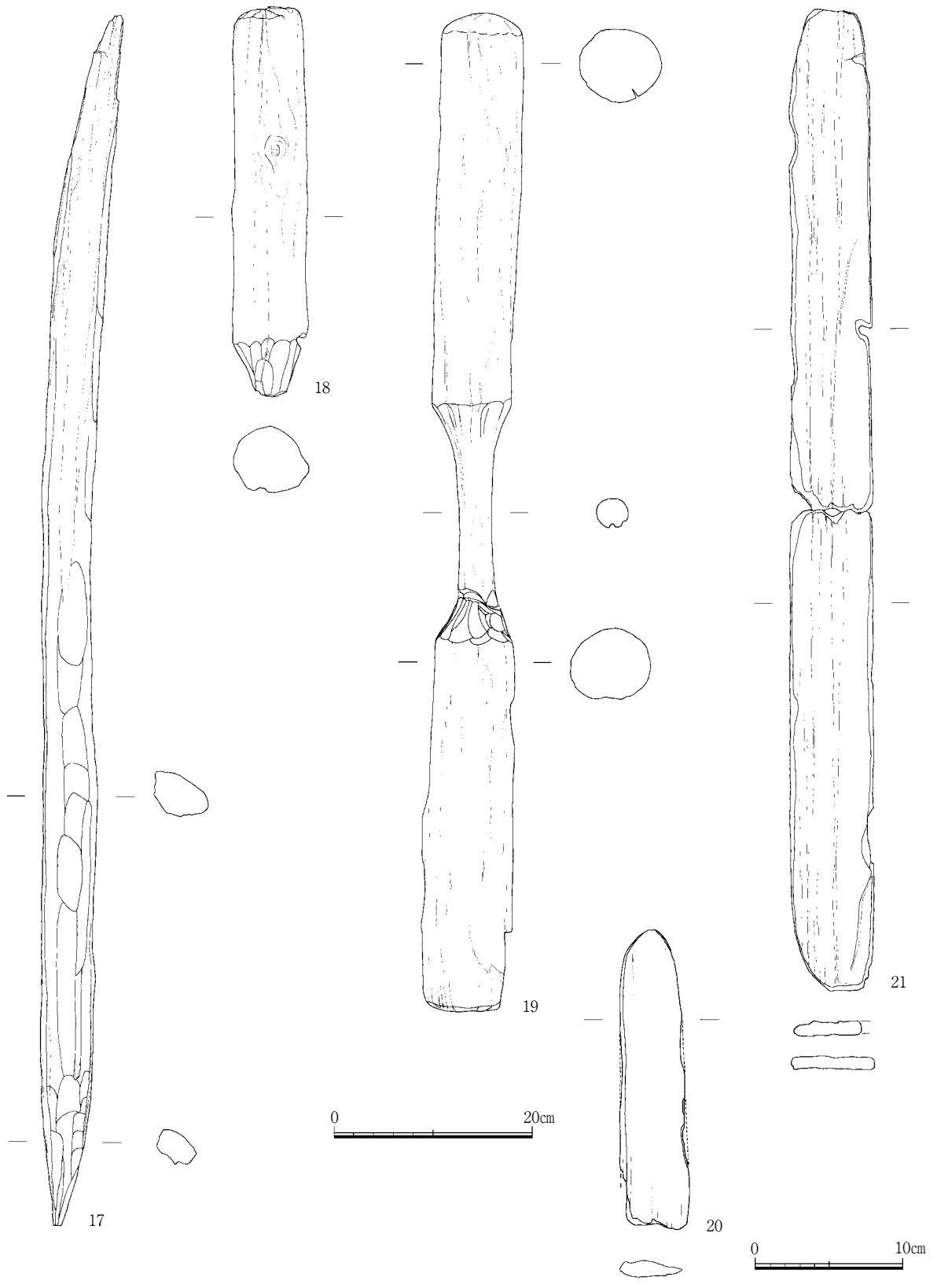


Fig.105 1D区SR1出土遺物（木製品）

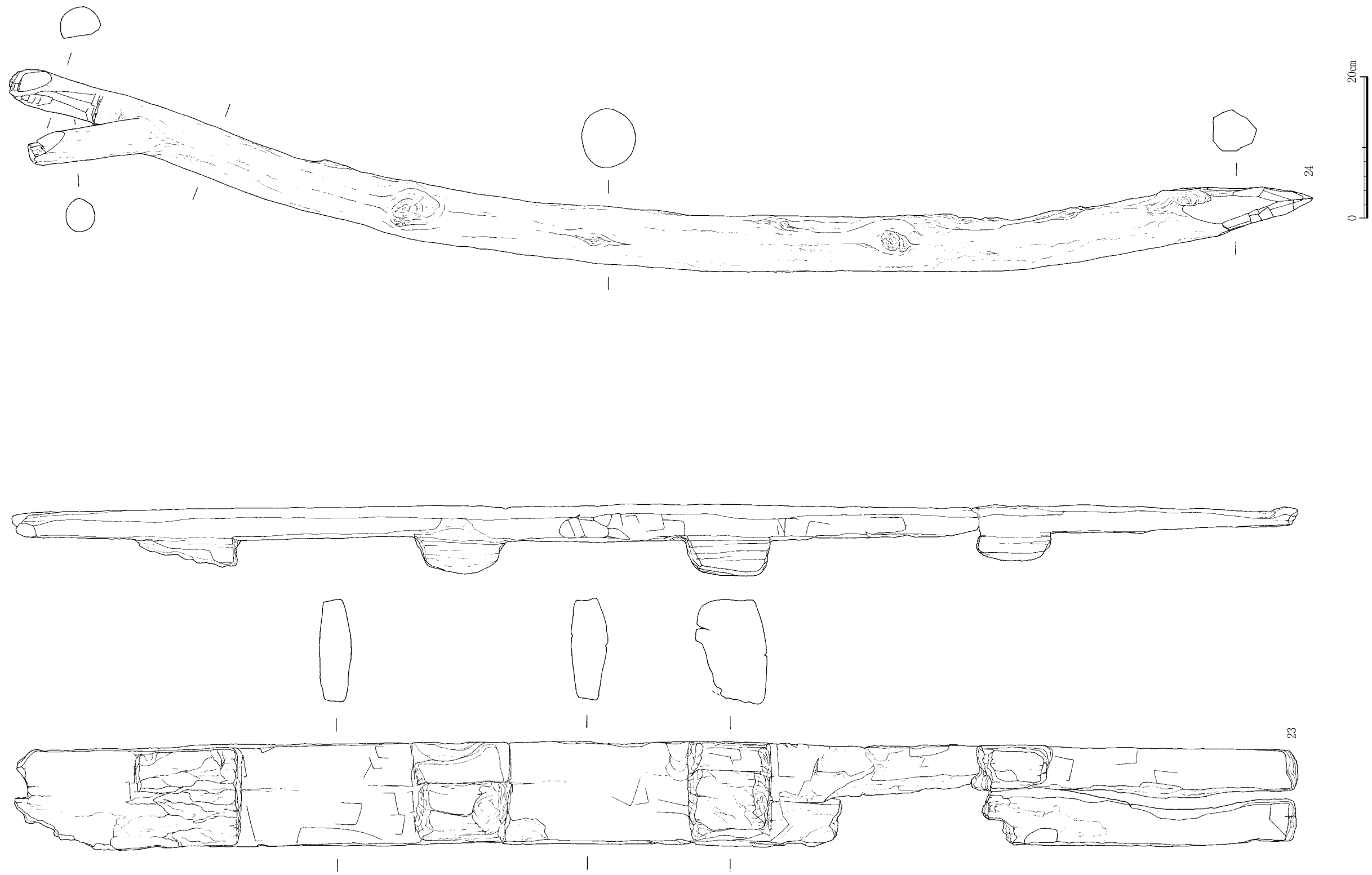


Fig.106 1D区SR1・SR2出土遺物(木製品)



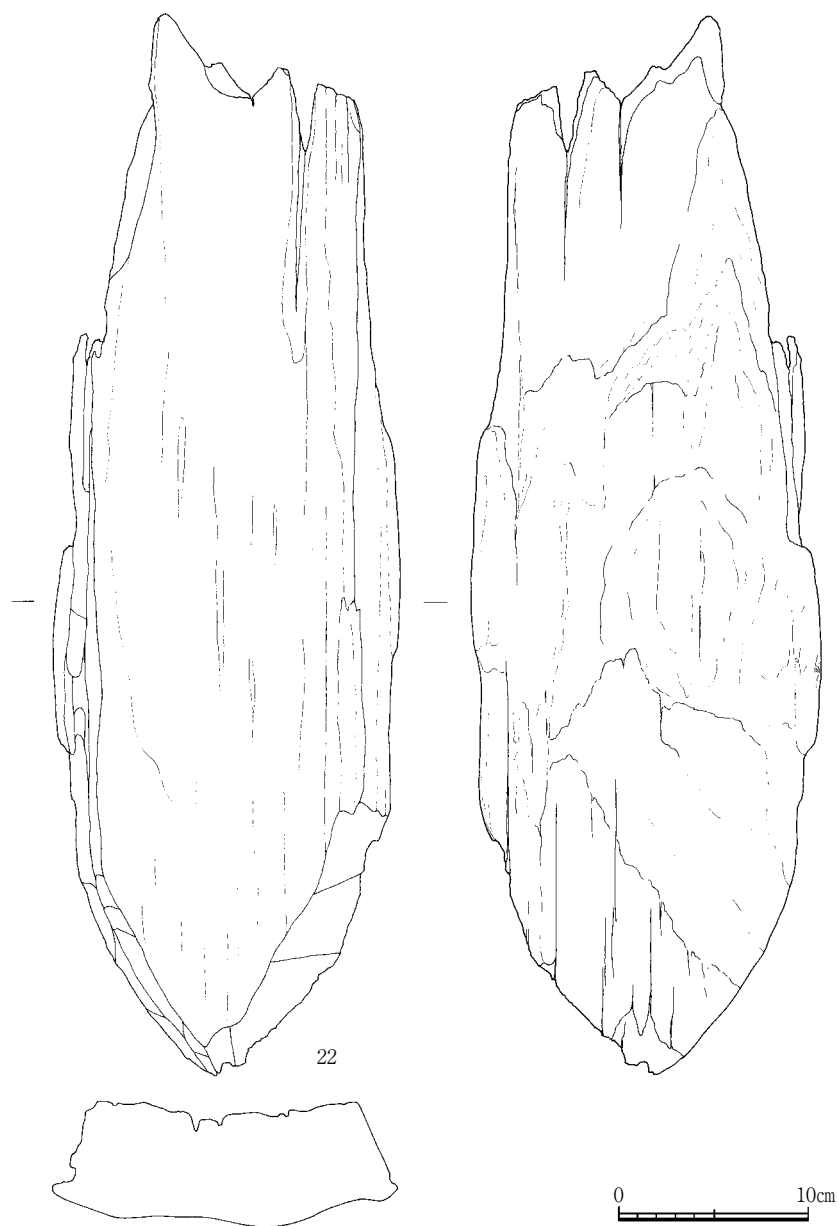


Fig.107 1 D区 S R 1 出土遺物 (木製品)

### (1) 遺構出土遺物

#### ① S R 1 出土遺物 (Fig.103・104・105・106・107)

1・2は混入の弥生前期土器である。1は甕・口縁部であり、2は壺・底部である。3・4は古式土師器甕口縁部である。5は土師器甕口縁部である。6・7は土師器鉢口縁部である。8は高坏・脚部である。9～15は古式土師器甕であり、12は搬入の庄内式である。16は磨製石包丁である。17～23は木製品である。17は杭である。18・19は竖杵である。20・21は用途不明品である。22は舟形である。23は一木梯子である。

②V層上面（奈良時代～平安時代）検出遺構の出土遺物

S R 2 出土遺物 (Fig.106・108・109)

25は皿である。26は混入の高坏である。24・27～34は木製品である。24は二股状杭である。27は用途不明品である。28は荷札状木製品である。29・30は円形容器である。31～34は用途不明品である。

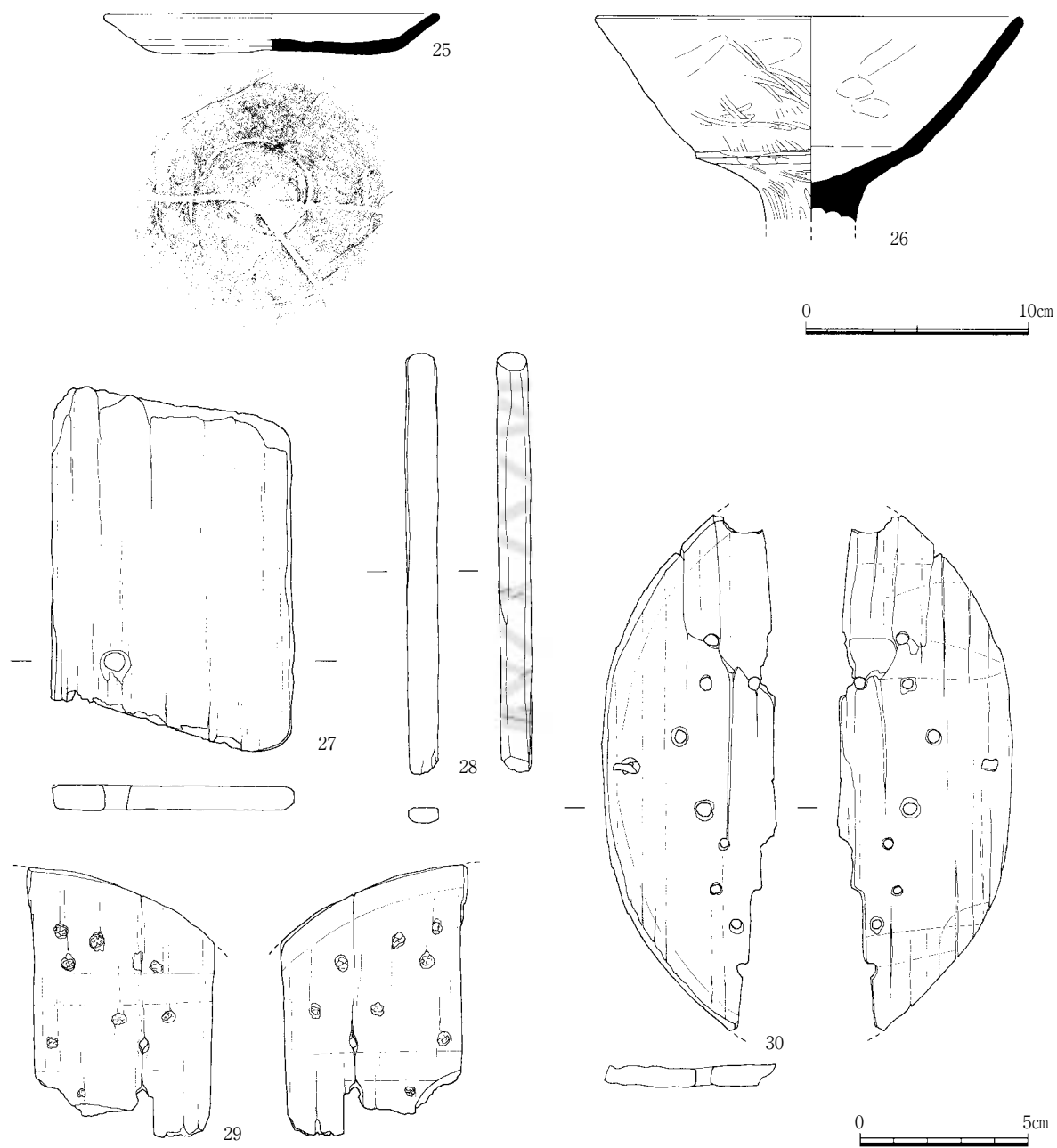


Fig.108 1D区 S R 2 出土遺物 (土器・木製品)

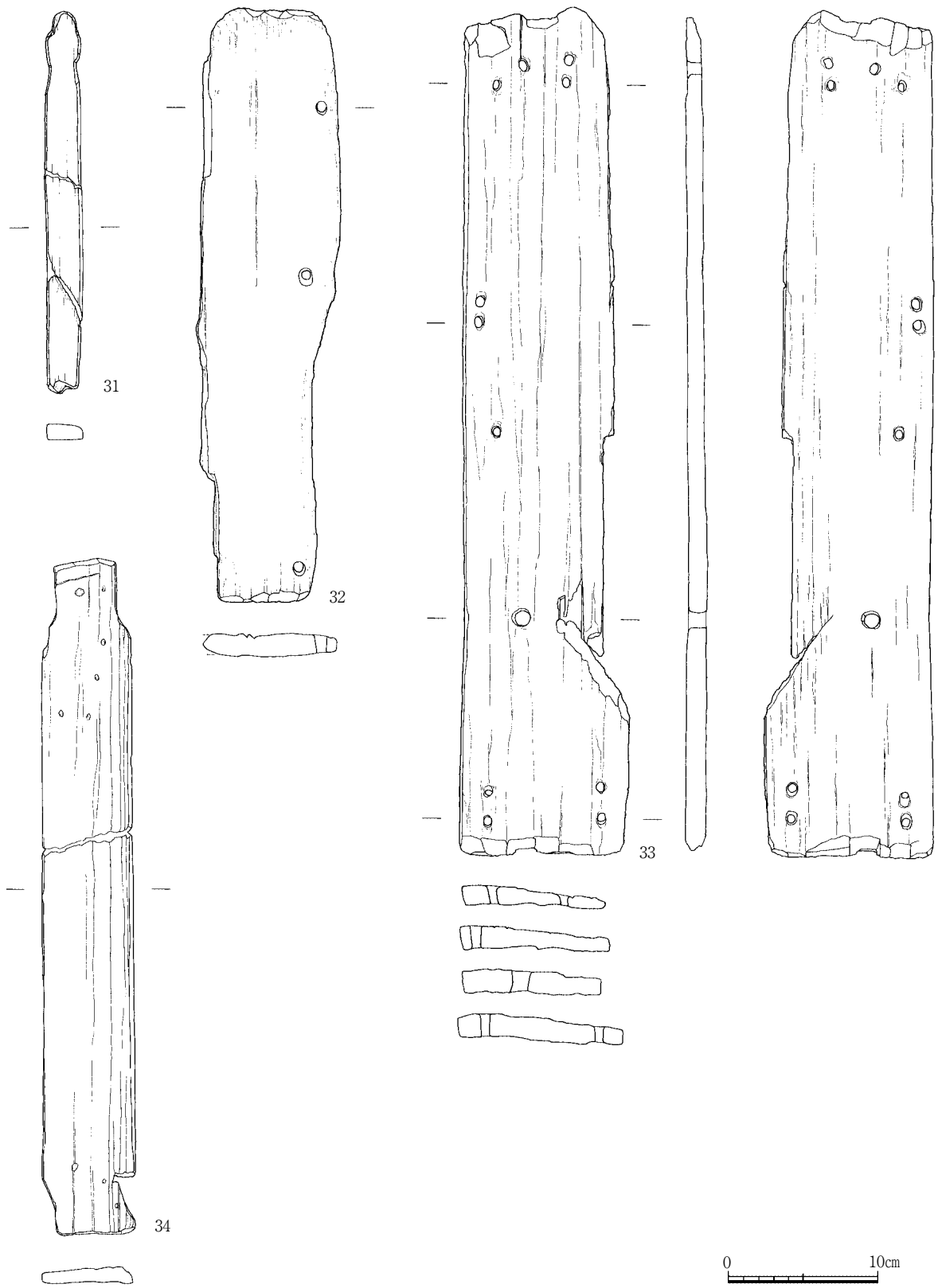


Fig.109 1D区SR2出土遺物(木製品)

## (2) 包含層他出土遺物

### ①土器

#### XIV層出土土器

出土土器の総点数は縄文土器13点、弥生土器2点、それに土師器16点であるが、図示できるものはない。

#### Ⅲc層出土土器 (Fig. 110)

出土土器の総点数は縄文土器2点、弥生土器7点であり、弥生土器1点を図示した。

35は甕・底部である。

#### Ⅲb層出土土器 (Fig. 111)

出土土器の総点数は縄文土器1点、土師器3点、須恵器1点、土師質土器2点であり、縄文土器1点を図示した。

36は深鉢・口縁部である。

#### Ⅲa層出土土器 (Fig. 112)

出土土器の総点数は縄文土器1点、土師器6点、須恵器2点であり、須恵器1点、土師器1点の合計2点を図示した。

37は須恵器坏である。38は土師器坏である。

### ②石器

#### Ⅲc層出土石器 (Fig. 113)

出土石器は1点であり、図示した。

39は石鏃である。

### ③木製品

#### Ⅲb層出土木製品 (Fig. 114)

出土木製品の総点数2点を図示した。

40は用途不明品である。41は円形容器である。

#### Ⅲa層出土木製品 (Fig. 115)

出土木製品の総点数5点を図示した。

42・43は円形容器である。44は楔か。

45・46は用途不明品である。

#### Ⅱ層出土木製品 (Fig. 116)

出土木製品の総点数2点を図示した。

47は田下駄である。48は杭である。

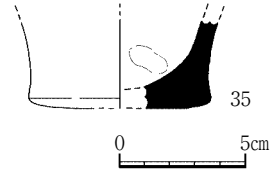


Fig.110 1D区Ⅲc層出土遺物(土器)

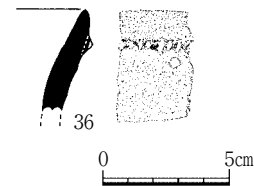


Fig.111 1D区Ⅲb層出土遺物(土器)

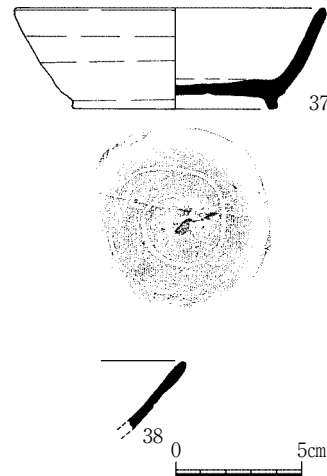


Fig.112 1D区Ⅲa層出土遺物(土器)

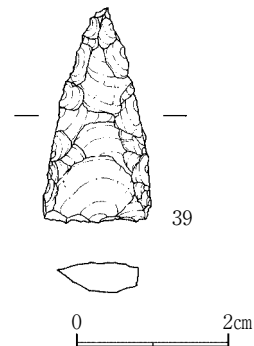


Fig.113 1D区Ⅲc層出土遺物(石器)



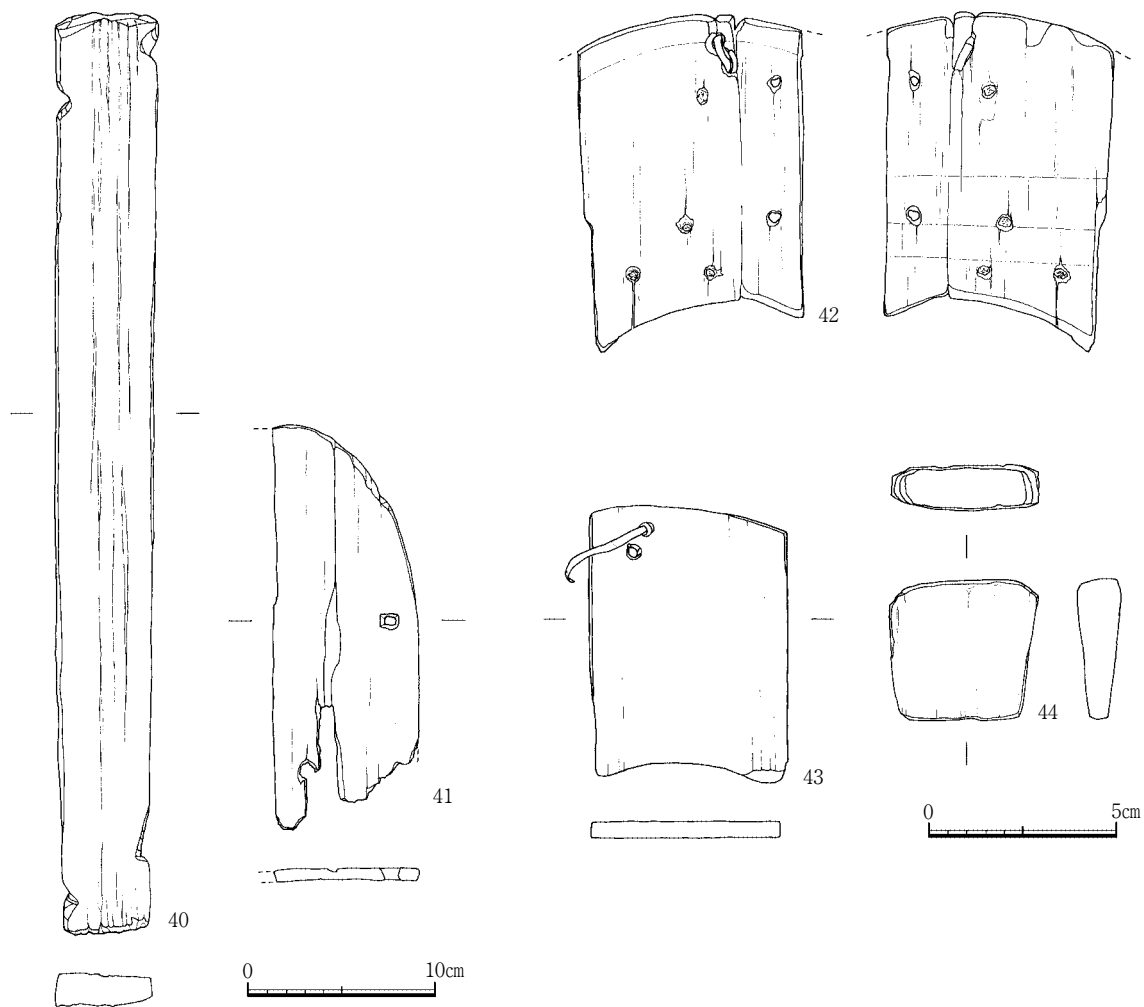


Fig.114 1D区Ⅲb層出土遺物（木製品）

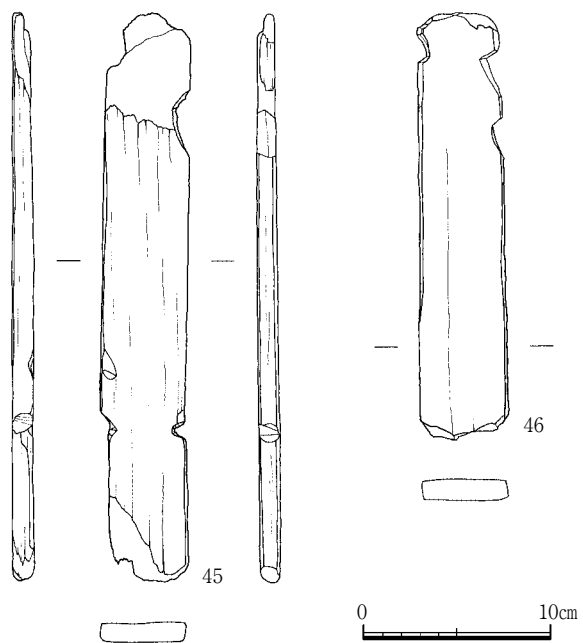


Fig.115 1D区Ⅲa層出土遺物（木製品）

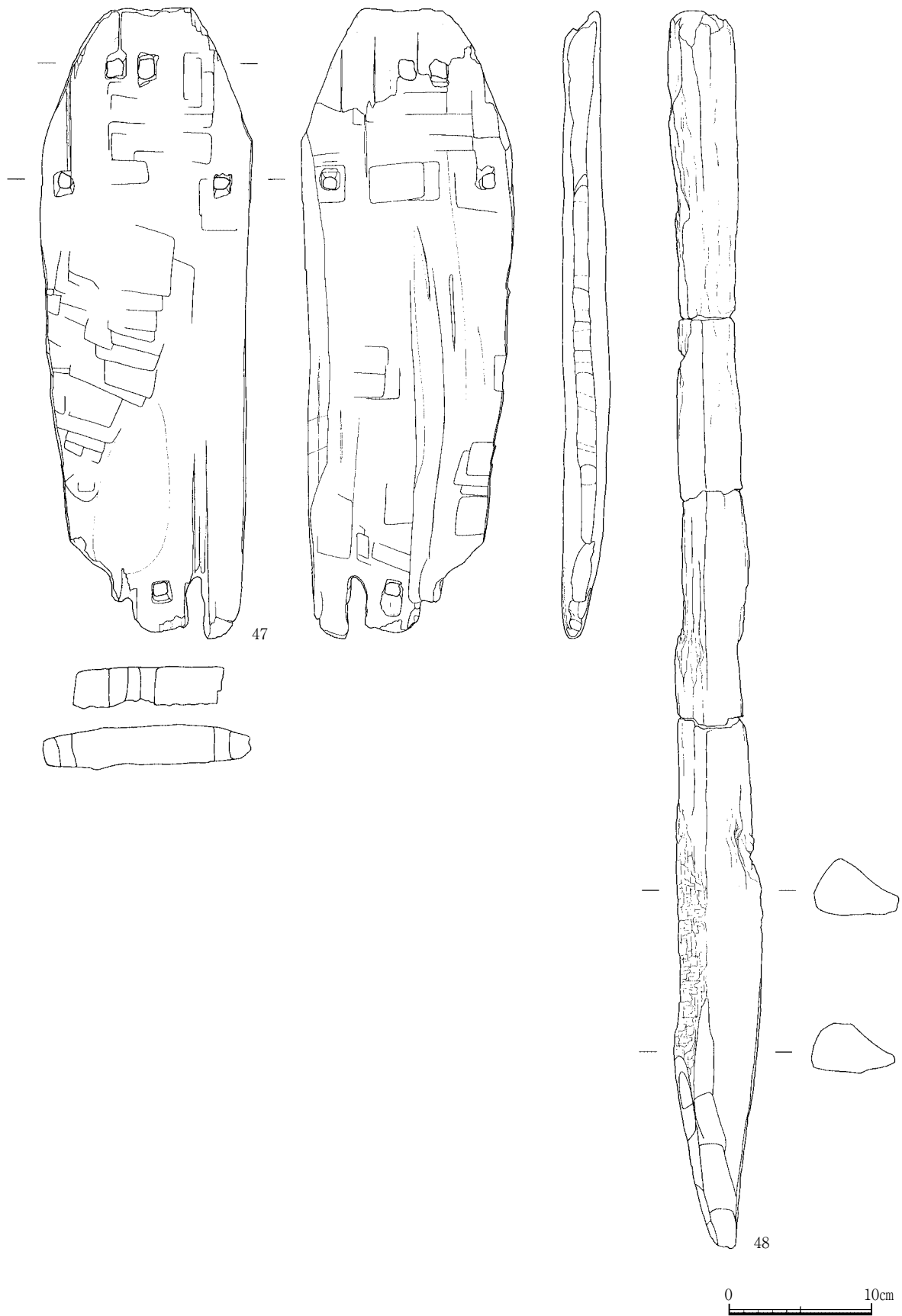


Fig.116 1D区Ⅱ層出土遺物（木製品）

## 6. まとめ

1 D区では、弥生時代後期終末～古墳時代初頭、奈良時代～平安時代の各時代の遺構・遺物が確認できた。

### (1) 弥生時代後期終末～古墳時代初頭の調査成果について

自然流路1本を確認した。古墳時代初頭頃までは、水量の豊富な安定した流路として存続していたものとみられ、搬入土器を含む古式土師器・木製品等が良好な状態で出土した。調査区内に関する限りでは自然流路以外の遺構は確認されていないが、周辺の地形及び遺構より土器や木製品が出土していること等から、形態や規模の想定はできないが、近辺の丘陵部及び山裾部における集落の存在や、水田経営等を含む生業活動についての想定は十分可能であろう。

### (2) 奈良時代～平安時代の調査成果について

自然流路1本を確認し、土師器・木製品等が良好な状態で出土した。自然流路については、下面の自然流路(SR1)直上に重複しているが、古墳時代以降徐々に埋没していき、奈良時代～平安時代前期には完全に埋没したものとみられる。調査区内に関する限りでは自然流路以外の遺構は確認されず、生活の痕跡も確認されなかった。出土遺物のなかでも、自然流路及び各層出土の木製品については、その部位や用途・機能が現段階では特定できないものが大半を占める。このうち、切り欠きを入れたものや圭頭状に仕上げたものについては、形状から木簡の可能性も推測されたことから、5点(Fig.108-28・Fig.109-31・Fig.114-40・Fig.115-45・46)について木簡状板材として赤外線TVにおける確認を試みたが、墨書の痕跡は確認できなかった。

以上の調査成果及び少量ではあるが、遺物の良好な残存状態・土壌の堆積状況・周辺の地形等から、ほぼ現在の景観を呈するようになった時期は古墳時代と推測することができよう。

## 参考文献

- 奈良国立文化財研究所 史料第27冊 『木器集成図録 近畿古代篇』1985  
奈良国立文化財研究所 史料第36冊 『木器集成図録 近畿原始篇』1993  
鬼頭清明 『木簡』 考古学ライブラリー57 1990

表37 遺物観察表 (土器・石器)

挿図番号	出土地点 層位	器種	法 量 (cm)				特 徴
			口径	器高	胴径	底径	
Fig.104-1	SR1	甕	17.4	(4.2)			1～4mm大のチャート・長石の砂粒を多く含む。口縁端部に刻み目を施す。
Fig.104-2	SR1	壺		(5.3)		5.3	1～5mm大のチャート・長石の砂粒を多く含む。内面ハケ調整。外面ヘラ磨き。
Fig.104-3	SR1	甕		(2.6)			1～3mm大の砂粒を含む。口縁内面外面とも横ナデ調整、頸部外面縦方向のハケ調整。
Fig.104-4	SR1	甕		(3.4)			内外面とも縦方向のハケ調整。
Fig.104-5	SR1	甕		(3.1)			摩耗のため調整は不明。
Fig.104-6	SR1	鉢		(4.0)			外面ヘラ磨き。
Fig.104-7	SR1	鉢		(4.5)			口縁端部は内外面とも横ナデ。内面は横ナデ、外面は右斜上方向のナデ調整。
Fig.104-8	SR1	高坏		(8.3)		12.0	裾部外面ヘラ磨き。指頭圧痕が残る。
Fig.104-9	SR1	甕	16.6	(5.9)			精良な胎土。くの字状に強く括れる口縁をもつ。外面頸部直下に右下がりのハケ調整。内外面とも指頭圧痕が残る。
Fig.104-10	SR1	甕	11.2	(10.8)	12.4		内面頸部直下は荒目のハケ調整後指頭によるナデ、胴部外面はタタキ後ハケ調整。外面は煤ける。
Fig.104-11	SR1	甕	17.4	(6.6)			外面はハケ調整。内面はヘラ削り・指ナデ。
Fig.104-12	SR1	甕	14.9	18.3	17.5		口縁部内外面とも横ナデ。外面はタタキ後荒目のハケ調整。庄内式。
Fig.104-13	SR1	甕	15.8	23.8	20.4		口縁内面はヘラ削り。胴部外面上半部はタタキ、下半部はハケ調整。内面は荒目のハケ調整。
Fig.104-14	SR1	甕		(22.5)		3.2	外面はタタキ後縦方向のハケ調整。チャート他の粗粒砂を含む。
Fig.104-15	SR1	甕	17.9	(26.8)	22.7		内外面とも指頭圧痕・指頭によるナデが顕著に残る。
Fig.108-25	SR2	皿	14.7	1.85		10.7	砂粒をほとんど含まない精良な胎土。内外面とも丁寧なナデ調整。底部外面は左回転のヘラ切り痕。
Fig.108-26	SR2	高坏	18.8	(9.1)			外面は段部がしっかり残る。指頭によるナデ・ヘラ磨き・ハケ調整、内面は指頭によるナデ・指頭圧痕が残る。
Fig.110-35	Ⅲc層	甕		(3.5)		7.2	チャートの砂粒を多く含む。内面に指頭圧痕が残る。
Fig.111-36	Ⅲb層	深鉢		(4.0)			口縁端部より1cm下がった位置に刻目突帯が付く。
Fig.112-37	Ⅲa層	坏	12.1	4.0			内外面とも丁寧な横ナデ調整。底部外面はヘラ切り後、4mmの高台を貼り付ける。焼成不良。
Fig.112-38	Ⅲa層	坏		(2.75)			1mm以下の細粒砂を多く含む。内外面ともナデ調整。
挿図番号	出土地点 層位	器種	全長 (cm)	全幅 (cm)	全厚 (cm)	重量 (g)	特 徴
Fig.104-16	SR1	石包丁	(5.0)	9.2	1.0	43.8	2分の1ほどが欠損する。直線刃で裏面に擦痕を確認できる。両面穿孔、同心円擦痕、モミ錐。頁岩。
Fig.113-39	Ⅲc層	石鏃	2.8	1.4	0.4	1.3	裏面下半大きく欠けるが、ほぼ完存。一部風化面有り。素材面少、表裏面側縁調整深い。サヌカイト。

表38 遺物観察表（木製品）1

挿図番号	出土地点 層位	品名	樹種	法量 (cm)			特徴
				全長	全幅	全厚	
Fig.105-17	SR1	杭	未同定	121.1	7.7	4.6	自然木の一端に加工を施し、先端部を作りだす。
Fig.105-18	SR1	竪杵	サカキ	39.1	7.5	—	竪杵の円柱状の搦き部である。握部から一方の搦き部にかけては欠損する。
Fig.105-19	SR1	竪杵	ヤブツバキ	100.0	9.0	7.3	円柱状の搦き部をもつ。一方の搦き部端は丸く、逆の端はほぼ平坦である。
Fig.105-20	SR1	板	ヒノキ	20.0	4.4	1.1	先端部は刀剣状に仕上げる。祭祀に関連するものか。
Fig.105-21	SR1	板	未同定	66.0	5.6	1.1	全体に剥離が著しい。中央部に1孔穿ち、折損する。
Fig.107-22	SR1	舟形	ヒノキ	56.0	18.3	6.6	6.6cmの厚板を舟形に削りだし、舳先側面は尖頭状に仕上げる。途中で荒く断ち切られているため全容は不明であるが、水辺の祭祀に関連するものか。
Fig.106-23	SR1	梯子	モチノキ属	179.2	14.8	10.1	丁寧に加工されており、足掛け4段が残存する。うち一つは部分的に欠損するものの、長さ12cm、厚さ6cmのほぼ原形を留める。一部焼失する。
Fig.106-24	SR2	杭	ヒノキ	181.5	8.2	—	僅にカーブした丸木材のV字形の二股部を使用し、先端部を鋭く尖らせる。杭先端部には削り痕が、二股先端部には切断痕が顕著に残る。
Fig.108-27	SR2	板	ヒノキ	10.8	7.2	0.8	薄い板材の一角に小孔1個が穿たれる。
Fig.108-28	SR2	棒	ヒノキ	12.5	1.0	0.45	表面と思われる中央部には、肉眼で3文字分の極めて不明瞭な墨書らしき痕跡がみられるが、判読不能。赤外線TVによる分析でも確認できなかった。裏面と思われる両端部は斜めに切り落とし、幅0.3cmの紐の緊縛痕が明瞭に残る。表面と思われる面を裏返して縛り付けたものか。
Fig.108-29	SR2	円形容器	ヒノキ	8.0	5.6	0.7	復元直径約18cmである。小孔8個が穿たれ、内面周縁部には側板の痕跡が明瞭に残る。30との接合を試みたが、樹皮が孔内に残存することから個別の破片と判断した。
Fig.108-30	SR2	円形容器	ヒノキ	15.2	5.2	0.7	復元直径約18cmで、全体の約3分の1ほどが残存する。周縁部の一孔には、側板を留めたとみられる樹皮が緊縛状態で残存する。小孔8個が穿たれ、内面周縁部には側板の痕跡が明瞭に残る。4箇所固定し、蒸し器のサナとして使用されたものか。
Fig.109-31	SR2	板	ヒノキ	25.3	2.5	1.05	上方に頭部を作り出す。下方は欠損する。祭祀に関連するものか。
Fig.109-32	SR2	板	ヒノキ	39.4	9.5	1.55	一端寄りに3個の小孔が穿たれる。

表39 遺物観察表（木製品）2

挿図番号	出土地点 層位	品名	樹種	法 量 (cm)			特 徴
				全長	全幅	全厚	
Fig.109-33	SR2	板	ヒノキ	56.2	11.2	2.0	両端とも欠損しているため全容は不明である。一方の端部付近に直径4～8mmの孔が不揃いに4個、反対側の端部付近には左右対称に4個の孔が穿たれており、その間にも不等間隔に穿たれている。
Fig.109-34	SR2	板	未同定	45.0	6.1	1.1	9個の小孔が不規則に穿たれる。加工の際の失敗品か。
Fig.114-40	Ⅲb層	板	ヒノキ	48.4	5.4	1.9	両端部に三角形の切り欠きを入れて、一方の端部は僅に圭頭状に仕上げ、他端は直線的に仕上げる。切り欠きは紐を掛けたものとみられるが、紐痕の確認はできない。
Fig.114-41	Ⅲb層	板	ヒノキ	21.2	7.7	0.7	円形板材の一部とみられるが、全体の形状は不明である。周縁部に方形孔1個が穿たれている。
Fig.115-42	Ⅲa層	円形容器	ヒノキ	8.9	5.9	0.7	復元直径約18cmである。小孔6個が穿たれる。内面周縁部には側板の痕跡が明瞭に残り、一孔には側板を留めたとみられる樹皮が緊縛状態で残存する。30との接合を試みたが、中央部に孔が穿たれることから、個別の破片として扱った。
Fig.115-43	Ⅲa層	円形容器	ヒノキ	7.3	5.2	0.4	周縁部の孔には側板を留めたとみられる樹皮が残存する。
Fig.115-44	Ⅲa層	楔?	アカガシ 亜属	3.7	3.9	1.2	両面を先端部にかけて丁寧に削り細め、楔状に加工する。
Fig.115-45	Ⅲa層	板	ヒノキ	29.7	4.6	1.0	両側端部から切り欠きが入る。上下両端部の剥離が著しい。祭祀に関連するものか。
Fig.115-46	Ⅲa層	板	ヒノキ	22.5	4.6	1.1	上端から約2cmの箇所にも両側からV字形の切り欠きを入れ、片側の切り欠き下部には二つめの切り欠きが入る。下方は欠損する。祭祀に関連するものか。
Fig.116-47	Ⅱ層	田下駄	ヒノキ	43.3	14.7	3.1	先端部は両側辺から切断し、舟形に仕上げる。刃物による調整痕が顕著に残る。方形孔が5個確認できる。6個めの方形孔は破損する。左下部は焼失する。
Fig.116-48	Ⅱ層	杭	ツブラジイ	85.6	6.2	3.9	断面二等辺三角形のミカン割状の割杭である。三方から加工を加え先端部を作り出す。

# 第 章 考察

## 1 C区第 層群出土土器について

居徳遺跡群 1 C区第IV層群の調査によって、縄文時代晩期～弥生時代前期の土器群を検出することができた。第IV層群はIV B層・IV D層の2層に大別される。これらは層位的な上下関係にあり、両層の調査に際しては厳密な分層を実施した。両層の出土遺物は時間的前後関係を保有しており、その様相を分析することは、当該期の生業形態、ひいては社会構造を考究する上において、有意義であると思われた。その見地に立ち、第IV層群出土土器について若干の検討を加え、本編のまとめとする。

### (1) 器種組成の変遷について

1 C区第IV層群出土土器の器種組成を表40・41に示した。点数は、主に口縁部破片点数<sup>(1)</sup>に基づく復元個体数であり、それには未図化資料の点数も含んでいる。各点数における図化資料と未図化資料の内訳は表40に示した。表41は各欄の上段に点数、下段にその層の合計点数に占める百分比を示している。

#### 1. IV D層群について

IV D層は深鉢～甕が約7割を占め、壺と鉢・浅鉢が残りを折半するという傾向が看取される。IV D 3層・IV D 2層は、組成比を復元するには母数不足であるが、IV D層の傾向を一部反映している。以上を合計したIV D層群全体では、壺14%、深鉢～甕70%、鉢・浅鉢16%、高杯・蓋は0%という器種組成を示す。

#### 2. IV B層群について

IV B 2層・IV B 1層は母数に問題がある。これらを吸収させたIV B層群全体では、壺11.85%、深鉢～甕73.70%、鉢・浅鉢14.07%、高杯0.37%、蓋0%という構成である。

#### 3. IV D層群とIV B層群の比較

IV D層合計とIV B層合計の組

表40 1 C区第IV層群出土土器集計表

器種 層位	壺	深鉢～甕	鉢・浅鉢	高杯	蓋	合計
IV D 3層	1 0	4 0	1 0	0 0	0 0	6 0
IV D 2層	3 0	20 0	3 0	0 0	0 0	26 0
IV D層	10 1	52 1	14 0	0 0	0 0	76 2
IV D層群 合計	14 1	76 1	18 0	0 0	0 0	108 2
IV B 2層	2 0	3 1	3 0	0 0	0 0	8 1
IV B 1層	2 1	1 4	1 0	0 0	0 0	4 5
IV B層	23 4	58 132	23 11	1 0	0 0	105 147
IV B層群 合計	27 5	62 137	27 11	1 0	0 0	117 153
IV A層	4 2	13 33	8 6	0 0	0 0	25 41
IV層	92 31	239 695	71 59	4 0	1 0	407 785
第IV層群 合計	137 39	390 866	124 76	5 0	1 0	657 981

上段：図化資料点数  
下段：未図化資料点数

表41 1C区第IV層群出土土器組成表

成比を比較すると、最大の格差部分でも深鉢～甕におけるわずか3.70ポイントである。すなわち、IV D層～IV B層間で、壺、深鉢～甕、鉢・浅鉢の3者の構成比については、殆ど変化していないことが指摘できる。なお、わずか1点（胴部片）であるが、IV B層には高杯を伴っている。

(2) 壺形土器における縄文土器と弥生土器について

(1)の組成比の内訳の1つとして、壺における縄文土器と弥生土器の構成比を表42に示した。母数には甚だ問題があるが、IV D層合計とIV B層合計の組成比を比較すると、IV D層で縄文：弥生は8：2であったものが、IV B層ではおよそ3：7に変化している。すなわち、IV D層からIV B層への時間経過の中で、縄文土器主体から弥生土器主体へという組成の逆転が起こっている。さらに、IV B層段階になっても、約3割の壺が縄文土器であるという点も看過できない。

(3) 深鉢～甕形土器における突帯文土器と弥生土器・甕について

(1)の組成比の内訳の2つ目として、深鉢～甕形土器における突帯文土器、非突帯文土器、弥生土器・甕<sup>2)</sup>の組成比を表43に示した。IV D層合計とIV B層合計の組成比を比較すると、突帯文土器では75%から48%へと占有率が後退しているのに対し

器種 層位	壺	深鉢～甕	鉢・浅鉢	高杯	蓋	合計
IVD 3層	1 17%	4 67%	1 17%	0 0%	0 0%	6 100%
IVD 2層	3 12%	20 77%	3 12%	0 0%	0 0%	26 100%
IVD層	11 14%	53 68%	14 18%	0 0%	0 0%	78 100%
IVD層群 合計	15 14%	77 70%	18 16%	0 0%	0 0%	110 100%
IVB 2層	2 22%	4 44%	3 33%	0 0%	0 0%	9 100%
IVB 1層	3 33%	5 56%	1 11%	0 0%	0 0%	9 100%
IVB層	27 10.71%	190 75.40%	34 13.49%	1 0.40%	0 0%	252 100%
IVB層群 合計	32 11.85%	199 73.70%	38 14.07%	1 0.37%	0 0%	270 100%
IVA層	6 9%	46 70%	14 21%	0 0%	0 0%	66 100%
IV層	123 10.32%	934 78.36%	130 10.91%	4 0.34%	1 0.08%	1192 100%
第IV層群 合計	176 10.74%	1256 76.68%	200 12.21%	5 0.31%	1 0.06%	1638 100%

上段：点数  
下段：百分比

表42 1C区第IV層群出土壺型土器組成表

	縄文土器	弥生土器	合計
IVD 3層	1 100%	0 0%	1 100%
IVD 2層	2 67%	1 33%	3 100%
IVD層	9 82%	2 18%	11 100%
IVD層群 合計	12 80%	3 20%	15 100%
IVB 2層	1 50%	1 50%	2 100%
IVB 1層	0 0%	3 100%	3 100%
IVB層	8 30%	19 70%	27 100%
IVB層群 合計	9 28%	23 72%	32 100%
IVA層	4 67%	2 33%	6 100%
IV層	35 28%	88 72%	123 100%
第IV層群 合計	60 34%	116 66%	176 100%

上段：点数  
下段：百分比



表43 1C区第IV層群出土深鉢～甕型土器組成表

て、弥生土器・甕は1%から36%へと拡大している。これは、IVD層段階からIVB層段階へと移行する過程において、煮炊用器種内での、突帯文土器から弥生土器への「置換」が進行したことを物語っている。また、IVB層にはほぼ相当すると考えられたIV層では、この「置換」がさらに進行した組成比を示しており、IVB層と同列に扱うことの危険性を示唆している。

(4) 鉢・浅鉢形土器における縄文土器と弥生土器について

(1)の組成比内訳を検討する3点目として、鉢・浅鉢形土器における縄文土器と弥生土器の組成比を表44に示した。弥生土器の占有率は、IVD層合計の6%からIVB層合計の16%へと成長してはいるが、その速度は壺及び深鉢～甕の比ではない。母数の問題を考慮しつつも、黒色磨研系の鉢・浅鉢が、IVB層段階に至ってもその組成上の首座を占めていたものと考えられる。また、その存在感が、全体に占める高杯の器種組成比に影響を与えている可能性がある。

(5) まとめ

以上、第IV層群出土土器について、主にIVD層・IVB層の出土土器の比較に焦点を当てて、検討を加えた。両層の出土土器は、「IVD層期」・「IVB層期」と仮称するような、連続する2時期の所産と理解され、その間に継起した変化の動態は、本県における弥生時代の初現期の、新たな一様相を示

	突帯文土器	非突帯文土器	弥生土器・甕	合計
IVD 3層	4 100%	0 0%	0 0%	4 100%
IVD 2層	15 75%	5 25%	0 0%	20 100%
IVD層	39 74%	13 25%	1 2%	53 100%
IVD層群合計	58 75%	18 23%	1 1%	77 100%
IVB 2層	2 50%	1 25%	1 25%	4 100%
IVB 1層	0 0%	1 20%	4 80%	5 100%
IVB層	93 49%	31 16%	66 35%	190 100%
IVB層群合計	95 48%	33 17%	71 36%	199 100%
IVA層	35 76%	7 15%	4 9%	46 100%
IV層	316 34%	139 15%	479 51%	934 100%
第IV層群合計	504 40%	197 16%	555 44%	1256 100%

上段：点数  
下段：百分比

表44 1C区第IV層群出土土鉢・浅鉢形土器組成表

	縄文土器	弥生土器	合計
IVD 3層	1 100%	0 0%	1 100%
IVD 2層	3 100%	0 0%	3 100%
IVD層	13 93%	1 7%	14 100%
IVD層群合計	17 94%	1 6%	18 100%
IVB 2層	3 100%	0 0%	3 100%
IVB 1層	1 100%	0 0%	1 100%
IVB層	28 82%	6 18%	34 100%
IVB層群合計	32 84%	6 16%	38 100%
IVA層	12 86%	2 14%	14 100%
IV層	91 70%	39 30%	130 100%
第IV層群合計	152 76%	48 24%	200 100%

上段：点数  
下段：百分比

すものとして、意義付けられるものとする。「IV D層期」から「IV B層期」への変遷において最も重要な事実は、「縄文土器・弥生土器を総合した、壺、深鉢～甕、鉢・浅鉢の器種組成比がまったく変化していない」ということである。居徳遺跡群1 C区における土器の弥生化は、それまでの生業形態に変節を迫ることなく、各器種内における弥生土器への「置換」の積み重ねによって、ゆるやかに進行したものであった。そして、IV B層・IV層出土の大洞A式土器は、時代の転換点において劇的な変化を遂げることのなかった、居徳遺跡群なればこそ持ちえた、交流ルートの賜物であったのかも知れない。

なお、「IV D層期」・「IV B層期」の、高知県における既存の土器編年観との併行関係は、弥生土器を基準として、「IV D層期」が東松木式<sup>(3)</sup>～西見当I式<sup>(4)</sup>期に、「IV B層期」が西見当I式～西見当II式<sup>(5)</sup>期に対応するものと考えられる<sup>(6)</sup>。また「IV D層期」の突帯文土器に関しては、検討不十分ながら、瀬戸内地域の沢田式<sup>(7)</sup>との関連が想定される。

#### 註

- (1) 居徳遺跡群1 C区出土遺物の整理作業においては、長径3 cm未満の土器片については原則的に注記を実施せず、細片として扱った。これに該当する口縁部破片等は集計から除外している。
- (2) 「突帯文土器」は縄文晩期的要素を指数化するため、口縁部に刻目突帯及び無刻目突帯をもつものを集計した。これには弥生土器化した突帯文土器を含んでいる。また、特殊胎土土器もこれに含めた。「弥生土器・甕」は、弥生前期的要素を指数化するために、如意形口縁の甕形土器を集計した。そして、以上に該当しない深鉢～甕形土器を「非突帯文土器」とした。
- (3) 岡本健児「土佐考古学の諸問題」『高知の研究』1 地質・考古篇 清文堂 1983年
- (4) 岡本健児「西見当I式土器とその縄文的要素」『考古学ジャーナル』170 1979年
- (5) 岡本健児『高知県の考古学』吉川弘文館 1979年
- (6) 弥生土器の編年観については、岡本健児氏から御教示をいただいた。
- (7) 岡田博ほか「百間川沢田遺跡2」『岡山県埋蔵文化財発掘調査報告』59 建設省岡山河川工事事務所・岡山県教育委員会 1985年

報告書抄録

ふりがな	いとくいせきぐん							
書名	居徳遺跡群 I							
副書名	四国横断自動車道(伊野～須崎間)建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書							
巻次								
シリーズ名	高知県埋蔵文化財センター発掘調査報告書							
シリーズ番号	第62集							
編著者名	曾我貴行・藤方正治・下村 裕・佐竹 寛							
編集機関	(財)高知県文化財団 埋蔵文化財センター							
所在地	〒783-0006 高知県南国市篠原1437-1 TEL.088-864-0671							
発行年月日	2001年3月31日							
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯 。' "	東経 。' "	調査期間	調査面積 m <sup>2</sup>	調査原因
		市町村	遺跡番号					
いとくいせきぐん 居徳遺跡群	こうちけん と さし 高知県土佐市 たかおかちょう おつ 高岡町乙	39205	050087	33度 30分 10秒	133度 25分 8秒	1997年 10月17日 ) 1998年 3月31日	4,448	四国横断 自動車道 (伊野～須崎間) 建設工事に 伴う調査
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構		主な遺物		特記事項	
1B区	集落	縄文時代 晩期 弥生時代 前期			縄文土器・弥生土 器・石器・木製 品・自然遺物		大洞式土器の 出土	
1C区 (その1)	集落	縄文時代 晩期 弥生時代 前期			縄文土器 ・ 弥生土器		大洞式土器の出土 縄文時代晩期～弥 生時代前期の土器 群を検出	
1D区	旧河道	弥生時代 古墳時代 奈良時代	自然流路		弥生土器・土師 器・木製品			

# 居 徳 遺 跡 群

---

2 0 0 1 年 3 月

発行 (財)高知県文化財団 埋蔵文化財センター  
高知県南国市篠原1437-1

Tel. 088-864-0671

印刷 共和印刷株式会社